

附章 昭和 55 年度以前の調査概要

研究所が報告地域で実施した昭和 51 年度 (1976) から平成 6 年度 (1994) までの調査の成果は文化庁国庫補助事業による『発掘調査概報』、『試掘立会調査概報』、『立会調査概報』があり、『京都市埋蔵文化財研究所調査報告』、『京都市埋蔵文化財調査概要』、『平安京跡発掘資料選』1・2 によって逐次報告してきた。

しかし昭和 55 年度 (1981) 以前の『調査概要』は未刊行である。このため、上記の報告書に未収録 13 件の発掘調査と立会調査の概要を報告する。概要報告は、調査方法による掲載区分は行わず、調査年度順とした。

1 広隆寺旧境内 1 (図版 50)

経過 右京区太秦蜂ヶ岡町 31 番地、同桂木町 8-4 番地に所在する京都市右京区役所で、庁舎の建築が計画された。調査地は、広隆寺旧境内に比定されている。このため、昭和 52 年 (1977) 5 月 3 日から 6 月 12 日にかけて調査を実施した。調査区は南北 14m、東西 13m、約 190 m²である。

遺構 検出した遺構は、奈良時代の土壇 SK5・10・13～15、基壇地業 SX12、平安時代の建物 SB16・17、室町時代の土壇などがある。

SK5 は東西 3.3m、南北 3.5m 以上、深さ 0.7m。

東方向から投棄された瓦を多量に包含する。瓦の投棄後に上面を整地している。SK10 は調査区東側に位置する。南北幅 2m を測る。SK13～15 は調査区北辺で東西に並び、最大幅 5m で、深さは 1m を測る。基壇築成に関係した粘土採取土壇と考えられる。

SX12 は、調査区中央で東西に検出した帯状の掘り込みである。南北幅 4.5m、深さ 0.6m を測る。掘方は垂直に掘られ、底面はほぼ平坦である。最下層には、最大 3cm の小礫と地山土を叩き込む。上層は、褐色や黄褐色の泥砂層が交互に堆積する。この互層は北で厚く、南方向へ堆積する。基壇地業の版築土層と考えられる。SB16・17 は調査区中央東側で検出した。SB16 は南北 2 間の東西棟と推定できる。桁行、梁間ともに 3.25m を測り、建物方位は真東西である。SB17 は SB16 の前に建てられたと考えられる。柱間 3.5m。

遺物 出土した遺物は、古墳時代後期、飛鳥時代、奈良時代、室町時代のものがある。

古墳時代後期の遺物は、円筒埴輪片が出土した。SK5 などの土壇から出土するが、量は少ない。飛鳥時代に属する遺物は、土師器杯、須恵器壺・甕、瓦類がある。土器類は、奈良時代の土壇、

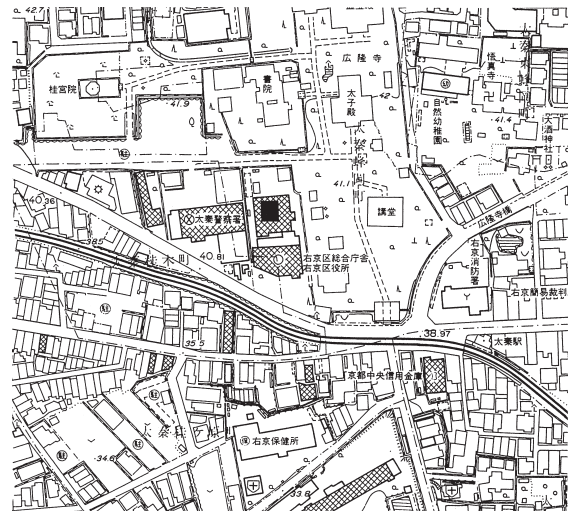


図 99 調査位置図 (1:5,000)

柱穴などから出土した。瓦類は、土壌から多量に出土した。大半が飛鳥時代に属するが、一部に奈良時代、平安時代前期・後期のものがある。奈良時代の遺物は、土師器杯・皿がある。土壌や基壇地業から出土した。室町時代の遺物は、土師器皿、陶器などがあり、柱穴などから出土した。

小結 『広隆寺資財帳』によれば、平安時代前期にはすでに塔が金堂から分離され、塔院として一院を形成したとある。院内の建物として、三重塔、三間堂、五間僧坊、南門の存在が記されている。検出した2棟の建物は、塔院の三間堂にあたる可能性がある。

基壇地業 SX12 は、地業幅が 4.5m あり、基壇地業の軸線が葛野郡条里の傾きに近いこと、出土遺物が奈良時代に属していること、また調査地南東の区役所敷地内から塔心礎が発見されたことなどから、塔院内の建物基壇の一部と考えられる。

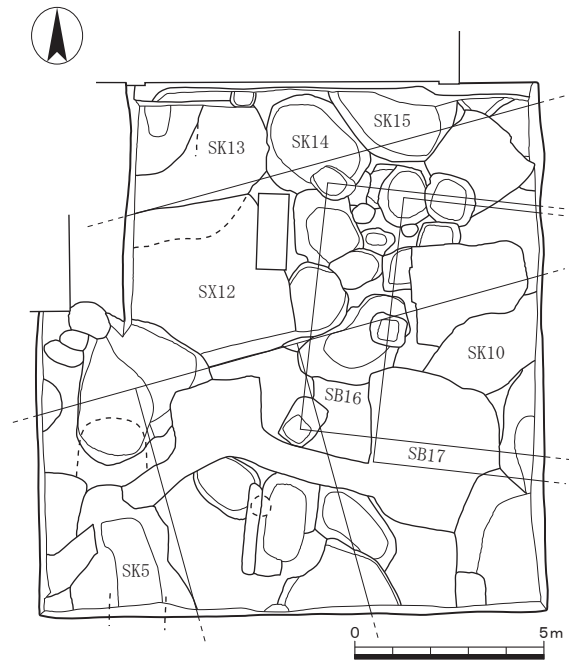


図100 遺構平面図(1:200)

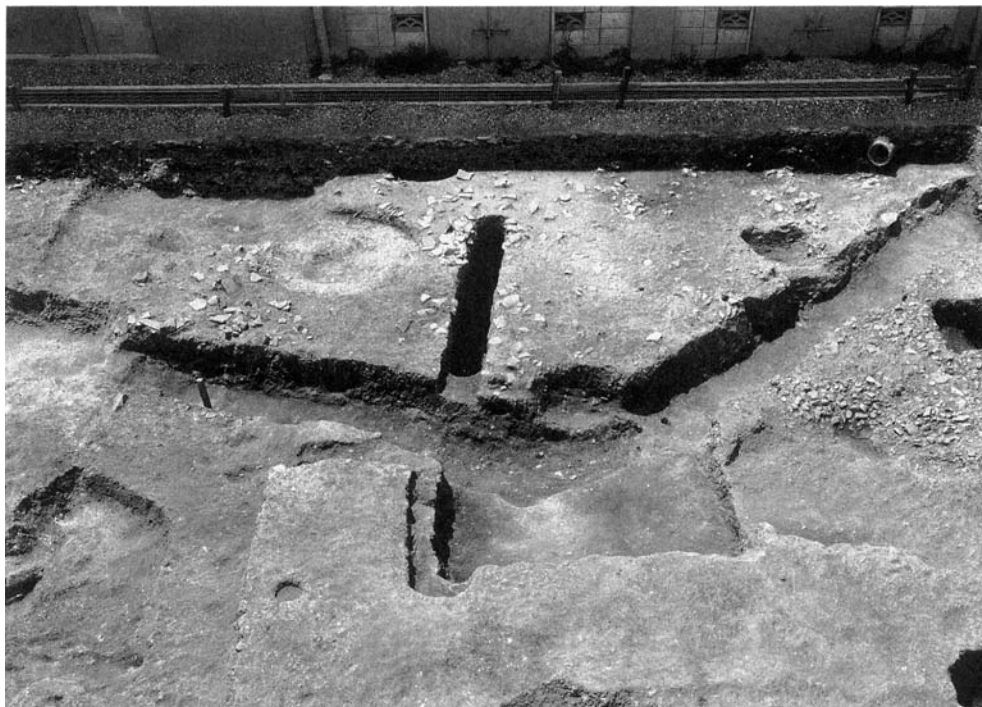


写真11 全景(北から)

2 檀林寺跡 (図版 50)

経過 調査地は、右京区嵯峨天龍寺立石町1-14番地、浄土宗法然院境内の北東隅に位置する。当該地は、平安時代前期に建立された檀林寺の推定地に隣接する。調査は昭和52年(1977)8月1日から8月12日にかけて実施した。

遺構・遺物 調査区に堆積する土層の基本層序は、地表下0.4～0.5mまでは庭の客土である。その下層は、法然院の造成に関する江戸時代の整地土層である。以下は、地山の黄褐色砂礫土層や茶褐色砂礫土層になる。地山直上面で、土壌や溝などの遺構が検出された。土壌は10数箇所

で検出したが、1箇所を除くすべてが庭木の移植や植樹に関するものであった。調査区の南西に検出した土壌SK1からは、平安時代や室町時代の瓦や甃などが出土した。この土壌は江戸時代の不用品投棄場と考えられる。

小結 檀林寺に関係した遺構は確認できなかった。しかし、調査地周辺の分布調査で、平安時代前期から中期の多数の瓦を採集しており、付近に平安時代の寺院が存在したことが考えられる。室町時代の瓦や甃は、天龍寺に関する遺物といえる。



図101 調査位置図 (1:5,000)

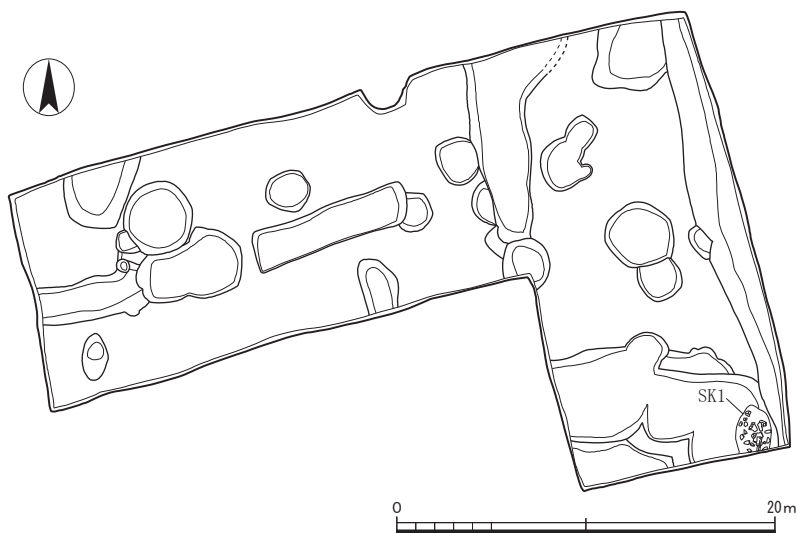


図102 遺構平面図 (1:400)

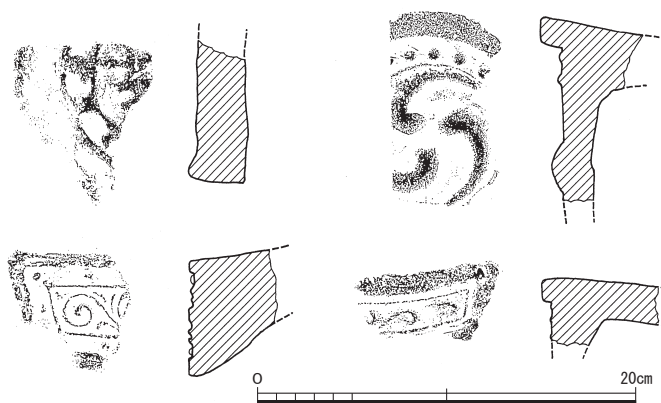


図103 出土軒瓦実測図 (1:4)

3 平安京右京二条四坊

経過 調査地は、平安京右京二条四坊十二町にあたり、官衙町などが推定されている地区である。発掘調査は、右京区太秦安井柳通町 14-1 番地の市立安井小学校増築工事に伴うもので、学校敷地の北東部に南北 14m、東西 9m の調査区を設定した。調査は昭和 52 年 (1977) 7 月 25 日から 8 月 17 日にかけて実施した。

遺構・遺物 堆積土の基本層序は、上から運動場の整地土層が 0.5m、旧耕作土層が 0.2m、その直下が遺物の出土しない砂礫や粘質の堆積土層になる。また旧耕作土層下に、厚さ 0.05m

の遺物包含層が部分的に認められ、土師器小片が出土した。検出した遺構には、旧耕作に伴う暗渠、杭と板で護岸した近代の水溜状遺構、室町時代の暗渠 1 条がある。遺物は、近代の陶磁器などの他に、平安時代の土器が後世の遺構に混入して少量出土した。

小結 平安時代の遺構は検出できなかったが、少量ながら当該期の土器が出土したことは、調査区周辺部に遺構が存在することを示唆するものである。

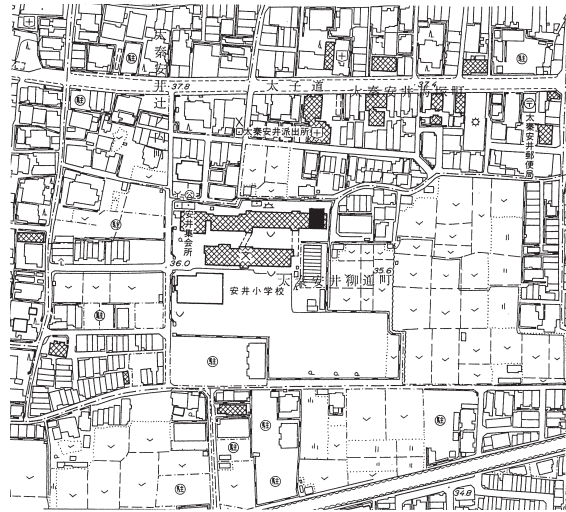


図 104 調査位置図 (1 : 5,000)



写真 12 全景

4 広隆寺旧境内・弁天島経塚群 (図版 51 ~ 53)

経過 弁天島経塚群は、右京区太秦蜂ヶ岡町36-1番地、広隆寺の旧境内に位置し、東側は大酒神社と接している。経塚は、旧境内弁天池に浮かぶ築山状の中島に造られたもので、中島には弁財天が祀られ、大木が茂っていた。

経塚群と判明したのは、昭和45年(1970)の三条通バイパス工事の折、中島の中央にあった弁天社を広隆寺境内に移す際、社殿の下から古銭・刀子などが出土したことによる。

弁天池は、東西40m、南北30m、中島は直径12m、水面から1.5mの高さであった。この池が宅地造成のために埋め立てられることになり、昭和52年(1977)11月14日から昭和53年(1978)2月11日にかけて発掘調査を実施した。調査は、経塚群の築かれた中島に重点をおき、池から中島へ向けて東西と南北方向の調査区を設けた。さらに8箇所に池の汀線を確認する調査区を設定した。

遺構 中島の築成法は、地山を整地して外径12mの島を造り、周囲に杭を打ち竹のしがらみを設けている。この杭列の0.5m内側にも同様に杭を打ち、内側に小礫を詰めて、島の外壁を安定



図105 調査位置図(1:5,000)

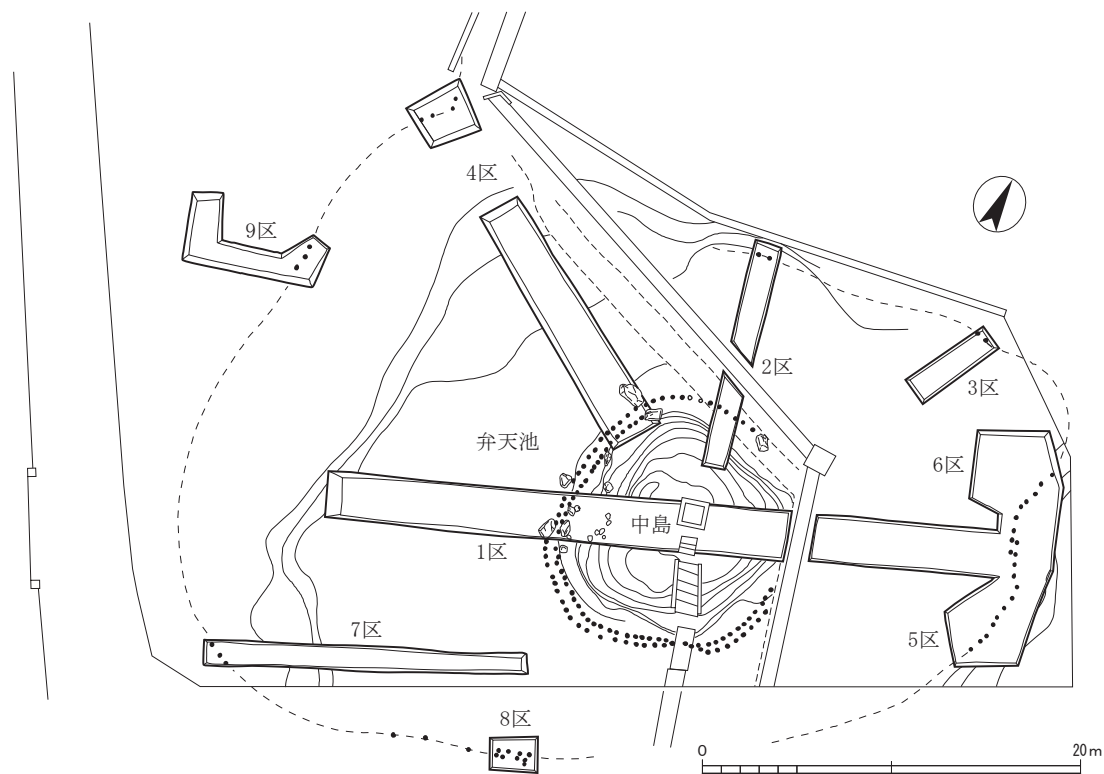


図106 調査区配置図(1:400)



図107 経塚実測図(1:160)

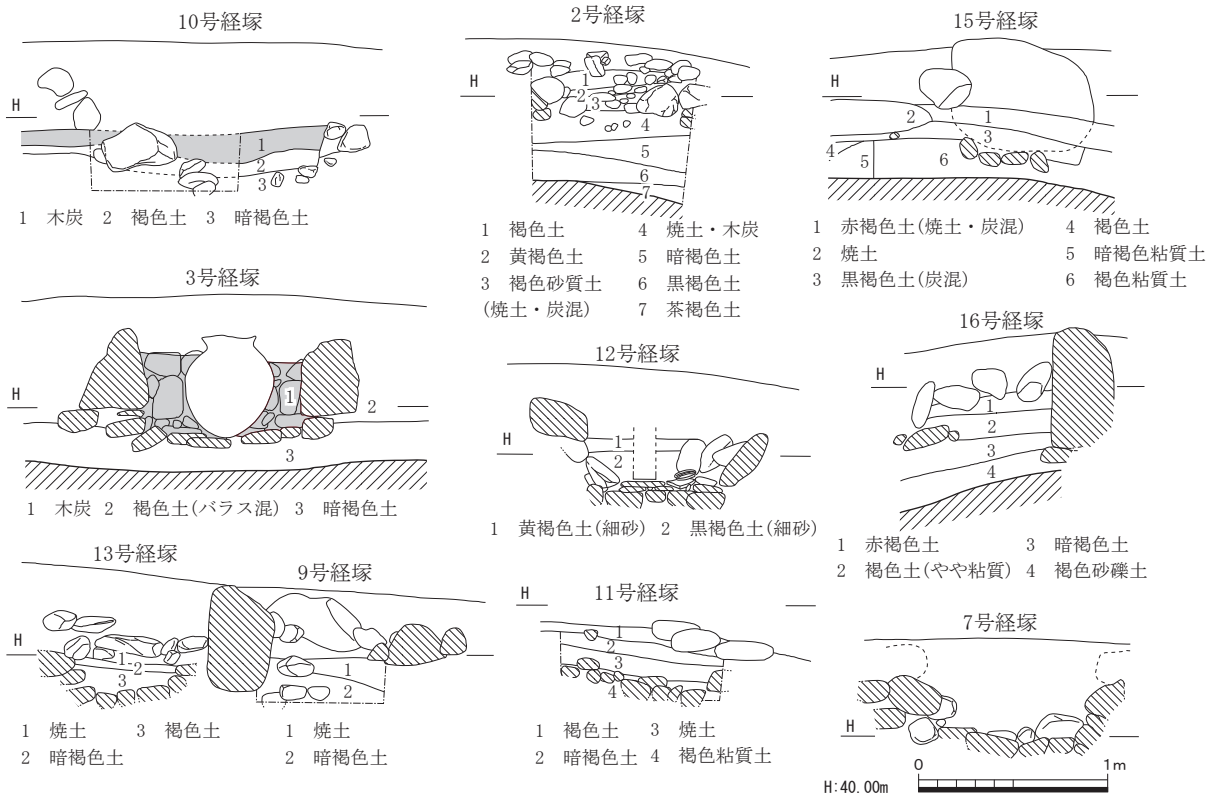


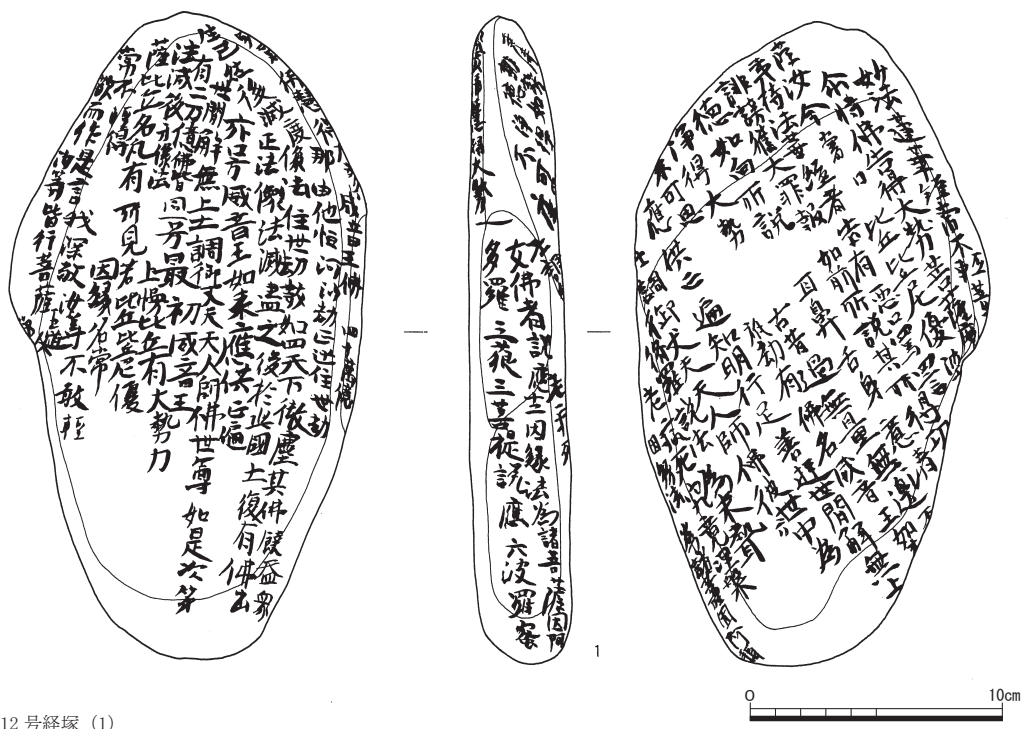
図108 経塚断面図(1:40)

させている。その際に、島の周囲に景石として巨石6個を配置し、巨石の下には礫を敷いて根固めにする。次に、島内に約0.6～0.7mの盛土をして、そこに経塚を築造している。経塚は数個の大きな石で築造し、その上に盛土をする。この盛土の中に平安時代前期から後期にかけての瓦が混入していることから、広隆寺境内の土を運んできたものと思われる。築造の後で、島の外面を葺石で覆う。葺石は島の下半部で検出しているが、築成当初は全面を覆っていたと思われる。

調査時には盗掘などの攪乱を受けていたが、16基の経塚を検出した。経塚はその構造から三形式に分類することができる。底石のまわりに方形の小石室を造り、経筒は外容器に納めて石室内に置き、木炭を充填する3・10号経塚。底石の周囲に外方に傾斜した摺鉢形の石室を造り、経筒を甕などで覆う7・8・11～13・15・16号経塚。明確な石室を造らない2・6・9号経塚がある。他に構築法の不明なものが4基ある。

3号経塚はほぼ完全な形で遺存していた。扁平な石を据えて底部を造り、周囲に高さ0.4m大の石を立て、約0.9m四方の小石室を造る。その中に経筒を入れた須恵器の甕（外容器）を納める。この外容器のまわりには、石室いっぱい木炭を詰める。石室の石の上面には、外容器を取り囲むように刀子を5口並べていた。外容器の内側には、甕の口縁部や木炭が落ち込み、経筒の飾りとみられる瓔珞の小玉が入っていた。経筒は残存していない。

10・12・13・15号経塚は、断面に底部の石と木炭が遺存していた。12号経塚からは、銅製経筒や紙本経・礫石経が、10号経塚からも銅製経筒が出土した。他に5・6号経塚からは経筒の蓋が、16号経塚からは外容器の蓋が出土した。7号経塚は、すでに盗掘されて底部の石だけが残り、銭貨や青白磁合子などが散乱していた。



12号経塚 (1)

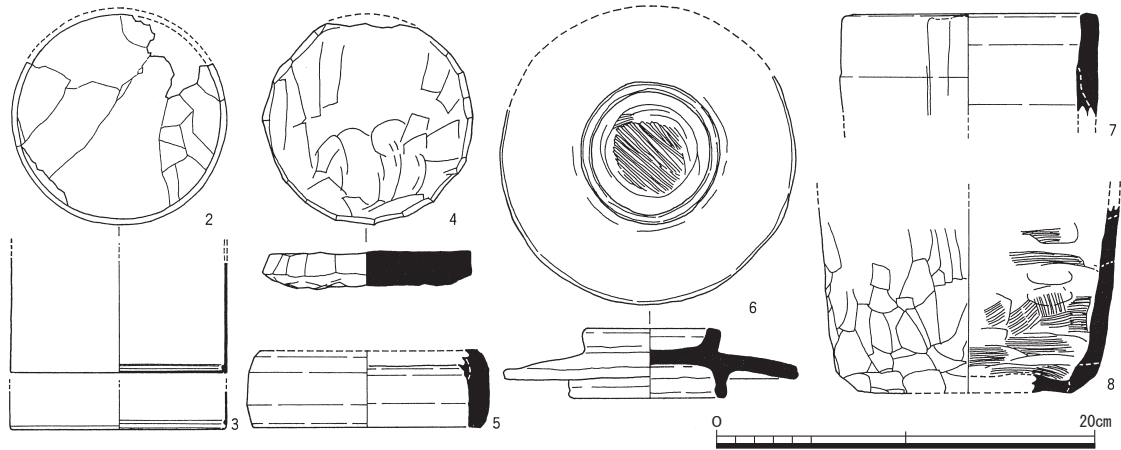
図 109 経石実測図 (1:3)

遺物 出土した遺物は、経塚に伴う遺物と中島の盛土の中に混入しているものに分けられる。経塚に伴う遺物は、經典を除いて、一般的な経塚から出土するものと同様である。平安時代後期に属している。

経塚に伴う遺物は、經典類、経容器（経筒、外容器）、副納品に分けられる。

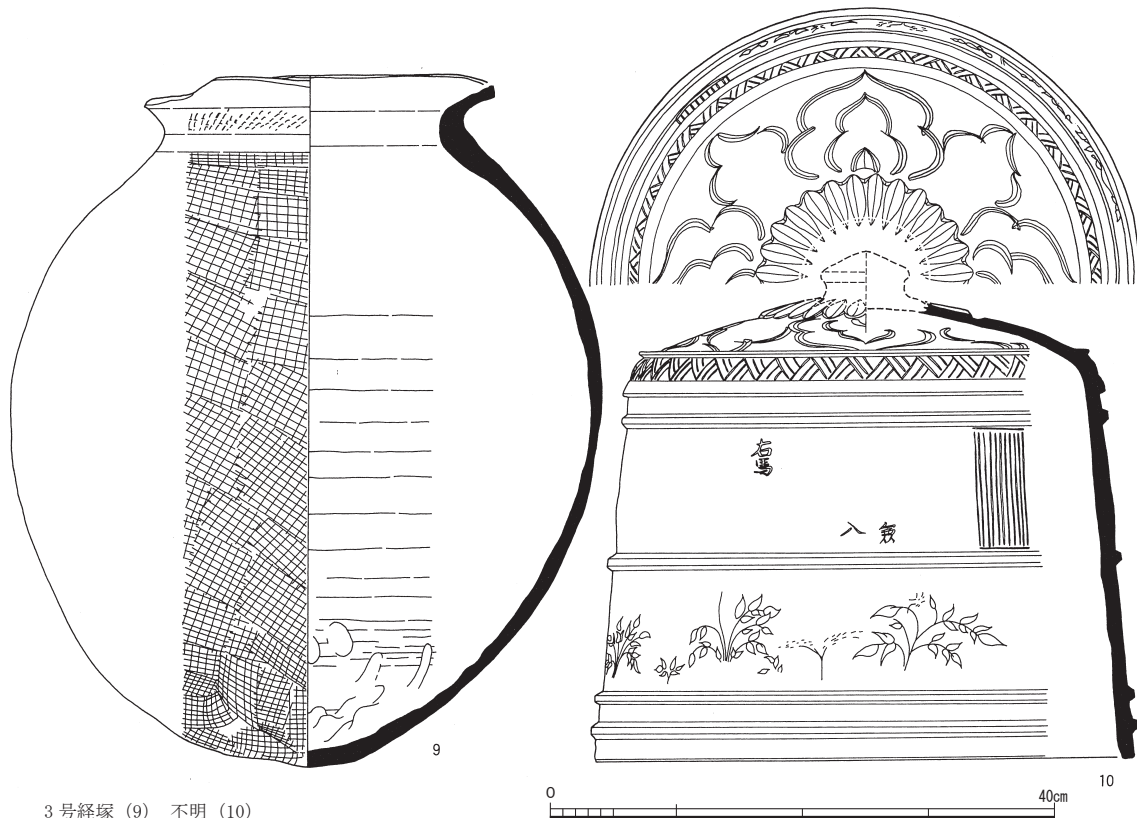
經典類には紙本経残欠と礫石経1点がある。礫石経は、扁平な自然石の表裏に法華経が墨書されたものである。^{註1}

経容器は、青銅製経筒2点、土師質・須恵質・瓦質の経筒・蓋がある。経筒蓋は形態により三種類に分類できる。経筒を入れた外容器は計9個体分が出土した。須恵器や古丹波・古備前の甕



1号経塚 (7) 5号経塚 (4) 6号経塚 (6) 10号経塚 (3) 12号経塚 (2・5) 不明 (8)

図110 経容器実測図 (1:4)



3号経塚 (9) 不明 (10)

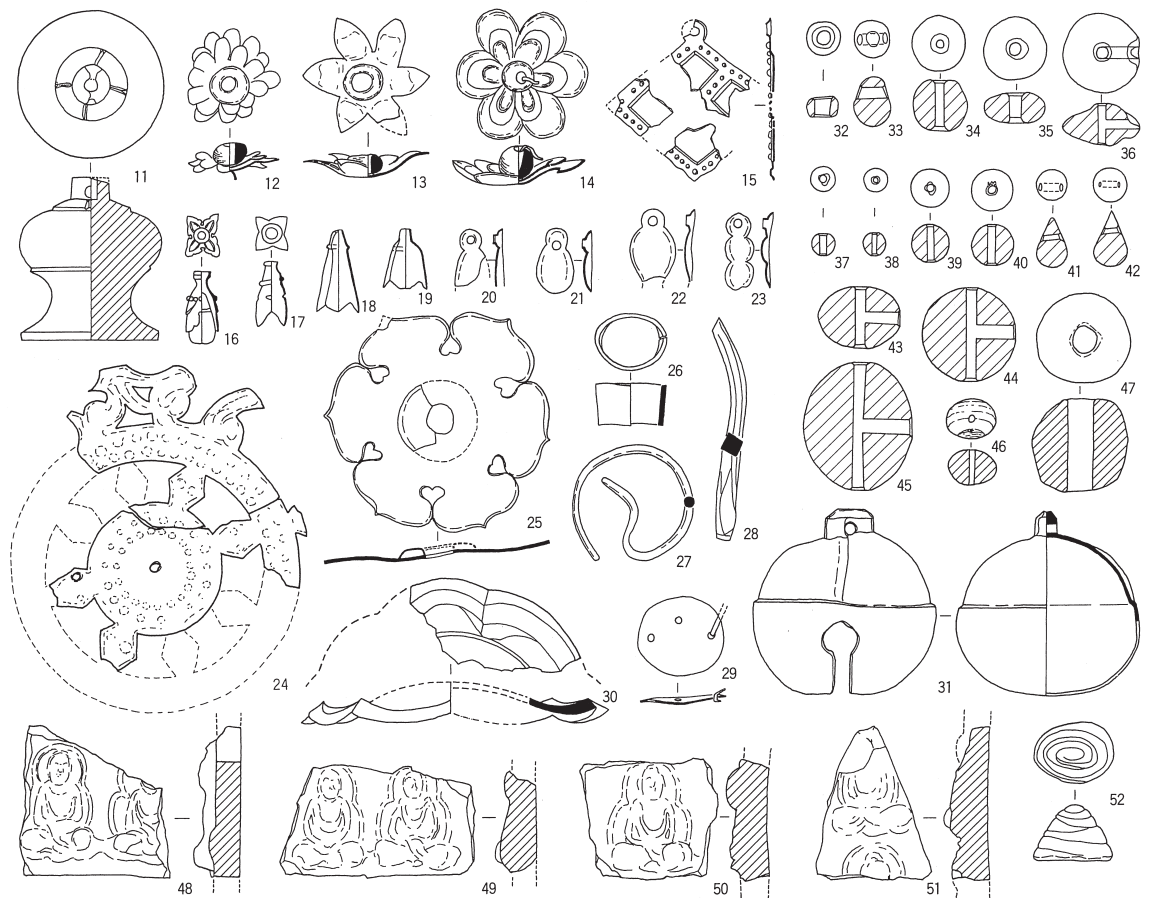
図111 経筒外容器実測図 (1:6)

6 個体分、瓦質外容器 1 個体分などである。瓦質外容器は胴部に突帯があり、突帯間に線彫りの秋草文様と「兼」、「入」、「右馬」の文字が描かれている。

副納品には多種多様なものがある。鏡は 4 面が出土した。方形湖州鏡 1 面、和鏡には秋草文蝶雀鏡、秋草文鏡、八稜鏡がある。秋草文蝶雀鏡の鏡面には布痕が認められる。刀子は 10 口以上あり、最大のもは全長約 30cm である。青白磁は多数出土している。内訳は平形合子蓋 33 点、身 40 点、壺、壺蓋 5 点があり、蓋に描いた模様も多様である。平形合子蓋は直径 5.6cm のものが多い。なお、90～93 はのちの復原作業の結果、接合して壺になることが判明した。

輸入銭貨は 110 枚が出土した。北宋銭が 16 種類で、初鑄は宋の開宝元年 (968) の「宋通元寶」から、初鑄が政和元年 (1111) の「政和元寶」があり、「五銖銭」、「開元通寶」が各 1 枚ある。金箔を貼った磚仏は 4 点出土した。千体仏の内 7 体分である。金属器は銅製の椀 2 点、柄香炉 1 点、銅鈴 1 点がある。飾り金具も多数出土した。金、銀、銅、金銅製のものがある。ガラス玉・水晶玉・瑠璃玉なども約 220 点出土した。ガラス玉には丸・算盤玉・円錐形をしたものがある。他の玉類には土玉 4 点、木玉 2 点がある。また、鋏は 8 丁以上、螺髪 1 点、硯 1 点、翡翠製分銅 1 点、^{註2}白磁小皿なども出土している。

中島の盛土からは、土師器、緑釉陶器などの土器類や平安時代前期から後期の軒瓦を含む瓦類が多数出土した。平瓦には、凸面に「警固」銘を持つものもある。



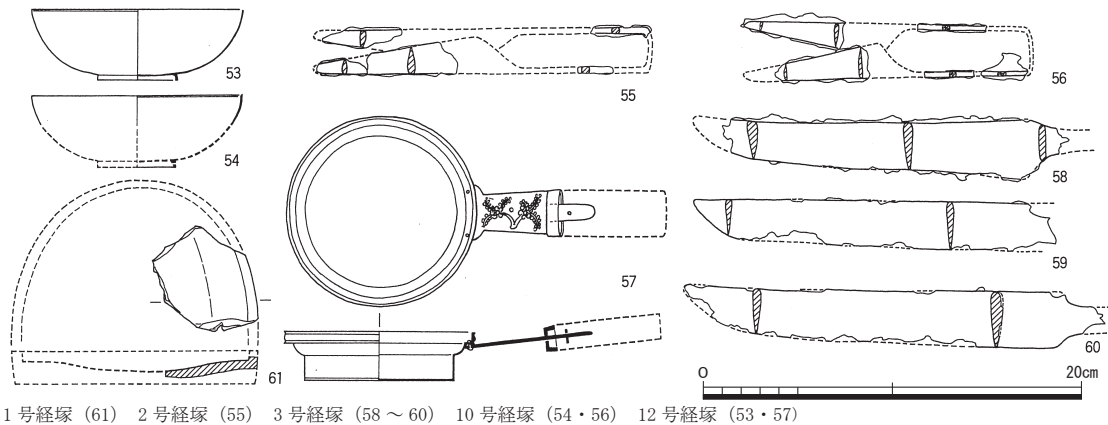
2 号経塚 (15・19～23・38・39・47) 3 号経塚 (16・17・32～34・36) 5 号経塚 (31) 10 号経塚 (18・35・40・42・43・45・52) 11 号経塚 (46) 12 号経塚 (37・41・44) 13 号経塚 (25～29) 不明 (11～14・24・29・48～51)

図 112 金属・石・ガラス・木製品実測図 (1:1.5)

小結 経塚の築造は、末法思想などを背景に仏教的作善業の一つとして、平安時代中期頃から始められたもので、わが国だけにみられる。藤原道長が長徳4年(998)に発願し、寛弘4年(1007)に築造した金峯山経塚が最も古い例である。全国で1,000例を越す経塚遺跡が知られている中で、その1割が京都府下に集中している。築造は11～12世紀に最も盛んであり、この弁天島経塚群も、12世紀中葉に築造されたものである。

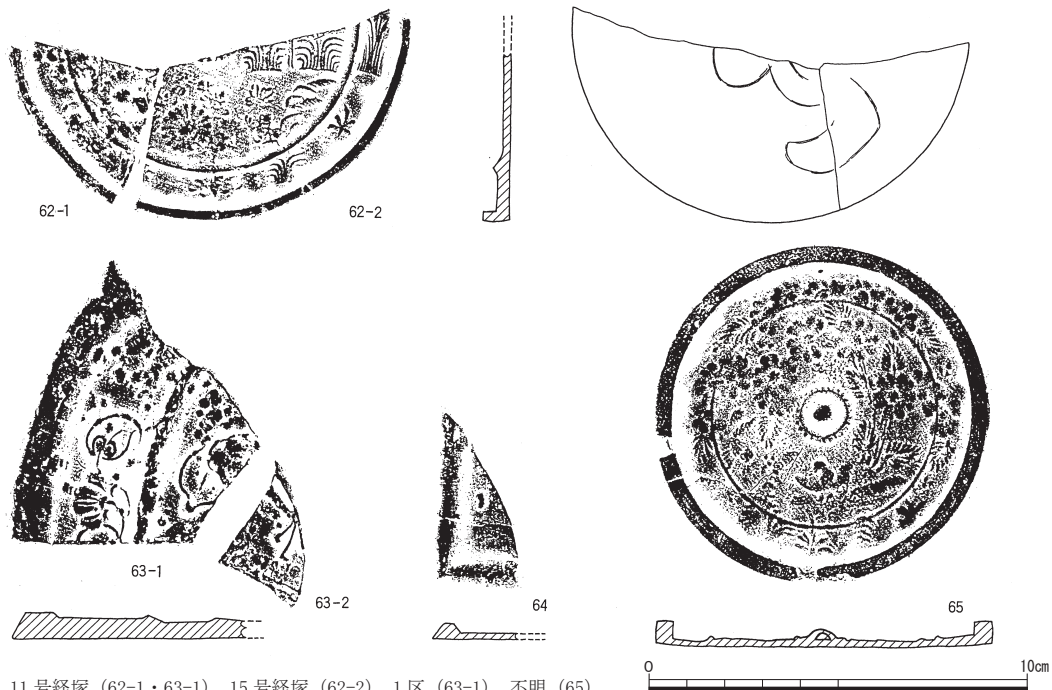
中島の盛土の中に混入している瓦からは、この経塚の築造された年代と、久安6年(1150)の広隆寺焼亡の年代を関連させて考えることもできる。さらに、この弁天島経塚群の造営者には、出土した「警固」銘瓦や、『廣隆寺資財帳』、『廣隆寺資財交替實録帳』などの文献から、太宰府に関係している有力貴族も想定することができよう。

平安京周辺では、鞍馬寺経塚、花背経塚などの経塚が周囲の山岳地に築造されている。平地で、しかも池の中島に造られた弁天島経塚群は貴重な例といえる。出土した多彩な遺物群からは、極楽浄土への転生を望んだ平安貴族の末法観の反映をみることができる。



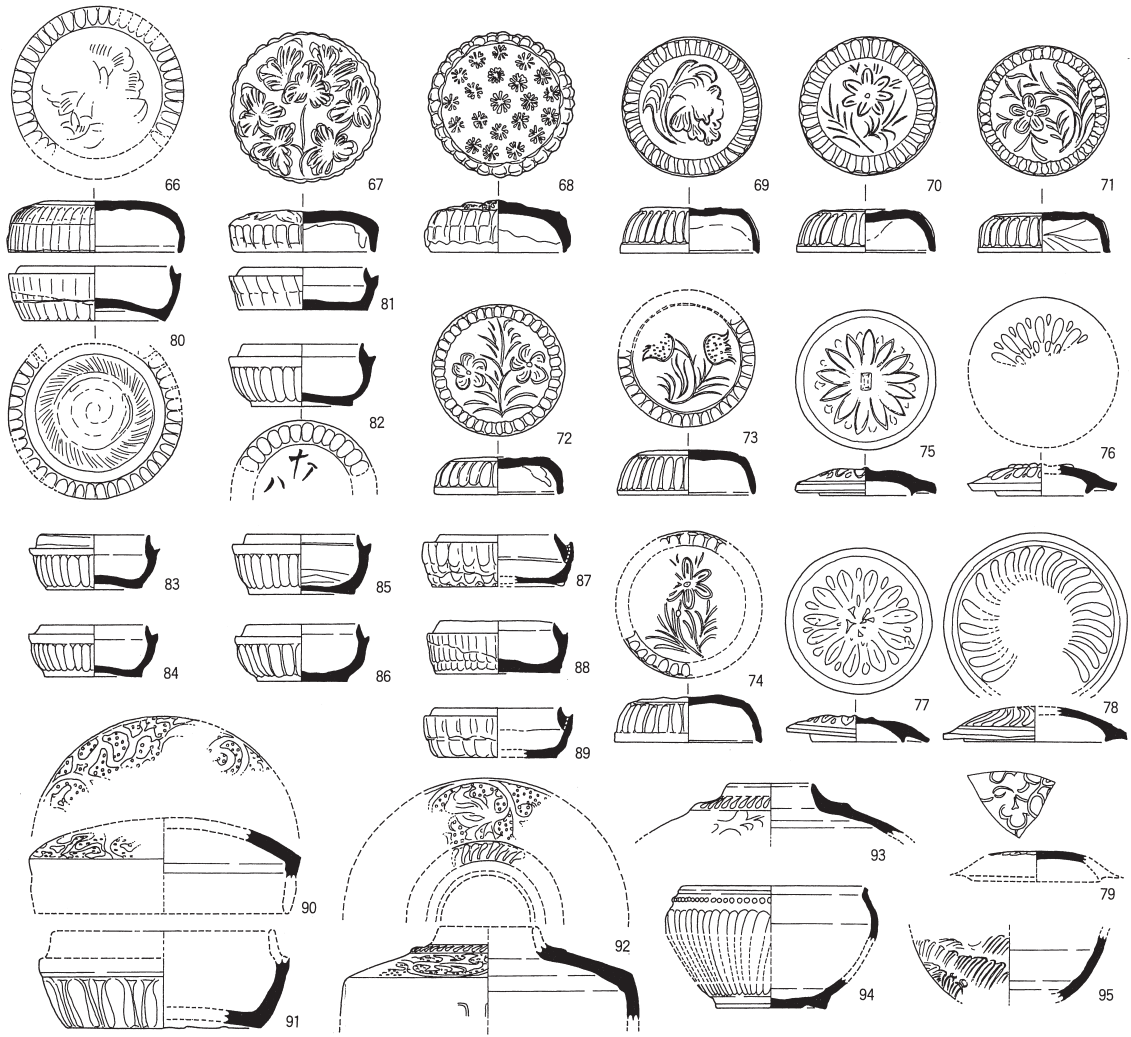
1号経塚(61) 2号経塚(55) 3号経塚(58～60) 10号経塚(54・56) 12号経塚(53・57)

図113 金属・石製品実測図(1:4)



11号経塚(62-1・63-1) 15号経塚(62-2) 1区(63-1) 不明(65)

図114 鏡実測図(1:2)



1号経塚 (73) 2号経塚 (78・90～93) 4号経塚 (82・94) 10号経塚 (66・74・80・85・89) 11号経塚 (79)
 12号経塚 (69・71・83・84・86) 14号経塚 (70・76・87・88) 不明 (67・68・72・75・77・81・95)



図 115 青白磁実測図 (1:3)



図 116 瓦拓影図 (1:4)

紙幅の都合から、他の副納品、土器・瓦類などを始めとした数多くの遺物を掲載することができなかつた。なお、現在3号と12号経塚の遺構は、広隆寺境内に移築して保存されている。

註

- 1 『妙法蓮華經常不輕菩薩品』第二十の七
- 2 分銅は若干欠損しており、現状では62gが計量できる。

5 史跡妙心寺境内・平安京右京北辺四坊1(図版54)

経過 史跡妙心寺境内に妙心寺微妙殿が建設されるため、発掘調査を実施した。調査地は、右京区花園妙心寺町64番地に所在し、平安京右京北辺四坊六町・土御門大路に比定される。また妙心寺関係では、大方丈の北に調査地が位置することから、妙心寺に関係した遺構の存在が考えられる地点であった。調査開始時には、対象地中央に祖霊堂、管長室などの既存建物があった。このため、これらの建物をさけて1～4区の調査区を設定した。調査は昭和54年(1979)8月27日から9月12日にかけて実施した。



図117 調査位置図(1:5,000)

遺構・遺物 調査区に堆積する土層の基本層序は、0.3～0.4mの厚さで盛土があり、その直下が地山となる。地山面で検出した。遺構には、平安時代前期の溝、後期の土壇、柱穴、室町時代の土壇、柱穴、江戸時代後期以降の溝、土壇、柱穴などがある。室町時代以前の遺構は2・3区のみ認められる。1・4区で検出した遺構は、江戸時代後半以降の粘土採取跡とみられる土壇のみであった。平安時代前期の溝6は、土御門大路北築地が推定される付近で検出した東西溝である。最大幅0.84m、深さ0.1m。後世の攪乱や削平により遺存状況は良好でなかった。9世紀後半代の土師器杯・椀、緑釉陶器椀などが出土した。平安時代後期の土壇は、不定形な土壇のみで深さも0.1m前後と浅い。これらの遺構からは、11世紀前半の土師器皿、東播系の須恵器鉢、青磁・白磁椀などが出土した。室町時代の遺構は総数4基で、土師器皿などが出土した。遺物は整理箱に8箱が出土したが、特記すべきものはない。

小結 9世紀後半の溝6は、その位置からみて土御門大路北側溝である可能性が高い。付近では、昭和58年(1983)度実施した公共下水道工事に伴う立会調査で、10世紀代の土御門大路北側溝を検出しており、10世紀代は機能したと推定できる。本調査で、路面推定地に該当する地点から11世紀前半の土壇、柱穴を検出している。この頃には路面部分の宅地利用が開始されたと考えられよう。

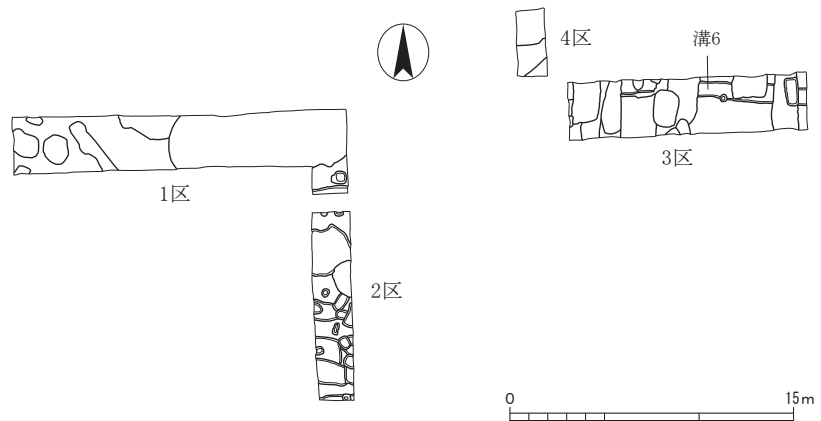


図118 遺構平面図(1:400)

6 広隆寺旧境内・常盤仲之町遺跡

経過 調査は近畿電気通信局によるケーブル敷設に伴う立会調査である。対象範囲は双ヶ岡の南西部、丸太町通とそれに交差する宇多野吉祥院線および府道花園停車場広隆寺線の一部である。この地区の北部は仁和寺院家跡、南部は広隆寺旧境内に比定され、これまでに宇多野吉祥院線にそって常盤東ノ町古墳群、あるいはその南方で常盤仲之町遺跡の発掘調査を実施している。今回は埋設物確認の試掘とケーブル敷設工事に伴う立会調査を行った。これらの道路は丸太町通を除いて幅員が狭く交通量も多いため、工事は大半の区間で夜間に断続的に実施された。調査は昭和53年(1978)2月1日から10月4日の期間に実施した。

遺構・遺物 調査の結果、限られた道路幅員に水道、ガス管などの既設埋設物があり、工事掘削壁面の両側の大半がすでに破壊されているため、本来の土層の観察や明確な遺構の検出はできなかった。ただ、宇多野吉祥院線では丸太町通との交差点北方約10mの地点Aで溝跡、JR

山陰線踏切の南方約15m付近の地点Bで流路とみられる砂礫層の堆積を確認している。地点Aの溝は幅約1.7m、深さ0.6m、断面形が緩いU字形を呈し、砂礫をわずかに含む均質な暗褐色砂泥層が堆積していた。遺物は古墳時代の土師器甕と考えられる小破片が出土した。地点Bの流路は赤褐色砂礫とその上層に薄く堆積した細かい砂層で、最深部の深さは盛土下約1.6mを測る。溝底部から0.4mほどを検出したが、それ以上は現代の掘り込みによって破壊され、両肩部と幅は未確認である。遺物は出土していない。

小結 この調査では、常盤東ノ町古墳群や常盤仲之町遺跡の調査成果を十分に拡大する結果が得られなかった。この要因は、既往の発掘調査や本書に掲載されている周辺の調査の成果からみて、上述したような調査区間の道路の攪乱状況に負うものといえる。

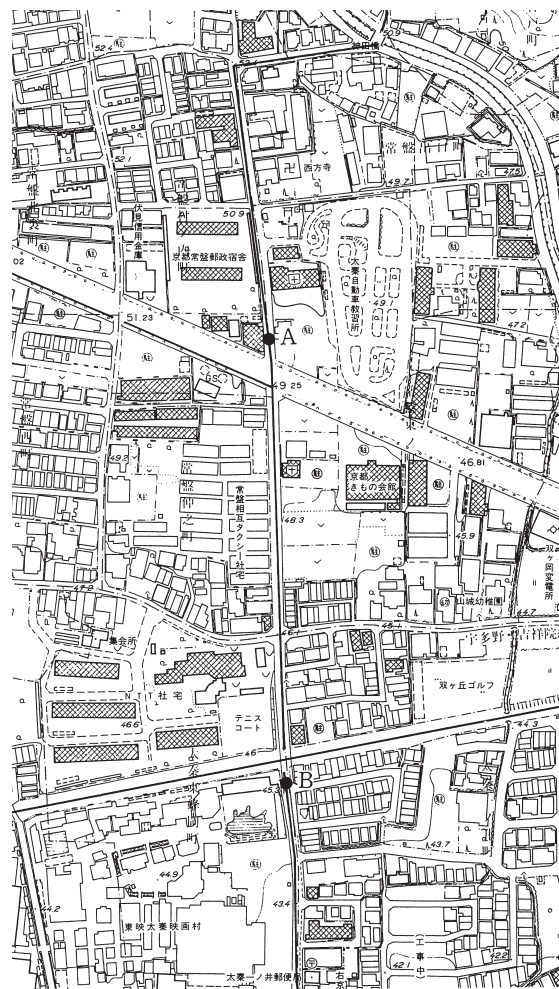


図119 調査位置図(1:5,000)

7 広隆寺旧境内2(図版54)

経過 右京区太秦蜂ヶ岡町32番地に所在する広隆寺寺域北部で、広隆寺新霊宝館建設が計画された。調査地は広隆寺旧境内、常盤仲之町遺跡の範囲に入っているため、発掘調査を実施した。

調査では、飛鳥時代の集落遺構や寺域北部の遺構の確認を主な目的とした。調査は昭和55年(1980)2月1日から3月31日にかけて実施した。

遺構 堆積土の基本層序は、上から江戸時代以降の厚さ0.2mの灰褐色土層(1層)、鎌倉時代から室町時代の厚さ0.2mの暗褐色土層(2層)、無遺物層の厚さ0.3mの黄褐色泥土層(3層)、同じく無遺物層である褐色礫土層(4層)の順に堆積する。2層の暗褐色土上面で江戸時代以降、3層の黄褐色泥土上面で飛鳥時代から室町時代にかけての遺構を検出した。遺構面は現地地形と同じく北西から南東へ緩く傾斜し、調査区中央部での標高は41.5mである。

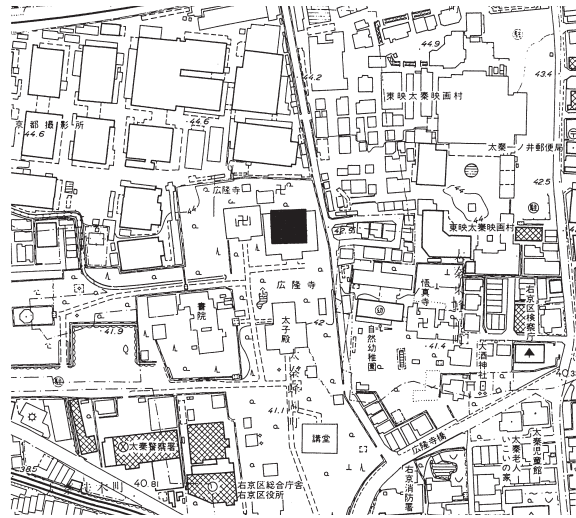


図120 調査位置図(1:5,000)

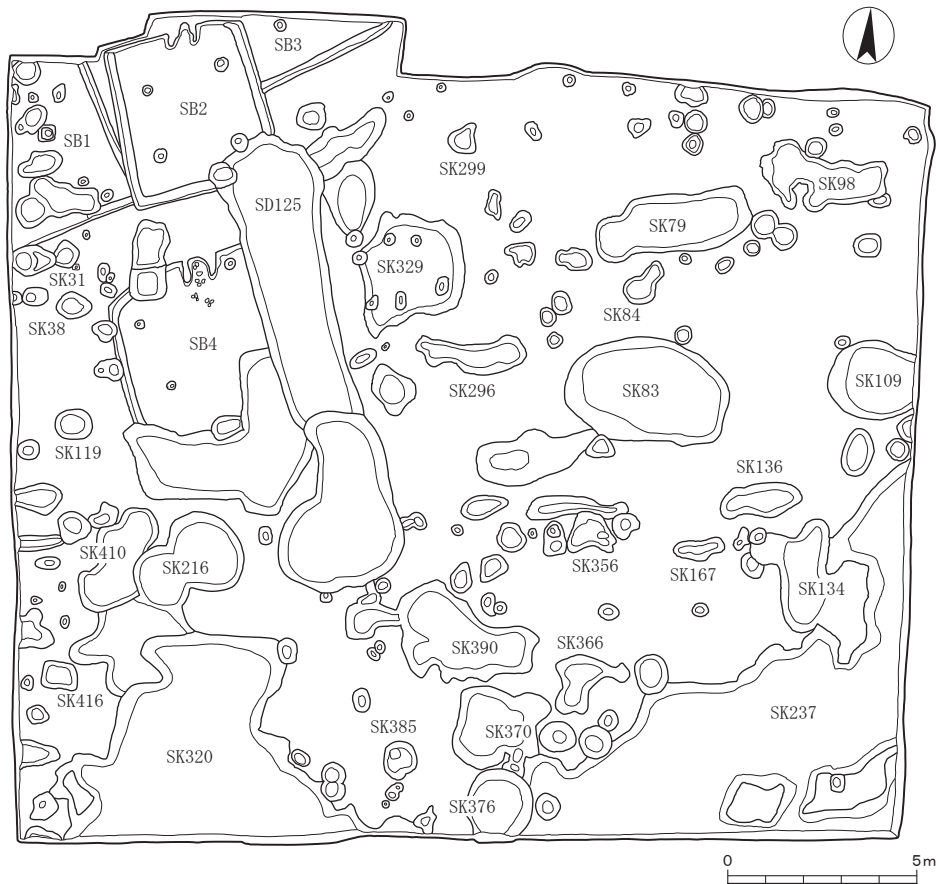


図121 遺構平面図(1:200)

検出した遺構は飛鳥時代、鎌倉時代から室町時代、江戸時代に分けられる。

飛鳥時代の遺構は、調査地北西部で竪穴住居を、調査区全域で土壙を検出した。

竪穴住居は、SB1～4がある。いずれも削平を受け、遺存状況は悪い。一辺4m前後で、平面形は隅丸方形を呈する。SB4は北側に竈を構築し、SB2は北側に竈と南辺中央に貯蔵穴を持つ。周囲には壁溝が廻り支柱は4本である。貼り床はみられない。竪穴住居の主軸は北西から南東への傾きを持つ。SB1・3とSB2・4は傾きが異なり、切り合いがあることから時期が異なる。SB1・3からSB2・4に建て替えたと推定できる。また調査区全域で小規模な土壙を検出しているが、性格は不明である。

鎌倉時代から室町時代の遺構は、柱穴、土壙を検出している。柱穴は全域で検出したが、建物としてはまとまらない。平面形は円形のものが多く、底部に石を据えるものもみられる。土壙も全域で検出したが、不定形のものが多い。埋土中に土師器を多量に含むSK22・122・171・177・200・376などがある。

江戸時代以降の遺構は、調査区全域で検出した柱穴、土壙がある。柱穴は建物としてはまとまらない。土壙の平面形は不定形のものが多い。

遺物 遺物は、整理箱に52箱が出土した。その大半が土器類で、他に瓦類、円筒埴輪片、鉄製品などが出土している。時期は古墳時代から江戸時代のものがある。鎌倉時代から室町時代の土器の出土が多い。

古墳時代から飛鳥時代の遺物は、主として遺物包含層、土壙から出土した。竪穴住居からの出土は少ない。土師器杯・高杯・甕、須恵器杯・甕、円筒埴輪片、平瓦などがある。平安時代の遺物は土壙などから出土した。土師器碗・皿、須恵器杯・壺、軒平瓦・丸瓦・平瓦などがある。鎌倉時代から室町時代の遺物は土壙、遺物包含層などから出土した。土師器皿、瓦器碗、陶器碗・播鉢・甕、磁器碗・皿、丸・平瓦などがある。江戸時代以降の遺物は、土壙・遺物包含層などから出土した。土師器皿、軒平瓦、平瓦などがある。

小結 今回の調査は、現広隆寺境内での初めての調査で、古墳時代以降の多くの遺構を検出した。従来の周辺の調査と合わせて、当地域の変遷を明らかにすることができた。

調査では、竪穴住居4戸を検出した。時期は7世紀初頭で、常盤仲之町遺跡検出の竪穴住居とほぼ同時期である。また竪穴住居の埋土には瓦が含まれていたが、調査区が広隆寺の中心地区に近接しているため、7世紀第2四半期に、広隆寺の建物が建設された時点で遺棄された瓦と推定される。

広隆寺の寺域比定については諸説があり確定していない。現講堂を中心として方2町の寺域を推定すれば、本調査地はその北辺部分にあたり、僧坊や雑舎などの存在が想定される。しかし調査区では、寺院に直接関係する遺構は認められなかった。このため、当地域は空閑地と考えられ、寺域の広がる範囲は今後の検討を要する。

を確認した。遺物包含層については、土壌を検出した南北道路の地点4～6で、現地表直下に平安時代の土師器、須恵器を含む茶褐色砂泥層の堆積を確認している。また西半部にあたる地点1・2では、古墳時代から平安時代の遺物を含む暗灰色泥土層の堆積を確認した。堆積土層の基本層序は、上から現代盛土が0.7m、暗灰色泥土層が0.9m、青灰色泥土層が0.4mで、暗灰色泥土層から古墳時代の土師器甕、須恵器甕が出土した。

山ノ内3 調査地は山ノ内1と南接し、北は御池通、南は西高瀬川、東は西小路、西は天神川に囲まれた地区である。平安時代の遺構は、土壌10を検出したにとどまる。平安時代から室町時代の遺物包含層は、地点7～9、11～13、14～16で確認した。堆積土層を地点9でみると、現地表下0.5mまでが盛土、1.1mまでが旧耕作土、1.5mまでが茶灰色砂泥層、その下層は黄褐色砂泥の地山である。茶褐色泥砂層は、先述した平安時代から室町時代の遺物を含む包含層で、出土遺物は土師器、陶器、瓦がある。

山ノ内4 当地区は山ノ内3と南接し、北と西は天神川、南は御池通、東は西小路通に囲まれている。平安時代の遺構は、恵止利小路西側溝である南北方向の溝26と土壌20を検出した。恵止利小路西側溝を検出した同一の東西道路で、地点24から地点25までの30mにわたり、平安時代前期の遺物包含層を確認した。その南にあたる地点27・28では、現地表下0.2m以下に堆積する黒褐色砂泥層から古墳時代の遺物が出土している。また地点22・23の南北道路でも、平安時代前期の遺物包含層を確認している。西半部にあたる地点19～21の東西道路では、断続しながらも平安時代の遺物包含層の堆積を確認した。さらに北の地点17・18でも同一の包含層が認められた。

出土遺物は、古墳時代から江戸時代のものであり、すべて土器類である。古墳時代の土器類は、地点27・28の黒褐色砂泥層から土師器、須恵器が出土している。平安時代の土器類は、恵止利小路西側溝と遺物包含層から土師器、須恵器、黒色土器が出土している。

小結 条坊に係る遺構は、恵止利小路西側溝を確認した。各調査区では、平安時代の遺物包含層を確認している。また山ノ内1と4で確認した古墳時代の遺物包含層は、当地区内に古墳時代の遺構の存在を示すものとして興味深い。

9 平安京右京二条三・四坊

経過 西部排水区花園系統公共下水道工事に伴う広域立会調査を実施した。調査地は、5 調査区（工区）に分かれている。南西から安井 1・2・3、朱雀 11・14 の調査区である。調査範囲は太秦安井藤ノ木町を始め 22 町にわたっている。北は新丸太町通、南は天神川まで、東は西小路通、西は御室川である。当該地は平安京右京二条三・四坊に比定されている。調査は、条坊に関連する遺構や平安時代の遺構の広がりを確認することを主眼に行った。

遺構 調査区に分け概述する。

安井 1 調査地は、北が太子道、南は天神川、東は木辻通、西は御室川までの地区である。検出した遺構は、平安時代から室町時代のものがある。平安時代の遺構は、調査区東半部で土壌 16・17、東西方向の溝 18 を検出した。遺物包含層は北半部に認められ、西側の一部を除く南半部では、木の葉などの自然遺物を多く含む湿地状の堆積であった。また地点 13・14 の両地点では鎌倉時代の東西方向の溝を検出している。室町時代の遺構は西半部に集中する。地点 4～9 間で室町時代の土壌を 17 基、地点 7～15 間では土壌 6 基、さらに地点 11・12 で土壌を検出した。遺物包含層は、各遺構と重複して、西半部で確認している。

安井 2 調査地は、北は宇多川まで、南が太子道で、東は朱雀 11、西は安井 3 と接している。検出した遺構には、平安時代の土壌、溝、路面、遺物包含層がある。土壌 19・20・22・26 と、菖蒲小路西側溝である南北方向の溝 25、春日小路南側溝である東西方向の溝 21 を検出した。地点 23・24 では、春日小路の路面を確認している。平安時代の遺物包含層は、調査区の北半部と南東部で確認した。

安井 3 調査地は、北が JR 山陰線、南は太子道、東は安井 2、西は御室川と接している。検出した遺構は、平安時代から江戸時代のものがある。平安時代の遺構には、土壌、溝、遺物包含層がある。平安時代の土壌は、27・30・31・36・37・39 の 6 基を検出した。また溝は大炊御門大路南側溝である東西方向の溝 40、春日小路南側溝と考えられる東西方向の溝 38、さらに溝 38 から北へ 90m の地点 35 で東西方向の溝を検出した。平安時代の遺物包含層は、宇多川の北東部に広がり、宇多川以西の地点 28・29・32・33 までは、池か沼地を示す黒褐色泥土の厚い堆積を認めた。

朱雀 11 調査地は、北が JR 山陰線、南は安井 1、朱雀 14 と接し、南東部は天神川まで、東は馬代通まで、西は安井 2 と接する地区である。検出した遺構には、平安時代の土壌 9 基、溝 6 条、井戸 2 基、路面 5 箇所がある。遺構は北半部に集中し、南半部は黒褐色泥土の堆積が厚いため、遺構の検出は少ない。大炊御門大路にあたる地点 56～57 では、路面を 100m にわたって検出し、春日小路にあたる地点 51～52 でも路面を確認した。側溝は、春日小路北側溝 50・55、南側溝 53、中御門大路南側溝 48・49、木辻大路西側溝 54 を検出した。

朱雀 14 調査地は、北が太子道、南は天神川、東は馬代通、西は木辻通までである。検出した遺構は、平安時代の土壌 4 基、井戸 3 基、遺物包含層がある。土壌 43～46、井戸 42・47 は



図 123 調査位置図 (1:5,000)

方形の木枠組み、井戸 41 は円形素掘りで、遺物包含層は全域で認めた。

遺物 弥生時代から室町時代の遺物が出土した。出土遺物には弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器、灰釉陶器、瓦器、輸入陶磁器（青磁・白磁）、陶器、瓦がある。

安井 1 では、弥生時代中期の土器が地点 5・6 から出土した。平安時代中期の遺物は地点 17、平安時代後期から鎌倉時代の遺物は地点 1～3 から出土した。室町時代の遺物は地点 4・8・10 から出土している。安井 2 では、平安時代中期の遺物が地点 20・26 で、後期の遺物が地点 21 の春日小路南側溝から出土した。調査区北半部の遺物包含層からは、軒瓦を含む多量の瓦類が出土した。安井 3 では、平安時代中期の遺物が地点 36～38 から、後期の遺物が地点 27・30・39 から出土した。朱雀 14 では、平安時代前期の遺物が地点 44・46 から出土した。中期の遺物は地点 41・42 から出土している。朱雀 11 では、平安時代前期の遺物が、地点 48・49 の中御門大路北側溝、地点 53・55 の春日小路北側溝および南側溝、地点 54 の木辻大路西側溝から出土している。また平安時代中期から後期の遺物は、調査区東半部の遺物包含層から出土している。

小結 調査地は右京二条三・四坊に該当し、条坊に関する遺構を多数検出した。春日小路は路面、両側溝ともに遺存状況は良好であった。また宅地内の遺構も検出している。二条三坊十三町・十四町、二条三坊十五・十六町、二条四坊一・二町にあたる。朱雀 11・14 では平安時代前期から中期の土壌・井戸を検出した。安井 3 の北西部の、平安時代後期から鎌倉時代の池状堆積は、当調査区の北に位置する法金剛院に関わる遺構と考えられる。

安井 1 の西半部で検出した室町時代の遺構群については、宝徳 2 年 (1450) に南浦紹明が開山した旧安井村の西、御室川畔に位置していたとされる竜翔寺^註に関わる遺構と考えられる。

註

『臥雲日件録』

10 平安京右京一条三・四坊・五位山古墳（図版 55）

経過 広域公共下水道工事花園3号幹線に伴う発掘・立会調査を実施した。調査地は馬代通の妙心寺道から洛星高校に至る間で、妙心寺道から仁和寺街道間での山城高校に面した4箇所の人孔部分で発掘調査を実施している。当該地は平安京右京一条三坊八・九町にあたる。この町の調査では、ほぼ全域にあたる現在の府立山城高校内において、昭和54年度（1979）に発掘調査が行われ、奈良時代から平安時代前期に比定される建物群が検出されている。このうち、平安時代前期に比定される建物群は、7間2面

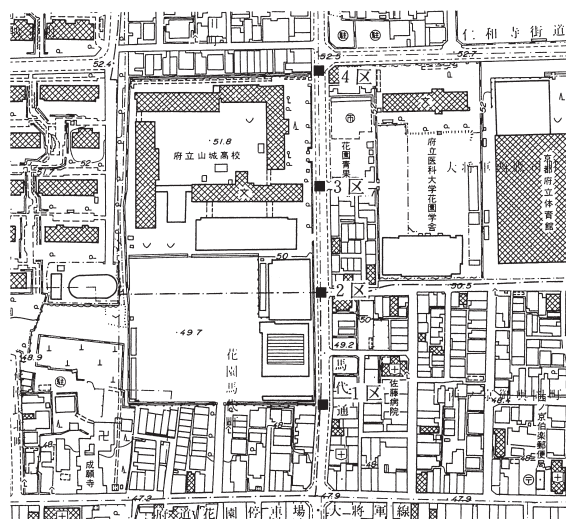


図124 調査位置図（1:5,000）

庇の正殿とその正殿を取り囲むように後殿と4棟の脇殿などが検出されている。調査は南側の人孔から1～4区として調査を実施した。調査区は5×8mとしたが、仁和寺街道との交差点にあたる4区は路線バスの右折のため幅を狭めて調査区を設定した。昭和55年（1980）1月25日から3月3日にかけて調査を実施した。

遺構・遺物 1区は右京一条三坊七町にあたる。現道路直下に旧耕作土層があり、すぐに遺構ベースである砂礫層になる。検出した遺構は、東側は水道管理設掘方のため肩を検出していないが、溝状の遺構を検出した。10世紀代の遺構と考えられる。また電柱の掘方から平安時代中期の軒丸瓦1点が出土している。

2区は推定鷹司小路路面にあたる。調査区の堆積土層は、旧耕作土下に茶褐色泥砂層が約0.5mの厚さで堆積し、以下遺構検出面の黒色泥土層、茶褐色粘土層となる。南北方向の溝1条を検出したが、出土遺物は少ない。1区で検出した溝の延長と考えられる。3区は一条三坊八町にあたる。堆積土層は2区と同じである。方位が振れた南北方向の溝2条、柱穴、土壇などを検出し、平安時代中期の遺物が出土した。4区は一条三坊八町にあたる。土壇、柱穴を検出している。

出土遺物は整理箱に9箱が出土した。茶褐色泥砂層、溝などから出土したもので、平安時代中期（10世紀）を中心とする。平安時代中期に属する軒平瓦、軒丸瓦なども出土するが少量である。

小結 今回の調査は、馬代小路、鷹司小路などの条坊遺構の検出を目的に行ったが、遺構を確認することはできなかった。しかし、遺構の遺存状況は比較的良好であることが判明した。

11 常盤仲之町遺跡・常盤東ノ町古墳群（図版55）

経過 調査地は、右京区常盤仲之町に所在する京都府所有の200㎡の敷地で、公務員宿舎の建設が計画された。当該地は、常盤仲之町遺跡、常盤東ノ町古墳群に比定されている。調査は、東西7m、南北5m、約35㎡の調査区を設定して、昭和55年（1980）2月27日から3月15日にかけて実施した。

遺構 検出した遺構は、古墳時代後期、平安時代後期、室町時代のものがある。

古墳時代後期の遺構は、周溝SD5がある。古墳周溝の北東部分と考えられ、幅1.5m、深さ0.7mを測る。

平安時代後期の遺構は、土壇SK2～4を検出している。SK2は東西幅1.0m、南北1.5m以上、深さ0.3mを測る。SK3は東西0.8m、南北1.8m、深さ0.5mを測る。SK4は東西0.9m、南北1.7mを測る。いずれも黒褐色の単一土層の埋土を持つ土壇墓と考えられる。室町時代の遺構は、柵列の一部と考えられるピットを2箇所検出した。

遺物 古墳時代後期の遺物は土師器杯・壺・甕、須恵器杯がある。SD5の埋土から出土した他、平安時代の遺構埋土からも出土している。

平安時代後期の遺物は、12世紀前半と後半に属する土師器皿がある。前半に属する土師器はSK4から、後半の土師器はSK3から出土している。室町時代の遺物は、土師器皿、瓦器皿・椀・鍋、陶器甕がある。

小結 調査で検出した周溝の古墳本体は、西南の調査区外にある。これは、常盤東ノ町古墳群を構成する一つの古墳で、標高46mライン上にあり、群中で最も南に位置している。平安時代後期の土壇は、この地区一帯に墓域を形成する土壇墓群の一部を検出したものと考えられる。

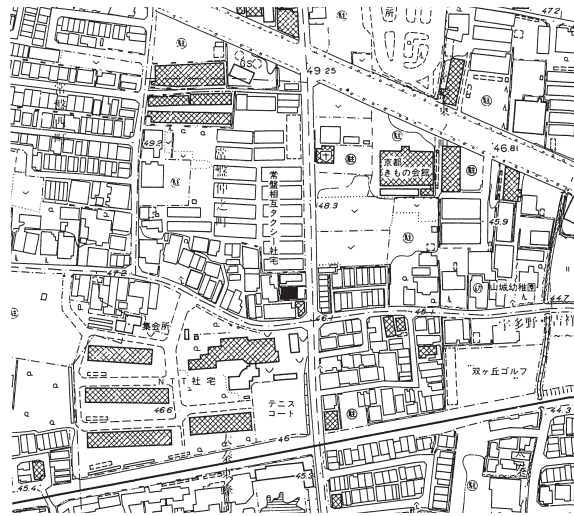


図125 調査位置図(1:5,000)

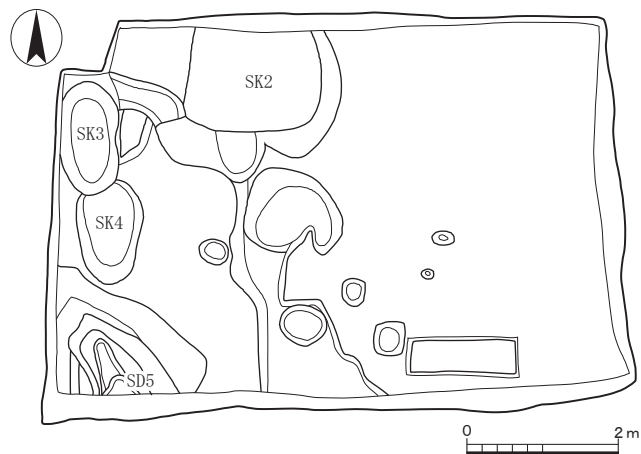


図126 遺構平面図(1:100)

12 史跡妙心寺境内・平安京右京北辺四坊2(図版56)

経過 右京区花園妙心寺町にある史跡妙心寺境内で、建物の建築が計画された。当該地は、平安京右京北辺四坊・土御門大路に比定されている。調査は、1区(東西6m×南北23m)、2区(東西23m×南北6m)、3区(東西6m×南北10m)の調査区を設定して実施した。調査期間は、昭和55年(1980)3月15日から4月24日までであった。

遺構 調査で検出した遺構は、平安時代後期、室町時代、江戸時代に属するものがある。平安時代後期の遺構は、1区南端西側で検出した土壙SK13Bがある。南北2.5m、東西2m以上、深さ0.3m

を測る。堆積土層は整ったレンズ状を呈し、埋土中に土器を多量に含む。室町時代の土壙SK5は3区で検出した。東西4m、南北3.5m、深さ2.5mを測る。遺物を多量に含む土層と、含まない層の交互の堆積がみられる。井戸である可能性が高い。江戸時代の溝SD9は、1区南側で検出した東西方向の溝で、調査区西端で南方向に曲がる。幅2m、深さ1.5mを測る。江戸時代の瓦を多量に包含する。

遺物 出土した遺物は、飛鳥時代、平安時代後期、室町時代、江戸時代のものがある。飛鳥時代の遺物は室町時代のSK5に混入して出土したもので、7世紀前半の須恵器杯身・甕がある。平安時代後期の土器類は、土師器皿、瓦器椀、輸入陶磁器(白磁椀)、陶器(山茶碗)などがSK13Bから出土した。室町時代の遺物は、土師器皿、瓦器皿・椀・鍋・釜、輸入陶磁器(白磁・青磁椀)、陶器甕が、SK5から出土している。江戸時代の遺物は、瓦類が中心で軒瓦・鬼瓦などがSD9から出土した。

小結 調査で飛鳥時代の土器が検出されている。調査地東方の花園遺跡との関係を指摘できる。また、この地区に比定される左大臣源有仁の「池館」の廃絶期と、平安時代後期の遺構の埋没時期は合致している。室町時代の遺構・遺物については、花園天皇の離宮や妙心寺に関係したものといえる。

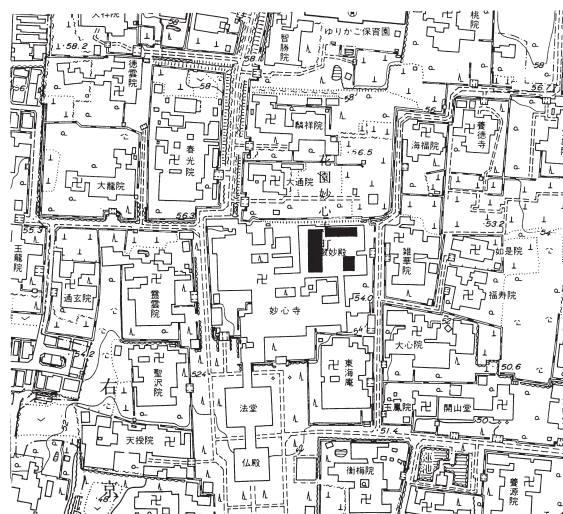


図127 調査位置図(1:5,000)

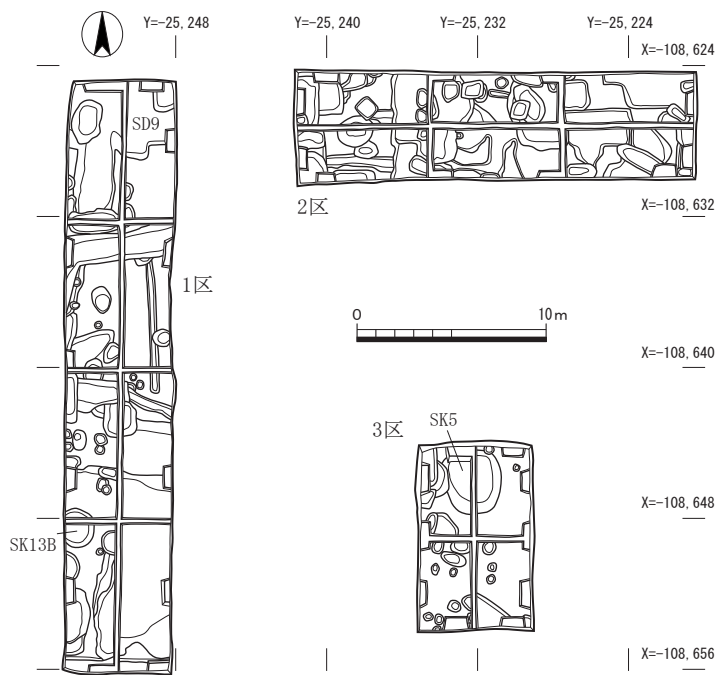


図128 遺構平面図(1:400)

13 上ノ段町遺跡 (図版 56)

経過 右京区嵯峨野開町 1-1 番地にある市立蜂ヶ岡中学校は、東に広隆寺、北に仲野親王陵古墳などがあり、遺跡に囲まれたところである。周辺の調査事例は少なく、広隆寺より西での集落遺跡は未発見であった。

校舎増築工事に伴う試掘調査を実施したところ、竪穴住居などを検出した。このため発掘調査に切り替え、調査を継続することとなった。調査は昭和 55 年 (1980) 7 月 21 日から 8 月 28 日にかけて実施した。

遺構・遺物 今回検出した遺構には、縄文時代早期・前期の流路、遺物包含層、飛鳥時代の竪穴住居、建物、柱穴などがある。

褐色砂礫層 (地表下 2.1m) から縄文時代早期と考えられる爪形文の甕片 1 点を採取した。この土層は調査区北半に堆積しており、南壁側ではみられない。このことから東西方向の流路に堆積した土層と思われる。また、竪穴住居のベースになっている暗黄褐色砂泥層 (地表下 0.7 ~ 1.0m) から、前期と思われる 10 数点の土器や石匙が出土した。

飛鳥時代の建物 SB1 は、東西 2 間×南北 3 間で竪穴住居 SB4 を切っている。竪穴住居は 7 戸を検出した。いずれも深さ 0.25 ~ 0.4m あり、東辺南寄りに竈を持っている。竪穴住居 SB6 の埋土上層から瓦が、床面で須恵器甑 (図 45-50) が出土した。SB4 の床面からは須恵器杯 (図 45-36) や滑石製紡錘車が出土した。出土遺物は整理箱に 5 箱が出土した。

小結 調査で竪穴住居や建物を検出したことは、同時期に創建された広隆寺や、嵯峨野に点在する古墳と関係する集落の一端を発見したといえる。また、下層で縄文時代の土器片や石器が出土したことは、調査地と周辺に縄文時代早期・前期の遺跡が存在することを意味し、嵯峨野の平地では初めての発見であり、遺跡の中心地を確定することが今後の課題になる。

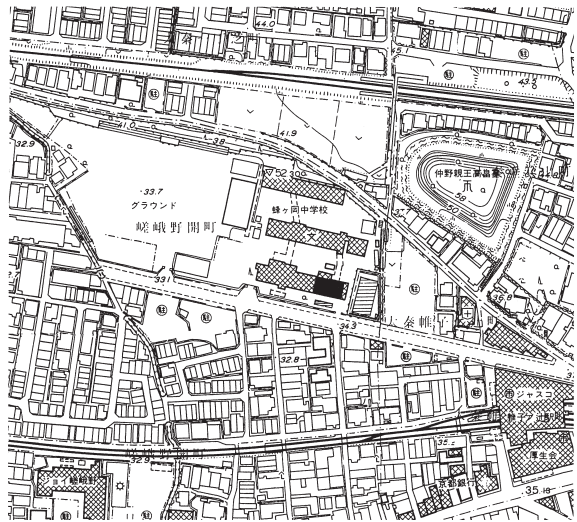


図 129 調査位置図 (1:5,000)

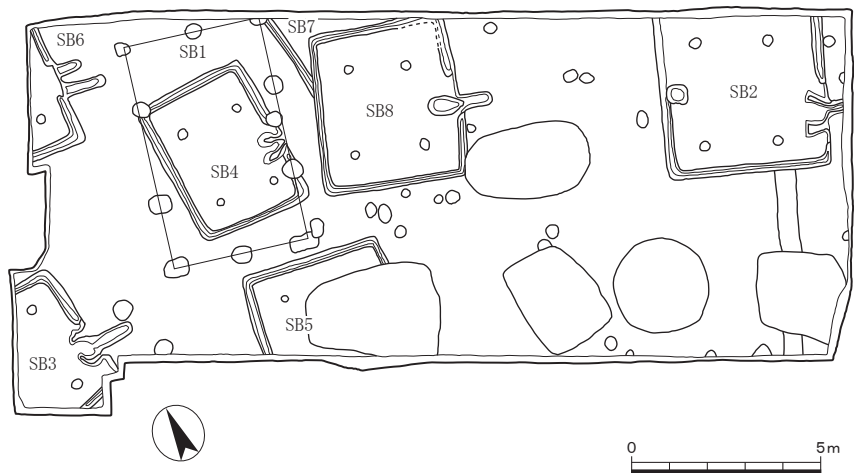


図 130 遺構実測図 (1:200)

凡 例

- 1 付表 1 は地区別遺構分布表である。表 1 ～ 25 は第Ⅲ章の本文、図と対応する。
- 2 付表 2 は調査一覧表である。嵯峨野での調査をすべて網羅し、図版 1 ～ 21 の調査位置図の番号に対応する。
- 3 京都市埋蔵文化財調査センターが実施した試掘調査についても、付表 2 の調査一覧で扱った。
- 4 付表 2 の調査番号は京都市都市計画基本図ごととし、原則として北西から南東にかけて番号を付した。
- 5 付表 3 は文献一覧表である。嵯峨野について言及した文献を収集、年代順に示し、原則として平成 6 年度 (1994) までのものを掲載した。
- 6 付表 4 は嵯峨野略年表である。時代表記では、飛鳥時代、白鳳時代を飛鳥時代とし、南北朝時代、室町時代、戦国時代をそれぞれ室町時代前期、同中期、同後期とした。

付表1 地区別遺構分布表

表1 鳴滝地区(図10)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	流路	2.00以上	1.00	56.59			10-74	南北方向、肩部
2	溝	2.00	1.50	57.54			10-74	3・7と同一、南北方向
3	溝	4.20	0.80	57.61	土師器	平安後期	10-74	2・7と同一、南北方向
4	井戸	2.00	1.50	58.14	土師器、瓦	室町中期	10-74	
5	土壇	5.00	0.70	56.77			10-74	
6	井戸	2.30	1.50	58.04	土師器、須恵器	平安中期	10-74	石組み
7	溝	2.00	0.70	57.67	土師器	平安後期	10-74	2・3と同一、南北方向
8	井戸	2.70	2.10以上	57.42			10-74	石組み、内径0.9m
9	土壇	1.50以上	0.30	57.30			10-74	
10	土壇	0.90	0.40	56.68			10-74	
11	瓦窯	2.00	0.90	55.69	瓦、凝灰岩、窯体	平安後期	10-74	焼土多く含む
12	溝	1.00	1.20	55.56	瓦	平安後期	10-74	南北方向
13	版築	1.00以上	0.60	54.70	土師器、瓦	平安後期	10-74	築地に伴う
14	土壇	1.00以上	2.80以上	53.77			10-74	
15	井戸	2.00	1.40	56.01			10-74	石組み
16	溝	1.00	0.50	54.66	土師器		10-74	東西方向
17	溝	3.60	0.70	65.45		平安時代	10-49	土層から時期推定
18	溝	1.80	1.00	65.08		平安時代	10-49	土層から時期推定
19	土壇	0.90	0.30	64.73		平安時代	10-49	土層から時期推定
20	溝	2.00	1.00	62.86		平安時代	10-49	土層から時期推定
21	土壇	0.80	1.00	61.99		平安時代	10-49	土層から時期推定
22	土壇	0.80	0.40	61.98	土師器	平安前期	10-49	
23	土壇	0.80	0.10	59.56			10-49	
24	土壇	0.60	0.40	58.79		平安時代	10-49	土層から時期推定
25	土壇	0.80	0.40	49.80			10-49	
26	溝	5.50	1.10	55.89		平安時代	10-49	土層から時期推定
27	土壇	1.80以上	0.70	55.83		平安時代	10-49	土層から時期推定
28	土壇		0.50	55.71		平安時代	10-49	土層から時期推定
29	土壇		0.50	55.41		平安時代	10-49	土層から時期推定
30	土壇	1.10	0.40	55.42	土師器	平安前期	10-49	
31	土壇	0.70	1.40	55.40	土師器	平安前期	10-49	
32	土壇	0.90	1.00	55.48		平安時代	10-49	土層から時期推定
33	溝	1.10	1.50	55.31		平安時代	10-49	土層から時期推定
34	柱穴	0.10	0.20	54.58		平安時代	10-49	土層から時期推定
35	柱穴	0.20	0.10	54.63		平安前期	10-49	土層から時期推定
36	土壇	1.80	1.10	54.94			10-49	
37	溝	3.00	1.10	53.39	土師器	平安前期	10-49	
38	土壇	1.00	0.45	53.48		平安前期	10-49	土層から時期推定
39	溝	1.40	1.50以上	61.80	土師器	平安時代	10-50	径0.8~0.9mの石、2石検出
40	土壇	10.00	1.30	61.79	土師器	平安時代	10-50	
41	溝	2.70	1.00	64.84	土師器	平安時代	10-50	南北方向
42	土壇	1.00	1.60	62.48			10-50	
43	路面	1.00以上		58.70			10-50	
44	包含層			61.80	土師器、瓦	平安後期	10-50	

表2 宇多野地区(図11)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	池		1.00以上	65.39	土師器	平安後期	10-58	
2	溝	4.60	1.05	71.35			10-58	東西方向
3	溝	2.10	0.80	70.76	瓦	江戸時代	10-58	
4	溝		0.30	63.97	土師器	平安後期	10-58	南北方向
5	土壇	3.50	1.20	67.89	瓦	江戸時代	10-58	瓦多量に出土
6	溝	1.00	0.50	63.85	土師器	平安後期	10-58	南北方向

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
7	石列			63.53	土師器	平安中期	10-58	南北方向、西壁に径0.4mの石が並列、14と類似
8	溝	1.80以上	0.70	62.56	土師器、瓦、軒瓦	平安中期	10-58	東西方向
9	土壇	2.30	1.60	69.40			10-58	
10	溝	1.50	1.10	68.30			10-58	
11	土壇	1.90	0.50	68.11	土師器	室町中期	10-58	
12	土壇	0.80	0.60	67.90	瓦	江戸時代	10-58	
13	溝	3.40	1.80	66.93	土師器、瓦、炭	平安後期	10-58	南北方向、土師器多量に出土
14	石列		1.30	61.11	土師器、瓦	平安中期	10-58	南北石列、西壁に径0.9mの石が並列、7と類似
15	溝	1.80	0.80	60.57			10-58	東西方向
16	土壇	1.40	1.00	60.60			10-58	
17	池		1.00以上	64.62		平安後期	10-58	池の肩部、土層から時期確定
18	池		1.00以上	61.52		平安後期	10-58	池の肩部、土層から時期確定
19	溝	2.00	0.80	59.10			10-58	南北方向
20	井戸	1.50	1.00	64.00	木製品		10-58	
21	土壇	2.90	0.80	67.88		江戸時代	10-58	土層から時期推定
22	土壇	1.50	0.50	66.41	瓦	江戸時代	10-58	
23	溝	1.50	0.45	56.11	土師器、瓦	平安時代	10-58	東西方向
24	溝	2.90	0.40	74.46		江戸時代	10-51	土層から時期推定
25	井戸	2.40	1.30	74.33	土師器、須恵器、瓦	平安後期	10-51	円形素掘り
26	井戸	1.20	0.50	69.05		江戸時代	10-51	土層から時期推定
27	井戸	1.40	1.35	64.65	土師器、瓦器	平安後期	10-51	円形素掘り
28	井戸	1.20	1.30	69.85	土師器	室町後期	10-51	円形素掘り
29	石列			66.63			10-51	
30	柱穴	0.40	0.40	90.20	土師器、陶器	室町中期 ～後期	4-10	
31	柱穴	0.35	0.40	87.48		室町中期	4-10	土層から時期推定
32	土壇	1.10	0.50	82.96			4-10	
33	土壇		1.20	79.95		平安時代	4-10	土層から時期推定
34	溝	0.50	0.70	75.46		平安時代	4-10	南北方向、土層から時期確定

表3 常盤1地区(図12)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	溝	4.50	1.50	49.47	土師器、須恵器、黒色土器、軒瓦	平安中期	10-123	2・3と同一、東北から西南方向
2	溝	2.30	1.50	50.67	土師器	平安中期	10-123	1・3と同一、東北から西南方向
3	溝	4.60	1.10	48.57	土師器、瓦	平安中期	10-123	1・2と同一、東北から西南方向
4	井戸	径1.7	1.60	47.04	白磁	平安時代	10-123	円形素掘り
5	焼土壇		1.00以上	60.41	土師器	平安後期	10-76	多量の土師器皿、炭・焼石等を含む
6	焼土壇		1.00以上	59.19	土師器	室町後期	10-76	多量の土師器皿、炭・焼石等を含む
7	井戸	1.30	1.60以上	62.09			10-76	
8	井戸	2.30	1.90以上	61.09	土師器、陶磁器、瓦	平安中期	10-76	石組み
9	溝	3.70	0.50	53.64	土師器、軒瓦	平安後期	10-76	東西方向
10	包含層		0.50	53.60	土師器、軒瓦、鋳型片	平安後期	10-76	
11	溝	5.00	0.60	53.19	土師器、瓦	平安後期	10-76	南北方向
12	土壇	4.50	0.60	50.74			10-76	
13	土壇	0.20	0.30	52.09			10-76	
14	土壇	4.00	0.50	52.27	土師器、染付	江戸時代	10-76	
15	土壇	1.50以上	0.30	51.43	土師器、須恵器、瓦	平安中期	10-76	
16	流路	15.00	2.00	51.13	土師器	平安中期	10-76	南北方向
17	井戸	0.60	1.00	50.64			10-76	石組み

表4 御室地区(図13)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	溝	2.50	0.45	83.86	土師器、瓦、炭	平安後期	4-12	東西方向、底部に石を敷く、北院の北限溝
2	溝	3.00	1.40	82.86		平安時代	4-12	9と同一、南北方向、土層から時期推定
3	土壌	5.00	1.70	82.30	土師器	平安中期	4-12	井戸の可能性
4	溝	0.90以上	0.80	85.82	土師器	平安後期	4-12	8と同一、南北方向、断面V字形、仁和寺現西築地に並行
5	土壌	2.90以上	0.55	85.47	土師器、緑釉陶器、瓦	平安後期	4-12	多量の土師器出土
6	土壌	3.20	1.10	84.98	土師器	平安後期	4-12	
7	溝	2.50以上	1.70	80.99			4-12	南北方向
8	溝	1.60以上	0.70	84.18	土師器	平安後期	4-12	4と同一、南北方向
9	溝	2.50以上	0.80	80.56	土師器、木製品	平安後期	4-12	2と同一、南北方向
10	溝	2.50	0.40	71.91		平安中期	4-12	南北方向、土層から時期確定
11	溝	5.00以上	0.70	77.88	土師器	平安後期	4-12	
12	土壌			76.18	土師器、瓦	平安後期	4-12	
13	溝			75.24			4-12	
14	溝		0.50	74.72			4-12	
15	溝		0.90	74.45		平安時代	4-12	土層から時期推定
16	土壌	7.60	0.70	74.44	土師器	平安後期	4-12	
17	包含層			81.00	軒瓦	平安後期	4-12	

表5 花園地区(図14~16)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	土壌	1.90	0.60	58.96	土師器、瓦	桃山時代	11-43	
2	土壌			58.71		江戸時代	11-43	土層から時期確定
3	整地層		0.35	59.06		江戸時代	11-43	土層から時期確定
4	土壌	1.50		59.06		江戸時代	11-43	土層から時期確定
5	土壌	1.10	0.60	58.71	軒瓦	桃山時代	11-43	
6	土壌	1.05	0.80	58.57		桃山時代	11-43	土層から時期確定
7	土壌	1.40	0.80	58.70		江戸時代	11-43	土層から時期確定
8	土壌	1.60	0.40	58.32		江戸時代	11-43	土層から時期確定
9	土壌			58.30		室町中期	11-43	土層から時期確定
10	柱穴		0.30	58.35		室町中期	11-43	土層から時期確定
11	土壌			58.36		桃山時代	11-43	土層から時期確定
12	土壌			57.85		桃山時代	11-43	土層から時期確定
13	土壌	1.30	1.20	57.34		江戸時代	11-43	土層から時期確定
14	柱穴	0.60	0.30	59.48		室町中期	11-43	土層から時期確定
15	柱穴	0.40	0.25	59.45	須恵器	平安時代	11-43	
16	土壌	1.80	0.30	59.33		平安時代	11-43	土層から時期確定
17	土壌		0.60	59.22		平安後期	11-43	土層から時期確定
18	柱穴	0.70		59.74		江戸時代	11-43	土層から時期確定
19	溝	1.70	0.80	59.90		江戸時代	11-43	土層から時期確定
20	溝	1.20	0.60	59.81		江戸時代	11-43	土層から時期確定
21	池		1.70	59.02	土師器、須恵器、木製品	平安中期	11-43	
22	池			58.73	土師器、瓦、甌	平安後期	11-43	
23	溝	0.20	0.10	58.48		室町中期	11-43	土層から時期確定
24	土壌		0.20	58.42		平安時代	11-43	土層から時期確定
25	柱穴	0.30	0.20	58.15		平安時代	11-43	土層から時期確定
26	土壌	1.80	0.30	58.46	須恵器、瓦	平安時代	11-43	
27	土壌	1.50	0.25	52.94		平安時代	11-43	土層から時期確定
28	溝	0.80	0.10	57.27		平安時代	11-43	土層から時期確定
29	溝	0.80	0.35	57.25		平安時代	11-43	土層から時期確定
30	溝	0.80	0.30	57.31	土師器	平安中期	11-43	正親町小路北側溝
31	柱穴	0.90	0.40	57.50	土師器	桃山時代	11-43	
32	溝	0.60	0.25	57.28		平安時代	11-43	土層から時期確定
33	溝	0.90	0.30	57.17	土師器	平安中期	11-43	正親町小路南側溝
34	土壌	0.85	0.50	57.15		平安時代	11-43	土層から時期確定

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
35	柱穴	0.25	0.30	57.15	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器	平安中期	11-43	
36	土壌	1.00	0.30	57.10		平安時代	11-43	土層から時期確定
37	整地層			55.89		平安時代	11-43	土層から時期確定
38	柱穴		0.40	56.05		室町中期	11-43	土層から時期確定
39	土壌	1.00	0.55	56.04		室町中期	11-43	土層から時期確定
40	土壌	1.80	0.35	56.04	炭	室町中期	11-43	土層から時期確定
41	土壌	1.50	0.30	55.87		江戸時代	11-43	土層から時期確定
42	柱穴	1.00	0.30	55.85		桃山時代	11-43	土層から時期確定
43	柱穴	0.60	0.30	55.42		室町中期	11-43	土層から時期確定
44	土壌	1.25	0.60	55.64		江戸時代	11-43	土層から時期確定
45	土壌		1.05	55.84		江戸時代	11-43	土層から時期確定
46	土壌			55.62		桃山時代	11-43	土層から時期確定
47	土壌	3.50	1.40	55.28	瓦、軒瓦	江戸時代	11-43	
48	溝			55.05		平安時代	11-43	東西方向、土層から時期確定
49	土壌	2.80	0.25	54.82	土師器	平安時代	11-43	
50	井戸	2.20	0.55	54.68		平安時代	11-43	土層から時期確定
51	溝		1.00	54.83		桃山時代	11-43	土層から時期確定
52	溝	0.30	0.35	55.26	土師器	江戸時代	11-43	
53	溝	1.10	0.20	55.24	土師器	平安中期	11-43	土御門大路北側溝
54	柱穴	0.50	0.20	55.34	土師器、瓦	江戸時代	11-43	
55	溝			55.12		桃山時代	11-43	南北方向、土層から時期確定
56	土壌		0.25	56.80		江戸時代	11-43	土層から時期確定
57	柱穴	0.70	0.30	56.60		平安時代	11-43	土層から時期確定
58	溝	4.20	0.55	55.60			11-43	
59	土壌			55.50		室町中期	11-43	土層から時期確定
60	溝	3.00	1.10	54.73		桃山時代	11-43	59と重複、土層から時期確定
61	溝	2.40	1.50	55.56	土師器	平安後期	11-43	73と同一、東西方向
62	土壌		0.55	55.25	土師器、須恵器	平安後期	11-43	
63	土壌		0.65	55.20		平安時代	11-43	土層から時期確定
64	整地層		0.35	55.44		室町中期	11-43	土層から時期確定
65	井戸			55.15		平安時代	11-43	土層から時期確定
66	土壌	9.70	0.35	54.66		平安時代	11-43	土層から時期確定
67	土壌			53.95		平安時代	11-43	土層から時期確定
68	井戸			53.63		平安後期	11-43	土層から時期確定
69	土壌	1.20	0.40	52.33		江戸時代	11-43	土層から時期確定
70	柱穴	0.35	0.50	55.24		平安時代	11-43	土層から時期確定
71	溝	0.60	0.30	54.12		桃山時代	11-43	土層から時期確定
72	土壌	0.60	0.30	54.00		江戸時代	11-43	土層から時期確定
73	溝	3.00以上	1.50以上	54.73	土師器、瓦器、瓦	平安後期	11-43	61と同一、東西方向
74	溝			54.75	土師器、瓦	平安時代	11-43	
75	柱穴	0.70	0.40	53.82	土師器	桃山時代	11-43	
76	土壌	1.60	0.70	54.30		室町中期	11-43	土層から時期確定
77	土壌	2.20	0.45	54.62		室町中期	11-43	土層から時期確定
78	土壌	2.80	0.35	54.10	土師器、瓦	桃山時代	11-43	
79	溝	0.60	0.35	53.94	土師器、瓦	平安時代	11-43	
80	溝	0.80	0.20	53.98		室町中期	11-43	土層から時期確定
81	溝	0.80	0.40	54.24	瓦	桃山時代	11-43	
82	井戸	2.00		53.62		平安時代	11-43	土層から時期確定
83	柱穴	0.50	0.20	53.74		室町中期	11-43	土層から時期確定
84	土壌	3.00	0.30	53.30	土師器	平安時代	11-43	
85	土壌	0.30	0.20	53.63		平安時代	11-43	土層から時期確定
86	土壌	1.20	0.25	53.50	瓦	室町中期	11-43	
87	土壌	1.00	0.40	53.62		平安時代	11-43	土層から時期確定
88	井戸	1.75		53.60	土師器	平安後期	11-43	
89	井戸	1.70	2.00	52.62	土師器、瓦器、瓦	平安後期	11-43	方形木枠
90	土壌	0.80	0.50	53.32	土師器	室町中期	11-43	
91	土壌	1.00	0.10	52.02		桃山時代	11-43	土層から時期確定
92	土壌	1.70	0.75	53.06		平安時代	11-43	土層から時期確定
93	柱穴	0.60	0.30	52.92	土師器	平安時代	11-43	
94	溝	6.70	0.70	52.31		平安時代	11-43	南北方向、土層から時期確定

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
95	井戸	2.40	2.10	52.70	陶器、瓦	室町中期	11-43	
96	土壇	1.10	0.25	53.37	土師器	桃山時代	11-43	
97	柱穴	0.50	0.15	53.30		室町中期	11-43	土層から時期確定
98	土壇	1.60	0.20	53.22	土師器	室町中期	11-43	
99	土壇	2.00		53.10	土師器、瓦	桃山時代	11-43	
100	土壇			52.70	土師器、瓦	桃山時代	11-43	
101	土壇	2.00	0.25	52.70	土師器、炭	室町中期	11-43	
102	土壇	6.00	0.20	52.90		平安時代	11-43	土層から時期確定
103	土壇	2.60	0.30	52.60		室町中期	11-43	土層から時期確定
104	土壇	5.00	0.50	52.50	土師器、陶磁器	室町中期	11-43	
105	土壇	2.20	0.50	52.56		平安時代	11-43	土層から時期確定
106	土壇	0.50	0.25	52.19		室町中期	11-43	土層から時期確定
107	土壇	6.00	0.40	51.88	炭	平安時代	11-43	土層から時期確定
108	土壇	2.20	0.40	51.32		室町中期	11-43	土層から時期確定
109	土壇	0.80	0.15	51.44		室町中期	11-43	土層から時期確定
110	柱穴	0.40	0.20	51.24		平安時代	11-43	土層から時期確定
111	溝		0.80	53.70		平安時代	11-43	東西方向、土層から時期確定
112	溝	1.80	0.45	52.40	土師器	平安時代	11-43	土御門大路南側溝
113	柱穴	0.25	0.35	52.00		平安時代	11-43	土層から時期確定
114	整地層			52.95		平安時代	11-43	土層から時期確定
115	土壇			51.24	土師器、須恵器、瓦	平安時代	11-43	
116	整地層			51.80	土師器、須恵器、緑釉陶器、 灰釉陶器、輸入陶磁器	平安後期	11-43	
117	土壇	0.70	0.20	51.26		平安時代	11-43	土層から時期確定
118	土壇	0.80		50.01		平安時代	11-43	土層から時期確定
119	土壇	0.55	0.20	50.20		平安時代	11-43	土層から時期確定
120	土壇			49.62	土師器	平安後期	11-43	
121	土壇	1.30	0.30	50.16		平安時代	11-43	土層から時期確定
122	土壇	0.75	0.45	50.00		平安時代	11-43	土層から時期確定
123	土壇			49.90		室町中期	11-43	土層から時期確定
124	整地層			49.90		平安時代	11-43	土層から時期確定
125	池			48.60		桃山時代	11-43	土層から時期確定
126	溝			48.76		桃山時代	11-43	石積みの肩部、土層から時期確定
127	井戸			49.42		平安時代	11-43	土層から時期確定
128	土壇	3.50	0.80	50.44		江戸時代	11-43	土層から時期確定
129	溝	4.00	0.60	49.02		平安時代	11-43	土層から時期確定
130	柱穴	0.75	0.20	48.74	須恵器	平安時代	11-43	
131	柱穴	0.35	0.40	48.84	土師器、須恵器、瓦器	平安後期	11-43	
132	井戸	2.00		49.15	土師器、須恵器、瓦器、瓦	平安後期	11-43	
133	溝	1.40	1.10	49.06		桃山時代	11-43	土層から時期確定
134	柱穴	0.50	0.30	48.87	土師器	平安後期	11-43	
135	井戸	1.90	0.60	49.08	土師器、瓦	桃山時代	11-43	
136	柱穴	0.35	0.40	49.03		室町中期	11-43	土層から時期確定
137	池		2.00以上	50.12	土師器	平安後期	11-43	138・142・158と同一、肩部
138	池		2.00以上	49.45		平安後期	11-43	137・142・158と同一、肩部
139	土壇			47.65		平安後期	11-43	土層から時期確定
140	土壇	0.80	0.15	49.35		江戸時代	11-43	土層から時期確定
141	土壇	0.70	0.20	49.50	土師器	平安後期	11-43	
142	池		2.00以上	49.65	土師器、瓦、木製品	平安後期	11-43	137・138・158と同一、肩部
143	土壇			49.28	土師器、瓦	室町中期	11-43	
144	土壇			49.12		平安時代	11-43	土層から時期確定
145	土壇	1.60	0.35	48.95		平安後期	11-43	土層から時期確定
146	土壇	3.20	0.40	48.90		室町中期	11-43	土層から時期確定
147	土壇	1.30	0.40	49.08		江戸時代	11-43	土層から時期確定
148	土壇		0.10	48.90		平安時代	11-43	土層から時期確定
149	土壇			48.35	瓦	平安時代	11-43	
150	土壇	0.85	0.35	48.18	陶器	桃山時代	11-43	土壇墓
151	土壇	1.40	0.30	48.25		江戸時代	11-43	土層から時期確定
152	土壇		0.65	47.90	陶器	桃山時代	11-43	
153	土壇	3.00	0.50	48.96		江戸時代	11-43	土層から時期確定

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
154	土壇		0.30	47.80		室町中期	11-43	土層から時期確定
155	土壇	1.50	0.40	46.50		桃山時代	11-43	土層から時期確定
156	土壇	1.30	0.35	46.93		桃山時代	11-43	土層から時期確定
157	土壇			49.86		平安後期	11-43	土層から時期確定
158	池		2.00以上	50.02	土師器	平安後期	11-43	137・138・142と同一、肩部
159	井戸	2.00		50.07		江戸時代	11-43	土層から時期確定
160	土壇	0.80	0.45	50.22	土師器、瓦	平安前期 ～中期	11-43	
161	土壇			50.10		桃山時代	11-43	土層から時期確定
162	土壇			50.48	土師器、須恵器、木製品、金属製品、骨	桃山時代	11-43	土壇墓
163	土壇			50.30		桃山時代	11-43	土層から時期確定
164	井戸	1.50	2.00	47.32	土師器	平安後期	11-56	
165	土壇	3.00以上	1.50以上	46.80		江戸時代	11-56	土層から時期確定
166	土壇	0.50	0.70以上	46.84		江戸時代	11-56	土層から時期確定
167	土壇	1.20	0.60	47.23	染付、瓦	江戸時代	11-56	
168	溝		1.50	47.97		江戸時代	11-56	肩部、土層から時期確定
169	溝	1.00	0.60	47.95			11-56	東西方向
170	溝	0.80	0.40	47.85	瓦、軒瓦	鎌倉時代	11-56	石組み
171	井戸	1.70	1.90	47.75			11-56	
172	柱穴	0.90	0.90	47.73			11-56	
173	溝			47.70			11-56	肩部
174	土壇	8.00以上	0.70	48.63	瓦	平安後期	11-56	
175	土壇	3.00	0.40	49.24			11-56	
176	土壇			49.36			11-56	
177	土壇	1.60	0.60	47.81	染付、陶器	江戸時代	11-56	
178	土壇	1.60以上	0.40	47.03			11-56	
179	溝	2.60	1.40	46.95	土師器、須恵器、瓦器、瓦、炭	平安後期	11-56	
180	土壇	1.00	0.60	47.12		平安後期	11-56	土層から時期確定
181	溝	1.70	1.10	46.55	土師器、須恵器、瓦器、瓦	平安後期	11-56	
182	土壇	6.40	1.40	46.40	土師器	室町後半	11-56	
183	土壇	0.40以上	0.80以上	45.75		江戸時代	11-56	土層から時期確定
184	土壇	1.10	1.00	45.54			11-56	
185	土壇	3.00	0.80	47.10			11-56	
186	溝	2.00	0.45	46.72			11-56	
187	土壇	1.10	0.60	45.73			11-56	
188	溝	3.00	0.90	45.28	瓦	江戸時代	11-56	
189	土壇	1.00以上	1.00	44.86			11-56	
190	土壇	2.90	1.50	43.93		江戸時代	11-56	土層から時期確定
191	井戸	4.00	1.25	43.90		江戸時代	11-56	土層から時期確定
192	土壇	1.20	0.50	43.84			11-56	
193	土壇	4.0～5.0	1.00	43.55			11-56	
194	井戸	1.40	1.40	42.60	土師器	平安後期	11-56	方形木枠
195	土壇	1.00以上	1.00以上	42.39			11-56	肩部
196	井戸			42.38			11-56	
197	土壇		2.00以上	42.38	木製品		11-56	
198	溝	1.20	0.70	42.20			11-56	
199	土壇	4.00	1.20	42.13			11-56	肩部
200	土壇	0.60以上	0.40以上	42.00			11-56	
201	井戸	1.20	1.10	41.92		江戸時代	11-56	土層から時期確定
202	土壇	1.10	0.50	41.80			11-56	
203	土壇	1.10	1.00	43.46	木製品	江戸時代	11-56	土層から時期確定
204	井戸	2.00	2.50以上	42.97			11-56	
205	土壇	0.60	0.40	43.06	土師器、須恵器、石製品、金属製品	平安時代	11-56	
206	溝	2.20	1.50	43.55		江戸時代	11-56	土層から時期確定
207	溝	0.80	0.60	46.67			11-56	
208	井戸	2.50	2.00	46.49	土師器、輸入陶磁器、炭	平安時代	11-56	方形木枠
209	土壇		0.40	45.23		江戸時代	11-56	土層から時期確定
210	溝	2.20	1.40	44.18	陶器	江戸時代	11-56	
211	井戸	1.60	1.70以上	47.55	土師器、輸入陶磁器	平安後期	11-56	

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
212	土壇	1.30	0.45	47.48	土師器	江戸時代	11-56	
213	土壇	0.90	0.35	47.34	瓦、炭	室町中期	11-56	
214	土壇	1.60	0.50	47.25		室町中期	11-56	土層から時期確定
215	土壇	0.9以上	1.00	47.10		室町中期	11-56	土層から時期確定
216	溝	1.50	0.50	47.02	土師器	室町中期	11-56	
217	溝	1.00	0.25	46.85	土師器	桃山時代	11-56	
218	溝	1.10	0.80	46.72	土師器、陶器、瓦、甌、土製品、木製品	江戸時代	11-56	
219	井戸	1.50	0.80以上	46.38	土師器	平安後期	11-56	
220	土壇	1.50	1.20	46.39			11-56	
221	土壇		0.80	45.24		江戸時代	11-56	肩部、土層から時期確定
222	井戸	1.80	1.00以上	46.15			11-56	
223	土壇	1.20	0.80	45.72		江戸時代	11-56	土層から時期確定
224	柱穴	1.80	0.60	45.14	土師器	江戸時代	11-56	
225	土壇	3.80	0.90	45.06	土師器	江戸時代	11-56	
226	井戸	1.50	2.00	48.50		江戸時代	11-56	土層から時期確定
227	河川			44.82			11-56	肩部
228	土壇		1.70以上	44.47	土師器	平安後期	11-56	
229	土壇	0.60以上	0.40	44.05	土師器、炭	平安後期	11-56	
230	溝	4.00	0.50	43.86	瓦		11-56	
231	土壇	0.60	0.70	43.95		江戸時代	11-56	土層から時期確定
232	溝	2.00以上	2.20以上	44.22		江戸時代	11-56	土層から時期確定
233	河川	1.00以上	0.50以上	44.65			11-56	
234	土壇	0.80以上	0.40	44.02			11-56	
235	溝	4.00	0.75	43.52	土師器	室町後期	11-56	
236	溝	2.50以上	0.60以上	43.66		江戸時代	11-56	土層から時期確定
237	溝	1.80	1.10	41.08			11-56	
238	井戸	1.80	2.50	41.35		江戸時代	11-56	土層から時期確定
239	土壇	1.10	0.80	41.77	染付	江戸時代	11-56	
240	井戸	1.20	0.35	41.76	瓦	平安後期	11-56	多量の瓦出土
241	土壇	4.00以上	1.30	41.66	土師器、陶器、瓦	江戸時代	11-56	
242	溝	3.00以上	1.00	42.70	瓦	平安後期	11-56	
243	溝	3.00以上	1.00	42.70	瓦	平安後期	11-56	
244	土壇		0.65	41.72	土師器	平安後期	11-56	
245	溝	5.00	2.00以上	41.98	土師器、須恵器、瓦	平安中期	11-56	10世紀前半
246	池			41.80		平安後期	11-56	肩部、土層から時期確定
247	土壇	3.00以上	1.30以上	41.89		江戸時代	11-56	土層から時期確定
248	河川	3.00以上	0.60以上	42.38		平安後期	11-56	南北方向、土層から時期確定
249	土壇	2.20	0.60	42.18	瓦	江戸時代	11-56	
250	溝	1.80	0.45	41.90	瓦	江戸時代	11-56	
251	柱穴	0.60	0.40	42.00	土師器、須恵器、瓦器、瓦、土製品	平安後期	11-56	
252	池	1.00以上	1.50	41.45		平安後期	11-56	肩部、土層から時期確定
253	溝	3.40	0.90	41.58	土師器、瓦、軒瓦、板材	平安後期	11-56	
254	土壇	1.81	0.50	41.38	土師器	平安後期	11-56	
255	土壇	1.20以上	0.40	41.40	土師器	平安後期	11-56	
256	溝	2.40	0.65	41.15	土師器、瓦	江戸時代	11-56	
257	溝	0.70以上	0.30	41.30		江戸時代	11-56	土層から時期確定
258	溝			71.83			11-6	北東から南西方向
259	土壇	0.60	0.40	70.75			11-6	
260	土壇	1.80	0.45	70.68			11-6	
261	柱穴	0.70	0.40	70.05			11-6	
262	溝	1.20	0.45	70.20			11-6	北西から南東方向
263	流路	2.00	1.50	70.45	土師器、炭	平安後期	11-6	12世紀前半、西肩部
264	池			66.83		江戸時代	11-6	肩部、土層から時期確定
265	土壇	1.00	1.50	72.80			11-6	
266	溝	0.50	0.55	72.75		平安中期	11-6	293と同一、南北方向、円教寺の西限
267	柱穴	0.60	0.30	72.70		平安後期	11-6	土層から時期確定
268	土壇	1.90	1.00	72.60	木製品	江戸時代	11-6	
269	溝	1.30	0.75	72.40	染付、瓦	江戸時代	11-6	

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
270	溝	2.40	0.80	72.20	土師器、瓦、軒瓦	室町時代	11-6	東西方向
271	土壇	1.30	0.70	72.00			11-6	
272	土壇	1.00	0.50	71.90		江戸時代	11-6	土層から時期確定
273	溝	2.80	0.50	71.75	染付、陶器	江戸時代	11-6	
274	溝	2.60	0.50	69.67	青磁、瓦	江戸時代	11-6	
275	溝	0.85	0.45	68.02		江戸時代	11-6	土層から時期確定
276	柱穴	0.40	0.30	67.68			11-6	
277	土壇	0.90	0.70	67.43	土師器、陶磁器、瓦	江戸時代	11-6	
278	土壇	2.20	0.80	67.27	土師器、陶器	江戸時代	11-6	
279	土壇	1.00	0.30	67.16	土師器		11-6	
280	溝	3.10	1.90	66.98	陶磁器、瓦	鎌倉時代	11-6	
281	土壇	2.90	0.85	65.27			11-6	
282	池			65.10			11-6	
283	土壇	0.50	1.70	64.85			11-6	木桶あり
284	土壇	1.50	0.60	66.91			11-6	
285	土壇	2.20	0.90	66.84	瓦、炭	平安後期	11-6	
286	溝	1.80	0.90	66.40			11-6	
287	土壇	3.00	1.00	65.66			11-6	
288	土壇	0.55	0.50	64.84			11-6	
289	土壇	4.00	1.60	65.90	瓦	江戸時代	11-6	
290	土壇			65.80	瓦	江戸時代	11-6	
291	土壇	1.00以上	0.60	70.20	陶磁器	江戸時代	11-6	
292	溝	3.00	1.20	70.30	須恵器、瓦	平安後期	11-6	
293	溝	2.90	0.90	70.35	須恵器、瓦	平安中期	11-6	266と同一、南北方向、溝内少量の焼土、円教寺の西限
294	溝	2.00	0.90	70.40	瓦	平安後期	11-6	296・310と同一、東西方向
295	土壇	0.80以上	0.60	70.45			11-6	
296	溝	1.45	0.25	70.50	軒平瓦	平安中期	11-6	294・310と同一、東西方向
297	土壇	4.50	1.00	70.50			11-6	
298	土壇	1.00以上	0.40	70.27	土師器、須恵器	平安後期	11-6	肩部
299	井戸	2.10	1.30	70.50	土師器、須恵器、瓦器、白磁、瓦、石製品	平安中期	11-6	
300	土壇	4.00	0.30	70.27		平安後期	11-6	肩部、土層から時期確定
301	土壇	2.00以上	0.30	69.86		平安後期	11-6	肩部、土層から時期確定
302	溝	0.65	0.30	71.05			11-6	
303	溝	0.90	0.50	70.55	土師器、瓦器、炭	平安後期	11-6	
304	土壇	3.20	1.10	70.75		平安後期	11-6	土層から時期確定
305	柱穴	0.30	0.10	69.20	土師器、須恵器、瓦	平安後期	11-6	
306	柱穴	0.35	0.50	68.45	瓦器	平安後期	11-6	
307	土壇	2.40	0.30	68.32	土師器	平安後期	11-6	
308	柱穴	0.40	0.45	68.50	土師器、緑釉陶器、炭	平安後期	11-6	
309	土壇	0.80	0.30	68.25	土師器、炭	平安後期	11-6	
310	溝	1.75	0.30	68.18	土師器	平安後期	11-6	294・296と同一、東西方向
311	土壇		1.40	68.60	瓦	江戸時代	11-6	
312	整地層			65.72	瓦	江戸時代	11-6	
313	土壇		0.80	65.41			11-6	南肩部
314	河川	2.00以上	1.00以上	65.02			11-6	西ノ川の旧流路肩部
315	溝	1.30	1.40	65.02			11-6	南北方向
316	土壇			64.80			11-6	東肩部
317	土壇		1.00	63.80			11-6	北肩部
318	土壇			63.41	瓦		11-6	南肩部
319	河川		0.25	64.35			11-6	東肩部
320	土壇	5.00	0.60	64.72			11-6	西肩部
321	池		0.70	61.70		江戸時代	11-6	肩部、土層から時期確定
322	土壇		2.00以上	62.14		江戸時代	11-6	肩部、土層から時期確定
323	土壇	1.00以上	1.00	61.97		江戸時代	11-6	土層から時期確定
324	溝	1.00	0.80	61.00		江戸時代	11-6	土層から時期確定
325	池		0.70	61.70		江戸時代	11-6	土層から時期確定
326	河川			59.04	陶磁器	江戸時代	11-6	肩部
327	河川			58.92	陶器、木製品		11-6	肩部
328	河川	1.00	0.40	58.70	陶器、木製品	江戸時代	11-6	

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
329	河川	1.00	0.50	58.68		江戸時代	11-6	西肩部
330	溝	1.00	1.00	60.23		平安時代	11-6	土層から時期確定
331	土壌	4.00以上	1.00	60.28		平安時代	11-6	肩部、土層から時期確定
332	溝	0.50	0.35	61.47	木製品	平安時代	11-6	土層から時期確定
333	溝	3.50	2.00	61.58		平安時代	11-6	下層に多量の木片
334	溝	2.00	1.00	64.58		江戸時代	11-6	東西方向、土層から時期確定
335	井戸	3.80	2.00以上	62.99	木製品		11-6	
336	土壌	1.30	0.45	62.78	瓦、炭	平安後期	11-6	
337	柱穴	0.30	0.55	62.57			11-6	
338	溝	0.40	1.40	62.58	瓦器、瓦、炭	平安後期	11-6	
339	溝	1.50	0.50	62.60	土師器	平安中期	11-6	
340	濠	2.20	2.00	72.83	陶器、染付、瓦、木製品	江戸時代	11-6	妙心寺北限
341	溝	0.80	0.40	61.92	土師器	平安後期	11-6	
342	溝	2.00以上	0.3~0.4	61.50		平安後期	11-6	東肩部、土層から時期確定
343	溝		0.2~0.3	61.52		平安後期	11-6	土層から時期確定
344	土壌	0.80	0.40	61.42		江戸時代	11-6	土層から時期確定
345	溝	5.00	0.40	60.56		平安後期	11-6	肩部、土層から時期確定
346	溝		2.00以上	60.50	土師器	平安後期	11-6	
347	溝		0.35	62.98	土師器、白磁、瓦	平安後期	11-6	
348	柱穴	0.40	0.45	62.90		平安後期	11-6	土層から時期確定
349	溝	1.40	0.30	71.76	土師器、瓦	平安後期	11-12	352・368と同一、東西方向、円宗寺北限
350	流路	21.50	0.75	72.61	土師器、須恵器、瓦、軒瓦、緑釉瓦	平安中期	11-12	351・364と同一、南北方向、多量の瓦を含む
351	流路	23.50	0.70	68.05	瓦	平安中期	11-12	350・364と同一、南北方向
352	溝	1.80	0.45	71.18	土師器、瓦	平安後期	11-12	349・368と同一、東西方向、円宗寺北限
353	溝	1.40	0.40	68.09	瓦	平安後期	11-12	南北方向
354	土壌	6.80以上	0.46	67.48	土師器、瓦	平安後期	11-12	
355	井戸	1.10	20.00	66.69	土師器、陶器	江戸時代	11-12	素掘り
356	土壌	2.30	0.35	65.54	土師器、陶器、瓦、軒瓦	平安後期	11-12	多量の瓦を含む
357	土壌	3.60	1.10	68.63	土師器、瓦	平安中期	11-12	
358	土壌	3.20	0.35	65.45	土師器、須恵器、瓦、軒瓦	平安後期	11-12	多量の瓦を含む
359	土壌	1.50以上	0.25以上	65.34	土師器、陶器、瓦、軒瓦	平安後期	11-12	多量の瓦を含む
360	土壌	3.45	0.70	64.17	土師器、瓦	平安中期	11-12	
361	土壌	5.50	0.34	64.89	土師器、須恵器、瓦	平安後期	11-12	土師器多量
362	溝	1.15	0.20	63.87	瓦	平安後期	11-12	東西方向
363	井戸	1.00	2.10	62.88	土師器	平安後期	11-12	方形木枠
364	流路	20.00	1.35	61.90	土師器、緑釉陶器	平安中期	11-12	350・351と同一、南北方向
365	包含層		0.35	66.60	土師器、瓦、軒瓦	平安後期	11-12	多量の瓦を含む
366	包含層		0.30	68.00	土師器、瓦、軒瓦	平安後期	11-12	多量の瓦を含む
367	包含層		0.45	62.00	土師器、瓦、軒瓦	平安後期	11-12	多量の瓦を含む
368	溝	0.90	0.35	72.42	土師器、瓦	平安後期	10-57	349・352と同一、東西方向、円宗寺北限
369	溝	1.70	0.52	71.55	土師器、須恵器	平安後期	10-57	370・372と同一、南北方向、円宗寺西限
370	溝	1.00以上	0.12	71.55		平安後期	10-57	369・372と同一、南北方向、円宗寺西限
371	溝	1.18	0.35	71.15	陶器、瓦	江戸時代	10-57	南北方向
372	溝	1.45以上	0.51	70.05	土師器、瓦	平安後期	10-57	369・370と同一、南北方向、円宗寺西限
373	溝	0.90	0.35	68.16	土師器	平安後期	10-57	

表6 常盤2地区(図18)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	溝	2.60	1.40以上	52.85			10-96	東西方向
2	包含層			53.32	土師器	平安時代	10-96	
3	溝		1.00以上	52.26			10-96	井戸の可能性はある
4	溝	1.10	1.00	51.81			10-96	南北方向
5	包含層		0.30	51.16	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
6	溝	4.50	1.50以上	53.70			10-96	堀
7	包含層		0.70	51.41	土師器	平安時代	10-96	黄灰色砂泥
8	包含層		0.40	51.93	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
9	包含層		0.20	51.63	土師器	平安時代	10-96	黒灰色泥砂
10	溝	1.60	0.20	50.77			10-96	南北方向
11	溝	不明	1.20	52.41			10-96	流路肩部を検出
12	包含層		0.25	51.52	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
13	土壌	0.70	0.50	51.94			10-118	
14	路面		0.25	50.50			10-118	古道
15	路面		0.20	50.51			10-118	古道
16	路面		0.40	49.64			10-118	古道
17	溝	不明	1.00以上	48.96		古墳後期	10-118	南北方向
18	溝	1.70	0.70	52.67			10-118	東西方向
19	包含層		0.20	52.05		平安時代	10-118	茶色泥砂
20	包含層		0.30	51.84		平安時代	10-118	茶色泥砂
21	溝	不明	0.70	51.69		弥生中期	10-118	南北方向
22	柱穴	0.50	0.50	52.21	土師器	平安時代	10-118	
23	包含層		0.20	52.17	土師器	平安時代	10-118	茶灰色砂泥
24	包含層		0.15	51.88	土師器	平安時代	10-118	茶色泥砂
25	包含層		0.25	51.30	土師器	平安時代	10-118	黒灰色泥砂
26	溝	3.00	0.80	50.74		弥生中期	10-118	南北方向
27	包含層		0.70	49.87	土師器	平安中期	10-118	茶灰色砂泥
28	包含層		0.70	49.72	土師器	平安中期	10-118	茶褐色砂泥
29	包含層		0.70	49.15	土師器	平安中期	10-118	暗茶褐色砂泥
30	柱穴	0.30	0.20	49.50	土師器	平安中期	10-118	
31	土壌	2.70	0.90	50.05			10-118	
32	溝	0.50	1.40	49.07	土師器、須恵器	古墳後期	10-118	古墳周溝
33	溝	9.40	0.70	48.26	土師器	平安時代	10-118	南北方向
34	溝	2.50以上	1.00以上	45.72	土師器、須恵器	古墳後期	10-118	古墳周溝
35	包含層		0.30	51.17	土師器	平安時代	10-118	淡茶色泥砂
36	包含層		0.55	49.91	土師器	平安中期	10-118	黒褐色混礫泥砂
37	溝	不明	1.00	43.98			10-118	南北方向
38	溝	1.50	0.90	49.81			10-112	南北方向、条里関係の溝か
39	溝	1.50	0.90	49.78			10-112	南北方向、条里関係の溝か
40	土壌	4.50以上	3.00以上	48.39			10-182	
41	土壌	0.90	0.30	49.29			10-182	
42	土壌	0.80	1.30	48.35	土師器、炭		10-182	
43	土壌	1.00	0.30	47.42			10-182	
44	土壌	3.70	1.00	47.62			10-182	
45	溝	1.00	1.00	46.56	土師器		10-182	南北方向
46	包含層		0.60	46.00	須恵器	古墳後期	10-182	黒褐色砂泥
47	包含層		1.00	45.07	土師器	古墳後期	10-182	黄褐色砂泥
48	土壌	1.00	1.00	43.13			10-182	
49	包含層		1.00	42.86	土師器	平安後期	10-182	茶褐色砂泥
50	包含層		0.40	51.42	土師器	平安時代	10-101	暗褐色泥砂
51	包含層		0.40	51.32	土師器	平安時代	10-101	暗褐色泥砂
52	包含層		0.50	51.17	土師器	平安時代	10-101	暗褐色泥砂
53	包含層		0.30	50.51	土師器	平安時代	10-101	暗褐色泥砂
54	溝	1.00	0.30	49.90	土師器	平安後期	10-101	南北方向
55	包含層		0.30	50.20	土師器、瓦器	平安後期	10-101	茶褐色砂泥
56	包含層		0.50	49.57	土師器	平安後期	10-101	茶褐色砂泥
57	溝	4.00	0.50	49.46			10-101	南北方向
58	包含層		0.30	49.12	土師器	平安後期	10-101	茶褐色砂泥
59	包含層		0.35	48.51	土師器	古墳前期	10-101	茶褐色砂泥

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
60	土壌	2.50	0.20	48.45	土師器	古墳前期	10-101	
61	包含層		0.60	49.70	土師器	平安後期	10-101	茶褐色砂泥
62	包含層		0.40	48.74	土師器	平安後期	10-101	茶褐色砂泥
63	包含層		0.45	48.58	土師器	平安後期	10-101	茶褐色砂泥
64	包含層		0.60	49.60	土師器	平安時代	10-101	茶褐色砂泥
65	包含層		0.10	49.36	土師器	平安時代	10-101	茶褐色砂泥
66	包含層		0.30	48.99	土師器	平安時代	10-101	茶褐色砂泥

表7 常盤3地区(図19)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.35	50.30	土師器	平安時代	10-101	茶褐色砂泥
2	包含層		0.30	50.31	土師器	平安時代	10-101	茶褐色砂泥
3	包含層		0.20	50.15	土師器	平安時代	10-101	茶褐色砂泥
4	溝	4.20	1.50	49.53			10-101	南北方向
5	包含層		0.80	51.08	土師器	平安時代	10-101	茶色泥砂
6	包含層		0.70	51.25	土師器	平安時代	10-101	茶色泥砂
7	溝	1.50	0.50	51.10	土師器	平安時代	10-101	南北方向
8	包含層		0.50	51.24	土師器	平安時代	10-101	茶色泥砂
9	包含層		0.10	51.28	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
10	包含層		0.80	50.56	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
11	包含層		0.10	50.31	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
12	包含層		0.75	51.16	土師器	平安時代	10-96	茶色泥砂
13	包含層		0.20	55.58	土師器	平安時代	10-96	茶色泥砂
14	包含層		0.20	55.52	土師器	平安時代	10-96	茶色泥砂
15	包含層		0.35	55.27	土師器	平安時代	10-96	茶色泥砂
16	包含層		0.20	55.22	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
17	包含層		0.20	55.11	土師器	平安時代	10-96	茶褐色砂泥
18	包含層		0.50	49.34	土師器	平安時代	10-96	茶灰色砂泥
19	包含層		0.40	52.24	土師器	平安前期	10-49	暗茶色粘土
20	包含層		0.35	56.30	土師器	平安時代	10-49	暗茶色泥砂
21	土壌	0.80	0.40	49.80		平安時代	10-49	土層から時期推定
22	包含層		0.30	55.71	土師器	平安時代	10-49	茶色砂泥
23	土壌	0.50以上	1.40以上	55.46		平安時代	10-49	土層から時期推定
24	土壌		1.40以上	55.41		平安時代	10-49	肩部を検出
25	包含層		0.30	55.52	土師器	平安時代	10-49	茶色砂泥
26	土壌	1.10	0.40	55.42	土師器	平安前期	10-49	
27	土壌	0.70	1.40	55.42	土師器	平安前期	10-49	
28	路面		0.30	57.17			10-49	古道
29	包含層		0.55	55.76	土師器	平安前期	10-49	茶灰色泥砂
30	土壌	1.50	0.70	55.83		平安前期	10-49	土層から時期推定
31	溝	5.50	1.10	55.89		平安前期	10-49	南北方向、土層から時期推定
32	柱穴	0.10	0.20	54.58		平安前期	10-49	土層から時期推定
33	柱穴	0.20	0.10	55.23		平安前期	10-49	土層から時期推定
34	土壌	0.90	1.00	55.68		平安時代	10-49	土層から時期推定
35	包含層		0.30	55.31	土師器	平安前期	10-49	茶灰色泥砂
36	溝	1.10	1.50	55.31		平安時代	10-49	東西方向、土層から時期推定
37	土壌	1.80	1.10	55.14			10-49	
38	溝	3.00	1.10	53.99	土師器	平安前期	10-49	南北方向、土層から時期推定
39	土壌	1.00	0.50	53.98		平安前期	10-49	土層から時期推定
40	包含層		0.10		土師器	平安前期	10-49	淡茶色泥砂
41	土壌	1.00	0.50	50.38			10-139	
42	包含層		0.70	50.42	土師器	平安後期	10-139	黒褐色砂泥
43	溝	1.40	0.30	52.19			10-139	南北方向
44	土壌		0.40	52.66	土師器	平安後期	10-139	
45	溝	0.90	0.40	52.51	土師器	平安後期	10-139	南北方向
46	溝	0.70	0.60	53.13		古墳後期	9-19	古墳周溝
47	包含層		0.20	54.31	土師器、瓦	平安時代	9-19	暗灰色泥砂
48	包含層		0.55	54.55	土師器	平安時代	9-19	茶褐色泥砂
49	包含層		0.40	54.73	土師器	平安時代	9-19	暗茶色泥砂

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
50	包含層		0.30	55.08	土師器	平安時代	9-19	暗茶色泥砂
51	包含層		0.30	55.94		平安時代	9-19	茶色泥砂
52	土壌	0.80以上	0.70	56.00	土師器		9-19	
53	包含層		0.30	57.26	土師器、炭	平安時代	9-19	茶褐色泥砂
54	包含層		0.40	53.82	土師器	平安時代	9-19	茶褐色泥砂
55	包含層		0.20	53.72	土師器	平安時代	9-19	茶褐色泥砂
56	包含層		0.20	53.54	土師器、炭	平安時代	9-19	茶褐色泥砂
57	包含層		0.35	53.29	土師器、炭	平安時代	9-19	茶褐色泥砂
58	土壌	3.20	1.30	53.32	土師器	平安時代	9-19	
59	包含層		0.95	58.00	土師器	平安時代	9-19	黒色泥砂
60	溝	2.10	1.50	58.95			9-19	南北方向
61	包含層		0.30	59.43	土師器	平安時代	9-19	暗茶色泥砂
62	包含層		0.30	59.14	土師器	平安前期	9-19	茶色泥砂
63	包含層		0.30	59.02	土師器、瓦器	室町前期	9-19	茶灰色泥砂
64	土壌	3.40	1.00	58.59	土師器	室町前期	9-19	
65	包含層		0.45	58.59	土師器	平安時代	9-19	茶黄色泥砂
66	包含層		0.40	60.83	土師器	平安前期	10-49	茶色泥砂
67	包含層		0.40	59.24	土師器	平安前期	10-49	茶褐色泥砂
68	土壌	0.60	0.40	58.79		平安時代	10-49	土層から時期推定
69	包含層		0.40	59.07	土師器	平安時代	10-49	暗茶色泥砂
70	包含層		0.50	58.86	土師器	平安前期	10-49	暗茶色泥砂
71	包含層		0.25	58.99	土師器	平安前期	10-49	暗茶色泥砂
72	包含層		0.45	58.63	土師器	平安時代	10-49	暗茶褐色泥砂

表8 常盤4地区(図20)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.10	40.68			9-14	古道
2	路面		0.25	40.75			9-14	古道
3	路面		0.30	41.20			9-14	古道
4	路面		0.20	41.46			9-14	古道
5	土壌	2.70	0.80	41.63			9-14	
6	路面		0.40	42.64			9-14	古道
7	路面		0.30	42.78			9-14	古道
8	路面		0.30	42.82			9-14	古道
9	包含層		0.30	43.42	土師器	平安時代	9-14	黒色砂泥
10	土壌	1.70	1.30	43.04			9-14	
11	土壌	1.00	0.50	42.39			9-14	
12	土壌		1.90	41.51			9-14	
13	溝	3.40	0.50	43.25		古墳後期	9-14	古墳周溝、弧を描く
14	包含層		0.30	39.07	土師器	平安前期	9-21	暗茶色粘土
15	土壌	1.00	0.45	41.58	土師器	平安後期	9-21	
16	土壌		1.90	41.48	土師器	平安後期	9-21	
17	土壌	3.40	0.50	42.08	土師器	平安後期	9-21	
18	路面		0.45	43.93			9-25	古道
19	路面		0.20	43.72			9-25	古道
20	路面		0.25	43.61			9-25	古道
21	路面		0.30	42.98			9-25	古道
22	路面		0.45	43.02			9-25	古道

表9 太秦1地区(図21)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.70	31.89	土師器	古墳後期	15-6	茶灰色砂泥
2	包含層		0.70	31.74	土師器	古墳後期	15-6	茶灰色砂泥
3	包含層		0.60	31.34	土師器	古墳後期	15-6	茶灰色砂泥
4	壕	3.00以上	1.5以上	42.72		古墳中期	15-6	仲野親王陵古墳、噴砂を検出
5	壕	3.00以上	1.5以上	42.85		古墳中期	15-6	仲野親王陵古墳
6	包含層		0.50	32.70	土師器	平安時代	9-39	淡茶色粘土

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
7	包含層		0.20	33.26	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
8	溝	2.00以上	1.8以下	32.76			9-39	東西方向
9	土壌		0.7以上	33.22			9-39	
10	土壌	1.10	0.50	32.51			9-39	
11	包含層		0.50	33.08	須恵器	古墳後期	9-39	茶色泥砂
12	包含層		0.35	33.33	土師器	古墳後期	9-39	茶色泥砂
13	包含層		0.35	32.96	土師器	平安時代	9-39	暗茶色泥砂
14	包含層		0.30	33.31	土師器	平安時代	9-39	暗茶色泥砂
15	包含層		0.30	32.88	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
16	包含層		0.30	33.57	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
17	包含層		0.30	33.54	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
18	包含層		0.40	33.62	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
19	包含層		0.30	34.30	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
20	土壌	2.00	1.50	34.60			9-39	
21	包含層		0.50	34.62	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
22	包含層		0.50	34.33	土師器	平安時代	9-39	茶色泥砂
23	包含層		0.50	34.25	土師器	平安時代	9-39	暗黄色粘土
24	包含層		0.35	34.40	土師器	平安時代	9-39	灰色泥砂
25	包含層		0.65	32.63	土師器、軒瓦	平安時代	9-39	暗黄色泥砂
26	包含層			32.90	瓦	平安時代	9-39	
27	包含層		0.60	32.19	土師器	平安時代	9-38	茶色泥砂
28	包含層		0.70	32.12	土師器	平安時代	9-38	黄灰色粘土
29	包含層		0.45	38.91	土師器	古墳後期	9-33	暗茶色粘土
30	包含層		0.40	38.73	土師器、須恵器	古墳後期	9-33	黒灰色泥砂
31	土壌		0.70	39.13	土師器	古墳後期	9-33	肩部を検出
32	包含層		0.20	40.07	土師器	古墳後期	9-33	茶色泥砂
33	包含層		0.90	37.97	土師器、須恵器	古墳後期	9-33	茶黒色泥砂

表10 太秦2地区(図22)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	土壌	10.00	0.40	39.65	瓦	平安中期	11-102	軒瓦を多量に含む
2	土壌	10.00	0.40	39.65	瓦	平安中期	11-102	軒瓦を多量に含む
3	包含層	0.30		40.06	土師器	古墳前期	11-102	黒褐色粘土
4	包含層	0.30		41.44	土師器	古墳前期	11-102	黒褐色粘土
5	包含層	0.20		41.48	土師器	古墳前期	11-102	黒褐色粘土
6	土壌	1.10	0.20	41.46	土師器、炭	古墳前期	11-102	
7	溝	0.60	0.20	41.45	土師器	古墳前期	11-102	東西方向
8	溝	0.90	0.20	41.45	土師器	古墳前期	11-102	東西方向
9	竪穴住居	5.80	0.20	41.40	土師器、炭	古墳前期	11-102	北肩部
10	竪穴住居	5.80	0.20	41.40	土師器、炭	古墳前期	11-102	南肩部
11	溝	1.70	0.60	40.37	土師器	古墳前期	11-102	北東から南西方向
12	土壌	3.50以上	0.80	40.41	土師器	古墳前期	11-102	南北方向の溝か
13	溝	7.50	1.20	40.37	土師器	古墳前期	11-102	溝の東肩部
14	溝	7.50	1.20	40.37	土師器	古墳前期	11-102	溝の西肩部
15	溝	4.00以上	0.40	40.79	土師器	古墳前期	11-102	東西方向
16	土壌	1.00以上	0.30	40.56	土師器、須恵器	平安中期	11-112	南肩部
17	土壌	3.30以上	0.40	40.60	土師器	平安中期	11-112	東肩部
18	溝	1.80	0.60	38.26	土師器	古墳前期	11-112	南北方向
19	土壌	1.50	1.00	41.60	土師器、須恵器、瓦	平安後期	11-112	
20	土壌	0.50	0.20	41.06	土師器	平安後期	11-112	
21	溝	10.00	1.30	39.16	土師器	古墳前期	11-112	北東から南西方向、南肩部
22	溝	10.00	1.30	39.10	土師器	古墳前期	11-112	北東から南西方向、北肩部
23	溝	10.00	0.60	40.40	土師器	古墳前期	11-112	北東から南西方向、北肩部
24	溝	10.00	0.60	40.40	土師器	古墳前期	11-112	北東から南西方向、南肩部
25	竪穴住居	6.00	0.30	40.70	土師器	古墳前期	11-112	
26	竪穴住居	3.00	0.30	40.80	土師器	古墳前期	11-112	切り合う
27	竪穴住居	4.00	0.30	40.90	土師器	古墳前期	11-112	2戸が切り合う
28	竪穴住居	4.00	0.30	40.90	土師器	古墳前期	11-112	2戸が切り合う
29	竪穴住居	8.00	0.30	41.70	土師器	古墳前期	11-112	

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
30	竪穴住居	7.00	0.30	41.36	土師器	古墳前期	11-112	両壁で確認
31	土壌	1.70	0.20	40.95	土師器	古墳前期	11-112	
32	竪穴住居	8.00	0.20	40.87	土師器	古墳前期	11-112	
33	柱穴	0.30	0.40	40.87	土師器	古墳前期	11-112	柱根が残る
34	土壌	1.10	1.00	40.87	土師器	古墳前期	11-112	
35	竪穴住居	7.00	0.20	40.90	土師器	古墳前期	11-112	
36	包含層			41.87	土師器	古墳前期	10-199	茶灰色砂泥
37	溝	1.60	0.20	41.73			10-199	東西方向
38	土壌	不明	0.80	40.53	瓦、焼土、炭	平安中期	10-199	
39	包含層			41.26	瓦、土師器、窯体	平安中期	10-199	淡茶色砂泥
40	包含層			39.79	須恵器、瓦、土師器、窯体	平安中期	10-199	茶色砂泥
41	包含層			41.82	土師器、緑釉陶器、須恵器、瓦	平安後期	10-199	
42	堤、路面	4.00	1.00以上	41.18			10-199	旧御室川の堤と古道
43	包含層			43.50	土師器	平安時代	10-199	淡茶色砂泥
44	包含層			43.36	土師器	平安時代	10-199	淡茶色砂泥
45	包含層			47.35	土師器、須恵器	平安前期	10-199	茶褐色泥砂
46	包含層			41.97	土師器	平安中期	10-199	茶褐色泥砂
47	包含層			41.73	土師器	平安中期	10-199	茶褐色泥砂
48	包含層			41.79	土師器、須恵器	平安時代	10-199	黄灰色砂泥
49	包含層			41.41	土師器	平安時代	10-199	茶灰色砂泥
50	包含層			41.27	土師器	平安後期	10-199	茶褐色砂泥
51	溝	0.60	0.60	41.26			10-199	東西方向
52	包含層			42.85	土師器、須恵器	古墳後期	10-199	黒褐色砂泥
53	包含層			42.11	瓦器	平安後期	10-199	黄褐色砂泥
54	溝	2.00	0.70	42.41	土師器	平安前期	10-199	南北方向
55	包含層			42.22	土師器、須恵器、瓦	平安中期	10-199	暗褐色砂泥
56	包含層			42.03	土師器	古墳後期	10-199	茶褐色砂泥
57	包含層			41.97	土師器、須恵器	平安時代	10-199	黒褐色砂泥
58	包含層			41.87	土師器	平安後期	10-199	茶褐色砂泥
59	包含層			41.83	土師器、須恵器、瓦器、輸入陶磁	平安後期	10-199	
60	包含層			42.13	土師器、瓦	平安後期	10-199	茶褐色砂泥

表11 太秦3地区(図23)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層			35.52	凝灰岩	平安時代	16-70	
2	包含層			32.52	土師器、灰釉陶器、瓦	平安後期	16-70	
3	土壌	2.70	1.50以上	36.59	土師器	室町時代	16-70	
4	包含層		0.20	35.90	土師器	平安後期	16-70	茶色泥砂
5	包含層		0.40	33.74	土師器、瓦	平安時代	16-70	茶灰色砂泥
6	表面採取			34.30	土師器	平安後期	16-70	
7	柱穴	0.30	0.40	35.31	土師器	平安時代	16-70	
8	包含層		0.30	35.27	土師器、瓦	平安後期	16-70	暗茶褐色砂泥
9	包含層		0.40	34.39	土師器	平安中期	16-70	淡茶褐色砂泥
10	柱穴	0.30	0.30	34.17	土師器	平安中期	16-70	
11	包含層		0.20	36.16	土師器	平安後期	16-70	茶褐色砂泥
12	包含層		0.20	33.33	土師器	平安前期	16-70	茶褐色砂泥
13	包含層		0.20	32.64	須恵器	古墳後期	16-70	茶褐色砂泥
14	包含層		0.30	32.32	土師器	古墳後期	16-70	暗黄褐色砂泥
15	土壌	1.10	0.50	32.94	炭、焼土	古墳後期	16-70	焼土壌
16	包含層		0.25	32.75	緑釉陶器	平安中期	16-70	茶灰色砂泥
17	包含層			35.52	瓦	平安時代	16-70	
18	包含層			35.00	須恵器	奈良時代	16-67	
19	土壌	0.40	0.50	32.70	土師器	平安後期	16-67	焼土壌
20	包含層		0.30	32.57	土師器	古墳後期	16-67	暗褐色砂泥
21	土壌	0.70	0.60	36.99	土師器、瓦、須恵器	奈良時代	16-67	
22	土壌	0.70	0.60	36.99	土師器、瓦	奈良時代	16-67	
23	包含層		0.20	37.17	瓦	奈良時代	16-67	暗黄色砂泥

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
24	包含層		0.20	36.94	土師器、須恵器	奈良時代	16-67	暗黄色砂泥
25	包含層		0.20	36.86	土師器	奈良時代	16-67	赤褐色砂泥
26	包含層		0.20	36.77	土師器、瓦	奈良時代	16-67	暗黄色砂泥
27	包含層		0.20	36.86	土師器、瓦	奈良時代	16-67	暗黄色砂泥
28	包含層		0.15	36.18	土師器、須恵器	奈良時代	16-67	暗黄色砂泥
29	土壌	1.00	0.60	36.26	土師器、瓦	奈良時代	16-67	
30	溝	10.0以上	1.00以上	36.04	土師器、須恵器	古墳後期	16-67	南北方向の流路
31	包含層		0.20	35.94	土師器、須恵器	飛鳥時代	16-67	暗黄色砂泥、焼土を含む
32	包含層			37.19	土師器	古墳後期	16-67	
33	包含層		0.20	36.71	土師器	平安時代	16-67	淡茶色砂泥
34	包含層		1.10	37.08	土師器、須恵器、瓦	平安後期	16-67	茶褐色砂泥
35	包含層		0.40	36.12	土師器、瓦、凝灰岩	平安後期	16-67	黄色砂泥
36	包含層		0.20	36.47	土師器、須恵器、瓦器、瓦	平安後期	16-67	黄色砂泥
37	土壌	3.30	1.30	36.46	土師器、緑釉陶器	平安前期	16-67	
38	土壌	0.30	0.20	35.96	土師器、須恵器	平安後期	16-67	
39	柱穴	0.20	0.40	36.16	土師器	平安後期	16-67	
40	包含層		0.30	36.38	須恵器、瓦、瓦器	平安後期	16-67	淡黄色砂泥
41	土壌	6.20	0.70	36.49			16-67	
42	包含層		0.20	36.67	土師器、瓦	奈良時代	16-67	茶褐色砂泥
43	包含層			36.90	須恵器	平安後期	16-67	
44	包含層		0.25	35.94	土師器	古墳後期	16-67	暗黄色砂泥
45	包含層		0.20	36.26	瓦	奈良時代	16-67	暗黄色砂泥
46	土壌	1.00	0.20	36.26	土師器	古墳後期	16-67	焼土壌
47	包含層			36.57	土師器	平安時代	16-67	
48	包含層			32.40	須恵器、瓦	平安時代	16-67	
49	包含層			33.13	瓦	平安時代	16-67	
50	包含層		0.60	32.53	土師器、須恵器	古墳後期	16-67	
51	包含層		0.30	32.62	土師器、須恵器	古墳後期	16-67	
52	柱穴	0.30	0.40	36.16	土師器	古墳後期	16-67	
53	包含層			36.16	土師器、須恵器、瓦	時代複合	16-67	古墳、平安、室町
54	土壌		0.60	32.59	須恵器、瓦	奈良時代	16-67	
55	包含層		0.60	36.36	土師器、須恵器	平安後期	16-67	
56	包含層		0.20	36.24	瓦、土師器	平安時代	16-67	茶灰色砂泥
57	包含層		0.20	36.57	土師器	平安時代	16-67	茶褐色砂泥
58	包含層		0.50	35.84	土師器	古墳後期	16-67	茶色砂泥
59	溝	3.20	1.60	36.69		平安時代	16-67	東西方向、土層から時期推定
60	包含層		0.20	37.38	土師器	平安時代	16-67	茶黄色砂泥
61	包含層		0.40	35.95	土師器	平安時代	15-8	濃黄色砂泥
62	包含層		0.40	33.55	土師器	平安時代	15-8	茶褐色砂泥
63	包含層		0.60	33.50	土師器	平安時代	15-8	茶褐色砂泥
64	包含層		1.00	33.04	土師器	平安時代	15-8	茶色粘土
65	包含層		0.15	35.84	土師器、炭	平安前期	15-8	暗黄色砂泥
66	包含層		0.45	36.14	土師器	奈良時代	15-8	暗茶色砂泥
67	包含層		0.30	36.27	土師器	古墳後期	15-8	暗茶色砂泥
68	包含層		0.30	35.52	土師器	古墳後期	15-8	暗黄色砂泥
69	包含層		0.20	35.24	須恵器	平安中期	15-8	茶褐色砂泥
70	包含層		0.70	35.27	土師器、須恵器	古墳後期	15-8	茶褐色砂泥
71	包含層		0.30	35.17	土師器	平安時代	15-8	茶褐色泥砂
72	包含層		0.40	31.75	土師器	平安後期	15-8	茶褐色砂泥
73	包含層		0.70	31.79	土師器	平安後期	15-8	茶褐色砂泥
74	包含層		0.70	31.54	土師器	平安後期	15-8	茶褐色砂泥
75	包含層		0.20	31.90	土師器	平安後期	15-8	茶褐色砂泥

表12 太秦4地区(図24)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.20	39.55	土師器、須恵器、瓦	平安前期	16-46	黄褐色砂泥
2	包含層		0.30	39.85	土師器、瓦	平安後期	16-46	茶褐色砂泥
3	溝	3.00	1.10	39.85			16-46	東西方向
4	包含層		0.40	39.24	土師器	平安後期	16-46	茶褐色砂泥
5	包含層		0.50	38.91	土師器、瓦	平安後期	16-46	茶褐色泥砂
6	包含層		0.50	38.91	土師器	平安時代	16-46	茶褐色泥砂
7	包含層		0.25	39.11	瓦	平安時代	16-46	茶褐色砂泥
8	包含層		0.60	38.76	瓦	平安時代	16-46	黄褐色砂泥
9	包含層		0.70	38.70	瓦	平安後期	16-46	淡茶褐色泥砂
10	包含層			42.69	瓦	平安時代	16-46	
11	包含層			42.70	須恵器	平安時代	16-46	
12	包含層		0.30	42.40	瓦	平安時代	16-46	茶褐色砂泥
13	包含層			42.85	土師器、瓦	平安後期	16-46	
14	包含層			42.85	凝灰岩	平安時代	16-46	
15	包含層		0.55	39.32	土師器	平安時代	16-46	茶褐色砂泥
16	包含層			39.91	鑄型、埴塙	平安時代	16-46	
17	包含層		0.30	39.52	土師器	平安後期	16-46	淡茶色泥砂
18	包含層			40.35	瓦	平安時代	16-46	
19	包含層			42.89	須恵器、軒瓦、瓦	平安時代	16-46	
20	溝	1.50	0.50	44.55			10-176	東西方向
21	溝	1.20	0.70	44.68			10-176	東西方向
22	溝		0.70	42.64			10-176	南北方向の大溝
23	溝	3.00	0.70	42.13			10-176	東西方向
24	包含層		0.25	42.55	土師器、埴塙	平安前期	10-176	茶褐色砂泥
25	包含層		1.10	42.44	土師器、須恵器、緑釉陶器	平安前期	10-176	茶褐色砂泥
26	包含層		0.20	42.39	土師器、瓦	平安後期	10-176	茶灰色砂泥
27	包含層		0.20	42.08	土師器、須恵器、灰釉陶器	平安時代	10-176	暗茶灰色砂泥
28	包含層		0.10	42.07	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、磁器、瓦	平安中期	10-176	茶灰色砂泥
29	溝	5.70	0.70	41.19			10-176	東西方向
30	土壌	3.00	0.80	40.80			10-176	
31	包含層		0.35	42.55	土師器	平安時代	10-176	茶褐色砂泥
32	土壌	2.00	0.40	42.25		平安時代	10-176	土層から時期推定
33	土壌	1.60	0.20	42.23		平安時代	10-176	土層から時期推定
34	溝	4.80	0.50	42.14		平安時代	10-176	南北方向、土層から時期推定
35	溝	3.00	1.10以上	43.10	須恵器	平安中期	10-196	36と同一、南北方向
36	溝	3.00	1.10以上	44.04	土師器、黒色土器	平安中期	10-196	35と同一、南北方向
37	包含層			41.04	瓦	平安時代	10-196	
38	土壌	0.80	0.50	40.35			10-196	
39	土壌	0.40	0.40	40.33	瓦	平安後期	10-196	
40	溝	4.60	0.50	44.09	土師器、須恵器	古墳後期	10-196	南北方向
41	包含層		0.60	44.66	土師器、須恵器	平安後期	10-196	茶褐色砂泥
42	包含層		0.80	44.37	土師器、須恵器	平安中期	10-196	茶褐色砂泥
43	溝		0.90	43.24	瓦	平安時代	10-196	東西方向
44	包含層		0.50	43.31	土師器、緑釉陶器	平安中期	10-196	茶褐色砂泥
45	包含層		0.80	43.01	土師器	奈良時代	10-196	暗褐色砂泥
46	包含層		0.20	43.53	土師器、瓦	奈良時代	10-196	茶灰色砂泥
47	包含層		0.40	43.33	土師器、瓦	奈良時代	10-196	茶褐色砂泥
48	包含層			43.73	土師器、須恵器	奈良時代	10-196	
49	包含層			43.73	土師器	平安後期	10-196	
50	井戸	1.80	1.00	43.17		平安時代	10-196	井側は未検出
51	井戸	2.00	0.80	42.27		平安時代	10-196	井側は未検出
52	包含層			43.37	土師器、須恵器	平安時代	10-196	
53	包含層		0.70	42.67	須恵器	古墳後期	10-196	茶褐色砂泥
54	包含層			43.35	青磁、金属製品	平安後期	10-196	
55	包含層		0.50	43.30	土師器、須恵器、白磁	平安後期	10-196	茶褐色砂泥
56	包含層			43.21	土師器	平安後期	10-196	
57	溝	1.50	0.30	42.51	土師器	平安後期	10-196	南北方向
58	包含層		0.60	41.84	土師器、輸入陶器、須恵器	奈良時代	10-196	茶褐色砂泥

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
59	溝	0.50	0.50	41.59	土師器、瓦器	平安後期	10-196	
60	土壇	1.10	0.80	41.56	土師器、須恵器、緑釉陶器	平安前期	10-196	
61	包含層		0.30	41.81	土師器、瓦	平安中期	10-196	茶褐色砂泥
62	包含層		0.30	40.76	土師器	平安後期	10-196	茶褐色砂泥
63	包含層			41.25	土師器、須恵器、瓦	平安中期	10-196	
64	土壇	0.80	0.70	40.60			10-196	
65	溝	1.00	0.40	42.30			10-196	南北方向
66	溝	0.80	0.40	44.03			10-196	南北方向
67	溝	2.70	0.70	44.63			10-196	南北方向の流路
68	包含層		0.20	44.89	瓦	平安時代	10-196	茶褐色砂泥
69	溝	1.20	0.30	45.42			10-196	南北方向
70	溝	2.00	0.50	44.62			10-196	南北方向
71	土壇	1.30	0.50	44.56			10-196	
72	包含層		0.30	44.37	土師器	平安時代	10-196	茶灰色砂泥
73	溝	1.60	0.70	45.34			10-196	南北方向
74	包含層		0.40	45.07	土師器	平安時代	10-196	茶褐色砂泥
75	包含層		0.30	46.78	土師器	平安時代	10-196	茶灰色泥砂

表13 太秦5地区(図25)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.75	30.61	土師器	平安時代	15-22	茶灰色泥砂、炭を含む
2	包含層		1.00	30.27	瓦	奈良時代	15-22	茶灰色泥砂
3	土壇	0.80	1.20	30.44	瓦	奈良時代	15-22	焼け瓦多い
4	包含層		0.60	31.12	瓦	奈良時代	15-22	暗灰色泥土
5	包含層		0.80	30.37	瓦	奈良時代	15-22	灰色泥土
6	包含層		0.90	31.10	瓦	奈良時代	15-22	暗灰色泥土、北西からの流路
7	包含層			30.61	土師器	古墳後期	15-22	淡黄色粘土
8	溝		0.90	30.81			15-22	東西方向
9	包含層		0.50	30.86	土師器	古墳後期	15-22	暗茶灰色泥砂
10	包含層		0.60	30.77	土師器、瓦	飛鳥時代	15-22	茶褐色砂泥
11	包含層		0.50	31.14	土師器、須恵器、瓦	飛鳥時代	15-22	茶灰色砂泥
12	溝		0.30	30.19	土師器、須恵器	飛鳥時代	15-22	北西からの流路
13	土壇	3.50	0.20	30.59	土師器、瓦	奈良時代	15-22	
14	土壇	1.20	0.20	30.49	土師器、須恵器、瓦	奈良時代	15-22	
15	包含層		0.80	30.55	土師器、瓦	奈良時代	15-22	茶褐色砂泥
16	包含層		0.20	30.96	瓦	奈良時代	15-22	灰色泥砂
17	包含層		1.00	31.24	瓦	奈良時代	15-22	灰色泥砂
18	包含層		0.50	31.73	瓦	奈良時代	15-22	黄褐色泥砂
19	包含層		0.40	31.86	瓦	奈良時代	15-22	淡黄灰色泥砂
20	包含層		0.30	30.91	土師器、須恵器、瓦	奈良時代	15-22	暗灰色砂泥
21	包含層		0.10	31.02	土師器、瓦	奈良時代	15-22	青灰色粘土
22	包含層		0.85	30.87	瓦	奈良時代	15-22	暗黄灰色泥砂
23	包含層		1.00	30.27	瓦	奈良時代	15-22	暗黄灰色泥砂、重孤文軒平瓦
24	包含層		1.00	31.96	須恵器、瓦	奈良時代	15-22	茶灰色砂泥
25	溝	1.50	0.50	31.78	土師器、須恵器、瓦	奈良時代	15-22	南北方向
26	土壇	0.70	0.40	30.46	瓦	奈良時代	15-22	
27	土壇	1.60	1.30	30.85	土師器	古墳時代	15-22	炭、小礫を含む
28	包含層		0.90	30.62	瓦	奈良時代	15-22	茶褐色砂泥
29	包含層		0.80	30.66	瓦	奈良時代	15-22	茶褐色砂泥
30	包含層		0.40	30.92	土師器	奈良時代	15-22	茶灰色砂泥
31	包含層		0.80	30.39	瓦、鈹滓	奈良時代	15-22	茶灰色砂泥
32	包含層			30.87	瓦	奈良時代	15-22	
33	包含層		0.20	30.67	土師器	古墳時代	15-22	茶褐色泥砂
34	包含層		0.75	31.05	土師器、瓦	奈良時代	15-22	茶褐色砂泥
35	溝		0.90	30.80			15-22	黄褐色砂泥、南北流路
36	包含層			31.30	瓦	奈良時代	15-22	
37	包含層		0.50	30.80	土師器、瓦	奈良時代	15-22	茶灰色泥砂
38	包含層		0.45	30.95	土師器	古墳時代	15-22	暗褐色砂泥、炭を含む
39	包含層		0.60	31.21	土師器	平安時代	15-9	淡茶色砂泥

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
40	包含層		0.60	31.16	土師器	平安時代	15-9	茶色粗砂
41	包含層		0.30	31.58	弥生土器	弥生時代	15-9	茶褐色砂泥、畿内IV様式
42	包含層		0.20	31.48	弥生土器	弥生時代	15-9	黄灰色砂泥、畿内IV様式
43	包含層		0.05	31.69	土師器	平安時代	15-9	茶灰色泥砂
44	包含層		0.45	31.40	土師器	古墳前期	15-9	茶灰色泥砂、庄内式
45	包含層		0.40	30.60	瓦	平安前期	15-9	淡茶色砂泥
46	包含層		1.00	30.70	土師器	古墳前期	15-9	暗茶褐色砂泥、庄内式
47	包含層		1.00	30.60	弥生土器、土師器、須恵器	時代複合	15-9	茶褐色砂泥、弥生時代(畿内IV様式)、古墳前期
48	包含層		0.50	30.80	土師器	平安前期	15-9	茶灰色砂泥
49	包含層		0.50	30.77	土師器	平安前期	15-9	茶褐色砂泥
50	包含層		1.00	30.30	土師器	平安前期	15-9	暗茶褐色砂泥
51	包含層		1.00	30.15	土師器	平安前期	15-9	暗茶褐色砂泥
52	包含層		1.05	31.28	土師器	古墳前期	15-9	茶褐色砂泥
53	包含層		1.00	30.76	土師器	平安前期	15-9	茶褐色砂泥
54	包含層		0.90	30.78	土師器	古墳前期	15-9	茶褐色砂泥
55	包含層		0.40	32.48	土師器	平安時代	15-7	茶褐色砂泥
56	路面		0.30	32.38			15-7	古道
57	路面		0.40	32.44			15-7	古道
58	包含層		0.35	31.70	土師器	平安時代	15-7	茶灰色砂泥
59	包含層		1.00	32.19	土師器	平安時代	15-5	黒褐色砂泥
60	包含層		0.60	32.52	土師器、炭	平安時代	15-5	茶黄色粘土
61	包含層		0.60	32.41	土師器	平安時代	15-5	暗茶色泥砂
62	包含層		0.80	32.09	土師器	平安時代	15-5	暗黄色粘土
63	包含層		0.90	31.70	土師器	平安時代	15-8	茶褐色砂泥
64	包含層		1.20	32.17	土師器	平安時代	15-8	茶褐色砂泥
65	包含層		0.60	32.11	土師器、炭	平安時代	15-8	暗褐色砂泥
66	包含層		0.50	32.41	土師器	平安時代	15-8	茶色泥砂
67	包含層		0.85	32.23	土師器	平安時代	15-8	淡茶色泥砂
68	包含層		0.70	32.27	瓦	平安後期	15-8	暗茶色泥砂
69	包含層		0.75	31.75	土師器	平安時代	15-8	暗茶色泥砂
70	包含層		0.80	32.27	土師器	平安時代	15-8	茶色泥砂
71	包含層		0.60	32.23	土師器	平安時代	15-8	淡茶色泥砂
72	包含層		0.30	33.14	土師器	平安後期	15-8	茶灰色砂泥
73	包含層		0.45	33.12	土師器	平安時代	15-8	茶灰色砂泥
74	包含層		0.50	33.36	土師器	平安時代	15-8	茶灰色砂泥
75	包含層		0.65	33.16	土師器	平安時代	15-8	茶灰色砂泥
76	包含層		0.90	33.71	土師器	平安前期	15-8	黄褐色砂泥
77	包含層		0.25	33.28	土師器、須恵器、瓦	平安前期	15-8	黄褐色砂泥
78	包含層		0.95	33.59	土師器、瓦	奈良時代	15-8	黄褐色砂泥
79	包含層		1.20	33.14	土師器、須恵器、瓦器	平安後期	15-8	暗茶色砂
80	包含層		0.30	32.93	土師器	平安後期	15-8	暗黄色粘土
81	包含層		0.30	32.86	土師器、須恵器	平安時代	15-8	暗茶色泥砂
82	包含層		1.40	32.74	土師器、須恵器、瓦	平安時代	15-8	暗黄色泥砂
83	包含層		0.70	32.48	土師器	平安時代	15-8	暗茶色砂泥
84	包含層		0.50	32.13	須恵器、瓦	平安時代	15-8	茶黄色砂泥
85	包含層		0.20	33.53	土師器	平安時代	15-8	茶色泥砂
86	包含層		1.20	33.14	瓦	平安時代	15-8	暗茶色泥砂
87	包含層		0.50	32.09	土師器	平安時代	15-8	茶褐色砂泥
88	包含層		0.55	33.08	土師器	平安時代	15-8	淡茶色砂泥
89	包含層		0.50	32.06	土師器	平安後期	15-8	茶灰色砂泥
90	包含層		0.60	32.03	土師器	平安後期	15-8	茶灰色砂泥
91	包含層		0.50	31.73	須恵器	平安後期	15-7	灰色泥土
92	包含層		0.70	31.28	土師器、炭	平安時代	15-7	茶灰色泥砂
93	包含層			32.00	瓦	平安時代	15-7	
94	包含層		0.20	31.90	土師器、須恵器	平安後期	15-7	灰色泥土
95	包含層		0.40	30.86	土師器	平安時代	15-7	茶色泥砂
96	包含層		0.40	31.90	土師器	平安時代	15-7	茶色泥砂
97	包含層		0.30	32.87	石材	古墳後期	15-8	暗黄色泥砂
98	包含層		0.30	32.57	土師器、須恵器	古墳後期	15-8	暗茶色泥砂
99	包含層		0.40	32.50	土師器	古墳後期	15-8	暗黄灰色泥砂

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
100	包含層		0.40	32.55	土師器	古墳後期	15-8	暗黄色泥砂
101	包含層		0.50	32.21	土師器	古墳後期	15-8	黄灰色砂泥
102	包含層		0.40	32.17	土師器	古墳後期	15-8	淡黄色泥砂

表14 太秦6地区(図26)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.40	38.78	土師器	平安時代	9-45	黒灰色泥砂
2	土壌	0.40以上	0.20	39.54	土師器	平安時代	9-45	
3	土壌	不明	1.30	39.17			9-45	
4	包含層		0.10	42.84	土師器	平安時代	9-45	黒褐色泥砂
5	包含層		0.20	41.61	土師器	平安時代	9-45	黒褐色泥砂
6	包含層		0.25	44.12	土師器	平安時代	9-45	黒褐色泥砂
7	包含層		0.30	44.12	土師器	平安時代	9-45	茶色泥砂
8	土壌	1.20	0.40	43.92	土師器		9-45	
9	土壌	0.80	0.20	43.60	土師器		9-45	
10	包含層		0.10	37.22	土師器	平安後期	9-29	暗灰色泥砂
11	包含層		0.40	37.34	土師器	平安後期	9-29	濃茶色泥砂
12	包含層		0.30	35.58	土師器	平安後期	9-29	黒色泥砂
13	包含層		0.40	35.46	土師器	平安後期	9-29	茶褐色泥砂
14	包含層		0.60	35.26	土師器	平安後期	9-29	茶灰色泥砂
15	包含層		0.20	35.78	土師器	平安後期	9-29	茶灰色泥砂
16	包含層		0.60	35.62	土師器、瓦器	平安後期	9-29	暗茶色泥砂
17	包含層		0.40	36.08	土師器	平安後期	9-29	茶色泥砂
18	包含層		0.40	35.88	土師器	平安後期	9-29	暗茶色泥砂
19	包含層		0.05	26.58	土師器	平安後期	9-29	茶色泥砂
20	土壌	0.90	0.50	36.69			9-29	
21	土壌	0.60	0.50	36.75			9-29	
22	包含層		0.90	33.33	土師器	平安時代	9-29	茶色泥砂
23	包含層		0.90	33.61	土師器	平安時代	9-29	茶灰色泥砂
24	土壌	0.90	0.60	49.03	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
25	包含層		0.50	48.84	土師器	平安後期	10-139	黒褐色砂泥
26	溝	0.90	0.90	48.84			10-139	
27	土壌	1.80以上	0.60	48.24	土師器、白磁	平安後期	10-139	
28	土壌	2.20	1.70	48.24		平安後期	10-139	土層から時期推定
29	包含層		0.20	47.36	土師器、須恵器	平安後期	10-139	茶灰色砂泥
30	包含層		0.25	48.40	土師器	平安後期	10-139	茶褐色砂泥
31	包含層		0.40	48.17	土師器	平安後期	10-139	茶褐色砂泥
32	包含層		0.25	47.43	土師器	平安後期	10-139	茶褐色砂泥
33	土壌	0.80	0.90	47.57		平安時代	10-139	土層から時期推定
34	包含層		0.20	47.58	土師器	平安後期	10-139	暗茶色泥砂
35	土壌	1.00	1.20	47.65			10-139	
36	土壌	0.60	1.20	47.65			10-139	
37	包含層		0.30	48.00	土師器	平安後期	10-139	茶色泥砂
38	土壌	0.80	0.50	47.42		平安時代	10-139	土層から時期推定
39	包含層		0.30	47.07	土師器	平安後期	10-139	茶褐色泥砂
40	土壌	1.00	0.70	46.67		平安後期	10-139	土層から時期推定
41	土壌	2.50	0.40	46.50	土師器		10-139	
42	土壌	1.50以上	0.90	46.82		平安後期	10-139	土層から時期推定
43	土壌	1.50	0.60	44.80		平安後期	10-139	土層から時期推定
44	土壌	1.00	0.50	44.80			10-139	
45	土壌	1.00	0.90	44.84			10-139	
46	溝	0.80	0.70	44.48		平安後期	10-139	土層から時期推定
47	土壌	0.50	0.50	44.62			10-139	
48	土壌	1.80	0.50	49.63			10-139	
49	土壌	1.70	0.20	49.60			10-139	
50	路面		1.00	49.26			10-139	古道
51	路面		0.60	48.94			10-139	古道
52	路面		0.40	48.92			10-139	古道
53	路面		0.40	48.84			10-139	古道

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
54	包含層		0.70	48.26	土師器	平安後期	10-139	暗黄色砂泥
55	包含層		0.20	51.78	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
56	包含層		0.40	52.17	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
57	土壌	1.00	0.30	51.87			10-139	
58	包含層		0.10	51.80	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
59	包含層		0.10	51.71	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
60	包含層		0.10	51.70	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
61	包含層		0.20	51.52	土師器	平安後期	10-139	暗褐色砂泥
62	土壌	1.10	0.40	52.18			10-139	
63	土壌	1.60	0.50	51.83			10-139	
64	土壌	1.60	0.50	52.32			10-139	
65	包含層		0.20		土師器	平安後期	10-139	褐色砂泥
66	包含層		0.25		土師器	平安後期	10-139	褐色砂泥
67	包含層		0.20		土師器	平安後期	10-139	褐色砂泥
68	土壌	1.70	1.30	44.33			9-36	暗褐色砂泥
69	包含層		0.15	48.03	土師器	平安後期	9-36	暗褐色砂泥
70	包含層		0.40	50.04	土師器	平安後期	9-36	暗褐色砂泥
71	土壌	0.60	0.50	50.16			9-36	
72	土壌	1.00	0.80	49.63	土師器、磁器、陶器	平安後期	9-36	
73	土壌	1.70	1.00	49.33		平安後期	9-36	
74	包含層		0.50	45.01	土師器	平安後期	9-36	暗褐色砂泥
75	路面		0.30	45.37			9-36	古道
76	路面		0.30	46.00			9-36	古道
77	土壌	2.40	0.40	48.64		平安後期	9-36	土層から時期推定
78	土壌	2.30	0.90	49.33		平安後期	9-36	土層から時期推定
79	包含層		0.30	50.57	土師器	平安後期	9-36	茶褐色砂泥
80	包含層		0.30	51.30	土師器	平安後期	9-36	茶褐色砂泥
81	包含層		0.70	50.96	土師器	平安後期	9-36	暗褐色砂泥
82	土壌	3.50	0.80	50.71		平安後期	9-36	土層から時期推定
83	路面		0.30	50.80			9-36	古道
84	包含層		0.80	49.74	土師器	平安後期	9-36	暗褐色砂泥
85	土壌	1.60	0.40	43.64		平安後期	9-36	土層から時期推定
86	土壌	0.30	0.40	43.64		平安後期	9-36	
87	土壌	0.50	0.40	44.86		平安後期	9-36	
88	土壌	0.90	0.70	44.88		平安後期	9-36	
89	土壌	3.30以上	1.00	42.26		平安後期	9-36	
90	土壌	1.00	0.30	47.30		平安後期	9-36	
91	土壌	不明	0.70	47.52		平安後期	9-36	
92	土壌	1.30	0.30	44.48		平安後期	9-36	
93	溝	3.50	1.20	44.84			9-36	南北方向
94	土壌	1.00	0.50	46.75		平安後期	9-36	
95	土壌	0.90	0.60	47.74		平安後期	9-36	
96	土壌	1.50	0.30	47.76		平安後期	9-36	
97	土壌	1.00	0.40	50.54		平安後期	9-36	
98	土壌	1.90	0.70	49.04		平安後期	9-36	
99	土壌	0.70以上	1.10	49.04		平安後期	9-36	
100	土壌	3.60	1.60	49.34		平安後期	9-36	
101	土壌	1.40	1.00	49.26		平安後期	9-36	
102	土壌	2.90	0.70	49.16		平安後期	9-36	
103	土壌	2.00	0.70	49.54		平安後期	9-36	
104	土壌	1.20以上	0.50	49.60		平安後期	9-36	
105	土壌	2.50	0.60	49.40		平安後期	9-36	
106	土壌	0.60	0.20	42.81		平安時代	9-37	
107	土壌	1.00	0.40	43.74		平安時代	9-37	
108	土壌	0.50	0.50	43.84		平安時代	9-37	
109	土壌	1.00	0.40	44.89		平安時代	9-37	
110	土壌	1.20	0.50	44.89		平安後期	9-37	
111	土壌	1.10	0.70	43.96		平安時代	9-37	
112	溝	4.00以上	1.30	43.69			9-37	南北方向
113	包含層		0.10	45.47	土師器	平安後期	9-37	黒褐色泥砂
114	土壌	1.10	0.30	45.17		平安後期	9-37	土層から時期推定

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
115	土壌	0.90	0.30	45.17		平安後期	9-37	
116	土壌	0.80以上	0.60	45.17		平安後期	9-37	
117	包含層		0.10	47.94	土師器	平安後期	9-37	黒褐色泥砂
118	包含層		0.70	47.99	土師器、青磁、炭	平安後期	9-37	茶褐色泥砂
119	溝	不明	0.90	47.99			9-37	東西方向
120	土壌	1.60	0.40	48.75	土師器	平安後期	9-37	
121	包含層		0.40	48.51	土師器	平安時代	9-37	茶色泥砂
122	包含層		0.10	49.12	土師器、炭	平安時代	9-37	茶灰色泥砂
123	包含層		0.60	48.11	土師器、輸入磁器	平安後期	9-37	黄褐色泥砂
124	土壌	0.80以上	0.70	37.40			9-33	
125	包含層		0.30	36.35	土師器	平安時代	9-33	暗茶色泥砂
126	包含層		0.20	40.86	土師器	平安時代	9-33	暗茶色泥砂
127	包含層		0.60	39.50	土師器	平安後期	9-33	茶色泥砂
128	土壌	1.40	1.60	39.05	土師器	平安後期	9-33	
129	包含層		0.20	39.71	土師器	平安後期	9-33	黒灰色泥砂
130	土壌	1.40	1.30	38.91			9-33	
131	土壌	1.40	1.30	38.19			9-33	
132	土壌	1.40	0.80	38.38			9-33	
133	包含層		0.05	38.91	土師器	古墳後期	9-33	暗茶色泥砂
134	包含層		0.45	38.73	土師器、須恵器	古墳後期	9-33	黒灰色泥砂
135	包含層		0.35	39.05	土師器	平安後期	9-33	黒灰色泥砂
136	包含層		0.40	39.21	土師器	平安後期	9-33	黒灰色泥砂
137	土壌		0.70	39.13	土師器	古墳後期	9-33	
138	土壌	1.10	1.00	38.12			9-33	
139	包含層		0.60	39.62	土師器	平安後期	9-33	黒褐色泥砂
140	包含層		0.40	39.82	土師器	平安後期	9-33	黒褐色泥砂
141	土壌	1.30	1.30	39.47		平安時代	9-33	
142	柱穴	1.30	0.40	40.27		平安時代	9-33	
143	包含層		0.20	40.07	土師器	古墳後期	9-33	茶色泥砂
144	土壌	0.90	0.90	40.07		平安時代	9-33	
145	土壌	0.90	0.90	40.27			9-33	
146	土壌	0.90	0.70	40.27			9-33	
147	土壌	0.90	0.50	40.27			9-33	
148	土壌		0.60	40.27		平安時代	9-33	
149	土壌	1.00	0.90	40.27		平安時代	9-33	
150	土壌		1.30	40.07		平安時代	9-33	
151	包含層		0.90	37.97	土師器、須恵器	古墳後期	9-33	茶黒色泥砂
152	包含層		0.70	38.12	土師器、青磁	平安時代	9-33	茶黒色泥砂
153	包含層		0.30	38.57	土師器、炭	平安時代	9-33	茶黒色泥砂
154	土壌	1.10	1.20	38.20		平安時代	9-33	
155	土壌	1.00	1.10	38.20		平安時代	9-33	
156	土壌	1.20	1.00	39.29		平安時代	9-33	
157	包含層		0.20	40.86	土師器	平安時代	9-33	暗茶色泥砂
158	土壌	1.20	0.80	39.11		平安時代	9-33	
159	土壌	0.90	1.00	39.12		平安時代	9-33	
160	包含層		0.20	39.12	土師器、炭	平安時代	9-33	茶灰色泥砂
161	土壌	3.30	0.80	39.13		平安時代	9-33	
162	包含層		0.20	37.05	土師器	平安時代	9-33	暗茶色泥砂
163	包含層		0.20	38.96	土師器	平安時代	9-33	茶色泥砂
164	土壌	0.80	0.60	38.46		平安時代	9-33	
165	包含層		0.20	35.11	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
166	包含層		0.55	34.81	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
167	包含層		0.40	35.23	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
168	包含層		0.90	34.80	土師器	平安後期	9-33	茶色泥砂
169	包含層		0.20	34.96	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
170	土壌	0.90	0.70	39.76		平安時代	9-33	
171	包含層		0.20	40.29	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
172	土壌	1.20	1.00	39.99		平安後期	9-33	
173	土壌	0.60	0.60	41.77		平安後期	9-33	
174	土壌	0.60	0.50	41.87		平安後期	9-33	
175	土壌	0.80	0.90	41.76		平安後期	9-33	

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
176	包含層		0.40	41.44	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
177	包含層		0.20	43.50	土師器	平安後期	9-33	茶色泥砂
178	包含層		0.10	43.81	土師器	平安後期	9-33	暗茶色泥砂
179	包含層		0.40	42.04	土師器	平安後期	9-33	茶色泥砂
180	土壌	0.80	1.50	42.37		平安後期	9-33	
181	包含層		0.40	40.76	土師器	平安後期	9-33	
182	包含層		0.15	41.45	土師器、炭	平安後期	9-33	暗灰色泥砂
183	土壌	0.90	0.70	41.03		平安後期	9-33	
184	土壌	1.10	0.60	41.03		平安後期	9-33	
185	土壌	1.00	0.60	40.14		平安後期	9-33	
186	土壌	1.80	0.80	40.00		平安後期	9-33	
187	包含層		0.25	41.16	土師器	平安時代	9-33	暗灰色泥砂
188	土壌	1.00	0.70	42.61	土師器	平安後期	9-33	
189	土壌	1.00	0.60	42.44		平安後期	9-33	長方形
190	土壌	0.60以上	0.80	42.44		平安後期	9-33	
191	土壌	0.90	1.20	36.28		平安後期	9-33	
192	包含層		0.20	37.45	土師器	平安時代	9-33	暗茶色泥砂

表15 北嵯峨地区(図31)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	溝	0.30	0.20	74.38			1-1	東西方向
2	溝	1.35	0.50	73.77	炭		1-1	東西方向
3	土壌	0.50以上	0.35	73.73			1-1	2に切られる
4	土留め	3.30以上	0.15	70.43	木杭		1-1	
5	土壌	0.20	0.15	70.41			1-1	
6	包含層		0.15	69.59	土師器	平安時代	1-1	暗黄灰色砂泥
7	包含層		0.25	70.82	土師器	平安時代	1-1	暗灰色砂泥、2層
8	土壌	0.90	0.30	66.96			1-1	
9	土壌	0.60	0.80	66.46	ガラス	近代	1-1	
10	土壌	1.20	1.05	65.45			1-1	径0.3m大の石あり
11	包含層		0.20	63.50	土師器	室町前期	1-1	淡茶色砂泥
12	井戸	1.40	1.40以上	63.32	土師器	室町前期	1-1	石組み3段以上、内径0.9m
13	包含層		0.40	63.98	土師器、炭	室町後期	1-1	にぶい黄褐色砂泥
14	柱穴	0.40	0.65	63.23		室町後期	1-1	根石あり
15	土壌	1.60	0.50	63.03		室町以前	1-1	
16	柱穴	0.30	0.20	63.63		室町以前	1-1	根石あり
17	包含層		0.35	63.78	土師器	室町後期	1-1	にぶい黄褐色砂泥
18	包含層		0.25	93.78	土師器	室町後期	1-1	茶黄色砂泥、2層
19	包含層		0.30	63.81	土師器	室町前期	1-1	オリーブ灰色砂泥
20	包含層		0.40	63.70	土師器	室町前期	1-1	にぶい灰色砂泥、2層
21	土壌	0.80	0.95以上	63.43	土師器、須恵器	室町前期	1-1	須恵器は平安時代
22	土壌	1.70以上	0.35	62.91	土師器	平安前期	1-1	
23	土壌	2.00以上	0.75	62.02			1-1	
24	土壌	1.70	0.40	62.57			1-1	
25	土壌	0.40	0.15	60.54			1-1	腐植土
26	土壌	1.10	0.15	60.04			1-1	
27	路面		0.25	68.30			1-2	4層
28	路面		0.25	67.43	土師器小片		1-2	2層
29	路面		0.30	66.81	土師器小片		1-2	4層
30	堤		1.00	67.42		平安前期	1-2	31と同一
31	堤		0.60	67.04	土師器	平安前期	1-2	30と同一
32	池		0.70	66.78			1-2	溜池の埋土
33	池		0.40	66.61			1-2	オリーブ灰色砂泥
34	溝	0.80	0.60	67.42			1-2	南北方向
35	溝	1.30	0.45	66.97			1-2	南北方向
36	溝	1.40	0.45	67.58	土師器小片		1-2	南北方向
37	溝	0.80	0.55	67.45			1-2	南北方向
38	溝	1.65	0.65	67.24			1-2	南北方向
39	溝	1.20以上	0.55	67.93	焼締陶器、磁器	江戸時代	1-2	東西方向

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
40	土壌	1.80以上	0.80	67.62			1-2	東肩部
41	池	1.60以上	0.30	66.40			1-2	溜池の埋土、灰色砂泥
42	溝	3.00	1.75	68.29			1-2	東西方向
43	包含層		0.45	64.04	土師器	平安後期	1-2	暗茶色砂泥
44	包含層		0.25	63.88	土師器	平安後期	1-2	黒褐色砂泥
45	土壌	1.10	0.35	62.80		平安前期	1-2	地山に切り込む
46	包含層		0.40	62.94	土師器、須恵器、黒色土器	平安前期	1-2	黒褐色砂泥
47	包含層		0.35	63.01	土師器、須恵器、緑釉陶器	平安前期	1-2	茶色砂泥、2層
48	包含層		0.25	62.47	土師器	平安前期	1-2	黒褐色砂泥
49	土壌	3.00以上	0.75	61.92			1-2	南肩部
50	包含層		0.20	60.90	土師器	平安前期	1-2	茶褐色砂泥
51	包含層		0.30	60.90	土師器	平安前期	1-2	茶褐色砂泥
52	包含層		0.35	62.46	土師器	平安前期	1-2	暗褐色砂泥
53	溝	3.10	0.55	60.60		平安前期	1-2	東西方向
54	土壌	2.70以上	0.55	63.55	土師器小片、陶器		1-2	
55	流路	0.85以上	0.65	63.40			1-2	南北方向
56	土壌	0.50	0.20	63.35	土師器小片	平安前期	1-2	
57	土壌	1.20	0.45	63.23	瓦	平安前期	1-2	地山に切り込む
58	土壌	2.70	0.25	63.23			1-2	55を切る
59	土壌	0.90	0.35	63.00			1-2	地山に切り込む
60	土壌	0.65	0.45	62.90			1-2	地山に切り込む
61	土壌	0.20	0.25	62.90			1-2	地山に切り込む
62	流路	3.20以上	0.30以上	62.34			1-2	東肩部
63	包含層		0.35	62.69	須恵器	平安時代	1-2	暗灰色泥土
64	包含層		0.50	62.48	須恵器、瓦	平安時代	1-2	暗灰色砂泥、2層
65	土壌	1.30	1.00	61.55	土師器、瓦、漆器	桃山時代	1-2	平安前期の土師器を含む、割り石が多い
66	流路	4.70	0.70	61.06		江戸以前	1-2	南北方向
67	土壌	1.60	0.90	60.19	陶器	江戸時代	1-2	
68	流路	2.60	0.35	60.18			1-2	南北方向
69	土壌	1.20	0.20	60.11	瓦	平安時代	1-2	地山に切り込む
70	流路	2.10	0.30	60.08			1-2	南北方向
71	溝	0.50	0.35	60.08	土師器	室町前期	1-2	南北方向、西に振る
72	土壌	1.40	0.20	59.95			1-2	地山に切り込む
73	土壌	0.50	0.50	61.00			1-2	
74	包含層		0.20	61.20	土師器、瓦	室町後期	1-2	茶褐色砂泥
75	暗渠	0.40	0.40	60.54	瓦	室町時代	1-2	南北方向、径0.1~0.4m大の石が詰まる
76	包含層		0.40	60.46	土師器	平安時代	1-2	にぶい褐色砂泥
77	包含層		0.40	60.48	土師器、瓦、石製品、鉄片	平安後期	1-2	にぶい褐色砂泥
78	包含層		0.40	61.11	土師器、須恵器、瓦	平安後期	1-2	暗茶色砂泥
79	包含層		0.70	61.11	土師器	平安時代	1-2	茶色砂泥
80	土壌	2.40以上	0.45	60.75			1-2	地山に切り込む
81	包含層		0.20	61.67	土師器、瓦	室町後期	1-2	茶灰色砂泥
82	包含層		0.25	61.66	土師器、瓦	室町後期	1-2	茶灰色砂泥
83	土壌	3.60	0.65	61.25		江戸時代	1-2	
84	包含層		0.10	60.56	瓦、炭	平安時代	1-2	茶褐色砂泥
85	土壌	1.10以上	0.30	60.28	土師器、炭	平安後期	1-2	
86	包含層		0.25	59.62	土師器、炭	鎌倉時代	1-2	茶色砂泥
87	土壌	0.75以上	0.55	59.36	土師器、焼締陶器、瓦	鎌倉時代	1-2	
88	溝	0.40	0.35	59.13	土師器、陶器、染付、瓦	江戸時代	1-2	東西方向
89	土壌	3.20	0.15	58.87	軒瓦、瓦	江戸時代	1-2	
90	土壌	3.15	0.65	58.91	瓦	室町中期	1-2	
91	溝	1.10	0.55	59.14	瓦	江戸時代	1-2	石の蓋をする、北壁で検出
92	土壌	3.00以上	0.60	59.10	陶器、染付、棧瓦	江戸時代	1-2	西肩部、室町時代の遺物を含む
93	溝	1.80	0.75	59.08	土師器、須恵器、瓦	江戸時代	1-2	東西方向、中下層は平安前期
94	木樋	0.35	0.20	59.88			1-2	東西方向、杭あり
95	溝		0.80	59.05	土師器、染付、瓦、木杭	江戸時代	1-2	東西方向、平安時代の遺物を含む
96	包含層		0.30	58.92	土師器	平安時代	1-2	黄褐色砂泥、3層

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
97	包含層		0.15	58.77	土師器	平安時代	1-2	茶褐色泥砂
98	土壌	0.60	0.90	59.22			1-2	
99	流路	2.40以上	0.50	57.42		江戸以前	1-2	西肩部
100	包含層		0.80	59.04	土師器、須恵器	平安前期	1-2	茶褐色砂泥
101	包含層		0.65	59.11	土師器	平安前期	1-2	茶灰色泥砂
102	石組み	1.80以上	0.35	58.43		江戸以前	1-2	径0.5m大の石3個以上並ぶ
103	土壌	0.50	0.35	58.48	縄文土器	縄文中期	1-2	船元式
104	包含層		0.75	58.99	土師器	平安時代	1-2	茶灰色砂泥、2層
105	包含層		0.50	58.48	土師器	室町中期	1-2	茶色砂泥、2層
106	包含層		0.50	58.96	土師器、須恵器、瓦	平安前期	1-2	茶褐色砂泥、2層
107	包含層		0.10	59.09	土師器	平安前期	1-2	暗茶褐色砂泥
108	土壌	3.65以上	0.65	58.94	土師器、須恵器、緑釉陶器	平安前期	1-2	
109	流路	2.10	1.10	58.74			1-2	南北方向
110	土壌	0.50	0.25	58.74	瓦	室町中期	1-2	焼土を含む
111	溝	0.50以上	0.45	58.59			1-2	南北方向
112	包含層		0.15	59.37	土師器	室町前期	1-2	暗灰色泥砂
113	溝	0.90以上	0.75	59.17	土師器、瓦、木片	平安前期	1-2	東西方向に5m以上検出
114	包含層		0.40	59.22	土師器	平安後期	1-2	暗褐色泥砂
115	土壌	1.10	0.30	58.73	土師器	平安後期	1-2	
116	土壌	0.90	0.50	59.07			1-2	
117	包含層		0.30	59.24	土師器	平安後期	1-2	茶灰色泥砂
118	土壌	0.40	0.20	58.80			1-2	
119	土壌	0.30	0.10	58.69			1-2	
120	包含層		0.50	59.20	土師器、瓦器、炭	平安後期	1-2	暗褐色砂泥
121	溝	1.20以上	0.80	59.29	土師器、瓦	室町中期	1-2	南北方向
122	溝	0.50	0.25	58.84		室町以前	1-2	南北方向、121の下層に位置
123	土壌	2.00	0.30	59.60			1-2	径0.3m大の石が多い、溝の可能性もある
124	湿地	12.0以上	1.55	59.42	石材		1-2	0.6×0.4×0.4mの石材、礎石か
125	土壌	3.30	0.30	59.83	土師器	平安前期	1-2	
126	土壌	5.50	0.60	59.63	土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器、灰釉陶器、瓦、炭	平安前期	1-2	
127	土壌	3.90	0.95	59.68			1-2	
128	土壌	2.40	1.05	59.55	土師器、須恵器、緑釉陶器	平安前期	1-2	
129	湿地	2.50以上	0.35	58.83			1-2	暗灰色泥土
130	土壌	0.80以上	0.25	59.01	土師器、瓦	平安中期	1-2	
131	土壌	1.10	0.60	58.86	土師器、緑釉陶器	平安前期	1-2	
132	溝	1.40	0.40	58.82			1-2	東西方向
133	流路	4.40	0.60	59.94			1-2	東西方向
134	溝	1.40	0.65	59.55	土師器、須恵器、瓦	平安前期	1-2	東西方向、レンズ状堆積、東で北に振る
135	土壌	0.30	0.40	59.67			1-2	地山に切り込む
136	土壌	0.70	0.35	59.59			1-2	地山に切り込む
137	土壌	6.50	0.25	59.55	土師器、須恵器、緑釉陶器、輸入陶器、瓦、炭	平安前期	1-2	
138	土壌	3.80	0.50	63.69			1-8	
139	柱穴	0.40	0.60	62.94			1-8	
140	土留め		0.20	59.96	木杭	江戸時代	1-8	
141	土壌	0.50	0.35	59.48	磁器	江戸時代	1-8	
142	土壌	0.80	0.45	59.14		江戸時代	1-8	こぶし大の石が多い
143	路面		0.19	58.86		江戸時代	1-8	2層
144	包含層		0.30	62.18	土師器	平安時代	1-8	茶褐色砂泥
145	包含層		0.30	64.61	土師器	平安時代	1-8	黄茶色砂泥
146	包含層		0.39	61.93	土師器	平安時代	1-8	茶褐色砂泥
147	路面		0.15	61.25	棧瓦	江戸時代	1-10	2層
148	路面		0.25	60.92			1-10	3層
149	湿地	3.50以上	0.50	60.63		平安後期	1-10	151と同一
150	路面		0.15	60.45			1-10	2層
151	湿地	4.10以上	0.50	60.01		平安後期	1-10	149と同一、暗灰色砂泥
152	包含層		0.60	59.16	土師器	平安時代	1-10	暗灰色砂泥、3層

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
153	路面		0.20	59.24			1-10	2層
154	包含層		0.25	60.14	土師器	平安時代	1-10	茶灰色砂泥
155	包含層		0.20	58.11	土師器	平安後期	7-12	黄褐色砂泥
156	溝	1.60	0.80	57.20	瓦器	平安後期	7-12	南北方向に13m検出
157	溝	0.80	0.80	57.06			7-12	東西方向
158	池状遺構	2.20以上	0.85	57.07	瓦	江戸時代	7-12	径0.2m大の石を含む
159	路面		0.15	58.28			7-12	2層
160	路面		0.30	58.17			7-12	
161	溝	1.50以上	1.60	57.52	木杭		7-12	杭で護岸
162	池状遺構	1.80以上	1.60	57.52			7-12	暗灰色砂泥
163	池状遺構	2.00以上	0.90以上	56.98	土師器	平安後期	7-12	腐植土
164	土壌	0.40	0.15	58.10			7-12	
165	土壌	1.60	0.35	57.43			7-12	
166	溝	2.00以上	0.65	57.47	木杭		7-12	東西方向
167	土壌	1.50以上	0.05	56.90			7-12	
168	路面		0.15	57.73			7-12	2層
169	土壌	0.95以上	0.50	57.58			7-12	
170	土壌	1.15以上	0.30	57.31	瓦	江戸時代	7-12	
171	路面		0.10	57.37			7-12	2層
172	土壌		0.40	57.27			7-12	
173	路面		0.30	57.05			7-12	3層
174	路面		0.35	58.48			7-12	3層
175	路面		0.30	58.26			7-12	3層
176	路面		0.14	57.23			7-12	1層
177	土壌	0.40	0.20	57.18			7-12	
178	土壌	0.65	0.15	57.13	棧瓦	江戸時代	7-12	
179	路面		0.30	57.06			7-12	2層
180	路面		0.35	56.96			7-12	2層
181	流路	2.50以上	0.30	56.56			7-12	
182	路面		0.20	57.00	土師器小片		7-12	1層
183	路面		0.30	51.74	土師器小片、瓦		7-12	2層
184	土壌	0.90	0.40	56.64			7-12	
185	路面		0.10	56.62			7-12	1層
186	土壌	0.90以上	0.70以上	56.52			7-12	
187	柱穴	0.40	0.20	56.04	土師器	桃山時代	7-12	
188	路面		0.30	55.94			7-12	2層

表16 化野地区(図32)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.18	85.18	土師器	室町中期	6-1	灰オリーブ色砂泥
2	路面		0.12	78.19			6-1	
3	路面		0.13	77.59	陶磁器	江戸時代	6-1	2層
4	土壌	3.80	0.65	100.36	陶磁器	近代	6-3	
5	墓	1.40	0.95	96.12	焼締陶器、漆器、銭貨、刀子、石蓋、人骨	室町中期	6-3	備前大甕を棺とする
6	土壌	1.60	0.50	93.60			6-3	径0.3～0.4mの石4個出土
7	土壌	1.50	0.35	94.44			6-3	
8	土壌	1.00	0.50	94.33			6-3	墓の可能性あり
9	土壌	1.80	0.70	94.58			6-3	
10	墓	0.97	0.35	95.61	火葬骨、炭片		6-3	焼土壁、焼けた石あり
11	墓	1.15	0.55以上	95.50	火葬骨、炭片		6-3	焼土、径0.2～0.3mの河原石を含む
12	墓	0.55以上	0.50	95.56	火葬骨、炭片		6-3	焼土壁、径0.1mの石を多く含む
13	墓	1.55	0.65	95.66	輸入陶器、金銅製蓋、火葬骨、炭片	平安末期	6-3	小石室、焼土層、炭層あり
14	包含層		1.60	95.76	積上げ五輪塔、一石五輪塔	室町中期	6-3	赤茶色砂泥ほか、整地土層
15	墓	0.70	0.60	95.59	磁器、銭貨、布片、人骨	江戸時代	6-3	径0.2mの石、数個あり
16	土壌		0.45	92.95			6-3	

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
17	土壌	2.20	0.15	91.62			6-3	
18	土壌	0.30	0.10	86.92			6-3	焼土、墓の可能性あり
19	土壌	5.50	1.35	84.25			6-3	
20	土壌	11.50	0.55	81.92	土師器、陶磁器、瓦、骨、炭	江戸時代	6-3	多量の瓦・室町前期の土師器を含む
21	墓	0.30	0.25	81.37	土師器、火葬骨	室町後期	6-3	
22	土壌	3.00以上	0.55	81.38	土師器、瓦、炭片	室町中期	6-3	
23	土壌	7.00以上	0.80	89.01			6-3	
24	土壌	1.10	0.25	90.57	炭片		6-3	焼土壁、火葬所の可能性あり
25	土壌	1.00以上	0.30	95.79			6-4	
26	土壌	0.50以上	0.30	85.20			6-4	
27	墓	0.50	0.15	85.29	磁器、火葬骨	江戸時代	6-4	
28	墓	0.35	0.05	81.14	磁器、火葬骨	江戸時代	6-4	焼土を多く含む
29	包含層		0.40	96.65	積上げ五輪塔	室町後期	6-4	にぶい褐色泥砂、整地土層
30	路面		0.25	71.24			6-5	2層
31	路面		0.25	70.93			6-5	2層
32	土壌	1.80	0.15	79.12	陶磁器	江戸時代	6-5	
33	包含層		0.80	80.36	積上五輪塔	室町後期	6-5	暗茶黄色泥砂、整地土層
34	土壌	0.70	0.30	80.62			6-5	花崗岩を含む、墓の可能性
35	包含層		0.70	80.80	積上五輪塔、板碑	室町後期	6-5	黄色粘質土、整地土層
36	包含層		0.70	80.80	積上五輪塔、一石五輪塔、石仏	室町後期	6-5	茶黄色砂泥、整地土層
37	土壌	1.00	0.60	81.02	石仏、積上五輪塔	室町後期	6-5	焼土、墓の可能性あり
38	包含層		0.30	81.20	積上五輪塔	室町後期	6-5	茶色砂泥、整地土層
39	包含層		0.60	81.60	積上五輪塔、一石五輪塔	室町後期	6-5	赤茶色泥砂、整地土層
40	墓	1.10	0.50	81.61	土師器、火葬骨、炭片	室町後期	6-5	径0.1mの石・焼土を含む

表17 清涼寺西地区(図34)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.15	56.95			7-17	2層
2	路面		0.05	56.28			7-17	1層
3	路面		0.20	55.94			7-17	1層
4	路面		0.10	55.82			7-17	1層
5	路面		0.25	55.02			7-17	2層

表18 大覚寺南地区(図35)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.25	53.84	土師器、瓦		7-15	3層
2	包含層		0.45	53.51	土師器	室町中期	7-15	茶灰色泥砂他
3	路面		0.25	51.55			7-15	
4	路面		0.10	51.55			7-15	
5	路面		0.05	51.11	棧瓦		7-15	1層
6	流路	5.00以上	1.55	52.13			7-15	南北方向
7	流路	0.80以上	0.60	52.28			7-15	南北方向
8	土壌	1.85	0.50	52.35	土師器		7-15	上層に径0.3mの石を多く含む
9	包含層		0.15	51.74	土師器	室町中期	7-15	淡黄灰色泥砂
10	包含層		0.70	51.36	土師器	室町中期	7-15	淡黄灰色泥砂
11	路面		0.20	53.17			7-16	3層
12	土壌	2.50以上	0.50	48.47	土師器小片、炭片		7-19	西肩部
13	湿地	11.5以上	0.40	47.92			7-19	西肩部
14	土壌	3.20以上	0.70	46.53			7-19	南肩部
15	土壌	0.90	0.40	46.99			7-19	溝の可能性あり
16	土壌	0.90	0.55	47.27			7-19	溝の可能性あり
17	土壌	1.70以上	0.55	47.27			7-19	南肩部
18	土壌	1.60	1.50	47.56			7-19	
19	溝	1.40	0.30	45.18			7-19	東西方向

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
20	流路	4.60以上	1.50	44.82			7-19	南肩部
21	流路	1.00以上	0.40	44.75			7-19	北肩部
22	溝	3.40	0.35	47.90	土師器		7-19	東西方向
23	土壌		0.90	45.10			7-19	北肩部
24	土壌	0.30以上	0.10	48.19			7-19	
25	土壌	2.00以上	0.15	47.19		室町前期	7-19	包含層の下に位置する
26	包含層		0.15	47.64	土師器	室町前期	7-19	灰色砂泥
27	湿地		0.65	42.32			7-19	北下がりの堆積
28	湿地		0.65	42.04			7-19	暗灰色泥土
29	包含層		0.30	46.16	土師器	平安時代	7-19	黒色泥土
30	包含層		0.10	50.88	土師器	平安後期	7-20	茶色泥砂、径0.2~0.3mの石
31	土壌	4.00以上	0.60	50.08	漆器	江戸時代	7-20	東肩部
32	土壌	1.30以上	0.10	50.36	土師器		7-20	西肩部
33	包含層		0.25	50.54	土師器、瓦器	平安後期	7-20	茶色泥砂
34	包含層		0.25	50.56	土師器、炭	平安後期	7-20	茶色泥砂
35	路面		0.47	51.56			7-20	3層
36	土壌		0.55	50.31	土師器小片		7-20	
37	土壌	6.50以上	0.60	49.72			7-20	西肩部
38	土壌	2.40	0.70	47.65			7-20	
39	包含層		0.40	50.56	土師器、炭	室町時代	7-20	黄灰色砂泥
40	流路	8.50	0.20	46.30			7-21	東西方向
41	溝	0.60	0.30	46.40			7-21	東西方向
42	土壌	10.0以上	0.95	44.68			7-21	
43	包含層		0.15	44.40	土師器、炭	平安後期	7-21	暗黄色砂泥
44	土壌	1.80	0.50	44.37	土師器	平安後期	7-21	小礫を多く含む
45	包含層		0.35	44.22	土師器、瓦器	室町後期	7-21	茶黄色泥砂他
46	包含層		0.25	43.88	土師器	平安後期	7-21	黄色粘土
47	土壌	5.00以上	0.70	43.66			7-21	北肩部
48	土壌	3.20以上	0.65	45.02	土師器	室町後期	7-21	
49	包含層		0.40	45.04	土師器	室町後期	7-21	茶褐色砂泥
50	湿地	10.0以上	0.55	42.64			7-21	腐植土
51	溝	1.20	0.70	43.58	土師器、炭片	桃山時代	7-21	東西方向
52	包含層		0.60	44.20	土師器	平安後期	7-21	茶褐色砂泥

表19 広沢地区(図36)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.22	44.12			8-46	8層確認、9まで連続
2	包含層		0.29	43.81	土師器	室町中期	8-46	褐色砂泥、上層に路面
3	溝	0.40以上	0.80	43.74			8-46	東西方向、上層に路面
4	土壌	0.25以上	0.12	43.47			8-46	路面を切る
5	土壌	0.30以上	0.16	43.45		江戸時代	8-46	土壌6に切られる、路面を切る
6	土壌	1.45	0.40	43.28	土師器	江戸時代	8-46	路面を切る
7	土壌	3.40	0.60	43.43	板材		8-46	路面を切る
8	土壌	0.80	0.10	43.36			8-46	路面を切る
9	路面		0.40	44.60			8-46	8層
10	路面		0.40	43.97			8-46	5層、18まで連続
11	土壌	2.50	0.31	42.56			8-46	池の堆積土の下層で検出、上層に路面
12	池跡	0.60	0.37	42.44			8-46	池の底部、石が多い、上層に路面
13	土壌	0.80以上	0.27	42.82			8-46	上層に路面
14	土壌	0.70	0.70	43.34	磁器、瓦	江戸時代	8-46	上層に路面
15	土壌	0.25	0.30	43.11	土製人形	江戸時代	8-46	上層に路面
16	土壌	0.80	0.30	43.14			8-46	石を含む、上層に路面
17	土壌	0.90	0.60	43.34			8-46	上層に路面
18	路面		0.21	43.54			8-46	5層
19	包含層		0.28	43.19	土師器	鎌倉時代	8-46	褐色砂泥ほか、2層
20	土壌	2.50	0.80	43.15	土師器小片、釘		8-48	

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
21	土壌	0.90	0.40	42.15			8-48	
22	土壌	2.60以上	0.35	43.00			8-48	西肩部
23	路面		0.45	43.93			8-48	2層
24	路面		0.20	43.72			8-48	4層
25	路面		0.25	43.61			8-48	4層
26	路面		0.30	42.98			8-48	2層
27	路面		0.45	43.02			8-48	5層
28	土壌	2.50	0.80	43.25			8-51	
29	土壌	2.30	0.25	42.75			8-51	
30	路面		0.40	43.44			8-51	7層、4面
31	路面		0.30	43.30			8-51	6層、3面
32	路面		0.40	43.21			8-51	9層、5面
33	路面		0.35	43.06			8-51	3層
34	路面		0.90	43.46			8-51	
35	路面		0.70	43.25			8-51	9層、5面
36	路面		0.45	43.13			8-51	5層
37	土壌	1.00	0.60	42.66			8-51	
38	路面		0.25	42.92			8-51	3層
39	土壌	1.60	0.50	42.46			8-51	
40	路面		0.10	42.63			8-51	
41	溝	3.10	0.90	42.49			8-51	東西方向
42	路面		0.25	42.46			8-51	6層
43	路面		0.35	42.23			8-51	7層
44	路面		0.20	41.31			8-51	礫と砂の互層
45	路面		0.20	40.25			8-51	
46	路面		0.55	39.55			8-51	2層
47	溝	2.50	0.65	42.94			8-52	東西方向
48	流路	5.00以上	0.70	41.28			8-52	南北方向、西肩部
49	溝		0.30	40.54			8-52	南北方向、地山を切る
50	流路	2.90	0.65	42.01			8-52	南北方向、西肩部
51	流路		1.05	42.04			8-52	南北方向、西肩部
52	流路	3.00以上	1.30	41.78			8-52	南北方向、西肩部
53	流路	3.00以上	1.05	41.68			8-52	南北方向、西肩部
54	包含層		0.30	41.84	土師器	室町後期	8-52	茶灰色泥砂
55	包含層		0.20	42.84	土師器	室町後期	8-52	灰色泥土
56	包含層		0.30	42.74	土師器	室町後期	8-52	灰色泥土
57	包含層		0.25	42.59	土師器	室町後期	8-52	灰色泥土
58	包含層		0.20	42.54	土師器	室町後期	8-52	暗灰色砂泥
59	包含層		0.30	40.64	土師器	平安時代	8-64	茶色砂泥、2層
60	包含層		0.60	40.64	土師器	平安時代	8-64	暗灰色砂泥
61	包含層		0.25	40.51	土師器	平安時代	8-64	灰色泥砂、2層
62	溝	0.90以上	0.45	38.68			8-64	東西方向
63	土壌	1.20以上	0.90以上	39.52			8-63	東肩部
64	包含層			41.63	土師器、瓦、甌	鎌倉時代	8-63	暗灰色砂泥
65	包含層		0.90	40.05	土師器	室町前期	8-66	灰色泥砂
66	包含層		0.30	38.69	土師器、炭	平安後期	8-66	茶褐色泥砂
67	包含層		0.60	38.62	土師器、炭	平安後期	8-66	茶褐色泥砂
68	流路	20.0以上	2.00以上	37.82			8-66	南北方向、西肩部
69	包含層		0.40	37.56	土師器	平安後期	8-66	淡茶灰色砂泥
70	土壌	1.00	0.80	37.31			8-66	墓の可能性あり
71	土壌	1.00以上	0.55	37.45	土師器	室町中期	8-66	
72	路面		0.55	38.23			8-66	礫と砂の互層
73	包含層		0.30	38.49	土師器	平安後期	8-66	茶灰色泥砂
74	包含層		0.35	38.23	土師器	平安後期	8-66	灰色泥砂
75	包含層		0.40	38.10	土師器、炭	平安後期	8-66	茶灰色砂泥
76	包含層		0.20	38.02	土師器、炭	平安後期	8-66	灰色泥砂
77	包含層		0.30	37.48	土師器	飛鳥時代	8-66	灰色泥砂
78	包含層		0.60	36.61	土師器、青磁	平安中期	8-66	灰色泥砂
79	包含層		1.20	37.51	土師器	平安後期	8-66	黒色砂泥
80	包含層		0.80	38.23	土師器	平安後期	8-66	暗灰色砂泥他、2層
81	包含層		0.70	37.79	土師器	平安後期	8-66	暗灰色砂泥他、2層

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
82	包含層		0.30	37.68	土師器	平安後期	8-66	暗灰色泥砂
83	包含層		0.20	37.94	土師器	平安後期	8-66	灰色泥砂
84	包含層		0.45	37.92	土師器、炭	平安後期	8-66	灰色泥砂
85	包含層		0.45	37.86	土師器、炭	平安後期	8-66	灰色泥砂
86	包含層		0.50	38.02	土師器	平安後期	8-66	淡灰色粘土

表20 野々宮北地区(図37)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.10	47.79		室町以降	7-23	礫混、よく締まる
2	包含層		0.45	47.71	土師器、瓦	室町前期	7-23	茶灰色砂泥他
3	包含層		0.40	47.20	土師器、陶磁器	室町中期	7-23	茶褐色砂泥
4	路面		0.05	47.46		室町以降	7-23	礫混、よく締まる
5	路面		0.15	47.53			7-23	よく締まる
6	包含層		0.30	48.86	土師器、瓦、壁土	平安後期	7-23	淡茶灰色砂泥
7	路面		0.10	46.43			7-23	2層、礫混
8	柱穴	0.50	0.15	46.38			7-23	径0.15mの根石あり
9	溝	1.40	1.45	45.37			7-23	南北方向、レンズ状堆積
10	包含層		0.20	49.06	土師器	鎌倉時代	7-23	淡茶色泥砂
11	包含層		0.25	46.62	土師器	鎌倉時代	7-23	淡茶色泥砂、平安後期の遺物が混入
12	土壌	1.00以上	0.35	46.02	瓦	室町時代	7-24	
13	堤		1.15	59.48		室町前期	7-26	13~16連続、下層に湧水あり
14	堤		1.65	59.71		室町前期	7-26	13~16連続
15	堤		1.00	59.72		室町前期	7-26	13~16連続
16	堤		1.30	59.69	土師器	室町前期	7-26	13~16連続、下層に湧水あり
17	路面		0.10	60.73			7-27	3層
18	土壌	1.10	0.30	60.34		江戸以前	7-27	
19	路面		0.10	60.81		江戸以降	7-27	3層
20	包含層		0.40	61.20	土師器、陶器、軒瓦	平安後期	7-27	淡茶色泥砂
21	路面		0.30	59.84			7-27	礫と粘土の互層
22	土壌	0.70以上	1.00	54.64	土師器、瓦	平安後期	7-27	
23	包含層		0.70	55.18	土師器、炭	平安後期	7-27	茶褐色砂泥
24	包含層		0.35	54.47	陶器	鎌倉時代	7-27	暗茶褐色泥砂
25	包含層		0.60	54.10	土師器	室町中期	7-27	暗茶褐色泥砂
26	溝	3.10	0.65	49.43		室町以前	7-27	南北方向の溝2条の可能性
27	包含層		0.50	49.28	土師器	室町前期	7-27	黒色砂泥ほか、整地土層
28	包含層		0.95	49.40	土師器	鎌倉時代	7-27	茶褐色泥砂ほか、整地土層
29	包含層		0.65	48.51	土師器、軒丸瓦、瓦	鎌倉時代	7-27	茶褐色砂泥、平安前後期の遺物が混入
30	包含層		0.90	48.07	土師器、軒丸瓦、瓦	鎌倉時代	7-27	茶灰色砂泥、平安前後期の遺物が混入
31	土壌	0.40	0.45	46.81	土師器	平安後期	7-27	
32	土壌	0.75	0.30	46.68	土師器	平安後期	7-27	
33	土壌	0.50	0.30	46.75	土師器、瓦器	鎌倉時代	7-27	
34	井戸	1.40以上	1.75以上	47.33	土師器	室町前期	7-28	石組み6段以上、内径0.8m以上
35	包含層		0.60	51.09	土師器、陶磁器	鎌倉時代	7-28	茶色砂泥
36	包含層		0.75	50.64	土師器、陶磁器、瓦器	鎌倉時代	7-28	茶褐色砂泥、整地土層
37	土壌	1.40	0.90	49.78		室町以前	7-28	包含層の下層、溝の可能性
38	包含層		0.60	49.44	土師器	平安前期	7-28	暗茶褐色砂泥
39	包含層		0.25	50.04	土師器、陶器、軒瓦	室町中期	7-28	茶褐色砂泥
40	溝	1.40	1.30	50.01		室町以降	7-28	南北方向、径0.1mの石が多く入る
41	包含層		0.55	49.35	土師器	室町前期	7-28	茶褐色砂泥、2層
42	包含層		0.90	49.29	土師器	鎌倉時代	7-28	茶褐色砂泥、整地土層
43	柱穴	0.25	0.50	49.05		鎌倉以前	7-28	径0.2m大の石が入る、炭層を切る
44	包含層		0.45	49.13	土師器、炭	室町前期	7-28	茶褐色砂泥
45	土壌	1.50	0.90	52.84	土師器、瓦器、陶器、輸入陶器、瓦	鎌倉~室町	7-28	墓の可能性あり

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
46	土壌	0.30	0.20	52.45		室町前期	7-28	茶褐色砂泥
47	土壌	0.40	0.40	52.45		室町前期	7-28	埋土は46と同一
48	柱穴	0.70	0.30	52.45		室町前期	7-28	径0.2mの根石あり
49	土壌	0.30	0.20	52.55	土師器	室町前期	7-28	埋土は46と同一
50	土壌	0.20	0.25	52.55		室町前期	7-28	埋土は46と同一
51	土壌	0.70	0.30	52.55		室町前期	7-28	埋土は46と同一
52	土壌	0.90	0.75	52.54			7-28	
53	包含層		0.90	51.09	土師器	鎌倉時代	7-28	淡褐色砂泥ほか、整地土層
54	包含層		0.90	59.93	土師器	鎌倉時代	7-28	黒褐色砂泥ほか、整地土層
55	土壌	3.50以上	0.30	45.22			7-30	西肩部
56	包含層		0.35	45.02	土師器、陶器	室町後期	7-30	茶褐色砂泥
57	包含層		0.25	45.02	土師器、焼けた壁土	室町前期	7-30	焼土、平安後期の遺物が混入
58	井戸	0.80以上	1.30以上	43.96			7-30	木枠、断面15×10cmの角材
59	土壌	0.90以上	0.55	45.03	炭		7-30	南肩部
60	溝	1.00以上	1.30	45.71	土師器	平安後期	7-30	南北方向、西に振る、平安中期の遺物が混入
61	土壌	1.50	0.35	45.91	土師器	室町前期	7-30	
62	包含層		0.30	44.91	土師器	平安前期	7-30	灰色砂泥
63	包含層		0.20	46.12	土師器	室町中期	7-30	茶褐色砂泥
64	土壌	0.50以上	0.40	46.17	土師器	鎌倉時代	7-30	
65	土壌	0.35	0.20	46.17	土師器	平安後期	7-30	
66	土壌	0.30	0.30	46.17	土師器、青磁	平安後期	7-30	
67	包含層		0.40	45.41	土師器	平安後期	7-30	淡茶色泥砂
68	包含層		0.45	45.37	土師器	平安後期	7-30	茶褐色砂泥
69	包含層		0.50	45.16	土師器	平安後期	7-30	茶灰色砂泥
70	包含層		0.30	44.83	土師器	平安後期	7-30	淡茶色砂
71	溝	3.00以上	0.95	45.11	土師器、陶器	室町前期	7-30	南北方向、石組み(西肩部)は4段
72	溝	5.40		45.11			7-30	南北方向
73	土壌	0.20	0.20	45.15	土師器小片		7-30	
74	溝	0.85	0.40	44.20			7-30	南北方向
75	包含層		0.25	44.58	土師器	平安時代	7-30	茶黄色泥砂
76	流路		0.60	43.92	土師器小片		7-30	北西方向に下がる、西肩部
77	包含層		0.50	44.87	土師器、炭	室町後期	7-30	茶灰色泥砂、平安後期の遺物が混入
78	土壌	0.30	0.11	61.34	土師器小片		7-22	
79	路面		0.21	61.46			7-22	2層
80	路面		0.08	61.80			7-22	2層
81	土壌	0.25	0.10	61.98	土師器小片		7-22	
82	土壌	0.50	0.10	61.98	土師器、瓦器	室町時代	7-22	
83	土壌	0.70	0.25	62.02			7-22	

表21 天龍寺地区(図38)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	土壌	7.30	0.55	38.75	土師器小片、瓦	平安時代	7-36	
2	包含層		0.20	38.85	土師器、瓦	室町前期	7-36	暗茶色泥砂
3	土壌	2.40	0.40	38.98			7-36	
4	土壌	0.60	0.50	38.83			7-36	
5	溝	2.30以上	1.00	39.01			7-36	南北方向
6	包含層		0.45	39.80	土師器	室町後期	7-36	茶灰色泥砂
7	溝	0.50以上	0.80	38.95	土師器、須恵器	平安前～中期	7-36	9と同一、東西方向に10m検出、東で北に振る
8	溝		0.45	38.74	土師器、瓦	室町中期	7-36	東西方向、9と並行する
9	溝		0.45	38.74	土師器	室町前期	7-36	7と同一、東西方向
10	溝	2.40	1.00	38.73	土師器小片		7-36	南北方向、西に振る
11	土壌	2.80	0.30	38.44			7-36	
12	溝	2.50以上	1.20	38.83	土師器小片		7-36	東西方向、北肩部
13	溝	1.10	0.70	39.42			7-36	東西方向
14	土壌	0.80以上	0.50	39.42			7-36	13に切られる

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
15	井戸	2.20	2.40	42.64	土師器、瓦	室町前期	7-36	木枠か
16	土壌	1.30	1.70	42.74			7-36	
17	溝	1.20	0.50	42.20	土師器小片、瓦		7-36	東西方向
18	土壌		1.15	42.80	土師器小片		7-36	北肩部付近
19	溝	0.70	0.60	42.57	土師器小片		7-36	東西方向に15m検出、東で北に振る
20	包含層		0.60	39.90	土師器	室町後期	7-36	茶褐色砂泥
21	溝	3.80	1.00	41.30	瓦	平安時代	7-36	南北方向
22	包含層		0.50	42.20	土師器	平安後期	7-36	茶灰色砂泥ほか
23	土壌	1.30以上	0.80	41.34			7-36	西肩部
24	井戸	2.00以上	2.20以上	41.14	土師器	桃山時代	7-36	石組み9段以上
25	土壌	2.80以上	1.30	40.91		桃山以前	7-36	東肩部
26	溝		1.30以上	41.92	土師器	室町前期	7-36	南北方向、東肩部
27	包含層		0.80	41.46	土師器、瓦、炭	室町中期	7-36	茶褐色砂泥
28	包含層		0.10	44.17	土師器	平安中期	7-37	暗茶褐色砂泥
29	溝	1.30	0.35	44.17			7-37	南北方向、レンズ状堆積
30	土壌	1.20以上	0.30以上	44.47			7-37	南肩部、北に下がる
31	溝	0.90以上	0.70以上	44.57	磁器	江戸時代	7-37	南北方向で、西に振る
32	土壌	1.45	0.30	44.76			7-37	
33	溝	0.40	0.40	44.57	土師器	室町後期	7-37	南北方向
34	柱穴	0.30	0.55	44.47			7-37	
35	包含層		0.20	44.78	瓦	室町中期	7-37	茶灰色泥砂
36	包含層		0.20	44.58	瓦	室町中期	7-37	茶灰色泥砂、平安時代の遺物が混入
37	溝	1.50	0.35	43.35	土師器、陶器、瓦	江戸時代	7-37	南北方向、平安時代の遺物が混入
38	溝	1.75	0.55	43.38	瓦	室町中期	7-37	南北方向、レンズ状堆積
39	溝	1.65	0.45	41.65	土師器、瓦	室町後期	7-37	南北方向
40	土壌	1.85	0.60	41.65	磁器	江戸時代	7-37	
41	溝	0.80以上	0.55	41.29	瓦、炭	平安時代	7-38	東西方向
42	柱穴	0.20	0.10	40.36			7-38	
43	井戸	1.80	1.20以上	40.06			7-38	素掘り、泥土の堆積
44	土壌	1.00以上	0.40	40.26			7-38	地山を切り込む、3層に分層
45	土壌	0.50以上	0.40	39.96			7-38	
46	土壌	0.70	0.40	39.96			7-38	
47	土壌	1.30以上	0.45	39.27	土師器、瓦	桃山時代	7-38	径0.4mの石材、礎石か
48	路面		0.10	39.22			7-38	4層、礫と粘土の互層
49	溝	1.50以上	0.65	38.96	土師器	桃山時代	7-38	南北方向、径0.3mの石材
50	溝	0.30以上	0.35	39.05	瓦	江戸時代	7-38	南北方向、上層に焼土層
51	包含層		0.20	38.70	土師器	室町前期	7-38	茶褐色砂礫
52	溝	0.55以上	0.40	38.70	瓦	江戸時代	7-38	南北方向、径0.25mの石材
53	土壌	1.10以上	0.25	38.99	土師器、瓦	江戸時代	7-38	
54	土壌	1.70	0.45	36.42	瓦	室町中期	7-41	
55	土壌	2.00以上	0.30	37.77	瓦、炭	室町中期	7-41	焼土を含む、西肩部
56	土壌	1.35	0.50	37.92			13-1	
57	土壌	1.80	0.90	39.52	瓦	室町中期	13-1	
58	包含層		0.30	39.29	瓦	平安時代	7-40	茶褐色泥砂
59	包含層		0.65	39.66	土師器、陶器、瓦	室町中期	7-40	黄茶色泥砂、平安後期の遺物が混入
60	包含層		0.55	39.33	土師器、瓦	平安後期	7-40	茶褐色砂泥
61	包含層		0.40	39.73	土師器、瓦	室町前期	7-40	暗灰色泥砂、平安後期の遺物が混入
62	土壌	1.30	0.45	39.34	土師器、炭	室町中期	13-1	
63	包含層		0.45	39.85	土師器、炭	室町中期	7-40	暗褐色砂泥、平安後期の遺物が混入
64	土壌	3.80以上	0.70	39.94	土師器	室町後期	13-1	南肩部
65	包含層		0.35	39.83	土師器、瓦	平安後期	7-40	茶色砂泥
66	土壌	0.90	0.40	40.00	土師器、瓦	室町中期	13-1	石を含む
67	土壌	5.20	1.00	39.93	瓦	江戸時代	13-1	
68	土壌	5.80	0.95	40.13	土師器、瓦	平安後期	13-1	石・焼土を含む
69	溝	1.20	0.45	40.12	土師器	室町前期	13-1	石組み、南北方向、西に振る
70	包含層		0.30	40.45	土師器、瓦器、瓦、炭	平安後期	7-40	暗灰色泥砂

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
71	土壌	0.80以上	0.50以上	40.17	瓦	平安後期	13-1	瓦を多量に含む
72	包含層		0.30	40.57	土師器、瓦、炭	室町後期	7-40	暗黄色粘土、平安時代の遺物が混入
73	包含層		0.25	40.66	土師器、瓦	室町前期	7-40	黄灰色泥砂、平安時代の遺物が混入
74	包含層		0.35	40.74	土師器、瓦器、瓦	室町前期	7-40	暗黄色泥砂、平安時代の遺物が混入
75	包含層		0.25	40.87	土師器	室町前期	7-40	黄灰色泥砂
76	包含層		0.25	41.11	土師器、瓦、礎石	室町中期	7-40	黄灰色泥砂
77	溝	1.05	0.45	41.19			13-1	石組み、南北方向、西に振る
78	土壌	4.10	0.40	41.08	軒瓦、瓦	室町中期	13-1	瓦を多量に含む、平安前期の軒瓦を含む
79	包含層		0.20	41.74	軒瓦	室町中期	7-40	茶褐色泥砂
80	包含層		0.40	41.64	土師器、瓦	室町中期	7-40	黄灰色砂泥
81	包含層		0.60	41.80	土師器、瓦	室町中期	7-40	茶色砂泥
82	土壌	1.80	0.50	42.02	瓦	室町中期	13-1	径0.9mの石材あり
83	土壌	1.80	1.00	41.36	瓦、甕	室町中期	13-1	径0.4mの石が多い
84	土壌	6.60	0.85	40.75	瓦、甕	江戸時代	13-1	甕を多量に含む
85	包含層		0.40	40.91	土師器、瓦	平安後期	7-40	茶褐色砂泥
86	包含層		0.20	40.91	土師器、瓦	平安後期	7-40	黒褐色砂泥
87	包含層		0.35	39.81	瓦	平安時代	7-40	黒褐色砂泥
88	土壌	3.30以上	0.90	40.10	土師器、軒瓦、瓦	鎌倉時代	13-1	平安時代の瓦を含む
89	包含層		0.35	40.40	土師器、軒瓦、瓦	平安後期	7-40	茶黄色砂礫
90	土壌	24.00	0.85	40.18	土師器、瓦	室町後期	13-1	瓦を多量に含む
91	土壌	2.20以上	0.50	39.93	土師器、瓦、甕、炭	桃山時代	13-1	
92	包含層		0.40	39.73	土師器、瓦	室町後期	7-40	茶色砂泥
93	土壌	1.20以上	0.60	39.20	土師器、瓦	室町中期	13-1	北肩部
94	土壌	1.70	1.40以上	39.04	瓦	室町中期	13-1	石を多く含む
95	石積み	2.70以上	0.45	38.95			13-1	3段積み
96	土壌	1.30以上	0.90	39.14	土師器、壁土	室町中期	13-1	石を多く含む
97	築地跡	1.10以上	0.70	38.47			13-1	石あり
98	溝	0.45	0.70	38.85			13-1	東西方向
99	包含層		1.00	39.34	土師器、瓦	室町後期	7-40	灰色泥砂ほか
100	土壌	2.60	0.90以上	38.59	土師器、須恵器	平安前期	13-1	文422では溝とされる
101	土壌	1.30	0.40	38.71			13-1	
102	土壌		0.20	38.40	土師器小片		13-1	焼土層
103	土壌	0.50以上	0.60	37.69			13-1	
104	井戸	2.10	1.40以上	39.88	瓦	室町中期	13-1	石組み、内径1.1m
105	包含層		0.40	38.77	土師器、瓦	室町前期	7-40	暗黄色泥砂
106	包含層		0.45	38.87	土師器、瓦	室町前期	7-40	暗茶色砂泥
107	包含層		0.55	38.82	土師器、瓦器、瓦、炭	室町中期	7-40	茶色砂泥
108	包含層		0.55	38.76	土師器、瓦	室町中期	7-40	茶色砂泥
109	土壌	1.00以上	0.60	37.46	土師器小片		13-1	西肩部
110	柱穴	0.35	0.25	37.83	土師器、瓦、焼けた壁土	室町後期	13-1	径0.35mの根石あり
111	井戸	1.10	0.80	38.32	軒瓦、瓦	室町中期	13-1	径0.2～0.3mの石が多い
112	土壌		0.65	38.72	瓦	室町中期	13-1	径0.3～0.4mの石が多い
113	井戸	1.20以上	2.00以上	38.68			13-1	径0.4mの石を含む
114	包含層		0.75	37.95	土師器、瓦、甕、炭	室町中期	7-40	茶色砂泥
115	土壌	1.20	0.50	37.54	土師器、瓦器、瓦	室町後期	13-1	
116	包含層		0.50	37.94	土師器、壁土	室町中期	7-40	茶色砂泥
117	包含層		0.20	37.76	土師器	室町中期	7-40	茶色粘土
118	包含層		0.20	38.17	須恵器、黒色土器、瓦器、瓦	平安後期	7-40	茶灰色泥砂
119	包含層		0.20	38.29	土師器	平安後期	7-40	茶灰色泥砂
120	包含層		1.00	38.19	土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、瓦	平安前期	7-40	茶色砂泥他
121	土壌	1.80以上	1.25	38.19	土師器小片		13-1	
122	溝	1.40	0.80	37.88	土師器	江戸時代	13-1	南北方向
123	包含層		0.45	36.55	土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、瓦	平安後期	7-40	暗褐色砂泥
124	包含層		0.45	36.45	土師器、緑釉陶器、瓦	平安後期	7-40	茶灰色砂泥
125	土壌	1.50	0.60	37.00			13-1	径0.2mの石あり

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
126	包含層		0.55	35.97	土師器、須恵器、瓦	平安前期	7-40	茶灰色砂泥
127	包含層		0.50	36.48	土師器	平安前期	7-40	茶色砂礫
128	包含層		0.80	36.84	土師器	室町中期	7-40	茶色泥砂
129	包含層		0.40	36.26	土師器、須恵器、瓦	平安前期	7-40	淡茶色泥砂
130	溝	0.80	0.85	36.76	土師器、瓦	室町前期	13-1	南北方向
131	柱穴	0.60	0.30	36.81	土師器、瓦器	室町前期	13-1	根石跡あり
132	柱穴	0.55	0.30	36.81	土師器	鎌倉時代	13-1	根石あり
133	柱穴	0.70	0.30	36.81			13-1	根石跡あり
134	井戸	1.65	1.25以上	36.54	土師器、瓦器、陶器、瓦	鎌倉時代	13-1	石組みを7段確認、内径0.8m
135	包含層		0.20	36.03	土師器、黒色土器	平安前期	7-40	淡茶黄色泥砂
136	包含層		1.10	36.64	土師器、陶器、瓦器、瓦	鎌倉時代	7-40	茶褐色砂泥
137	包含層		0.45	36.70	土師器、陶磁器、瓦	室町前期	7-40	茶色泥砂
138	井戸	2.30	1.80以上	36.66	陶器、瓦	室町中期	13-1	石組み、内径1.1m
139	溝		0.30	36.46			13-1	東西方向、レンズ状堆積
140	土壌	0.25	0.50	36.60			13-1	
141	柱穴	0.20	0.15	36.44	土師器小片		13-1	根石あり
142	石組み	2.20以上	0.62	39.36	土師器、陶器、瓦	室町後期	13-1	径0.4~0.5mの石が並ぶ
143	包含層		0.80	39.29	土師器、陶器、瓦器、瓦	室町後期	7-40	茶色泥砂
144	包含層		1.30	39.17	土師器、陶器、瓦	室町前期	7-40	茶色砂泥
145	包含層		0.60	38.38	土師器、陶磁器、瓦、甎	室町後期	7-40	茶色泥砂、室町前期の遺物が混入
146	溝		0.25	38.78			13-1	東西方向
147	包含層		0.75	40.50	土師器、瓦	平安時代	7-40	茶灰色泥砂
148	包含層		0.60	39.86	土師器、瓦	室町前期	7-40	茶褐色砂泥
149	土壌	1.50	0.35	39.36	土師器	室町前期	13-1	
150	包含層		0.20	39.22	土師器、軒瓦、瓦	平安中期	7-40	茶色泥砂
151	溝	1.00以上	0.65	38.54	瓦	鎌倉時代	13-1	南北方向
152	土壌		0.65	38.54	瓦	室町中期	13-1	
153	溝	1.20以上	0.95	38.70	土師器、瓦	室町前期	13-1	東西方向
154	溝	1.90	1.00	38.56	瓦	平安時代	13-1	南北方向、西に振る
155	包含層		0.25	38.42	土師器	室町後期	7-40	黒灰色砂礫
156	包含層		0.50	37.68	土師器	室町後期	7-40	茶色泥砂
157	包含層		0.70	37.69	土師器、陶器、瓦	室町後期	7-40	淡茶色泥砂
158	包含層		0.30	37.63	土師器、磁器、瓦器、瓦	室町中期	7-40	褐灰色砂泥
159	包含層		0.15	37.10	土師器、緑釉陶器	平安中期	7-40	黄灰色泥砂
160	包含層		0.30	37.17	土師器、瓦	室町後期	7-40	茶色泥砂
161	包含層		0.35	36.70	土師器、瓦	室町後期	7-40	茶色泥砂
162	包含層		0.45	35.45	土師器	平安後期	7-40	淡黄灰色細砂
163	包含層		0.50	35.04	土師器、瓦器、瓦	室町前期	7-40	暗黄色細砂
164	溝	3.30	0.70	36.28	瓦	室町中期	13-10	南北方向
165	包含層		0.60	37.29	瓦	室町中期	13-10	黄灰色泥砂
166	包含層		0.60	36.28	土師器	室町後期	13-10	茶灰色砂
167	包含層		0.50	37.05	土師器、瓦	室町中期	13-10	茶色泥砂
168	包含層		0.75	36.84	土師器、瓦	室町前期	13-10	茶色泥砂
169	包含層		0.50	35.80	土師器、瓦	室町中期	13-10	暗黄色砂泥
170	包含層		0.60	37.00	瓦	室町中期	13-10	茶黄色砂泥、焼土を多く含む

表22 鹿王院地区(図39)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.40	44.96	土師器	室町前期	7-31	茶褐色砂泥
2	包含層		0.35	44.48	土師器	室町中期	7-31	茶褐色砂泥
3	土壌	1.30	0.90	44.04			7-31	
4	井戸	1.40	1.35以上	43.66	土師器、瓦	室町中期	7-31	素掘り、径0.25mの石を含む
5	包含層		0.30	43.44	土師器	室町後期	7-31	茶灰色砂泥
6	溝	1.70	0.60	44.02		江戸以降	7-31	南北方向
7	土壌	0.80	0.65	43.42			7-31	
8	土壌	0.70以上	0.40	44.51			7-31	溝の可能性あり
9	溝	1.30	0.40	44.08			7-31	東西方向
10	土壌		0.37	41.92			7-31	東肩部、西へ下がる

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
11	包含層		0.55	41.63	土師器	室町前期	7-31	灰色泥砂
12	流路	10.0以上	1.60以上	42.92		桃山時代	8-65	東肩部
13	井戸	1.60	1.30以上	42.31	土師器、瓦器、陶器	室町後期	8-65	素掘り
14	土壌	0.40	0.20	41.03			8-65	墓の可能性あり
15	堤		1.00	40.15	土師器	桃山時代	8-65	礫砂粘土の互層
16	包含層		0.40	39.41	土師器	室町後期	8-65	茶黄色砂泥、上層に堤
17	包含層		0.35	39.08	土師器	室町後期	8-65	茶色砂泥、上層に堤
18	堤		1.85	39.50	陶器	桃山時代	8-65	
19	堤		1.65	39.17		桃山時代	8-65	
20	堤		1.85	39.39		桃山時代	8-65	15から続く
21	土壌		0.80	39.78			8-68	西肩部付近
22	土壌	0.25	0.25	42.83		室町以前	8-68	柱穴の可能性あり
23	溝	0.50	0.55	42.68	土師器	室町中期	8-68	東西方向
24	溝	1.60	0.35	40.44			8-68	室町後期以前の可能性あり
25	土壌	0.80	0.30	40.22			8-68	室町後期以前の可能性あり
26	土壌	1.70	0.25	40.42	土師器、瓦器	室町中期	8-68	礫を多く含む
27	土壌	1.00	0.15	40.43		室町時代	8-68	
28	土壌	1.20	0.45	40.56		室町時代	8-68	墓の可能性あり
29	土壌	1.00	0.45	40.56		室町時代	8-68	墓の可能性あり
30	土壌	1.40	0.45	40.56		室町時代	8-68	墓の可能性あり
31	土壌	1.30	0.80	40.79			8-68	
32	溝	1.20	0.25	40.43			8-68	東西方向
33	溝	1.70	0.20以上	40.02			8-68	東西方向
34	溝	4.00以上	0.70	40.91			8-68	南肩部
35	土壌	9.00以上	1.40	41.47	土師器小片		8-68	北肩部
36	溝	2.00	1.10	40.11	瓦	室町前期	8-68	東西方向、平安時代の遺物が混入
37	溝	2.00	1.10	40.11	瓦	室町前期	8-68	東西方向
38	溝	3.10	0.23	40.39			8-68	南北方向
39	包含層		0.40	40.93	土師器	室町後期	8-68	茶色砂泥
40	土壌	2.30以上	0.90	40.18			8-71	粘土層を切り込む
41	柱穴	0.35	0.30	39.46	土師器	室町後期	8-71	径0.25mの根石あり
42	土壌	0.80	0.40	39.46		室町後期	8-71	埋土が溝34と同一
43	土壌	0.40	0.65	39.46		室町後期	8-71	埋土が溝34と同一
44	土壌		1.20	39.70	土師器小片、瓦		8-71	径0.4mの石を多く含む、焼土を含む
45	包含層		0.10	39.90	土師器	室町前期	8-71	淡茶色砂泥
46	土壌	0.70	0.90	39.84	木片	桃山以降	8-71	径0.4mの石含む
47	土壌	0.50以上	0.90	39.84		桃山以降	8-71	46と同じ形態
48	流路		0.45	37.87			8-71	瀬戸川の旧流路か
49	流路		1.15以上	37.67			8-71	旧瀬戸川の東肩部
50	土壌	2.20	1.05	37.98			8-71	
51	溝	2.60	0.70	37.98	土師器小片	室町後期	8-71	南北方向
52	流路		0.80以上	37.98			8-71	旧瀬戸川の東肩部
53	土壌	0.50以上	0.90	39.13	土師器	平安後期	8-71	柱穴の可能性あり
54	土壌	0.40	0.40	39.13	土師器	平安後期	8-71	
55	土壌	2.80	0.90	39.13	土師器	桃山時代	8-71	
56	溝	2.00	0.50	38.65	土師器小片		8-71	南北方向
57	土壌	1.60	1.10	38.60			8-71	石を含む
58	包含層		0.50	39.48	土師器	室町後期	8-71	茶黄色粘土
59	包含層		0.50	39.94	土師器	平安後期	8-71	茶色砂泥ほか
60	包含層		0.15	39.48	土師器	平安後期	8-71	茶色泥砂
61	包含層		0.70	38.18	土師器	室町前期	8-71	暗黄色泥砂
62	包含層		0.50	36.10	瓦	室町中期	8-71	暗黄色粘土
63	土壌	5.00以上	0.65	35.84			8-71	東肩部付近、西へ下がる
64	包含層		0.20	35.73	土師器	室町前期	8-71	暗黄灰色泥砂
65	包含層		0.75	35.86	瓦	室町中期	8-71	暗黄色砂泥
66	包含層		0.85	36.81	土師器	室町後期	8-73	淡灰色泥砂
67	土壌	1.00	1.20	36.81			8-73	
68	溝	5.00	1.50以上	36.22	土師器、須恵器	平安時代	8-73	東西方向
69	土壌	5.00	0.70	36.19			8-73	

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
70	溝		0.70以上	36.12	土師器	桃山時代	8-73	南北方向、東肩部
71	包含層		0.30	35.93	土師器、甌	室町中期	8-73	黄灰色泥砂
72	溝	2.30	1.30	35.74	土師器、瓦、炭	室町中期	8-73	南北方向、肩部と底部に炭が多い
73	包含層		0.40	36.40	土師器	室町後期	8-73	茶褐色泥砂
74	包含層		0.50	36.01	土師器	室町後期	8-73	黄色泥砂
75	土壌	3.50	0.50	36.01	土師器、陶器	室町後期	8-73	
76	包含層		0.60	35.36	土師器	飛鳥時代	8-73	黄色泥砂
77	包含層		0.15	35.16	土師器	飛鳥時代	8-73	暗黄灰色泥砂
78	溝	3.20	1.20	34.69		江戸時代	8-73	東西方向
79	包含層		0.40	35.86	土師器	平安前期	8-73	暗黄色泥砂
80	包含層		0.55	35.91	土師器	平安前期	8-73	暗黄色泥砂
81	包含層		0.45	35.76	土師器	平安前期	8-73	暗黄色砂泥
82	井戸	2.90	1.10以上	36.11	土師器	桃山時代	8-74	石組み3段検出、内径1.4m
83	溝	2.10	0.65	35.55	土師器、陶器、炭	桃山時代	8-74	東西方向
84	包含層		0.10	36.19	土師器	飛鳥時代	8-74	黄色粘土
85	包含層		0.30	36.37	土師器、須恵器	飛鳥時代	8-74	茶色砂礫
86	包含層		0.50	36.07	土師器、陶器	室町後期	8-74	茶色砂礫
87	包含層		0.60	35.66	陶器	室町中期	8-74	淡茶色泥砂
88	包含層		0.40	34.16	土師器	平安後期	8-74	茶色砂泥
89	包含層		0.40	36.84	土師器	平安後期	8-74	暗黄灰色泥砂
90	包含層		0.20	36.86	土師器	室町後期	8-74	黄灰色泥砂
91	包含層		0.65	36.94	土師器	室町後期	8-74	黄灰色砂泥
92	包含層		0.50	36.28	土師器	飛鳥時代	8-74	暗黄色泥砂
93	包含層		0.40	36.14	瓦器	室町中期	8-74	暗黄色泥砂
94	包含層		0.35	35.47	土師器	室町中期	8-74	黄灰色泥砂
95	包含層		0.45	35.66	土師器、須恵器、炭	平安後期	8-74	茶黄色泥砂
96	包含層		0.35	35.95	土師器、須恵器	飛鳥時代	8-74	黄灰色砂泥
97	包含層		0.35	36.56	土師器、須恵器、炭	飛鳥時代	8-74	黄灰色砂泥
98	包含層		0.40	35.83	須恵器	平安後期	8-74	淡茶黄色砂泥
99	包含層		0.50	37.10	土師器、須恵器	平安後期	8-74	茶黄色泥砂
100	包含層		0.20	36.21	土師器	室町中期	8-74	黄褐色泥砂
101	包含層		0.50	36.46	土師器、炭	室町中期	8-74	淡黄灰色砂泥
102	井戸	1.30	1.80以上	36.30	土師器	室町中期	8-74	素掘り
103	包含層		0.70	36.30	土師器、炭	室町中期	8-74	茶黄色泥砂
104	包含層		0.50	35.38	土師器、須恵器	飛鳥時代	8-74	暗黄灰色砂泥
105	土壌	1.10	0.50	36.50	土師器	飛鳥時代	8-74	
106	土壌	0.55	0.35	36.22	土師器	飛鳥時代	8-74	
107	柱穴	0.40	0.55以上	36.22	土師器	飛鳥時代	8-74	
108	土壌	0.40以上	0.35	36.22	土師器	飛鳥時代	8-74	
109	包含層		0.45	36.77	土師器	飛鳥時代	8-74	暗茶黄色砂泥
110	包含層		0.15	36.82	土師器	平安後期	8-74	暗黄色泥砂
111	土壌	0.80	0.15	36.22	土師器	奈良時代	8-74	
112	包含層		0.15	36.14	土師器	飛鳥時代	8-74	暗茶黄色泥砂
113	包含層		0.30	36.74	土師器	平安後期	8-74	暗茶黄色砂泥
114	包含層		0.20	36.08	土師器	飛鳥時代	8-74	暗黄灰色泥砂
115	包含層		0.55	36.63	土師器	平安後期	8-74	黄灰色泥砂
116	溝	1.50以上	1.05以上	36.24		江戸以前	8-74	東西方向
117	包含層		0.30	36.54	土師器、陶器	室町中期	8-74	暗黄色泥砂
118	包含層		0.20	36.03	土師器、瓦	平安後期	8-74	暗茶褐色泥砂
119	包含層		0.20	35.73	土師器、軒瓦	平安後期	8-74	暗茶褐色泥砂
120	包含層		0.45	35.44	土師器	平安後期	8-74	暗黄色泥砂
121	湿地		1.10	34.68			8-74	池状堆積、灰色砂泥
122	包含層		0.10	35.20	土師器、瓦	室町後期	8-74	黄灰色泥砂
123	包含層		0.30	34.68	土師器	平安時代	8-74	茶灰色泥砂
124	包含層		0.50	34.56	土師器	平安時代	8-74	茶色泥砂
125	井戸	1.70	1.30以上	34.20	陶磁器、瓦	江戸時代	8-74	素掘り
126	包含層		0.10	34.10	土師器	室町後期	8-74	黄灰色泥砂
127	包含層		0.35	33.86	土師器	飛鳥時代	8-74	黄色泥砂
128	包含層		0.10	33.45	土師器	飛鳥時代	8-74	黄色泥砂
129	包含層		0.30	32.92	土師器、須恵器	平安前期	8-74	茶灰色泥砂

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
130	包含層		0.30	33.32	土師器、須恵器	飛鳥時代	8-74	茶褐色砂泥
131	包含層		0.20	33.22	土師器	飛鳥時代	8-74	茶灰色砂泥
132	包含層		0.45	33.02	土師器	飛鳥時代	8-74	淡茶色泥砂
133	包含層		0.60	32.87	土師器、須恵器	平安前期	8-74	茶色泥砂
134	包含層		0.20	32.62	土師器、須恵器	平安前期	8-74	淡茶色泥砂
135	包含層		0.30	34.41	土師器	平安前期	8-74	灰色泥砂
136	包含層		0.30	34.52	土師器、瓦	平安時代	8-74	褐灰色泥砂
137	包含層		0.80	34.23	土師器	平安時代	8-74	茶灰色砂泥
138	包含層		0.80	34.23	須恵器	飛鳥時代	8-74	茶灰色砂泥
139	包含層		0.75	34.42	土師器	平安時代	8-74	淡黄色泥砂

表23 車折地区(図40)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.35	38.06			8-69	1層
2	路面		0.40	37.80			8-69	4層
3	包含層		0.40	38.30	土師器	平安後期	8-69	黄茶色泥砂
4	包含層		0.15	37.14	土師器	平安後期	8-69	淡茶色砂泥
5	包含層		0.25	37.28	土師器	平安後期	8-69	茶灰色砂泥
6	包含層		0.10	37.14	土師器	平安後期	8-69	暗茶灰色砂泥
7	包含層		0.20	37.12	土師器	平安後期	8-69	暗茶灰色砂泥
8	包含層		0.40	37.22	土師器	平安後期	8-69	茶色砂泥
9	土壌	0.90	0.35	36.73		平安時代	8-69	柱穴の可能性あり
10	溝	0.90	0.25	36.73		平安時代	8-69	
11	土壌	0.45	0.50	37.03		平安時代	8-69	柱穴の可能性あり
12	土壌	0.55以上	0.40以上	36.17		平安時代	8-69	北肩部
13	土壌	0.40	0.55	36.11			8-69	
14	包含層		0.95	35.93	土師器、須恵器	平安後期	8-70	茶色砂泥
15	包含層		0.50	35.94	土師器	平安後期	8-70	淡黄灰色泥砂
16	土壌	1.60	0.40	35.80		平安時代	8-70	
17	包含層		0.35	35.80	土師器	平安後期	8-70	茶褐色泥砂
18	包含層		0.50	35.69	土師器	平安後期	8-70	暗灰色砂泥
19	包含層		0.50	35.64	土師器	平安後期	8-70	暗灰色砂泥
20	包含層		0.35	35.62	土師器	平安後期	8-70	茶褐色砂泥
21	包含層		0.50	35.46	土師器	平安後期	8-70	灰褐色泥砂
22	包含層		0.55	35.52	土師器	平安後期	8-70	褐色泥砂
23	包含層		0.35	35.62	土師器	平安後期	8-70	褐色泥砂
24	包含層		0.70	35.86	土師器	鎌倉時代	8-70	暗灰色砂泥
25	包含層		0.65	35.88	土師器、陶器	鎌倉時代	8-70	暗灰色砂泥
26	溝	1.60	0.90	35.24			8-70	東西方向
27	土壌	2.00以上	2.00以上	35.53			8-70	
28	路面		0.20	37.40		桃山以降	8-70	4層
29	路面		0.20	37.37		桃山以降	8-70	4層
30	包含層		0.20	34.81	土師器	平安後期	8-70	灰色泥土
31	包含層		0.65	34.42	土師器	平安後期	8-70	茶色砂泥
32	包含層		0.50	34.44	土師器	平安後期	8-70	茶黄色砂泥
33	包含層		0.45	34.60	土師器	平安後期	8-70	淡茶色泥砂
34	包含層		0.50	34.42	土師器	平安後期	8-70	淡茶色砂泥
35	包含層		0.30	34.43	土師器	平安時代	8-70	淡茶色泥砂
36	包含層		0.65	34.38	土師器	平安後期	8-70	淡茶色泥砂
37	包含層		0.25	34.36	土師器、炭	平安後期	8-70	茶色砂泥
38	包含層		0.30	34.13	土師器	平安後期	8-70	茶灰色砂泥
39	包含層		0.65	34.13	土師器、瓦	平安後期	8-70	淡灰色泥砂
40	包含層		0.95	34.43	土師器	平安後期	8-70	茶灰色砂泥
41	包含層		0.30	36.16	土師器	室町後期	8-70	茶灰色砂泥
42	路面		0.30	36.46		室町以降	8-70	1層
43	包含層		0.85	36.07	土師器	室町後期	8-70	茶灰色砂泥
44	包含層		0.85	34.87	土師器	平安後期	8-72	淡茶色泥砂
45	包含層		0.80	34.68	土師器	平安後期	8-72	茶色泥砂
46	包含層		0.55	34.57	土師器	平安後期	8-72	茶色泥砂

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
47	包含層		0.20	34.50	土師器	平安後期	8-72	茶褐色泥砂
48	包含層		0.30	34.44	土師器	平安後期	8-72	茶色泥砂
49	包含層		0.20	34.70	土師器	飛鳥時代	8-72	茶色泥砂
50	包含層		0.20	34.50	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
51	包含層		0.20	34.60	土師器、炭	平安後期	8-72	茶色泥砂
52	包含層		0.25	34.26	土師器	室町後期	8-72	茶色泥砂
53	包含層		0.20	34.29	土師器	室町後期	8-72	茶灰色泥砂
54	包含層		0.60	35.36	土師器	飛鳥時代	8-72	茶色泥砂
55	包含層		0.50	34.39	土師器	平安後期	8-72	茶色泥砂
56	包含層		0.70	34.31	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
57	包含層		0.25	34.52	土師器	平安後期	8-72	淡茶色泥砂
58	包含層		0.80	34.84	土師器	平安後期	8-72	淡茶色泥砂
59	包含層		0.25	34.69	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
60	包含層		0.45	34.55	土師器	平安後期	8-72	暗茶灰色泥砂
61	包含層		0.45	34.45	土師器	平安後期	8-72	暗茶灰色泥砂
62	包含層		0.40	34.58	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
63	溝		0.50	34.03		平安時代	8-72	南肩部
64	包含層		0.30	34.43	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
65	包含層		0.20	34.25	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
66	包含層		0.70	34.05	土師器	平安後期	8-72	茶色泥砂
67	包含層		0.40	33.87	土師器	平安後期	8-72	淡茶灰色泥砂
68	包含層		0.40	34.09	土師器	平安後期	8-72	暗褐色泥砂
69	包含層		0.60	33.80	土師器	平安後期	8-72	暗褐色泥砂
70	包含層		0.35	34.02	土師器	平安後期	8-72	茶色泥砂
71	包含層		0.50	34.09	土師器	平安後期	8-72	茶黄色泥砂
72	包含層		0.30	33.94	土師器、炭	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
73	柱穴	0.30	0.70	34.94	土師器	平安後期	8-72	柱痕あり
74	土壌	0.60	0.20	33.94		平安後期	8-72	76と0.6mの間隔
75	包含層		0.20	33.94	土師器	平安後期	8-72	淡黄灰色泥砂
76	土壌	0.60	0.20	33.94		平安後期	8-72	74・77と0.6mの間隔
77	土壌	0.60	0.20	33.94		平安後期	8-72	76と0.6mの間隔
78	包含層		0.25	33.79	土師器	平安後期	8-72	黄灰色泥砂
79	包含層		0.20	34.24	土師器	平安後期	8-72	淡黄色粘土
80	包含層		0.20	34.07	土師器	平安後期	8-72	淡茶色泥砂
81	包含層		0.25	33.79	土師器	平安後期	8-72	茶灰色泥砂
82	包含層		0.20	33.75	土師器、陶器	室町後期	8-72	淡黄灰色泥砂
83	包含層		0.50	33.66	土師器	平安後期	8-75	茶色泥砂
84	包含層		0.20	34.71	土師器、輸入陶器	平安後期	8-75	暗黄色泥砂
85	包含層		0.50	34.68	須恵器	飛鳥時代	8-75	暗黄灰色泥砂
86	流路		0.50	34.37	須恵器	古墳後期	8-75	南北方向
87	流路		0.30	34.30	土師器	桃山時代	8-75	南北方向
88	包含層		0.25	34.46	土師器	平安後期	8-75	淡茶色泥砂
89	包含層		0.20	34.44	土師器、陶器	室町後期	8-75	暗黄色泥砂
90	包含層		0.15	34.24	土師器	飛鳥時代	8-75	暗黄色砂泥
91	包含層		0.25	34.35	土師器、炭	平安後期	8-75	淡茶色泥砂
92	包含層		0.25	34.70	土師器、陶器	室町後期	8-75	茶色泥砂
93	包含層		0.20	35.06	土師器、陶器	室町後期	8-75	茶色泥砂
94	包含層		0.20	33.84	土師器、陶器	室町後期	8-75	茶色泥砂
95	湿地		1.60	33.55			8-76	茶灰色泥土
96	土壌		1.25	33.59			8-76	95の東肩部の可能性あり
97	包含層		0.80	33.65	土師器	平安後期	8-76	淡茶色泥砂
98	包含層		0.45	33.45	土師器	平安後期	8-76	淡茶色泥砂
99	包含層		0.40	33.76	土師器	平安後期	8-76	淡灰色砂泥
100	包含層		0.60	33.80	土師器、炭	平安後期	8-76	茶灰色泥砂
101	包含層		0.40	33.72	土師器	平安後期	8-76	暗茶灰色泥砂
102	井戸	1.50	1.05	33.17	磁器、瓦	江戸時代	8-77	石組み9段、内径1.0m
103	包含層		0.90	33.65	土師器、炭	平安後期	8-77	茶色泥砂
104	包含層		0.55	33.40	土師器、炭	平安後期	8-77	茶色泥砂
105	包含層		0.50	33.31	土師器	平安後期	8-77	茶色泥砂
106	包含層		0.45	33.31	土師器	平安後期	8-77	黄色泥砂
107	土壌	1.00	0.45	35.59	炭	江戸時代	14-19	焼土を多く含む

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
108	湿地		1.40	39.71			14-19	109・110と同一、腐植土層
109	湿地		0.50	41.18			14-19	108・110と同一、腐植土層
110	湿地		0.50	41.32			14-19	108・109と同一、腐植土層
111	路面		0.55	41.05			14-19	礫と砂の互層
112	路面		0.20	32.82			14-19	礫と砂の互層

表24 嵐山北地区(図41)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	路面		0.05	36.46			13-12	
2	土壌	0.80	0.25	37.59			13-12	
3	路面		0.10	37.84		江戸時代	13-12	2層
4	路面		0.25	37.44			13-12	
5	土壌	2.00以上	0.50	36.09			13-12	西肩部、北へ下がる
6	路面		0.25	36.09			13-12	礫混、よく締まる
7	路面		0.25	36.22			13-12	2層
8	路面		0.25	35.77			13-12	3層
9	路面		0.25	35.33			13-12	3層
10	土壌	0.80以上	0.60	33.82	陶器	江戸時代	13-12	東肩部
11	路面		0.50	34.18			13-12	3層
12	路面		0.35	34.27			13-12	
13	路面		0.45	34.43			13-12	3層
14	湿地		0.70	33.77			13-12	15・16と同一、淡黄灰色砂泥
15	湿地		0.55	34.30			13-12	14・16と同一、淡黄灰色砂泥
16	湿地		1.15	34.36			13-12	14・15と同一、淡黄灰色砂泥
17	湿地		1.20	34.62			13-12	淡黄灰色砂泥
18	土壌	2.50以上	0.85	30.97			14-23	東肩部
19	土壌	1.40	1.40以上	31.64	柱状木製品		14-23	断面六角形、長さ1.4m以上
20	溝	0.60	0.35	31.73			14-23	礫を多く含む、暗渠か

表25 嵐山南地区(図42)

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
1	包含層		0.20	32.20	土師器	平安後期	14-25	灰色砂泥
2	包含層		0.45	31.90	土師器	平安中期	14-26	淡灰黄色砂泥
3	包含層		0.35	31.81	土師器	平安中期	14-26	淡灰黄色砂泥
4	包含層		0.45	31.85	土師器	平安中期	14-26	灰黄色砂泥
5	包含層		0.40	32.10	土師器	平安中期	14-26	オリーブ灰色砂泥
6	溝	1.30	0.25	32.99	磁器、炭	江戸時代	14-26	南北方向、西に振る
7	土壌	1.10以上	0.40	33.41	土師器	平安後期	14-26	地山を切り込む
8	包含層		0.30	33.45	土師器、炭	平安後期	14-26	淡茶灰色砂泥
9	包含層		0.40	33.17	土師器	平安時代	14-26	茶褐色砂泥
10	土壌		1.30	33.04			14-26	
11	土壌	0.80以上	0.60以上	33.13	陶器	近世以降	14-26	
12	土壌	1.20	0.70	32.52	陶器	江戸時代	14-26	
13	包含層		0.15	32.68	土師器、炭	平安時代	14-26	茶褐色砂泥
14	土壌			32.58	陶器	桃山時代	14-26	
15	土壌	0.50	0.35	31.38		平安時代	14-26	包含層の下層で検出
16	包含層		0.15	31.81	土師器	室町前期	14-26	暗灰色砂泥
17	包含層		0.25	31.66	土師器	平安後期	14-26	オリーブ灰色砂泥
18	土壌	1.50以上	0.60	31.00			14-26	南肩部、北へ下がる
19	包含層		0.50	31.50	土師器	平安時代	14-26	茶色砂泥
20	包含層		0.25	31.56	土師器	平安時代	14-26	茶褐色砂泥
21	包含層		0.40	31.64	土師器	平安時代	14-26	茶灰色砂泥
22	包含層		0.25	32.06	土師器	平安時代	14-26	暗灰色砂泥
23	包含層		0.40	32.09	土師器	平安時代	14-26	茶灰色砂泥
24	包含層		0.20	31.33	土師器	室町中期	14-26	オリーブ灰色砂泥
25	包含層		0.45	31.42	土師器	平安時代	14-26	淡灰色砂泥
26	土壌	4.50以上	0.95	31.44			14-26	北肩部、南へ下がる

付表1 地区別遺構分布表

番号	遺構	幅(m)	深さ(m)	標高(m)	遺物	時代	調査区	備考
27	路面		0.40	35.48			14-29	礫混、よく締まる
28	路面		0.45	34.99			14-29	礫混、よく締まる
29	路面		0.25	34.85			14-29	
30	路面		0.25	34.71			14-29	3層
31	路面		0.20	34.44			14-29	2層
32	路面		0.45	34.25			14-29	4層
33	路面		0.65	33.98			14-29	6層
34	路面		0.90	33.88			14-29	9層
35	路面		0.50	33.69			14-29	4層
36	路面		0.55	33.59			14-29	5層
37	路面		0.40	33.62			14-29	5層
38	路面		0.40	33.62			14-29	4層
39	路面		0.60	33.78			14-29	8層
40	路面		0.45	33.78			14-29	7層
41	路面		0.55	33.47			14-29	5層
42	路面		0.40	33.63			14-29	5層
43	路面		0.55	33.54			14-29	
44	溝	1.60	0.60	32.69	軒瓦、瓦	平安前期	14-29	東西方向、東で北に振る
45	土壌	0.90	1.20	32.54			14-29	
46	包含層		1.10	32.99	土師器	平安前期	14-29	オリープ灰色砂泥
47	包含層		0.55	32.58	土師器	平安時代	14-31	暗灰色砂泥
48	土壌	1.00以上	0.60	32.20	磁器、炭	江戸時代	14-31	焼土を含む
49	土壌	0.20	0.20	32.20	土師器	平安後期	14-31	柱穴の可能性あり
50	土壌		1.15	31.94			14-31	東肩部、西へ下がる
51	土壌		1.15	31.94			14-31	西肩部、東へ下がる
52	土壌	0.20	0.55	32.27	土師器、炭	平安時代	14-31	柱穴の可能性あり
53	包含層		0.70	32.42	土師器	平安前期	14-31	茶色砂泥
54	包含層		0.20	33.40	土師器	平安前期	14-31	黄灰色砂泥
55	溝		0.75	30.77			14-34	南北方向
56	包含層		0.60	31.46	土師器	平安時代	14-39	茶褐色砂泥
57	包含層		0.40	31.10	土師器	平安中期	14-39	暗灰色砂泥
58	溝		0.50	33.37		江戸時代	14-39	東西方向、石組み水路
59	路面		0.50	34.07		江戸以降	14-39	3層
60	路面		0.55	33.88			14-39	3層
61	路面		0.75	33.39			14-39	6層
62	路面		0.20	33.12			14-39	
63	路面		0.25	33.12			14-39	3層
64	路面		0.15	33.10			14-39	5層
65	路面		0.35	33.53			1-39	6層
66	路面		0.75	33.54			14-39	4層
67	土壌	2.55以上	0.80	31.38	磁器、炭	平安後期	14-39	
68	流路		0.50	30.76	土師器、瓦器、白磁	平安後期	14-39	西肩部
69	包含層		0.60	31.06	土師器、瓦器、白磁	平安後期	14-39	淡灰色砂泥

付表 2 調査一覧表

北嵯峨西半 (図版 1)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
1-1	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町	広域立会	92UZ-SW014	93.01.22 ～ 94.03.04	平安前期・室町中期・後期の土壌・桂穴・井戸・溝、土師器・須恵器	434	
1-2	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町・山王町・名古曾町	広域立会	92UZ-SW014	93.01.22 ～ 94.03.04	縄文中期・平安前期～江戸の土壌・柱穴・溝、縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・輸入陶器他	434	図版 2 に続く
1-3	嵯峨院跡	右京区北嵯峨山王町	採取		93.10.25	室町～江戸の陶磁器・瓦	III-3	
1-4	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町	採取		93.06.28	積上げ五輪塔	III-3	
1-5	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町 50、58、59-3	試掘	84BB-UZ006	84.06.04	室町の包含層、土師器・瓦器	270	
1-6	嵯峨院跡・大覚寺御所跡	右京区北嵯峨名古曾町・北ノ段町	広域立会	84UZ-W-006	84.11.20 ～ 12.20	平安前期・中期の土壌、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・瓦	305	図版 2・7 に続く
1-7	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町	採取		94.10.01	平安の土師器・須恵器・灰釉陶器	III-3	
1-8	嵯峨院跡	右京区北嵯峨気比社町・北ノ段町、嵯峨観空寺明水町	広域立会	92UZ-SW012	92.12.22 ～ 94.04.05	平安～江戸の包含層・土壌・柱穴、土師器・磁器	427	図版 7 に続く
1-9	嵯峨院跡	右京区北嵯峨気比社町～北ノ段町 63	立会	84BB-UZ014	84.11.10 ～ 11.20	時期不明の整地層	270	図版 7 に続く
1-10	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町	広域立会	92UZ-SW014	93.01.22 ～ 94.03.04	平安～江戸の包含層・湿地・路面、土師器・瓦	434	図版 7 に続く
1-11	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町	採取		93.10.28	平安の土師器、室町の陶磁器・瓦	III-3	

北嵯峨東半 (図版 2)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
2-12	瓦窯跡	右京区梅ヶ畑篝町・上ノ町・中繩手町・宮ノ口町・猪ノ尻町	立会	92BB-UZ411	93.03.18 ～ 11.12	時期不明の焼土層、炭	400	
2-13	瓦窯跡	右京区梅ヶ畑高鼻町	採取		87.09.25	平安・鎌倉の軒瓦	IV-2-b	
2-14	瓦窯跡	右京区梅ヶ畑宮ノ口町・向ノ地町	立会	93BB-UZ103	93.06.18 ～ 94.04.05	江戸以降の包含層	412	
2-15		右京区北嵯峨赤阪町	採取		93.12.14	室町の土師器・須恵器・陶器	III-3	
2-16	嵯峨院跡	右京区北嵯峨名古曾町	採取		93.03.23	室町後期の土師器	III-3	
2-17		右京区北嵯峨赤阪町	採取		94.10.01	室町の土師器・瓦器・青磁・瓦	III-3	
2-18	長刀坂古墳群	右京区北嵯峨長刀坂町	採取		93.08.06	積み上げ五輪塔	III-3	

宇多野西半 (図版 3)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
3-1		右京区鳴滝白砂	採取		86.07.30	平安前期の灰釉陶器		
3-2	梅ヶ畑遺跡・御堂ヶ池古墳群	右京区梅ヶ畑高鼻町・向ノ地町	広域立会	契約外	92.04.24 ～ 07.01	御堂ヶ池の堆積土		
3-3	御堂ヶ池古墳群	右京区梅ヶ畑向ノ地町	立会	91BB-UZ393	92.03.03 ～ 07.01	2・5・19号墳の横穴式石室の一部発見、古墳後期の土師器	373	
3-4	御堂ヶ池古墳群	右京区梅ヶ畑向ノ地町、鳴滝音戸山町	発掘	82UZ-OD001	83.02.04 ～ 02.22	1号墳、群中では最大規模、玄室に石・陶・木棺の3種埋葬、古墳後期	246	
3-5	御堂ヶ池古墳群	右京区梅ヶ畑向ノ地町 26-11	立会	85BB-UZ013	85.09.05	未検出	286	
3-6	御堂ヶ池古墳群・音戸山古墳西支群	右京区梅ヶ畑向ノ地町、鳴滝音戸山町	発掘	84UZ-OD002	84.10.22 ～ 85.01.31	21・26号墳、21号墳は両袖の横穴式石室、26号墳は無袖の横穴式石室、古墳後期	281	

宇多野東半（図版4）

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
4-7		右京区御室大内	採取		86.07.30	平安前期・中期の土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・瓦		
4-8		右京区鳴滝宅間町	採取		86.07.30	平安の土師器・瓦		
4-9		右京区鳴滝宅間町・宇多野谷・蓮池町・泉殿町・泉谷町	広域立会	契約外	89.11.27 ～ 90.03.29	未検出	Ⅲ-1	
4-10		右京区宇多野上ノ谷・福王子町・鳴滝本町	広域立会	契約外	89.07.01 ～ 90.04.18	平安～室町後期の土壌・溝・土師器多数、平安の土壌・溝・焼土層	Ⅲ-1	図版10に続く
4-11		右京区鳴滝川西町・蓮池町・本町	広域立会	契約外	88.09.07 ～ 89.04.07	未検出	Ⅲ-1	図版10に続く
4-12		右京区宇多野北ノ院町・馬場町・御室大内	広域立会	契約外	88.09.07 ～ 89.04.07	平安中期・後期の土壌・溝・区画溝・包含層・土師器・須恵器・軒瓦	Ⅲ-1	図版5・10に続く

衣笠山（図版5）

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
5-1		右京区龍安寺山田町	採取		86.07.30	土師器・須恵器・瓦		
5-2		右京区御室大内	採取		86.07.30	瓦		
5-3		右京区龍安寺御陵ノ下町	採取		86.07.30	瓦		
5-4	名勝龍安寺庭園	右京区龍安寺御陵ノ下町13-1	試掘	センター調査93-No.053	93.07.21	平安後期の地業・軒瓦、室町の木桶・土師器	397	
5-5		右京区龍安寺住吉町・塔ノ下町・花園圓成寺町・御室大内	広域立会	契約外	85.03.18 ～ 86.03.22	平安前期・中期の包含層	Ⅳ-1	図版11に続く
5-6	円乗寺跡・円教寺跡	右京区龍安寺塔ノ下町・花園圓成寺町	立会	80BB-UZ012	80.10.06 ～ 10.22	平安後期の包含層、鎌倉の井戸、土師器・瓦器・瓦・軒瓦	230	図版11に続く
5-7		右京区龍安寺住吉町・池ノ下町・御陵ノ下町・衣笠下町・等持院北町	広域立会	契約外	85.05.31 ～ 86.06.10	未検出		
5-8		右京区龍安寺塔ノ下町・玉津芝町・西ノ川町・五反田町・齋宮町・谷口垣ノ内町・園町	広域立会	契約外	85.03.18 ～ 86.03.22	平安前期・中期の包含層	Ⅳ-1	図版11に続く

小倉山（図版6）

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
6-1	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨鳥居本一華表町・仙翁町・北代町・六反町	広域立会	93UZ-SW003	93.05.06 ～ 94.03.17	室町の包含層・路面	435	
6-2	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨鳥居本化野町	採取		94.03.01	鎌倉の陶器	Ⅲ-3	
6-3	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨鳥居本化野町・龜山町	広域立会	93UZ-SW003	93.05.06 ～ 94.03.17	平安後期・室町中期・後期・江戸の土壌・墓、土師器・陶磁器・副葬品・人骨	435	
6-4	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨鳥居本化野町	広域立会	93UZ-UW008	93.11.24 ～ 12.06	室町～江戸の土壌・墓、土師器・磁器・瓦・人骨	435	
6-5	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨鳥居本小坂町・六反町・仏餉田町	広域立会	93UZ-SW003	93.05.06 ～ 94.03.17	室町後期～江戸の土壌・墓、土師器・陶磁器・積上げ五輪塔	435	
6-6	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨鳥居本小坂町	採取		94.01.27	鎌倉～江戸の土師器・陶器・軒丸瓦・瓦	Ⅲ-3	

大覚寺西半（図版7）

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
7-1		右京区嵯峨鳥居本北代町	広域立会	契約外	92.06.26	未検出	Ⅲ-3	
7-2	嵯峨院跡	右京区北嵯峨北ノ段町88-2	立会	83BB-UZ016	84.02.02	未検出	270	
7-3	史跡大覚寺御所跡	右京区嵯峨大沢町4大覚寺境内	発掘	91UZ-AA002	91.11.09 ～ 92.02.15	平安～江戸の池・土壌・柱穴・溝・建物・井戸・柵列、土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・陶磁器・軒瓦	418	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
7-4	史跡大覚寺御所跡	右京区嵯峨大沢町4大覚寺境内	試掘立会	91UZ-AA001	91.09.06～11.15	平安～江戸の土壌・柱穴・溝・土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・白磁	418	
7-5	大覚寺境内	右京区嵯峨大沢町	試掘	83BB-UZ008	84.11.16	時期不明の包含層	258	
7-6	大覚寺境内	右京区嵯峨大沢町	試掘	84BB-UZ003	84.05.16	室町後期～江戸の土壌5基	270	
7-7	大覚寺旧境内	右京区嵯峨観空寺明水町33-2	立会	92BB-UZ286	92.11.17	時期不明の土壌・土師器・炭	375	
7-8	嵯峨院跡	右京区嵯峨観空寺明水町	立会	83BB-UZ001	83.04.04	土師器	258	
7-9	嵯峨院跡	右京区嵯峨観空寺明水町	立会	92BB-UZ293	92.11.27	未検出	375	
7-10	嵯峨院跡	右京区嵯峨観空寺明水町61-6	立会	83BB-UZ003	83.05.04	未検出	258	
7-11	史跡大覚寺御所跡	右京区嵯峨大沢町4大覚寺境内	発掘	91UZ-AA003	92.03.09～05.14	平安～江戸の流路・土壌・井戸・溝・土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・輸入陶磁器・陶器・磁器・瓦	418	
7-12	嵯峨院跡	右京区嵯峨観空寺明水町・大沢町・北嵯峨北ノ段町	広域立会	91UZ-SW014	92.03.10～07.01	平安後期～江戸の土壌・溝・柱穴・土師器・瓦器・瓦	420	
7-13	史跡大覚寺御所跡	右京区嵯峨大沢町	発掘	92UZ-AA004	92.06.11～07.25	室町～江戸の土壌・石列・溝・須恵器・土師器・陶器・磁器・瓦	425	
7-14		右京区嵯峨鳥居本仏餉田町・中筋町	広域立会	契約外	92.06.26	未検出	III-3	
7-15		右京区嵯峨観空寺久保殿町・大覚寺門前六道町	広域立会	契約外	92.04.02～05.21	室町～江戸の土壌・路面・流路・土師器・瓦・漆器	III-3	
7-16		右京区嵯峨大覚寺門前六道町・登り町	広域立会	契約外	92.05.12～07.16	路面	III-3	図版8に続く
7-17		右京区嵯峨二尊院門前善光寺山町・北中院町	広域立会	契約外	92.04.15～06.26	路面	III-3	
7-18		右京区嵯峨積迦堂藤ノ木町	広域立会	契約外	92.05.06～06.26	路面	III-3	
7-19		右京区嵯峨大覚寺門前宮ノ下町・堂ノ前町・登り町・大沢柳井手町	広域立会	契約外	91.05.09～92.03.15	平安・室町前期の土壌・溝・流路・湿地・土師器	III-3	図版8に続く
7-20		右京区嵯峨積迦堂藤ノ木町・大覚寺門前六道町・井頭町・積迦堂門前瀬戸川町	広域立会	契約外	91.06.13～92.02.24	平安～江戸の包含層・土壌・路面・土師器・瓦器・漆器	III-3	
7-21		右京区嵯峨大賞寺門前宮ノ下町・八軒町	広域立会	契約外	91.05.21～09.26	平安～桃山の土壌・溝・湿地・土師器・瓦器	III-3	図版8に続く
7-22	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨二尊院門前長神町	広域立会	94UZ-UW012	95.03.09～03.22	江戸の土壌・路面・整地層・土師器・瓦器	III-3	
7-23		右京区嵯峨積迦堂門前南中院町・裏柳町	広域立会	契約外	92.04.14～05.19	平安後期・鎌倉・室町前期・中期の柱穴・溝・路面・包含層・土師器・陶磁器・瓦	428	
7-24		右京区嵯峨積迦堂大門町	広域立会	契約外	83.07.12	室町の土壌・瓦	III-3	
7-25	史跡大覚寺御所跡隣接地	右京区嵯峨積迦堂大門町35-1 嵯峨小学校	試掘	83UZ-AH006	83.07.12	鎌倉～室町の包含層・土師器	276	
7-26	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨小倉山山本町	広域立会	92UZ-SW005	92.10.26～11.05	平安後期・鎌倉・室町前期・中期の土壌・路面・土師器・瓦器・陶磁器・軒瓦・瓦	428	
7-27	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨小倉山堂ノ前町・田淵山町・野々宮町・天龍寺立石町	広域立会	92UZ-SW005	92.04.24～05.26	未検出	428	
7-28		右京区嵯峨積迦堂門前裏柳町・天龍寺立石町	広域立会	契約外	93.08.19～10.22	平安前期・鎌倉・室町前期・中期の土壌・柱穴・溝・井戸・土師器・瓦器・陶器・輸入陶器・瓦	428	
7-29		右京区嵯峨天龍寺瀬戸川町	採取		93.06.01	室町後期の土師器	III-3	
7-30		右京区嵯峨積迦堂大門町・天龍寺瀬戸川町	広域立会	契約外	91.05.09～92.02.24	平安後期・鎌倉・室町の土壌・溝・井戸・土師器・青磁・陶器	428	
7-31		右京区嵯峨積迦堂門前瀬戸川町・天龍寺瀬戸川町・若宮町	広域立会	契約外	91.06.22～92.02.15	室町の土壌・溝・井戸・土師器・瓦	III-3	図版8に続く
7-32	史跡名勝嵐山隣接地	右京区嵯峨野々宮町	立会	83BB-UZ014	84.01.26	未検出	270	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
7-33	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町	採取		95.03.22	平安前期の土師器、陶器・瓦	Ⅲ-3	
7-34	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨野々宮町(野々宮神社境内)	採取		91.12.06	布目瓦	Ⅲ-3	
7-35	檀林寺跡	右京区嵯峨天龍寺立石町1-3	発掘	77UZ-DR	77.08.01～08.12	平安～室町の土壌、軒瓦・瓦	附2	
7-36		右京区嵯峨天龍寺北造路町・造路町	広域立会	契約外	91.05.16～92.03.24	平安・室町前期・桃山の土壌・柱穴・井戸・溝・路面、土師器・瓦	Ⅲ-3	
7-37	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺立石町	広域立会	91UZ-SW012	91.11.19～12.04	平安中期・室町中期・後期・江戸の土壌・柱穴・溝、土師器・陶器・磁器・瓦	422	
7-38	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺北造路町	広域立会	91UZ-SW008	91.06.07～07.24	平安前期・中期・後期・室町の土壌・溝・井戸、土師器・須恵器・陶器・磁器・瓦	422	
7-39	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町	採取		91.12.06	平安の布目瓦	Ⅲ-3	
7-40	史跡特別名勝天龍寺庭園・史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町	広域立会	91UZ-SW011	91.11.25～92.02.26	平安中期・後期・鎌倉・室町・江戸の土壌・溝、土師器・瓦器・陶器・磁器・軒瓦	422	図版13に続く
7-41	史跡特別名勝天龍寺庭園・史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町	広域立会	91UZ-UW013	91.12.16～92.02.28	平安前期・後期・鎌倉・室町・江戸の土壌・溝、土師器・須恵器・緑釉陶器・瓦器・陶器・瓦	421	図版13に続く

大覚寺東半(図版8)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
8-42	史跡大覚寺御所跡	右京区嵯峨大沢町	立会	88BB-UZ030	89.03.04	未検出	334	
8-43	遍照寺跡	右京区嵯峨長刀坂町	採取		92.02.08	平安の布目瓦	Ⅲ-3	
8-44	史跡大覚寺御所跡	右京区嵯峨大沢町	立会	89BB-UZ010	89.12.08	未検出	334	
8-45	遍照寺跡	右京区嵯峨釣殿町	採取		93.02.24	平安中期の土師器・須恵器	Ⅲ-3	
8-46	遍照寺跡	右京区嵯峨釣殿町	広域立会	94UZ-SW002	94.05.09～06.07	鎌倉・室町・江戸の土壌・溝・路面、土師器・陶器・磁器・瓦	Ⅲ-3	
8-47	遍照寺跡	右京区嵯峨釣殿町(児神社境内)	採取		94.05.09	古墳の須恵器	Ⅲ-3	
8-48	広沢古墳群	右京区嵯峨広沢池下町	広域立会	94UZ-SW004	94.06.07～08.29	江戸の土壌・路面、土師器・陶器・磁器	Ⅲ-3	図版9に続く
8-49	大覚寺古墳群	右京区嵯峨大覚寺門前登り町・堂ノ前町・大沢柳井手町	立会	91BB-UZ136	91.07.22～11.02	平安の溝・土壌、土師器	361	
8-50	広沢西裏遺跡	右京区嵯峨大沢落久保町・釣殿町	立会	90BB-UZ007	91.03.19～04.02	時期不明の土壌・路面、土師器	361	
8-51		右京区嵯峨大沢西裏町・池下町	広域立会	契約外	91.03.18～07.02	時期不明の溝・土壌・路面	Ⅲ-3	
8-52		右京区嵯峨一本木町・広沢西裏町	広域立会	契約外	91.03.18～06.28	室町後期の包含層・溝・流路、土師器	Ⅲ-3	
8-53	大覚寺古墳群	右京区嵯峨大覚寺門前登り町23-2	立会	80BB-UZ019	81.03.10	未検出	230	
8-54	大覚寺古墳群	右京区嵯峨大沢柳井手町27-1.28-1	立会	85BB-UZ014	85.09.20・10.24	室町の土壌、土師器	286	
8-55	大覚寺古墳群	右京区嵯峨大覚寺門前堂ノ前町	立会	92BB-UZ116	92.06.24～07.10	時期不明の包含層、土師器・白磁	375	
8-56	散布地	右京区嵯峨大沢西裏町35-1・4	立会	82BB-UZ011	82.09.14～09.16	時期不明の柱穴・土壌	247	
8-57	散布地	右京区嵯峨大沢西裏町33-4、34-7	立会	84BB-UZ005	84.06.01	未検出	270	
8-58	散布地	右京区嵯峨大沢西裏町32-4	立会	83BB-UZ011	83.12.14	未検出	258	
8-59	広沢古墳群	右京区嵯峨広沢池下町	立会	92BB-UZ052	92.05.06・05.19	未検出	375	
8-60	稲荷古墳	右京区嵯峨大沢西裏町20-20	立会	79BB-UZ300	79.09.20	時期不明の土師器・炭片	223	
8-61	稲荷古墳	右京区嵯峨大沢西裏町(遍照寺境内)	採取		89.05.04	平安の須恵器	Ⅲ-3	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
8-62		右京区嵯峨広沢池下町	広域立会	契約外	90.11.19 ～ 91.06.05	平安の土壌・包含層	Ⅲ-2	図版9に 続く
8-63		右京区嵯峨新宮町	広域立会	契約外	91.07.09 ～ 92.03.19	鎌倉の包含層・土壌、土師器・布目瓦・埴	Ⅲ-3	
8-64		右京区嵯峨新宮町・広沢西裏町・御所ノ内町	広域立会	契約外	91.02.21 ～05.29	平安の包含層・溝、土師器	Ⅲ-3	
8-65		右京区嵯峨大覚寺門前八軒町・天龍寺中島町	広域立会	契約外	91.04.16 ～06.22	室町後期・桃山の土壌・井戸・流路、土師器・瓦器・陶器	Ⅲ-3	
8-66		右京区嵯峨新宮町・広沢御所ノ内町・南野町	広域立会	契約外	90.06.26 ～ 91.02.04	飛鳥・平安中期・後期・室町前期・中期の土壌・流路・路面・包含層、土師器・青磁	Ⅲ-3	図版9に 続く
8-67		右京区嵯峨天龍寺若宮町	採取		87.04.25	鎌倉～江戸の土師器・陶器・磁器	Ⅲ-3	
8-68		右京区嵯峨天龍寺若宮町・広道町・椎野町・中島町	広域立会	契約外	91.03.05 ～12.10	室町の土壌・溝、土師器・瓦器	Ⅲ-3	
8-69		右京区嵯峨天龍寺油掛町・折戸町・中又町	広域立会	契約外	90.05.29 ～ 91.03.23	平安後期の土壌・溝・路面、土師器	Ⅲ-3	
8-70		右京区嵯峨甲塚町・中又町	広域立会	契約外	90.06.11 ～ 91.01.19	平安後期・鎌倉・室町後期・桃山、土壌・溝・路面・包含層、土師器・陶器	Ⅲ-3	図版9に 続く
8-71		右京区嵯峨天龍寺車道町・今堀町・北堀町・広道町	広域立会	契約外	90.09.13 ～ 91.05.27	平安後期・室町の土壌・柱穴・溝・流路、土師器・瓦	Ⅲ-3	
8-72		右京区嵯峨天龍寺油掛町・折戸町・苅分町	広域立会	契約外	89.06.18 ～ 90.02.14	飛鳥・平安後期・室町後期の土壌・柱穴・溝・包含層、土師器	Ⅲ-3	図版9に 続く
8-73		右京区嵯峨天龍寺竜門町・角倉町	広域立会	契約外	90.03.03 ～07.16	飛鳥・平安・室町中期・後期の土壌・溝・包含層、土師器・埴	Ⅲ-3	図版14 に続く
8-74		右京区嵯峨天龍寺今堀町・北堀町	広域立会	契約外	90.01.26 ～07.11	飛鳥・平安前期・後期・室町中期・後期の土壌・柱穴・溝・井戸、土師器・須恵器・陶器	Ⅲ-3	図版14 に続く
8-75		右京区嵯峨折戸町・梅ノ木町・中通町	広域立会	契約外	89.05.28 ～ 90.02.27	古墳後期・飛鳥・平安後期・室町後期の流路・包含層、土師器・須恵器・輸入陶磁器・陶器	Ⅲ-3	図版14 に続く
8-76		右京区嵯峨中又町・苅分町	広域立会	契約外	89.08.21 ～ 90.03.08	平安後期の土壌・湿地・包含層、土師器	Ⅲ-3	図版9に 続く
8-77		右京区嵯峨中通町・朝日町・明星町	広域立会	契約外	89.05.30 ～11.30	平安後期・江戸の包含層・井戸、土師器・磁器・瓦	Ⅲ-3	図版9・ 14・15 に続く

鳴滝西半（図版9）

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
9-1	音戸山古墳群	右京区鳴滝音戸山町、太秦中山町・三尾町	立会	91BB-UZ255	91.09.17 ～ 92.05.12	石材	375	
9-2		右京区鳴滝音戸山町、太秦中山町・三尾町	広域立会	契約外	93.04.01 ～08.31	未検出		図版10 に続く
9-3	音戸山古墳群	右京区鳴滝音戸山町	発掘	83UZ-QD001	83.04.01 ～04.25	1号墳、床は2面	256	
9-4	音戸山古墳群	右京区鳴滝音戸山町11-99	発掘	83UZ-QD002	83.06.10 ～09.02	3～5号墳、3号墳は方墳、他円墳	256	
9-5	音戸山古墳群	右京区鳴滝音戸山町11-3	発掘	84UZ-QD003	84.10.27 ～ 85.01.16	7・8号墳、ともに方墳	283	
9-6	音戸山古墳群	右京区鳴滝音戸山町11-3・95	立会	81BB-UZ006	81.05.28	未検出	239	
9-7	音戸山古墳群	右京区太秦中山町29・三尾町	立会	93BB-UZ372	94.01.20 ～01.26	未検出	412	
9-8	音戸山古墳群	右京区太秦三尾町1-212	立会	94BB-UZ104	94.06.10 ～06.14	未検出	412	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
9-9		右京区太秦三尾町・中山町、鳴滝音戸山町	広域立会	契約外	90.03.31 ～ 91.09.30	未検出		図版10 に続く
9-10		右京区鳴滝音戸山町、太秦堀池町・御領田町	広域立会	契約外	92.03.31 ～ 92.08.31	未検出		
9-11	広沢古墳群	右京区嵯峨広沢町	立会	85BB-UZ012	85.08.14	未検出	286	
9-12		右京区山越中町	採取		87.04.30	時期不明の土師器		
9-13	遍照寺古墳	右京区嵯峨広沢北下馬野町5-3	立会	86BB-UZ012	86.07.23	未検出	298	
9-14	古墳群	右京区嵯峨広沢池下町・北下馬野町・南下馬野町	広域立会	契約外	92.01.31 ～ 06.30	古墳後期の溝・路面	III-2	
9-15		右京区嵯峨広沢北下馬野町	採取		87.04.30	土師器・須恵器・陶器・瓦		
9-16		右京区嵯峨広沢北下馬野町、山越中町、太秦堀池町・御領田町	広域立会	契約外	91.06.30 ～ 92.03.31	未検出		
9-17		右京区太秦堀池町・開日町、山越東町	広域立会	契約外	90.06.30 ～ 91.03.31	未検出		
9-18	巽古墳	右京区山越巽町11-1	試掘	86BB-UZ011	86.07.17 ～ 07.20	石室の一部残存、鉄鎌・金具・刀子・須恵器杯身・蓋・子持器台・石棺（凝灰岩）片	295	
9-19		右京区山越東町・巽町、太秦三尾町・京ノ道町・開日町、鳴滝春木町・音戸山町・西嵯峨園町、常盤草木町	広域立会	契約外	90.03.31 ～ 08.31	平安後期の土壌・路面	III-2	図版10 に続く
9-20	古墳群	右京区嵯峨広沢池下町88-5	立会	92BB-UZ046	92.05.01	時期不明の包含層、土師器、炭片	375	
9-21		右京区嵯峨広沢南野町	広域立会	契約外	91.01.31 ～ 07.31	平安後期の土壌	III-2	
9-22	古墳群	右京区太秦堀池町	立会	90BB-UZ005	91.02.14	時期不明の包含層、土師器	361	
9-23	巽古墳隣接地	右京区太秦開日町	立会	80BB-UZ003	80.07.25	時期不明の溝2	230	
9-24		右京区嵯峨広沢南野町	採取		87.05.07	平安の土師器・須恵器		
9-25		右京区嵯峨広沢南野町・南下馬野町	広域立会	契約外	91.08.31 ～ 10.31	平安後期の土壌・路面	III-2	
9-26		右京区嵯峨広沢南野町（阿刀神社境内）	採取		87.04.24	江戸の土師器・須恵器		
9-27		右京区嵯峨広沢南下馬野町	採取		87.04.24	土師器・須恵器・陶器・瓦		
9-28		右京区嵯峨甲塚町	採取		87.04.25	平安の土師器		
9-29		右京区嵯峨広沢南野町・南下馬野町、嵯峨野清水町・嵯峨ノ段町	広域立会	契約外	90.01.31 ～ 10.31	平安後期の土壌・包含層	III-2	
9-30		右京区嵯峨野嵯峨ノ段町	採取		87.04.23	須恵器・陶器・瓦		
9-31		右京区嵯峨野嵯峨ノ段町	採取		87.04.24	土師器・須恵器・陶器・瓦		
9-32		右京区嵯峨野清水町	採取		87.04.24	陶器		
9-33		右京区嵯峨野嵯峨ノ段町、太秦乾町・一丁芝町	広域立会	契約外	89.08.31 ～ 90.04.30	古墳後期の土壌、平安後期の土壌	III-2	
9-34		右京区太秦中筋町	採取		87.04.23	播鉢		
9-35		右京区太秦乾町	採取		87.04.23	土師器・須恵器・磁器		
9-36		右京区太秦開日町・中筋町・北路町・宮ノ前町	広域立会	契約外	89.05.31 ～ 90.02.15	平安後期の土壌・路面	III-2	図版10 に続く
9-37		右京区太秦馬塚町・一丁芝町・垂筈山町	広域立会	契約外	89.07.31 ～ 90.01.31	平安後期の土壌墓	III-2	図版10 に続く
9-38		右京区嵯峨野有栖川町・神ノ木町	広域立会	契約外	89.05.31 ～ 09.30	平安の土師器	III-2	図版15 に続く
9-39	上ノ段町遺跡・仲野親王陵古墳近接地	右京区嵯峨野神ノ木町・開町、太秦帷子ヶ辻町	広域立会	89UZ-SW016	89.03.27 ～ 90.03.26	古墳後期～江戸の土壌・溝、土師器・須恵器	404	図版15 に続く
9-40	上ノ段町遺跡	右京区嵯峨野開町1-1 蜂ヶ岡中学校	立会	89BB-UZ007	89.10.12	未検出	334	
9-41	上ノ段町遺跡	右京区嵯峨野開町1-1 蜂ヶ岡中学校	試掘	88UZ-AH001	88.07.27 ～ 07.28	古墳後期の堀状遺構、平安前期の柱穴・溝、土師器・須恵器・緑釉陶器	378	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
9-42	上ノ段町遺跡	右京区嵯峨野開町 1-1 蜂ヶ岡中学校	発掘	88UZ-PB002	88.09.05 ～ 11.04	古墳後期の竪穴住居 3・掘立 柱建物 4・土壇 3・溝 2、平 安中期の土壇 2・溝 1	378	
9-43		右京区太秦一丁芝町	採取		87.04.28	土師器・須恵器・陶器・磁 器		
9-44	蜂ヶ岡中学校 内遺跡	右京区嵯峨野開町 1-1 蜂ヶ岡中学校	発掘	80UZ-PB001	80.07.21 ～ 08.28	縄文前期の土器・石七、古 墳後期の竪穴住居 7・掘立柱 建物 1	附 13	
9-45	上ノ段町遺跡・ 仲野親王陵古 墳近接地	右京区嵯峨野開町、太 秦箕山町・帷子ヶ辻町	広域 立会	89UZ-SW016	89.03.27 ～ 90.03.26	古墳後期～江戸の土壇・溝・ 柱穴、土師器・須恵器・陶 磁器	404	図版 15 に続く

鳴滝東半 (図版 10)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
10-46		右京区音戸山ノ茶屋 町、鳴滝音戸山町、太 秦中山町・三尾町	広域 立会	契約外	89.08.08 ～ 90.04.02	未検出		
10-47	音戸山古墳群	右京区鳴滝音戸山町 4-38	立会	86BB-UZ010	86.06.27	時期不明の蔵骨器 (壺)	298	
10-48	音戸山古墳群 隣接地	右京区鳴滝音戸山町 4-41	立会	83BB-UZ021	84.03.21	未検出	270	
10-49		右京区鳴滝音戸山町・ 藤ノ木町・瑞穂町・嵯 峨園町、西嵯峨園町、常 盤草木町	広域 立会	契約外	88.05.28 ～ 89.03.30	平安前期の柱穴・土壇・包 含層、土師器・須恵器・瓦	III -1	
10-50		右京区鳴滝音戸山町・ 藤ノ木町・安井殿町・ 瑞穂町・桐ヶ淵町	広域 立会	契約外	89.08.08 ～ 90.04.02	平安の土壇・溝、平安後期 の溝、時期不明の路面、土師 器・須恵器・瓦	III -1	
10-51		右京区鳴滝本町・桐ヶ 淵町、宇多野福王子町・ 長尾町・馬場町・御池 町	広域 立会	契約外	88.01.19 ～ 12.09	平安～江戸の包含層・溝・ 井戸・石列、土師器・須恵器・ 瓦	III -1	
10-52		右京区宇多野長尾町	採取		87.10.05	土師器・須恵器・瓦		
10-53	仁和寺院家跡	右京区鳴滝本町、宇多 野福王子町	立会	89BB-UZ006	89.09.04	未検出	334	
10-54	仁和寺院家跡	右京区鳴滝本町、宇多 野福王子町・法安寺町・ 長尾町・御池町	立会	88BB-UZ022	88.12.07	未検出	325	
10-55	仁和寺院家跡	右京区宇多野長尾町 19	立会	89BB-UZ002	89.06.14	未検出	334	
10-56	仁和寺子院跡	右京区宇多野御池町 17- 16	立会	80BB-UZ010	80.09.18	未検出	230	
10-57	円宗寺跡	右京区宇多野柴橋町、御 室芝橋町・大内・小松 野町	広域 立会	86UZ-SW010	86.03.20 ～ 09.04	平安後期の土壇・溝・包含 層、土師器・須恵器・軒瓦 多量	327	図版 11 に続く
10-58	仁和寺院家跡	右京区宇多野法安寺町・ 長尾町・御池町・御屋 敷町	広域 立会	87UZ-SW057	88.01.19 ～ 12.09	平安後期の土壇・溝・池状 堆積・包含層、土師器・須恵 器・瓦	382	
10-59	仁和寺院家跡	右京区宇多野法安寺町	立会	88BB-UZ001	88.04.02	未検出	325	
10-60	仁和寺院家跡	右京区宇多野長尾町 22-4、23、24-1	試掘	83BB-UZ005	83.08.26	未検出	258	
10-61	仁和寺院家跡	右京区宇多野長尾町 3	立会	87BB-UZ013	87.06.10	未検出	311	
10-62		右京区宇多野長尾町	採取		87.10.05	平安後期の土師器		
10-63	仁和寺院家跡	右京区宇多野法安寺町・ 御屋敷町	立会	88BB-UZ015	88.09.08	未検出	325	
10-64	仁和寺院家跡	右京区宇多野御屋敷町、 常盤神田町	立会	87BB-UZ003	87.04.27 ～ 05.09	未検出	311	
10-65	仁和寺子院跡	右京区宇多野御屋敷町 13-5	立会	80BB-UZ006	80.08.01	室町の土師器窯、多量の土師 器	230	
10-66		右京区宇多野御屋敷町	採取		87.05.12	凝灰岩		
10-67	仁和寺院家跡	右京区宇多野御屋敷町 1-1	試掘	81BB-UZ017	81.12.24	平安後期の池状堆積、室町 の包含層、土師器・須恵器・ 青磁	239	
10-68	仁和寺院家跡	右京区宇多野御屋敷町 1-2	立会	82BB-UZ005	82.05.31 ～ 06.05	平安中期～末期の池跡、池内 から土師器・須恵器・自磁・ 瓦・木製品多量	247	
10-69	仁和寺院家跡	右京区宇多野御屋敷町	立会	82BB-UZ015	82.12.02	未検出	247	
10-70	仁和寺院家跡	右京区宇多野御屋敷町 1-5 他	立会	93BB-UZ005	93.04.05 ～ 04.09	平安後期の柱穴・井戸・版 築・池状堆積、土師器・白 磁・瓦・木片	398	
10-71	仁和寺院家跡	右京区御室双岡町	立会	88BB-UZ023	88.12.12	未検出	325	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
10-72	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町	立会	86BB-UZ024	86.03.11 ～03.20	平安の包含層・流路堆積	311	
10-73	仁和寺南院跡	右京区宇多野御屋敷町、 常盤神田町	広域 立会	80UZ-W-062	80.09.19 ～10.04	土師器		
10-74		右京区鳴滝嵯峨園町・ 中道町・蓮花寺町・桐ヶ 淵町	広域 立会	契約外	88.05.26 ～ 89.05.12	平安中期・後期・室町の土壇・ 溝・井戸・版築・瓦窯、土師器・ 須恵器・瓦	Ⅲ-1	
10-75	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町21-14	立会	82BB-UZ001	82.04.05	鎌倉の包含層、土師器	247	
10-76	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町・山 下町	広域 立会	86UZ-SW053	87.01.21 ～ 88.03.31	平安中期の土壇・井戸・流 路、平安後期・室町の土師 器窯、土師器多量	328	
10-77	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町 3-1・5、4、9	試掘	88BB-UZ024	88.12.21	平安後期の柱穴、瓦・室町 時代	325	発掘に切 り換える
10-78	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町 3-1・5、4、9	発掘	88UZ-BN	89.01.25 ～03.31	古墳後期の円墳1、平安前 期の土壇・包含層、平安後 期～鎌倉の建物・溝・土壇、 瓦多量	377	
10-79	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町14-6	立会	86BB-UZ017	86.11.13	平安後期の包含層、土師器多 量	298	
10-80	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町6-18	立会	88BB-UZ002	88.04.06	未検出		
10-81	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町	立会	87BB-UZ016	87.08.04 ～08.31	平安中期～後期の包含層、土 師器・瓦	311	
10-82	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町・山 下町	立会	87BB-UZ037	87.05.22	平安中期～後期の包含層	311	
10-83	仁和寺院家跡	右京区常盤御池町	立会	87BB-UZ036	87.05.18	近現代の流路	311	
10-84	仁和寺院家跡	右京区常盤山下町	立会	84BB-UZ002	84.05.02	未検出	270	
10-85	仁和寺子院跡	右京区常盤神田町14	試掘	80BB-UZ013	80.11.10 ～11.11	時期不明の土壇2	230	
10-86	広隆寺旧境内	右京区常盤神田町・村 ノ内町・仲之町、太秦 東峰岡町・一ノ井町	広域 立会	77UZ-DK	78.02.01 ～10.04	古墳の溝1、時期不明の河1、 土師器	附6	図版16 に続く
10-87	仁和寺院家跡	右京区常盤神田町	立会	87BB-UZ011	87.05.29	未検出	311	
10-88	散布地	右京区太秦京ノ道町 20-5 常盤野小学校	立会	86BB-UZ020	86.12.08	未検出	298	
10-89	散布地	右京区太秦京ノ道町14	立会	92BB-UZ163	92.07.31 ～08.05	未検出	375	
10-90	散布地	右京区常盤草木町9-6・ 段ノ上町12-1	立会	80BB-UZ018	81.02.18 ～02.20	時期不明の土壇2	230	
10-91	散布地	右京区常盤段ノ上町 12-1	立会	87BB-UZ004	87.04.22	未検出	311	
10-92	三瓦山古墳群・ 散布地	右京区常盤草木町	立会	89BB-UZ001	89.04.17	平安前期の包含層	334	
10-93	散布地	右京区太秦京ノ道町、常 盤段ノ上町	立会	83BB-UZ013	84.01.18	未検出	270	
10-94	上ノ段町遺跡	右京区常盤段ノ上町、太 秦青木ヶ原町・青木元 町	立会	88BB-UZ007	88.04.27 ～06.19	平安中期～後期の土壇墓9	325	
10-95	常盤馬塚古墳 隣接地	右京区常盤馬塚町14-4	立会	83BB-UZ012	84.01.11	未検出	270	
10-96	仁和寺院家跡・ 常盤東ノ町古 墳群・常盤馬 塚古墳	右京区鳴滝中道町、常 盤馬塚町・下田町・北 裏町・窪町	広域 立会	88UZ-SW025	88.05.26 ～ 89.05.12	弥生～古墳の包含層、古墳 後期の溝、平安前期～後期 の土壇・包含層、弥生土器・ 須恵器・土師器・自磁・瓦器・ 瓦	383	図版16 に続く
10-97	常盤東ノ町古 墳群	右京区常盤下田町・窪 町	立会	89BB-UZ004	89.08.22 ～08.28	流路堆積	334	
10-98	常盤東ノ町古 墳群	右京区常盤窪町19	立会	85BB-UZ017	85.11.13	時期不明の包含層	286	
10-99	常盤東ノ町古 墳群	右京区常盤下田町9-23	立会	80BB-UZ014	80.11.21	未検出	230	
10-100	散布地	右京区太秦京ノ道町	立会	80BB-UZ009	81.03.07	未検出	230	
10-101	常盤東ノ町古 墳群・仁和寺 院家跡・広隆 寺旧境内	右京区常盤馬塚町・窪 町・西町	広域 立会	88UZ-SW025	88.05.26 ～ 89.05.12	古墳後期の土壇・柱穴、平 安前期～後期の土壇・包含 層、土師器・須恵器・緑釉 陶器・灰釉陶器・瓦	383	図版16 に続く
10-102	常盤東ノ町古 墳群	右京区常盤窪町	立会	79BB-UZ443	79.12.08 ～12.10	未検出	230	
10-103	常盤東ノ町古 墳群	右京区常盤馬塚町10- 3	立会	93BB-UZ135	93.07.14	未検出	400	
10-104	常盤東ノ町古 墳群	右京区常盤窪町7-6	立会	80BB-UZ001	80.04.18	未検出	223	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
10-105	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤窪町 2-4、1-52	立会	79BB-UZ555	80.03.04	未検出	223	
10-106	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤窪町 15-19	立会	81BB-UZ019	82.03.27	流路堆積	239	
10-107	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤窪町	立会	88BB-UZ010	88.06.16	未検出	325	
10-108	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤北裏町 6-2	立会	81BB-UZ003	81.05.02	時期不明の土壌 3	239	
10-109	常盤馬塚古墳	右京区常盤下田町 2	立会	81BB-UZ009	81.07.15	時期不明の包含層	239	
10-110	古墳群	右京区常盤北裏町 10・下田町 2	立会	83BB-UZ020	84.03.22	流路堆積	270	
10-111	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤北裏町	立会	85BB-UZ018	85.11.25 ～12.12	室町の包含層、土師器・瓦器	286	
10-112	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群	右京区常盤馬塚町・窪町・北裏町・村ノ内町	広域立会	89UZ-UW051	89.09.26 ～11.30	平安の溝 2・包含層、須恵器	405	
10-113	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤西町 18	立会	88BB-UZ026	89.01.24	未検出	334	
10-114	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤西町 16	立会	94BB-UZ362	94.11.21 ～11.24	未検出	412	
10-115	古墳群	右京区常盤柏ノ木町 1、1-13、2	試掘	センター調査 95-No.011	94.01.09	室町の溝 2、平安～室町の包含層、土師器・陶器・瓦	430	
10-116	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤村ノ内町 8-43	立会	82BB-UZ004	82.06.14	未検出	247	
10-117	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤村ノ内町 8-20	試掘立会	86BB-UZ019	86.11.21 ～87.04.03	弥生中期の土壌・流路・包含層、弥生土器	298	
10-118	常盤東ノ町古墳群・仁和寺院家跡・常盤馬塚古墳	右京区常盤村ノ内町・音戸町・出口町・東ノ町・一ノ井町・森町・御室双岡町	広域立会	88UZ-SW025	88.05.26 ～89.05.12	弥生の包含層、古墳後期の溝、平安の包含層、弥生土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・瓦	383	図版 16・11 に続く
10-119	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤村ノ内町 8-6、84、85、91	立会	93BB-UZ249	93.10.06 ～10.13	弥生の包含層	400	
10-120	仁和寺院家跡	右京区常盤出口町 8-3	立会	91BB-UZ057	91.05.15 ～05.24	鎌倉の土壌、土師器・須恵器・軒瓦、室町の土壌	361	
10-121	仁和寺院家跡	右京区常盤出口町 9-1、10	立会	90BB-UZ004	91.02.13	未検出	361	
10-122	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群	右京区常盤出口町 18-3・山下町 8-8	試掘	89BB-UZ012	90.02.07	平安後期～鎌倉の柱穴 6・土壌 4・溝 1・包含層	346	
10-123	仁和寺院家跡	右京区常盤山下町・音戸町・古御所町	広域立会	86UZ-SW053	87.01.21 ～88.03.31	平安中期～後期の溝・井戸・土壌・流路・包含層、土師器・須恵器・軒瓦	328	
10-124	仁和寺院家跡	右京区常盤古御所町 15-2	立会	84BB-UZ020	85.03.01	未検出	286	
10-125	仁和寺院家跡	右京区常盤古御所町 5-1	試掘	86BB-UZ002	86.04.11	平安後期の包含層、土師器	298	
10-126	仁和寺子院跡	右京区常盤古御所町 9-1・10・20	試掘	センター調査 92-No.041	92.12.14	未検出	372	図版 11 に続く
10-127	仁和寺院家跡	右京区常盤古御所町	立会	87BB-UZ035	87.05.11	平安後期の包含層	311	
10-128	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤村ノ内町 1-17	立会	87BB-UZ040	88.03.04	時期不明の包含層	325	
10-129	仁和寺院家跡	右京区常盤東ノ町 22-1、26、26-10～16	立会	84BB-UZ008	84.07.10	時期不明の包含層	270	
10-130	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町 11、28、72	試掘	79BB-UZ050	79.04.26	平安後期の柱穴・土壌、土師器	223	
10-131	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群	右京区常盤出口町 14	立会	89BB-UZ011	90.01.23	未検出	346	
10-132	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町 6-3	立会	80BB-UZ004	80.05.22	弥生の包含層、弥生土器	230	
10-133	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町 6-3	試掘	79BB-UZ539	80.02.26	時期不明の柱穴、土師器・須恵器	223	
10-134	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町 6-3、26-3	試掘	88BB-UZ018	88.10.28	弥生の包含層、弥生土器	325	
10-135	仁和寺院家跡	右京区常盤古御所町 4-1	立会	91BB-UZ055	91.05.09 ～05.15	流路堆積	361	
10-136	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群	右京区常盤一ノ井町 13-4、9-4	立会	79BB-UZ061	79.05.10	未検出	223	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
10-137	仁和寺院家跡	右京区常盤一ノ井町 8-3	試掘	90BB-UZ006	91.03.12	平安の溝、弥生～平安の包含層	359	
10-138	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群	右京区常盤一ノ井町 3	試掘	88BB-UZ009	88.05.23	御室川の旧流路	325	
10-139		右京区太秦京ノ道町・青木ヶ原町・青木元町、常盤段ノ上町	広域立会	契約外	89.04.31～12.31	平安後期の土壇墓1、平安～室町の包含層、土師器・須恵器・白磁	III-2	
10-140		右京区太秦馬塚町	採取		87.04.22	須恵器・陶器		
10-141	上ノ段町遺跡	右京区太秦馬塚町・上ノ段町	立会	82BB-UZ006	82.06.15～07.24	未検出	247	
10-142		右京区太秦青木ヶ原町	採取		87.04.22	須恵器・陶器		
10-143	上ノ段町遺跡	右京区太秦上ノ段町 2-25	立会	81BB-UZ001	81.04.06	鎌倉の包含層	239	
10-144	上ノ段町遺跡	右京区太秦垂箕山町・上ノ段町	立会	89BB-UZ014	89.11.20	未検出	334	図版 16 に続く
10-145	上ノ段町遺跡	右京区太秦垂箕山町 1-76	立会	85BB-UZ016	85.11.05～11.13	流路堆積	286	
10-146	上ノ段町遺跡	右京区太秦青木元町 7-11	立会	80BB-UZ002	80.06.19	時期不明の包含層	230	
10-147	上ノ段町遺跡	右京区太秦青木元町 6-2	立会	83BB-UZ009	83.10.11	流路堆積	258	
10-148	上ノ段町遺跡	右京区太秦青木元町 6-4	立会	79BB-UZ293	79.09.17	未検出	223	
10-149	常盤仲之町遺跡	右京区常盤窪町 2-3	立会	94BB-UZ173	94.07.11～07.12	未検出	412	
10-150	常盤仲之町遺跡	右京区常盤窪町 2-50	立会	86BB-UZ006	86.06.03	室町の土壇 5・包含層、土師器・瓦器	298	
10-151	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤西町 13-14	立会	86BB-UZ008	86.07.03	時期不明の包含層・流路堆積	298	
10-152	常盤仲之町遺跡	右京区常盤西町 8-1	立会	87BB-UZ030	87.12.21	流路堆積	311	
10-153	広隆寺旧境内・常盤仲之町遺跡・西野町遺跡	右京区太秦青木ヶ原町・蜂岡町・西蜂岡町	広域立会	87UZ-SW061	88.03.28～89.03.06	弥生～江戸の遺構・包含層、土師器・須恵器・瓦器・白磁・瓦	385	図版 16 に続く
10-154	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 10-165	立会	82BB-UZ018	83.03.03	平安の柱穴	247	
10-155	常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 10-4	試掘	センター調査 93-No.051	93.05.20	流路堆積	397	
10-156	常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町	立会	88BB-UZ005	88.04.18	未検出	325	
10-157	常盤東ノ町古墳群・常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内	右京区常盤西町 17、太秦蜂岡町 9-17	広域立会	82UZ-G-015-20	82.08.19～83.01.31	路面、江戸の溝	261	
10-158	常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 22-7	立会	87BB-UZ015	87.07.31	未検出	311	
10-159	常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 10	試掘	84BB-UZ015	84.11.30	平安の土壇 1・包含層、須恵器・瓦	270	
10-160	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 9	立会	89BB-UZ005	89.09.04	平安中期の土壇、土師器・須恵器	334	
10-161	常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 9	立会	84BB-UZ016	84.12.25～12.27	平安・江戸の包含層	270	
10-162	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 9	立会	87BB-UZ021	87.09.18	未検出	311	
10-163	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 9	立会	87BB-UZ017	87.08.18	室町の土壇・包含層	311	
10-164	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤村ノ内町 1-5・14	試掘	82BB-UZ008	82.08.09～08.10	古墳後期～室町の土壇・包含層、土師器・白磁	247	
10-165	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤村ノ内町 1-3	立会	88BB-UZ027	89.01.26	流路堆積	334	
10-166	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤仲之町 20	立会	84BB-UZ009	84.07.14	流路堆積	270	
10-167	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤仲之町 16-1・3、17-2	立会	91BB-UZ288	91.12.03～12.05	平安前期の長方形土壇、須恵器	361	
10-168	常盤東ノ町古墳群	右京区太秦蜂岡町	立会	87BB-UZ038	87.07.04	路面	311	
10-169	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤仲之町 1-6	発掘	79UZ-HE	80.02.27～03.15	古墳周溝、鎌倉の土壇 2、土師器・須恵器・瓦器・陶器	附 11	
10-170	常盤仲之町遺跡	右京区太秦東蜂岡町 17-1・3	立会	86BB-UZ016	86.11.04～11.25	平安後期の東西溝	298	
10-171		右京区太秦東蜂岡町	採取		87.05.08	土師器		
10-172	常盤仲之町遺跡	右京区太秦東蜂岡町 18	発掘	77UZ-DK002	78.01.30～02.18	室町の柱穴・土壇	210	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
10-173	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町15-7、8-15	発掘	76UZ-DK001	77.02.01 ～06.10	古墳後期の堅穴住居24・建物4・溝、平安の建物4他	209	
10-174	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町10	立会	86BB-UZ021	86.12.24	室町の包含層、時期不明の土壌	298	
10-175	常盤仲之町遺跡	右京区太秦東蜂岡町10	立会	79BB-UZ456	79.12.18	平安・室町の包含層	223	
10-176	仁和寺院家跡・常盤東ノ町古墳群・常盤馬塚古墳	右京区太秦東蜂岡町	広域立会	88UZ-SW025	88.05.26 ～89.05.12	古墳～江戸の遺構・包含層、土師器・須恵器・瓦	383	図版16に続く
10-177	広隆寺跡	右京区太秦東蜂岡町10	立会	80BB-UZ016	80.12.13	室町の土壌墓1、古墳後期の包含層	230	
10-178	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町10	立会	87BB-UZ031	88.01.12	未検出	325	
10-179	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町10	試掘	81BB-UZ015	81.12.07	室町の土壌1、平安～室町の包含層	239	
10-180	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町10	試掘	82BB-UZ016	82.12.10	古墳後期～室町の土壌・柱穴	247	
10-181	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町10	試掘	81BB-UZ016	81.12.14 ～12.17	鎌倉～室町の土壌6・柱穴18、土師器・須恵器・瓦器・白磁	239	
10-182	常盤東ノ町古墳群・上ノ段町遺跡	右京区常盤村ノ内町・仲之町・東ノ町・森町、太秦一ノ井町	広域立会	86UZ-SW060	87.03.23 ～88.03.19	古墳中期～江戸の遺構・包含層、土師器・須恵器・陶磁器	352	図版11に続く
10-183		右京区常盤東ノ町	採取		87.06.01	須恵器・陶器		
10-184	常盤東ノ町古墳群・仁和寺院家跡	右京区常盤東ノ町16-2	立会	81BB-UZ004	81.05.09	未検出	239	
10-185	常盤仲之町遺跡	右京区常盤東ノ町16-4	立会	93BB-UZ143	93.07.21	未検出	400	
10-186	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町26-5	発掘	76UZ-IO	76.10.26 ～12.06	古墳後期の円墳3、室町～江戸の土壌墓群、土師器・須恵器	197	
10-187	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町7	発掘	76UZ-KK	76.11.03 ～11.15	古墳後期の円墳1、室町～江戸の土壌墓群、土師器・須恵器	205	
10-188	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町16-3	試掘	85BB-UZ019	85.12.06	江戸の包含層、時期不明の土壌1	286	
10-189	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町16-5	試掘	センター調査93-No.010	93.03.25	古墳の溝1、平安・鎌倉の土壌2、土師器・須恵器・銭	395	
10-190	常盤東ノ町古墳群	右京区常盤東ノ町	立会	87BB-UZ039	87.07.10	未検出	311	
10-191	常盤東ノ町古墳群・仁和寺院家跡	右京区常盤東ノ町・一ノ井町	立会	85BB-UZ022	85.12.25 ～86.01.06	路面	286	
10-192	仁和寺子院跡	右京区常盤一ノ井町7	発掘	76UZ-NH	76.11.24 ～12.07	平安の柱穴群・土壌2、弥生～古墳の包含層、弥生土器・須恵器	206	
10-193	常盤東ノ町古墳群	右京区太秦一ノ井町32-15	立会	82BB-UZ009	82.08.19	土壌2	247	
10-194	常盤東ノ町古墳群	右京区太秦一ノ井町32-14・24	立会	93BB-UZ291	93.11.05 ～11.15	時期不明の包含層	400	
10-195	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町32	立会	84BB-UZ011	84.07.27	時期不明の包含層	270	
10-196	広隆寺旧境内・上ノ段町遺跡・和泉式部町遺跡	右京区太秦一ノ井町	広域立会	86UZ-SW057	87.02.23 ～88.03.30	平安～江戸の遺構・包含層、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・軒瓦	351	図版16に続く
10-197	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町33-104・105	立会	85BB-UZ009	85.07.09	時期不明の包含層	286	
10-198	常盤仲之町遺跡	右京区太秦一ノ井町31-10	立会	88BB-UZ025	89.01.24	鎌倉の包含層、土師器・白磁	334	
10-199	広隆寺旧境内・上ノ段町遺跡・和泉式部町遺跡	右京区太秦一ノ井町・和泉式部町	広域立会	86UZ-SW057	87.02.23 ～88.03.30	弥生～江戸の遺構・包含層、弥生土器・土師器・須恵器・軒瓦	351	図版11に続く
10-200	和泉式部町遺跡	右京区太秦一ノ井町	立会	87BB-UZ006	87.04.27 ～04.28	未検出	311	
10-201	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町16-2	立会	84BB-UZ013	84.09.17	平安の包含層	270	
10-202	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町	立会	87BB-UZ041	87.09.09	平安～室町の包含層	311	
10-203	和泉式部町遺跡	右京区太秦一ノ井町	立会	87BB-UZ026	87.10.27	未検出	311	
10-204	広隆寺旧境内	右京区太秦一ノ井町13-10	立会	82BB-UZ002	82.04.05	未検出	247	
10-205	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町16-3	立会	86BB-UZ004	86.05.13	平安後期の包含層	298	

花園西半 (図版 11)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
11-1	史跡仁和寺御所跡	右京区御室大内 33	立会	80BB-UZ011	80.09.29 ～ 09.30	平安中期の土壇 1、後期の包含層、土師器・瓦	230	
11-2	史跡仁和寺御所跡	右京区御室大内 33	発掘	76UZ-NG	76.12.10 ～ 77.06.10	平安の建物・溝・土壇、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・軒瓦	336	
11-3	円宗寺跡・円乗寺跡	右京区御室大内	立会	88BB-UZ014	88.09.01 ～ 12.27	平安後期の溝 4	325	
11-4	円乗寺跡	右京区御室大内	立会	86BB-UZ007	87.03.17	未検出	311	
11-5	円乗寺跡	右京区御室大内 35	立会	89BB-UZ015	89.11.20	未検出	334	
11-6	円乗寺跡・円教寺跡	右京区龍安寺塔ノ下町・西ノ川町、花園圓成寺町・天授ヶ岡町、谷口梅津間町	広域立会	84UZ-SW020	84.05.08 ～ 85.06.27	平安中期～後期の溝、寺域内で平安中期の柱穴・土壇・井戸、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・軒瓦	303	
11-7	円教寺跡	右京区花園天授ヶ岡町	広域立会	84UZ-G9182	85.02.25 ～ 03.07	江戸の溝	306	
11-8	円教寺跡	右京区花園天授ヶ岡町 28・38・39・41・43	立会	92BB-UZ130	92.07.04 ～ 07.08	平安中期の焼土壇 2、土壇面は基壇の可能性、平安後期の包含層	375	
11-9	円教寺跡	右京区龍安寺西ノ川町	立会	86BB-UZ005	86.05.19	流路堆積	298	
11-10	円宗寺跡	右京区御室芝橋町	採取		83.03.20	須恵器・灰釉陶器・瓦		
11-11	円宗寺跡	右京区御室小松野町	広域立会	82UZ-G6403	82.08.04 ～ 10.16	流路	261	
11-12	円宗寺跡	右京区御室小松野町	広域立会	86UZ-SW010	86.03.20 ～ 09.04	平安中期～後期の溝・土壇、軒瓦多量	327	図版 10 に続く
11-13	円宗寺跡・円教寺跡・円乗寺跡・五位山古墳	右京区御室堅町、谷口圓成寺町、花園圓成寺町・天授ヶ岡町	立会	79BB-UZ475	80.01.16 ～ 01.24	未検出	223	
11-14	円乗寺跡・円教寺跡	右京区御室堅町、谷口圓成寺町・園町・梅津間町、花園天授ヶ岡町	広域立会	84UZ-SW020	84.05.08 ～ 85.06.27	平安の柱穴・土壇・溝・井戸・河川、土師器・須恵器・輸入陶磁器・軒瓦	303	
11-15	円乗寺跡	右京区御室堅町 25-6	立会	85BB-UZ015	85.10.22	未検出	286	
11-16	円乗寺跡	右京区御室堅町 25-7・8・9	試掘	85BB-UZ003	85.04.08	未検出	286	
11-17	円乗寺跡	右京区御室堅町	立会	86BB-UZ025	87.03.16	平安の包含層、瓦	311	
11-18	円乗寺跡	右京区御室堅町 25-11	立会	85BB-UZ021	85.12.19	未検出	286	
11-19	円乗寺跡	右京区御室堅町	立会	86BB-UZ009	86.07.08	未検出	298	
11-20	円乗寺跡	右京区龍安寺塔ノ下町 2-1	立会	91BB-UZ426	92.03.27	未検出	375	
11-21	円教寺跡	右京区花園天授ヶ岡町	立会	85BB-UZ001	85.04.01	未検出	286	
11-22	円乗寺跡	右京区龍安寺塔ノ下町 1-5・19	立会	84BB-UZ007	84.09.01	未検出	270	
11-23	円乗寺跡	右京区龍安寺塔ノ下町 1-7	立会	87BB-UZ008	87.05.13 ～ 05.15	平安の包含層、瓦・木片	311	
11-24	円宗寺跡	右京区御室小松野町 24-9・18・19	立会	94BB-UZ112	94.06.17 ～ 06.20	平安の包含層、土師器	412	
11-25	円乗寺跡	右京区御室堅町 23-1、24-1	試掘	87BB-UZ005	87.04.24	平安の土壇 4・溝 1、軒瓦	311	発掘に切り換える
11-26	円乗寺跡	右京区御室堅町 23-1、24-1	発掘	87UZ-EJ	87.05.11 ～ 05.26	平安中期～後期の土壇・溝、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・軒瓦	348	
11-27	円乗寺跡	右京区御室堅町 24-3	立会	87BB-UZ012	87.06.02	平安の瓦片、凝灰岩片	311	
11-28	円宗寺跡	右京区御室小松野町 20、20-1・7・9・11・12	立会	80BB-UZ015	80.12.02 ～ 12.04	平安後期の南北溝、溝内から土師器・青磁・瓦・軒瓦	230	
11-29	円教寺跡	右京区花園天授ヶ岡町 16-5	立会	84BB-UZ019	85.02.27	未検出	286	
11-30	円乗寺跡	右京区御室堅町 19 御室小学校	立会	86BB-UZ003	86.04.13	平安後期の土壇、土師器・瓦	298	
11-31	円教寺跡	右京区花園天授ヶ岡町 3	立会	82BB-UZ019	83.03.18	平安の包含層、瓦	247	
11-32	円教寺跡	右京区花園天授ヶ岡町	立会	85BB-UZ008	85.07.09	未検出	286	
11-33	平安京跡	右京区谷口園町 24	立会	80BB-HR028	80.04.30	未検出	230	
11-34	平安京跡	右京区谷口梅津間町 23、15-3・4	立会	94BB-HR111	94.06.15 ～ 06.17	鎌倉の包含層、土師器・瓦	411	
11-35	平安京跡隣接地	右京区谷口唐田ノ内町 13	立会	81BB-UZ012	81.09.28	平安の包含層、瓦・軒	239	
11-36	平安京跡	右京区谷口唐田ノ内町、花園猪ノ毛町	立会	81BB-HR075	81.08.06 ～ 08.10	未検出	239	図版 12 に続く

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
11-37	平安京跡・四円寺跡	右京区御室芝橋町・小松野町・岡ノ裾町・堅町、花園岡ノ本町・土堂町	立会	83BB-HR013	83.04.05 ～04.26	平安の包含層、流路堆積	257	
11-38	円宗寺跡	右京区御室岡ノ裾町	立会	83BB-UZ007	83.11.11	未検出	258	
11-39	平安京跡	右京区御室岡ノ裾町	立会	83BB-UZ002	83.04.08	未検出	258	
11-40	円宗寺跡	右京区御室小松野町1-3	立会	87BB-UZ001	87.04.04	平安後期の包含層、瓦多量	311	
11-41	平安京跡	右京区花園天授ヶ岡町	立会	83BB-HR052	83.06.08 ～06.10	未検出	257	
11-42	四円寺跡	右京区谷口圓成寺町、花園天授ヶ岡町・圓成寺町・一条田町・土堂町・大藪町	立会	83BB-HR013	83.04.05 ～04.26	平安～室町の包含層、平安の土壌・南北流路・池	257	
11-43	平安京右京北辺・一条四坊・妙心寺境内	右京区花園妙心寺町・寺ノ中町・大藪町	広域立会	83HK-SW034	83.09.13 ～84.03.29	平安～江戸の土壌・溝・井戸・池、土師器・須恵器・輸入陶磁器・瓦・軒瓦	275	
11-44	双ヶ岡中学校内遺跡	右京区花園岡ノ本町双ヶ岡中学校	発掘	85UZ-CA	85.09.30 ～10.05	室町の甕棺墓、備前焼甕	313	
11-45	平安京跡	右京区谷口圓成寺町5-10	立会	83BB-HR062	83.07.22 ～07.26	未検出	257	
11-46	平安京右京北辺四坊	右京区花園妙心寺町・寺ノ中町	発掘	79HK-B0001	79.07.20 ～08.03	平安後期の井戸1、江戸後期の南北溝1	221	
11-47	双ヶ岡一ノ丘古墳	右京区御室双岡町1	発掘	80UZ-CQ	80.10.08 ～81.01.20	1号墳の調査、古墳後期の須恵器・土師器・金環	231	
11-48	平安京右京北辺四坊・史跡妙心寺境内	右京区花園妙心寺町64	発掘	79HK-B0002	79.08.27 ～09.12	平安の溝1・土壌3、鎌倉～室町の土壌他	附5	
11-49	平安京右京北辺四坊・史跡妙心寺境内	右京区花園妙心寺町64	発掘	79HK-B0003	80.03.15 ～04.24	平安の土壌2、中世の土壌5・柱穴多数	附12	
11-50	平安京右京北辺四坊・妙心寺境内	右京区花園妙心寺町1	立会	88BB-HR036	88.05.31	未検出	324	
11-51	平安京跡・北野廃寺・北野遺跡	右京区花園猪ノ毛町・鷹司町、大將軍坂田町	広域立会	81HK-SW070	81.10.10 ～82.08.20	弥生～室町の溝・土壌・側溝9	250	図版12に続く
11-52	双ヶ岡中学校内遺跡	右京区花園岡ノ本町4-13 双ヶ岡中学校	立会	81BB-UZ018	82.02.01	平安中期の土壌(墓)・包含層、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・軒瓦	239	
11-53	花園宮ノ上町遺跡	右京区花園岡ノ本町4-13 双ヶ岡中学校	立会	93BB-UZ445	94.03.17 ～03.22	未検出	412	
11-54	双ヶ岡中学校内遺跡	右京区花園岡ノ本町4-13 双ヶ岡中学校	立会	91BB-UZ353	92.02.05 ～05.19	平安の焼土攘、土師器・須恵器	375	
11-55	平安京跡・四円寺跡	右京区花園宮ノ上町・大藪町	立会	82BB-HR107	82.10.13 ～83.03.30	平安の南北流路、鎌倉の井戸1、湿地状堆積	247	
11-56	平安京右京北辺・一条四坊・四円寺跡・法金剛院境内	右京区花園段ノ岡町・宮ノ上町・内畑町・扇野町・寺ノ内町・伊町・寺ノ前町、太秦安井小山町	広域立会	84UZ-SW020	84.05.08 ～85.06.27	平安～江戸の側溝・柱穴・井戸・池・濠、土師器・瓦器・輸入陶磁器・瓦・軒瓦	303	
11-57	花園宮ノ上町遺跡	右京区花園宮ノ上町・伊町	立会	82BB-HR161	83.03.11 ～03.12	未検出	247	
11-58	花園宮ノ上町遺跡	右京区花園宮ノ上町	立会	82BB-HR149	83.02.14 ～02.23	鎌倉～室町の包含層、西ノ川の旧流路	247	
11-59	平安京跡	右京区花園大藪町4-1	試掘	センター調査93-No.002	93.03.15	江戸の土壌・溝、瓦多量	396	
11-60	平安京右京一条四坊	右京区花園大藪町1、2、9-3	立会	93BB-HR278	93.11.02	未検出	399	
11-61	平安京右京一条三・四坊	右京区花園木辻北町・良北町・坤南町・木辻南町・巽南町・藪ノ下町	広域立会	80HK-KG	80.10.20 ～81.08.31	平安前期～中期の土壌・溝・井戸・流路・側溝	250	図版12に続く
11-62	平安京右京一条二～四坊	右京区花園寺ノ前町・坤南町・木辻南町・藪ノ下町	広域立会	80HK-J0069	80.10.01 ～81.03.31	未検出		図版12に続く
11-63	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町30	立会	88BB-HR077	88.08.30	時期不明の包含層	324	
11-64	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町40	立会	84BB-HR102	84.10.17	未検出	269	
11-65	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町50-3・4、40-7	立会	82BB-HR023	82.05.08	平安後期の土壌・包含層	247	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
11-66	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町50-3	立会	86BB-HR151	86.12.06	平安の包含層、瓦	297	
11-67	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町40	立会	85BB-HR165	85.12.14	未検出	285	
11-68	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町7	立会	93BB-HR386	94.01.28 ～02.09	流路堆積	411	
11-69	平安京右京一条四坊	右京区花園坤南町	立会	87BB-HR164	87.12.21	流路堆積	310	
11-70	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町7-9	立会	93BB-HR436	94.03.10 ～03.15	未検出	411	
11-71	平安京右京一条四坊	右京区花園伊町25-4、25-2の一部	立会	86BB-HR076	86.07.31	時期不明の包含層	297	
11-72	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町53-2	立会	89BB-HR055	89.07.31	平安後期の土壌1、土師器・須恵器	333	
11-73	平安京右京一条四坊	右京区花園寺ノ前町20	立会	83BB-HR055	83.07.18	未検出	257	
11-74	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町・巽南町	立会	91BB-HR177	91.08.22 ～10.21	未検出	360	図版12に続く
11-75	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町7-4	立会	79BB-HR363	79.07.21	平安の柱穴・包含層、室町の包含層、土師器・灰釉陶器	223	
11-76	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町7-8	立会	83BB-HR130	83.12.08	平安前期の土壌1、平安～室町の包含層	257	
11-77	平安京右京一条四坊	右京区花園伊町31	立会	86BB-HR085	86.08.07 ～08.09	平安の溝(勘解由小路北側溝)・路面	297	
11-78	平安京右京一条四坊	右京区太秦安井小山町	立会	81BB-HR032	81.05.21 ～05.22	平安の包含層、時期不明の土壌	239	
11-79	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町	立会	86BB-HR087	86.08.11	未検出	297	
11-80	仁和寺院家跡	右京区常盤森町	立会	93BB-UZ294	93.11.10 ～12.01	未検出	400	
11-81	法金剛院境内	右京区花園扇野町12	試掘	86BB-UZ015	86.09.30	平安後期～江戸の池・杭列(しがらみ)、白磁・瓦	298	
11-82	平安京跡隣接地	右京区花園寺ノ内町16	立会	81BB-HR046	81.06.02	平安後期の包含層2、土師器	239	
11-83	平安京右京一条四坊	右京区花園伊町57	試掘	87BB-HR096	87.08.31	平安後期～鎌倉の土壌2・溝1・包含層	310	
11-84	平安京跡	右京区花園扇野町・木辻南町・藪ノ下町、太秦安井小山町	発掘	91HK-IT003	91.06.11 ～92.03.31	平安前期～後期の柱穴・土壌・溝・井戸・流路・池状堆積・側溝	414	図版12に続く
11-85	平安京右京一条四坊	右京区花園伊町	発掘	89HK-IT001	90.03.13 ～04.02	平安中期の湿地状堆積、後期の南北溝、土師器・須恵器・白磁・瓦	401	
11-86	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町	発掘	90HK-IT002-1・2	90.06.07 ～07.20	平安前期の柱穴・土壌・溝(木辻大路西側溝)、平安中期の溝	406	図版12に続く
11-87	平安京跡	右京区花園中御門町・藪ノ下町・八ツ口町・春日町、太秦安井春日町、中京区西ノ京壺ノ内町・藤ノ木町・堀池町	広域立会	80HK-KG	81.04.21 ～08.31	平安前期～中期の柱穴・土壌・井戸・側溝	附9	図版17・18に続く
11-88	平安京跡	右京区花園扇野町・寺ノ内町・伊町、太秦安井小山町・車道町・北御所町・西裏町・奥畑町	広域立会	80HK-KG	81.06.04 ～08.31	平安中期～後期の土壌・側溝・池状堆積	附9	図版17に続く
11-89	平安京右京一条四坊	右京区花園伊町51	立会	81BB-HR122	81.11.24	未検出	239	
11-90	平安京右京一条四坊	右京区太秦安井小山町9-5	立会	94BB-HR176	94.07.26 ～07.27	未検出	411	
11-91	平安京右京一条四坊	右京区花園車道町1花園小学校	発掘	92HK-IU	92.11.24 ～93.01.29	平安後期の溝・築地(中御門大路)・柱穴・井戸	424	
11-92	平安京右京一条四坊	右京区花園車道町1花園小学校	試掘	92HK-AH003	92.10.07 ～10.19	平安後期の溝・包含層	424	発掘に切り換える
11-93	平安京右京一条四坊	右京区太秦安井小山町9-12	立会	88BB-HR109	88.05.06	未検出	324	
11-94	平安京跡・西京極大路	右京区花園寺ノ内町10	立会	80BB-HR025	80.05.13	未検出	230	
11-95	法金剛院境内	右京区花園扇野町19-2・3・5・19・20	立会	94BB-UZ249	94.09.08 ～09.12	平安後期の土壌、土師器	412	
11-96	法金剛院境内	右京区花園寺ノ内町9	立会	83BB-HR097	83.10.11	平安の包含層	257	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
11-97	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町・北御所町・東裏町・辻ノ内町・馬塚町・藤ノ木町	広域立会	80HK-KG	81.05.18～08.31	平安前期・中期の土壇・井戸・溝、春日小路路面・側溝	附9	図版17に続く
11-98	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町	広域立会	93HK-UW005	94.02.22～03.10	平安後期の包含層	436	
11-99	平安京右京二条四坊	右京区花園車道町、太秦安井車道町	立会	84BB-HR120	84.11.08～11.10	鎌倉の土壇・包含層、土師器	269	
11-100	和泉式部町遺跡・常盤東ノ町古墳群・森ヶ東瓦窯跡	右京区太秦和泉式部町	立会	87BB-UZ019	87.09.02	未検出	311	
11-101	常盤東ノ町古墳群	右京区太秦和泉式部町5、5-7	立会	84BB-UZ017	85.02.12	未検出	286	
11-102	伝椿寺跡・森ヶ東瓦窯跡・和泉式部町遺跡	右京区太秦和泉式部町8・森ヶ東町38	広域立会	85UZ-SW014	85.05.07～11.30	古墳前期の堅穴住居・土壇・溝、平安中期の土壇・流路、室町～江戸の土壇・溝・池	314	
11-103	法金剛院跡	右京区花園寺ノ内町2-3	立会	79BB-HR319	79.09.28	未検出	223	
11-104	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町21-27	立会	89BB-HR056	89.08.01	鎌倉の土壇・包含層、土師器	333	
11-105	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町21-15・16	立会	88BB-HR074	88.08.22	平安後期の柱穴3、土師器・瓦	324	
11-106	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町21-15	試掘	88BB-HR087	88.09.12	鎌倉の柱穴4・土壇2、室町の溝1・土壇1・包含層	324	
11-107	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町	立会	81BB-HR104	81.10.15	平安末期の包含層	239	
11-108	和泉式部町遺跡・森ヶ東瓦窯跡	右京区太秦和泉式部町	立会	86BB-UZ018	86.11.17	ロストル式平窯1・灰原、軒平瓦4	296	
11-109	法金剛院旧境内	右京区花園扇野町32	立会	81BB-UZ005	81.05.22	未検出	239	
11-110	平安京右京二条二～四坊・西ノ京遺跡	右京区太秦安井西裏町・北御所町・東裏町・藤ノ木町、中京区西ノ京藤ノ木町・小堀池町・塚本町	広域立会	93HK-UW005	93.05.24～94.02.23	春日小路路面2	436	図版17・18に続く
11-111	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井車道町	発掘	82HK-IG	82.04.09～05.18	溝・築地(春日小路)、平安前期～後期の遺構・遺物多数、元代の染付壺	259	
11-112	広隆寺旧境内・一ノ井遺跡	右京区太秦森ヶ東町・蜂岡町・垣内町・森ヶ西町	広域立会	85UZ-SW027	85.07.01～86.03.15	古墳前期の堅穴住居・土壇・溝・柱穴、平安前期・中期の遺構多数、室町～江戸の遺構多数	315	図版16・17に続く
11-113	和泉式部町遺跡	右京区太秦森ヶ東町8-5・6	試掘	センター調査94-NO.060	94.06.29	未検出	410	
11-114	森ヶ東瓦窯跡・伝椿寺跡	右京区太秦森ヶ東町4	立会	82BB-UZ003	82.05.24～05.26	未検出	247	
11-115	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井東裏町	立会	84BB-HR188	85.03.23	未検出	285	

花園東半(図版12)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
12-116	平安京	北区等持院西町・南町	広域立会	81HK-SW070	81.10.10～82.08.20	未検出	250	
12-117	平安京	北区等持院南町	広域立会	81HK-SW070	81.10.10～82.08.20	未検出	250	
12-118	平安京右京北辺四坊	北区等持院南町75-31・17	立会	81BB-HR024	81.05.09	流路堆積	239	
12-119	平安京右京北辺四坊	北区等持院南町75-8・34	立会	85BB-HR152	85.11.25～11.26	時期不明の整地層	285	
12-120	平安京右京北辺三坊	北区等持院南町34	立会	84BB-HR148	84.12.27	鎌倉～室町の包含層、流路堆積	269	
12-121	平安京右京北辺四坊	右京区花園猪ノ毛町2-39	立会	82BB-HR090	82.09.17	流路埋土	247	
12-122	平安京右京北辺三坊	北区大將軍坂田町7-25	立会	86BB-HR072	86.07.27	時期不明の土壇	297	
12-123	平安京右京一条三・四坊・五位山古墳	北区大將軍坂田町、右京区花園馬代町	発掘	79HK-FZ003	79.12.01～80.03.31	平安中期の柱穴・土壇・溝、土師器・須恵器・瓦	附10	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
12-124	平安京右京北辺三坊	北区大将軍坂田町 8-1	試掘	79BB-HR403	79.11.08 ～ 11.13	平安前期の柱穴・土壌群・包含層、土師器・須恵器・瓦	222	
12-125	平安京右京北辺三坊	北区大将軍坂田町 8	立会	83BB-HR127	83.12.05	室町の土壌 1	257	
12-126	平安京右京北辺三坊	北区大将軍坂田町 22	発掘	81HK-1E	81.11.02 ～ 12.14	平安後期の恵止利小路東側溝、室町の建物 1	248	
12-127	平安京右京北辺三坊	北区大将軍坂田町 33-4	立会	91BB-HR370	92.02.15 ～ 02.17	室町の土壌 1、土師器・瓦	374	
12-128	平安京右京一条四坊	右京区花園猪ノ毛町 18	立会	92BB-HR193	92.09.03 ～ 09.08	平安後期の柱穴、土師器・須恵器	374	
12-129	平安京右京一条四坊	右京区花園猪ノ毛町	立会	82BB-HR066	82.08.21	平安の土壌	247	
12-130	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京御輿岡町	立会	83BB-HR151	84.02.02	未検出	269	
12-131	平安京右京一条三坊	右京区花園馬代町、中京区西ノ京御輿岡町	広域立会	80HK-KG	80.10.20 ～ 81.08.31	平安～室町の遺構・包含層・側溝多数	250	
12-132	平安京右京一条三坊	右京区花園良北町 14-12	立会	85BB-HR109	85.09.20	平安前期の土壌 3・包含層、土師器・須恵器	285	
12-133	平安京右京一条三坊	右京区花園馬代町 11-7	立会	87BB-HR025	87.05.08	平安前期の東西溝（中御門大路北側溝）	310	
12-134	平安京右京一条三坊	右京区花園馬代町 10	立会	84BB-HR187	85.03.23	未検出	285	
12-135	平安京右京一条三坊	右京区花園馬代町 1-6	立会	89BB-HR088	89.10.26	未検出	333	
12-136	平安京右京一条三坊	右京区花園巽南町 9-1	立会	83BB-HR116	83.11.21	未検出	257	
12-137	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町 6-16	立会	88BB-HR029	88.05.23	鎌倉～室町の土壌、土師器	324	
12-138	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町 4-1	立会	90BB-HR083	90.12.13 ～ 12.14	平安前期～鎌倉の土壌・包含層、土師器・須恵器・白磁	345	
12-139	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町	立会	81BB-HR136	82.01.16	平安中期～鎌倉の柱穴・土壌・包含層、土師器・須恵器・緑釉陶器・瓦	239	
12-140	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町 3-15、1-47	立会	88BB-HR023	88.05.12	平安前期の包含層、土師器・須恵器・瓦	324	
12-141	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町	立会	81BB-HR082	81.09.05	未検出	239	
12-142	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京伯楽町 4-7	立会	87BB-HR013	87.04.18	平安前期の土壌 1、土師器	310	
12-143	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町 2-4	立会	89BB-HR104	89.12.06	未検出	333	
12-144	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京伯楽町 4-15	立会	85BB-HR024	85.05.11	未検出	285	
12-145	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町 12-11	試掘	センター調査 91-No.025	91.04.25	平安の柱穴群	358	発掘に切り換える
12-146	平安京右京一条三坊	右京区花園巽南町 15-54	立会	87BB-HR177	88.02.04 ～ 02.10	平安の土壌・包含層	324	
12-147	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町 5	立会	90BB-HR102	91.03.18	未検出	360	
12-148	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町 2-3	試掘	86BB-HR083	86.08.06	平安中期の土壌 10・溝 2、江戸の溝 2	297	
12-149	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町 16-12	立会	94BB-HR397	94.12.12 ～ 12.14	未検出	411	
12-150	平安京右京一条四坊	右京区花園木辻南町 2-1	試掘	86BB-HR017	86.05.01	火山灰層	297	
12-151	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町	試掘	90HK-IT002-4	90.08.28 ～ 09.22	平安前期・中期の土壌・溝多数、木辻大路西側溝・土壌・柱穴	406	
12-152	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町 8	立会	94BB-HR386	94.12.07 ～ 12.14	未検出	411	
12-153	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町 8-19	立会	86BB-HR129	86.11.05	平安の包含層	297	
12-154	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町 8-8	立会	84BB-HR025	84.05.17	平安中期の土壌 2・包含層	269	
12-155	平安京右京一条三坊	右京区花園藪ノ下町、中京区西ノ京馬代町	立会	81BB-HR060	81.07.07 ～ 07.08	室町の包含層、時期不明の土壌	239	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
12-156	平安京右京一条三坊	中京区西ノ京馬代町20-1	立会	84BB-HR098	84.10.08	流路堆積	269	
12-157	平安京右京二条四坊	右京区花園中御門町、太秦安井春日町・藤ノ木町	立会	81BB-HR040	81.06.10 ～ 07.03	平安の包含層	239	図版18に続く
12-158	平安京右京二条三坊	右京区花園八ッ口町9～1	立会	81BB-HR095	81.09.29 ～ 10.12	平安前期・中期の土壌4・柱穴2・包含層、土師器・須恵器・緑釉陶器	239	
12-159	平安京右京二条三坊	右京区花園八ッ口町1-7-41	立会	84BB-HR005	84.04.12	平安の包含層	269	
12-160	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京壺ノ内町2	立会	82BB-HR026	82.05.17	平安の包含層、土師器・須恵器・緑釉陶器	247	
12-161	平安京右京二条四坊	右京区花園中御門町1-7・8、3-6・7	立会	89BB-HR123	90.02.05	未検出	345	
12-162	平安京右京二条三坊	右京区花園八ッ口町	立会	87BB-HR044	87.06.02	未検出	310	
12-163	平安京右京二条三坊	右京区花園春日町2-2	立会	87BB-HR088	87.08.25	時期不明の土壌	310	
12-164	平安京右京二条三坊	右京区花園春日町4	試掘	85BB-HR184	86.01.27	平安中期の土壌・溝・包含層	297	発掘に切り換える
12-165	平安京右京二条三坊	右京区花園春日町4	発掘	86HK-IM	86.02.17 ～ 04.30	平安前期・中期の土壌・溝多数、側溝（恵止利小路西側溝）・建物10・柵7	294	
12-166	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京壺ノ内町11	試掘	79BB-HR380	79.10.30 ～ 11.01	平安前期の柱穴・土壌群・包含層、土師器・須恵器・緑釉陶器他	223	
12-167	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井春日町13	立会	82BB-HR025	82.05.15 ～ 05.17	平安中期の包含層、土師器・須恵器	247	
12-168	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井春日町1-2	立会	87BB-HR163	87.12.18	時期不明の土壌	310	
12-169	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京壺ノ内町20	立会	89BB-HR130	90.02.22	路面・池	345	
12-170	平安京右京二条三坊	右京区太秦安井藤ノ木町1-3	立会	85BB-HR032	85.05.23	平安の路面（木辻大路）・土壌、土師器・須恵器・瓦	285	
12-171	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京藤ノ木町1-27	立会	79BB-HR082	79.05.16	未検出	223	
12-172	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町4-2、5-1、26	試掘	83BB-HR132	83.12.19	平安前期・中期の柱穴・土壌・溝	257	図版18に続く
12-173	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町4-2、5-1、26	発掘	83HK-II	84.01.17 ～ 03.19	平安前期・中期の建物・柵・井戸・溝	267	図版18に続く
12-174	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町1	試掘	センター調査92-No.002	92.02.19	未検出	371	図版18に続く

嵐山西半（図版13）

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
13-1	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町	広域立会	91UZ-SW007	91.06.06 ～ 92.03.03	平安～鎌倉・室町前期・中期の土壌・溝・柱穴・井戸他、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・黒色土器・軒瓦	422	
13-2	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町	採取		93.06.25	平安・鎌倉の布目瓦	III-3	
13-3	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町40-8・9・13・30	試掘	88BB-UZ028	89.02.10	室町の土壌、土師器・瓦・礎石	334	
13-4	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町40-3他	立会	90BB-UZ003	90.09.17	未検出	346	
13-5	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-25・27・41・50	発掘	92UZ-MH	92.09.16 ～ 93.02.16	平安・鎌倉・室町・江戸の土壌・柱穴・溝・濠・地業、土師器・須恵器・施釉陶器・青磁・瓦	426	
13-6	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町33	発掘	88UZ-YA	89.02.01 ～ 05.13	縄文・弥生・古墳・平安前期・鎌倉・室町の庭園・柱穴・土壌・溝、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・二彩陶器	379	
13-7	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町33	試掘	88BB-UZ017	88.10.01	平安中期・室町の焼土攘、緑釉陶器・瓦	325	発掘に切り換える
13-8	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町7	立会	79BB-UZ594	80.03.29	未検出	223	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
13-9	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町 3-18	試掘	89BB-UZ009	89.11.17	室町の溝・土壌・柱穴、礎石	334	発掘に切り換える
13-10	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺造路町	広域立会	契約外	90.06.06 ～12.05	室町前期～後期の溝・包含層、土師器・瓦	III-3	図版14に続く
13-11	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺造路町(大井神社境内)	採取		92.01.10	平安の布目瓦	III-3	
13-12	史跡名勝嵐山	西京区嵐山中尾下町・西一川町・上海道町	広域立会	93MK-SW001	93.04.07 ～94.03.31	江戸の土壌・路面・湿地、陶器	436	図版14に続く
13-13	史跡名勝嵐山	西京区嵐山上河原町 1-3	立会	88BB-MK010	88.10.21	流路堆積	326	

嵐山東半 (図版 14)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
14-14	臨川寺跡	右京区嵯峨天龍寺造路町 3-11	発掘	76UZ-LS	77.02.01 ～04.08	室町・江戸の土壌・溝、土師器・陶器・軒瓦・瓦	214	
14-15	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺造路町 30-20・22	試掘	86BB-UZ001	86.04.02	室町の包含層、土師器・瓦	298	
14-16	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺造路町 31-1	立会	85BB-UZ023	86.01.17	室町の包含層、土師器・瓦器	298	
14-17	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨天龍寺造路町	試掘	センター調査 91-No.009	91.03.11	室町の溝・包含層、軒瓦・瓦	372	
14-18	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨柳田町	広域立会	85MK-G9647	86.01.15 ～01.17	未検出	316	
14-19		右京区嵯峨柳田町・五島町・蜻蛉尻町・石ヶ坪町	広域立会	契約外	89.05.08 ～09.25	江戸の土壌・湿地・路面	III-3	図版15に続く
14-20	史跡名勝嵐山	右京区嵯峨柳田町	立会	89BB-UZ013	89.05.26 ～09.09	土壌	334	
14-21		右京区嵯峨萩原町・石ヶ坪町・嵯峨野北野町・西ノ藤町	広域立会	契約外	88.05.17	流路堆積	III-2	図版15に続く
14-22	史跡名勝嵐山	西京区嵐山東一川町	広域立会	85MK-G9618	86.01.24 ～01.29	流路	316	
14-23	史跡名勝嵐山	西京区嵐山西一川町・東一川町・樋ノ上町・茶尻町	広域立会	93MK-SW001	93.04.07 ～94.03.31	土壌・溝、木製品	436	
14-24	史跡名勝嵐山	西京区嵐山東一川町・茶尻町	広域立会	85MK-W-013	85.11.21 ～12.20	時期不明の土留め遺構、室町の瓦	316	
14-25	史跡名勝嵐山	西京区嵐山西一川町・東一川町・茶尻町・樋ノ上町・東海道町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	平安後期の包含層、土師器	429	
14-26	史跡名勝嵐山	西京区嵐山西一川町・上海道町・茶尻町・樋ノ上町・東海道町・風呂ノ橋町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	平安中期・後期・室町前期・桃山の土壌・溝・包含層、土師器・陶器	429	
14-27	史跡名勝嵐山	西京区嵐山山田町・中尾下町	広域立会	86MK-G9766	86.08.25 ～09.04	江戸の路面、陶器	IV-3	
14-28	史跡名勝嵐山	西京区嵐山上海道町 63	立会	79BB-MK493	80.01.28	未検出	223	
14-29	史跡名勝嵐山	西京区嵐山ノ下町・上海道町・谷ヶ辻子町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	平安前期の溝・土壌・路面・包含層、土師器・軒平瓦・瓦	429	
14-30	史跡名勝嵐山	西京区嵐山上海道町・谷ヶ辻子町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	未検出	429	
14-31	史跡名勝嵐山	西京区嵐山谷ヶ辻子町・風呂ノ橋町・森ノ前町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	平安前期・後期の土壌・包含層、土師器	429	
14-32	史跡名勝嵐山	西京区嵐山風呂ノ橋町・森ノ前町・朝日町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	未検出	429	
14-33	史跡名勝嵐山	西京区嵐山谷ヶ辻子町	立会	87BB-UZ010	87.05.21	湿地	311	
14-34	史跡名勝嵐山	西京区嵐山ノ下町・谷ヶ辻子町・内田町・元禄山町・薬師下町	広域立会	92MK-SW004	92.03.23 ～94.03.04	平安中期・後期の土壌・溝・流路・路面・包含層、土師器・瓦器・白磁	429	

太秦西半 (図版 15)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
15-1	上ノ段町遺跡	右京区嵯峨野開町	立会	89BB-UZ031	89.03.23	時期不明の包含層	334	
15-2	上ノ段町遺跡	右京区嵯峨野開町	立会	89BB-UZ003	89.07.25	時期不明の包含層	334	
15-3	上ノ段町遺跡	右京区太秦帷子ヶ辻町11-31	立会	87BB-UZ045	88.03.23	未検出	325	
15-4	上ノ段町遺跡	右京区太秦帷子ヶ辻町11-58	立会	86BB-UZ022	87.02.21	未検出	311	
15-5		右京区嵯峨野有栖川町・宮ノ元町・神ノ木町	広域立会	契約外	87.02.15 ～88.03.31	古墳の土壌、平安の土壌・包含層、土師器・須恵器	III-2	
15-6	上ノ段町遺跡	右京区嵯峨野神ノ木町・開町、太秦帷子ヶ辻町・堀ヶ内町	広域立会	87UZ-SW054	88.02.22 ～89.09.19	古墳後期・平安・室町・江戸の包含層・土壌・溝、土師器・須恵器・瓦・陶器	384	図版 16に続く
15-7	西野町遺跡	右京区嵯峨野秋海道町	広域立会	契約外	88.08.01 ～89.07.31	平安中期・後期の包含層、土師器・須恵器	III-2	
15-8		右京区嵯峨野秋海道町、太秦御所ノ内町・堀ヶ内町・面影町	広域立会	契約外	87.01.30 ～88.10.31	古墳後期・平安の包含層、土師器・須恵器・瓦	III-2	図版 16に続く
15-9	広隆寺旧境内・常盤仲之町遺跡・西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町・芝野町	広域立会	87UZ-SW061	88.03.28 ～89.03.06	弥生・古墳前期・平安前期・後期・室町の包含層・土壌・溝、弥生土器・土師器・須恵器・瓦・瓦器・陶器	385	
15-10	西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町53 嵯峨野小学校	立会	91BB-UZ198	91.09.04 ～89.09.06	弥生・古墳・平安中期の土壌・溝、弥生土器・土師器・須恵器	361	
15-11	西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町53 嵯峨野小学校	立会	92BB-UZ171	92.08.10	未検出	375	
15-12		右京区嵯峨野千代ノ道町	採取		91.09.01	平安の瓦		
15-13	千代ノ道古墳	右京区嵯峨野千代ノ道町53 嵯峨野小学校	立会	81BB-UZ002	81.04.22	未検出	239	
15-14	千代ノ道古墳隣接地	右京区嵯峨野千代ノ道町53 嵯峨野小学校	発掘	81UZ-SA	82.01.28 ～84.04.03	古墳・平安・室町・堅穴住居・溝・土壌・柱穴、土師器・須恵器・黒色土器・灰釉陶器・緑釉陶器・輸入陶磁器・瓦・石製品	249	
15-15	千代ノ道古墳	右京区嵯峨野千代ノ道町40-13	立会	88BB-UZ008	89.03.23	未検出	334	
15-16	西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町	立会	87BB-UZ032	88.01.18	未検出	325	
15-17	西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町	試掘	88BB-UZ003	88.04.15	土師器・平瓦・丸瓦	325	発掘に切り換える
15-18	千代ノ道古墳	右京区嵯峨野千代ノ道町44-5	立会	87BB-UZ028	87.11.07	平安の土壌、土師器・瓦	311	
15-19		右京区太秦西野町	採取		91.08.04	奈良・平安の須恵器・土師器・瓦		
15-20	西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町44-7	立会	87BB-UZ014	87.06.08 ～86.10.10	平安前期・中期の土壌、土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・瓦	311	
15-21	西野町遺跡	右京区嵯峨野千代ノ道町	発掘	88UZ-SC	88.05.09 ～86.08.08	古墳前期・後期・平安前期の堅穴住居・建物・土壌・井戸・溝・柵、土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・瓦	380	
15-22	西野町遺跡・千代ノ道古墳	右京区太秦西野町、嵯峨野千代ノ道・芝野町	広域立会	87UZ-SW043	87.10.14 ～88.06.17	古墳・奈良・平安・江戸の土壌・溝・包含層、土師器・須恵器・瓦 (重弧文軒平瓦)	386	図版 16に続く
15-23	西野町遺跡	右京区太秦西野町21-3、48-2	試掘	センター調査91-No.058	91.08.21	奈良前期の須恵器・瓦	359	
15-24	西野町遺跡	右京区太秦西野町	立会	87BB-UZ018	88.02.16	未検出	325	
15-25	蛇塚古墳	右京区太秦面影町20-46	立会	83BB-UZ018	84.03.12	未検出	270	
15-26	蛇塚古墳	右京区太秦面影町	立会	87BB-UZ034	88.02.23	未検出		
15-27	蛇塚古墳	右京区太秦面影町	立会	88BB-UZ004	88.04.05	古墳の包含層 (焼土)、土師器	325	
15-28	蛇塚古墳	右京区太秦面影町20-13・19・20・21-12・13、25-9・10・11	立会	86BB-UZ014	86.09.24	古墳の須恵器	298	
15-29	蛇塚古墳	右京区太秦面影町20-38	立会	94BB-UZ163	94.07.19	未検出	412	
15-30	蛇塚古墳	右京区太秦面影町12	立会	94BB-UZ164	94.07.19	未検出	412	
15-31	蛇塚古墳	右京区太秦面影町	立会	83BB-UZ019	84.03.22	古墳後期の包含層、須恵器	270	
15-32	蛇塚古墳	右京区太秦面影町20-26	立会	85BB-UZ005	85.05.15	古墳の須恵器	286	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
15-33	西野町遺跡	右京区太秦西野町	立会	87BB-UZ033	88.02.22	未検出	325	
15-34	西野町遺跡	右京区太秦西野町 6	立会	86BB-UZ023	87.02.24	未検出	311	
15-35		右京区嵯峨野芝野町、太秦袴田町、梅津坂本町	広域立会	契約外	92.11.30 ～ 93.04.28	流路堆積		
15-36	西野町遺跡	右京区嵯峨野芝野町 2-8	立会	87BB-UZ020	87.09.04 ～ 09.07	未検出	311	
15-37		右京区嵯峨野芝野町	採取		87.06.12	古墳後期の須恵器		
15-38		右京区太秦皆正寺町	採取		87.05.08	古墳後期の須恵器		
15-39		右京区嵯峨野西ノ藤町・高田町・六反田町・南浦町・投淵町・梅津原町・竹ノ川町・北川町・林口町	広域立会	契約外	87.06.30 ～ 88.01.31	古墳後期の須恵器、平安前期の土師器・緑釉陶器	Ⅲ-2	
15-40		右京区嵯峨野高田町	採取		87.06.05	古墳後期の須恵器、平安の瓦	Ⅲ-2	
15-41		右京区嵯峨野南浦町	採取		87.06.05	古墳後期の須恵器	Ⅲ-2	
15-42		右京区嵯峨野芝野町	採取		87.06.12	古墳後期の須恵器	Ⅲ-2	
15-43		右京区梅津萩原町・竹ノ川町・前田町	広域立会	契約外	87.06.30 ～ 11.30	平安の包含層、土師器	Ⅲ-2	
15-44		右京区梅津大繩場町・尻溝町・中倉町・前田町	広域立会	契約外	87.06.01 ～ 06.24	平安前期・中期の溝・包含層、土師器・須恵器	Ⅲ-2	図版 20 に続く
15-45		右京区梅津前田町	採取		87.05.29	土師器甕		

太秦東半 (図版 16)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
16-46	常盤東ノ町古墳群・上ノ段町遺跡	右京区太秦西蜂岡町・桂木町・蜂岡町・東蜂岡町	広域立会	86UZ-SW060	87.03.23 ～ 88.03.09	古墳後期・平安前期・中期・江戸の包含層・溝・堀、土師器・須恵器・瓦・瓦器・金属製品・凝灰岩	352	
16-47	上ノ段町遺跡	右京区太秦西蜂岡町 13-1・2	立会	79BB-UZ277	79.09.07	平安の土師器・須恵器	223	
16-48	広隆寺旧境内	右京区太秦西蜂岡町	立会	85BB-UZ024	86.01.27	未検出	298	
16-49	広隆寺旧境内	右京区太秦西蜂岡町 9-33・41	試掘	85BB-UZ010	85.07.24	古墳後期の包含層、須恵器	286	
16-50	広隆寺旧境内	右京区太秦西蜂岡町 9-14	試掘	81BB-UZ014	81.11.24	未検出	239	
16-51	広隆寺跡	右京区太秦西蜂岡町 27	試掘	79BB-UZ042	79.04.24	未検出	223	
16-52	蜂岡寺跡	右京区太秦蜂岡町 32	発掘	79UZ-DK005	80.02.01 ～ 03.31	古墳後期の竪穴住居、平安・鎌倉・室町の土壌、土師器・須恵器・輸入陶磁器・陶器・磁器・埴輪	附 7	
16-53	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 32	立会	82BB-UZ010	82.09.10 ～ 09.22	平安中期・後期の土壌、土師器・須恵器・瓦・瓦器	247	
16-54	広隆寺旧境内・常盤仲之町遺跡	右京区太秦東蜂岡町 10	試掘	83BB-UZ010	83.12.14	平安前期・後期の土壌・包含層、土師器	258	
16-55	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町 2-7・8・26	立会	88BB-UZ020	88.11.07 ～ 11.12	土師器	325	
16-56	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町 1	立会	81BB-UZ008	81.05.30	平安の柱穴	239	
16-57	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町 2	立会	88BB-UZ006	88.04.25	未検出	325	
16-58	広隆寺旧境内	右京区太秦東蜂岡町 1	立会	86BB-UZ026	87.03.28	未検出	311	
16-59	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町 6	試掘	88BB-UZ013	88.08.01	鎌倉の柱穴・土壌・包含層、土師器	325	
16-60	一ノ井遺跡	右京区太秦一ノ井町 8-2	立会	90BB-UZ002	90.08.03	平安前期・鎌倉の土壌・溝、土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器	346	
16-61	一ノ井遺跡	右京区太秦森ヶ西町 10-1	立会	87BB-UZ025	87.10.27	未検出	311	
16-62	一ノ井遺跡	右京区太秦森ヶ西町 12-3	立会	88BB-UZ021	88.11.29	時期不明の包含層	325	
16-63	一ノ井遺跡	右京区太秦森ヶ西町 8	立会	81BB-UZ011	81.07.11	平安の土師器	239	
16-64	和泉式部町遺跡	右京区太秦森ヶ西町 18-2・3・19-3・33・38・39	試掘	87BB-UZ002	87.04.10	古墳前期の竪穴住居、土器	311	図版 17 に続く
16-65	和泉式部町遺跡	右京区太秦森ヶ西町 18-2	発掘	87UZ-IZ	87.05.06 ～ 07.31	弥生中期の竪穴住居、古墳前期の竪穴住居・土師器、古墳中期の須恵器	349	図版 17 に続く
16-66	上ノ段町遺跡	右京区太秦多数町 2-1・9、3	試掘	センター調査 94-No. 059	94.04.13	室町中期の瓦器	410	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
16-67	広隆寺旧境内・上ノ段町遺跡・和泉式部町遺跡	右京区太秦多藪町・石垣町	広域立会	86UZ-SW057	87.02.23 ～ 88.03.30	古墳後期の土壌・柱穴、土師器・須恵器、奈良・平安前期の土壌・溝、土師器	351	
16-68	上ノ段町遺跡	右京区太秦多藪町 19	立会	81BB-UZ013	81.10.14	未検出	239	
16-69	広隆寺旧境内隣接地	右京区太秦多藪町 13-4、20-3	立会	84BB-UZ018	85.02.14	鎌倉の包含層、土師器	286	
16-70	広隆寺旧境内・上ノ段町遺跡・和泉式部町遺跡	右京区太秦多藪町・桂ヶ原町・石垣町	広域立会	86UZ-SW057	87.02.23 ～ 88.03.30	古墳後期の土壌・柱穴・溝	351	
16-71	広隆寺旧境内	右京区太秦桂ヶ原町 20	立会	88BB-UZ019	88.11.07	未検出	325	
16-72	広隆寺旧境内	右京区太秦桂ヶ原町 1-7・8	立会	87BB-UZ022	87.10.16	平安後期の包含層、土師器	311	
16-73	広隆寺旧境内	右京区太秦桂ヶ原町・桂木町	立会	87BB-UZ023	87.10.22	室町後期の包含層、土師器	311	
16-74	広隆寺旧境内	右京区太秦桂ヶ原町 17	立会	81BB-UZ010	81.07.23	未検出	239	
16-75	広隆寺旧境内	右京区太秦桂ヶ原町 17	立会	87BB-UZ043	88.03.07	平安後期～室町の土壌・包含層、土師器	325	
16-76	広隆寺旧境内	右京区太秦多藪町 14-45	試掘	85BB-UZ006	85.06.12	室町の土師器	286	
16-77	広隆寺旧境内	右京区太秦桂ヶ原町 17-3・桂木町 5-1	立会	88BB-UZ012	88.06.27	室町の包含層	325	
16-78	広隆寺旧境内	右京区太秦桂木町 5-10・11・12・17・42・52・53	試掘	88BB-UZ011	88.06.27	平安～室町の包含層、土師器	325	
16-79	広隆寺旧境内	右京区太秦桂木町 9-7	立会	92BB-UZ084	93.06.07	未検出	400	
16-80	広隆寺旧境内	右京区太秦桂木町 11-1	試掘	センター調査 93No.052	93.08.02	飛鳥～平安の焼土壌、瓦、平安中期の土師器	397	
16-81	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 31 右京区役所	試掘	センター調査 91-No.082	91.12.04	平安前期の溝、土師器・瓦	359	発掘に切り換える
16-82	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 31 右京区役所	発掘	91UZ-UK002	92.01.12 ～ 02.22	平安前期～中期の溝・土壌・柱穴、江戸の溝	417	
16-83	蜂岡寺跡	右京区太秦蜂岡町 31 右京区役所	発掘	77UZ-UK.	77.05.03 ～ 06.12	飛鳥の基壇、奈良～平安の建物、瓦・須恵器・土師器	附 1	
16-84	広隆寺旧境内・弁天島経塚群	右京区太秦蜂岡町 36-1	発掘	77UZ-DK003	77.11.11 ～ 78.02.11	平安後期の経塚群、土師器・須恵器・白磁・軒瓦・金属製品・石製品他	附 4	
16-85	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 36-4	発掘	93UZ-US002	93.04.17 ～ 05.31	飛鳥の堅穴住居・土壌、平安中期の溝・柱穴	433	
16-86	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 36-4	試掘	センター調査 92-No.040	92.10.26 93.01.20	平安の柱穴・土壌、土師器・軒瓦	372	
16-87	広隆寺跡	右京区太秦東蜂岡町 1-2	試掘	80BB-UZ007	80.08.27	古墳後期の須恵器・土師器、平安中期の土壌、土師器・須恵器	230	発掘に切り換える
16-88	蜂岡寺跡	右京区太秦東蜂岡町 1-2	発掘	80UZ-HF	80.10.20 ～ 11.24	古墳後期の堅穴住居、平安中期の建物・柵・柱穴	232	
16-89	広隆寺旧境内・弁天島経塚群	右京区太秦東蜂岡町・垣内町	立会	89BB-UZ008	89.11.07	未検出	334	
16-90	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 36 右京消防署	試掘	90BB-UZ001	90.07.16 91.03.01	平安中期の土壌・柱穴、土師器・瓦	346	
16-91	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 36 右京消防署	発掘	90UZ-US	91.03.19 ～ 04.20	飛鳥の溝・柱穴・土壌、平安～室町の包含層	416	
16-92	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 36 右京消防署	立会	83BB-UZ006	83.10.14	平安の包含層、土師器・瓦	258	
16-93	広隆寺旧境内	右京区太秦蜂岡町 36 右京消防署	立会	83BB-UZ017	84.02.20	未検出	270	
16-94	広隆寺跡	右京区太秦蜂岡町 29	試掘	80BB-UZ008	80.08.30	平安後期の土壌 2・包含層、土師器・瓦器	230	
16-95	一ノ井遺跡	右京区太秦垣内町 3-6	立会	85BB-UZ004	85.05.15	室町の土壌、土師器	286	
16-96	一ノ井遺跡	右京区太秦森ヶ西町	立会	82BB-UZ017	83.02.18	平安の土壌、土師器	247	
16-97	一ノ井遺跡	右京区太秦森ヶ西町	立会	83BB-UZ004	83.06.03	未検出	258	
16-98	井戸ヶ尻遺跡	右京区太秦辻ヶ本町・井戸ヶ尻町・森ヶ前町・上刑部町	立会	85BB-UZ007	85.06.05 ～ 06.20	池状堆積	286	図版 17 に続く
16-99	井戸ヶ尻遺跡	右京区太秦辻ヶ本町・海正寺町	立会	82BB-UZ007	82.06.17 ～ 07.16	未検出	247	
16-100	井戸ヶ尻遺跡	右京区太秦井戸ヶ尻町 13-1、18-1	試掘	センター調査 94-No.061	94.12.02	平安の土壌・溝・柱穴、土師器・須恵器・瓦	410	図版 17 に続く

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
16-101	門田町遺跡・井戸ヶ尻遺跡	右京区太秦海正寺町・井戸ヶ尻町・門田町・森ヶ前町・下角田町	立会	84BB-UZ001	84.04.03 ～06.28	平安の包含層	270	図版17に続く
16-102	門田町遺跡	右京区太秦門田町3-21	立会	86BB-UZ013	86.08.13	未検出	298	
16-103		右京区太秦前ノ田町	採取		87.05.08	古墳の土師器		
16-104		右京区太秦土木町	採取		87.05.08	室町の土師器		
16-105	門田町遺跡	右京区太秦門田町15	試掘	83BB-UZ015	84.01.30	未検出	270	
16-106	清水山古墳・天塚古墳	右京区太秦松本町	立会	84BB-UZ010	84.07.09 ～08.06	古墳周溝、円筒埴輪	268	図版17に続く
16-107	段ノ山古墳	右京区梅津段町30-5	立会	87BB-UZ044	88.03.19	未検出	325	

山ノ内西半 (図版17)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
17-1	和泉式部町遺跡	右京区太秦森ヶ東町11-5	試掘	87BB-UZ029	87.11.27	須恵器	311	
17-2	伝椿寺跡・森ヶ東瓦窯跡	右京区太秦森ヶ東町	立会	80BB-UZ017	80.12.15 ～12.19	平安の溝、時期不明の流路、土師器	230	
17-3	平安京跡隣接地	右京区太秦安井池田町20-4	立会	92BB-HR272	92.11.02 ～93.03.02	平安後期の包含層、土師器	399	
17-4	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井辻ノ内町12	立会	85BB-HR217	86.03.31	時期不明の包含層	297	
17-5	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町・藤ノ木町	広域立会	82HK-G-015-19	82.08.19 ～09.10	未検出	261	
17-6	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町16-6	立会	80BB-HR063	80.08.12	平安の包含層、土師器	230	
17-7	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町11-2・7	立会	90BB-HR072	90.10.25 ～10.26	時期不明の包含層	345	
17-8	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井藤ノ木町8-2	立会	84BB-HR173	85.02.27	平安前期の井戸、土師器・黒色土器・須恵器	285	図版18に続く
17-9	和泉式部町遺跡	右京区太秦森ヶ東町51-28	立会	87BB-UZ007	87.05.02	未検出	311	
17-10	森ヶ東瓦窯跡隣接地	右京区太秦森ヶ東町38-51	立会	81BB-UZ007	81.05.29	流路堆積	239	
17-11	平安京右京二条三坊	右京区太秦安井池田町・奥畑町・辻ノ内町・馬塚町・藤ノ木町・一町田町・柳通町・辰巳町・松本町	広域立会	79HK-KG	80.04.08 ～81.06.29	平安の土壌・溝、鎌倉の土壌、室町の土壌群、弥生土器・土師器・須恵器・陶器・瓦	附9	図版18に続く
17-12	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井奥畑町19-3	立会	81BB-HR085	81.09.09	時期不明の包含層	239	
17-13	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井奥畑町19-8	立会	83BB-HR129	83.12.07	未検出	257	
17-14	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井奥畑町	立会	86BB-HR065	86.07.14	室町の土壌3、土師器	297	
17-15	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町・辻ノ内町	立会	81BB-HR081	81.08.27 ～09.02	未検出	239	
17-16	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井辻ノ内町16-1	立会	92BB-HR381	93.03.03 ～03.05	室町の包含層、土師器	399	
17-17	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井辻ノ内町	発掘	91HK-IR003	92.01.27 ～04.20 93.02.15 ～03.04	平安前期・後期・鎌倉・室町・江戸の溝・井戸・土壌・柱穴、弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・陶器・磁器・瓦	415	
17-18	平安京右京二条三坊	右京区太秦安井辻ノ内町・西沢町	発掘	89HK-IR002	89.08.23 ～11.08	古墳・平安・鎌倉・室町・江戸の土壌・溝・包含層・柱穴、土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・輸入陶磁器	402	
17-19	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町18	立会	92BB-HR161	92.07.28 ～07.29	時期不明の土壌	374	
17-20	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町18-9	立会	86BB-HR124	86.10.29	時期不明の包含層	297	
17-21	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町18-9	立会	81BB-HR119	81.11.17	未検出	239	
17-22	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町18	立会	87BB-HR117	87.10.01	室町の包含層	310	
17-23	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井馬塚町8	立会	86BB-HR125	86.10.31 ～11.01	時期不明の土壌	297	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
17-24	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井藤ノ木町・辰巳町	立会	81BB-HR030	81.05.19	未検出	239	
17-25	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井藤ノ木町16-1	立会	92BB-HR062	92.05.18	平安の包含層、土師器	374	図版18に続く
17-26	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町安井小学校	立会	80BB-HR030	80.06.10	未検出	230	
17-27	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町安井小学校	発掘	77HK-YS	77.07.25 ～ 08.17	室町の溝・包含層、土師器	附3	
17-28	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町9-2	立会	79BB-HR280	79.09.09	土師器・瓦	223	
17-29	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井奥畑町22	立会	80BB-HR059	80.07.30	未検出	230	
17-30	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井奥畑町23-2	立会	91BB-HR156	91.08.03	未検出	360	
17-31	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町14-1 安井小学校	立会	87BB-HR065	87.07.14	室町の土壌・包含層、土師器	310	
17-32	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町14-1 安井小学校	試掘	87HK-AH001	87.06.02	江戸の溝、土師器・陶器	350	
17-33	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町14-1 安井小学校	立会	92BB-HR345	93.01.22 ～ 01.25	平安中期の包含層、土師器	399	
17-34	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町14-1 安井小学校	立会	89BB-HR103	89.12.04	未検出	333	
17-35	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井柳通町14-2	立会	88BB-HR156	89.03.08	未検出	333	
17-36	平安京右京二条四坊	右京区太秦安井辰巳町10	立会	79BB-HR497	80.01.31	時期不明の焼土層	223	
17-37	平安京右京三条四坊	右京区太秦安井西沢町17-6	立会	94BB-HR016	94.04.12	未検出	411	
17-38	平安京右京三条四坊	右京区太秦安井西沢町	試掘	88HK-IR001	89.01.23 ～ 03.05	古墳・平安・室町・江戸の溝・土壌、土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・瓦器・陶器	381	
17-39	平安京右京三条四坊	右京区太秦安井西沢町23	立会	85BB-HR089	88.08.20 ～ 08.21	湿地堆積	285	
17-40	平安京右京三条四坊	右京区太秦安井西沢町5-1	試掘	89BB-HR084	89.09.27	室町の溝・包含層、土師器	333	
17-41	平安京右京三条三・四坊	右京区太秦安井松本町・一町田町・西沢町・二条裏町・水戸田町、山ノ内御堂殿町、中京区西ノ京月輪町	広域立会	79HK-KG	80.01.28 ～ 11.17	平安の溝（恵止利小路）・土壌、平安前期の包含層	附8	図版18に続く
17-42	井戸ヶ遺跡	右京区太秦森ノ前町18-1	立会	80BB-UZ005	80.05.29	時期不明の包含層	230	
17-43	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町33-7	立会	80BB-HR091	80.12.11	未検出	230	
17-44	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町27	試掘	80BB-HR054	80.07.23	池	230	
17-45	平安京右京三条四坊	右京区太秦安井水戸田町12-6	立会	88BB-HR090	88.09.14	未検出	324	
17-46	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町22-3	試掘	82BB-HR095	82.09.27	平安の土壌	247	
17-47	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町20	試掘	80BB-HR032	80.06.11	未検出	230	
17-48	門田町遺跡	右京区太秦門田町4	立会	82BB-UZ012・013・014	82.10.29 ～ 11.11	未検出	247	
17-49	門田町遺跡	右京区太秦森ヶ前町22-3	立会	93BB-UZ262	93.10.19	未検出	400	
17-50	平安京右京三条三・四坊	右京区太秦安井松本町、山ノ内五反田町・大町・宮脇町、中京区西ノ京月輪町	広域立会	79HK-KG	80.03.06 ～ 10.20	平安の土壌、平安・室町の包含層	附8	図版18に続く
17-51	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町	立会	86BB-HR059	86.06.20	未検出	297	
17-52	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町35	試掘	81BB-HR150	82.03.03	室町の包含層、土師器	239	
17-53	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町	立会	81BB-HR106	81.10.20 ～ 10.23	未検出	239	
17-54	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町	立会	83BB-HR042	83.06.30	未検出	257	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
17-55	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町7	立会	87BB-HR104	87.09.16	平安後期の包含層	310	
17-56	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内大町4-3	立会	90BB-HR103	91.03.18	未検出	360	
17-57	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮脇町14-1	立会	81BB-HR101	81.10.13	未検出	239	
17-58	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮脇町13-4	立会	83BB-HR166	84.02.28	未検出	269	
17-59	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮脇町12-2	試掘	83BB-HR171	84.03.14	江戸の包含層	269	
17-60	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮脇町4-3・9	試掘	89BB-HR112	89.12.20	平安後期・鎌倉の柱穴・土壇・溝、土師器	333	図版18に続く
17-61	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町16-2・4	立会	89BB-HR133	90.02.28	未検出	345	
17-62	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町17	立会	85BB-HR212	86.03.22	未検出	297	
17-63	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町16-11	立会	82BB-HR031	82.05.28	室町の土師器・輸入陶磁器	247	
17-64	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内五反田町	立会	87BB-HR071	87.07.29	未検出	310	
17-65	平安京右京三条四坊	右京区太秦安井松本町、山ノ内荒木町・西八反田町・北ノ口町・宮前町	広域立会	79HK-KG	80.03.10 ～ 81.04.28	平安の土壇5、古墳の包含層	附8	図版18に続く
17-66	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内北ノ口町	立会	85BB-HR052	85.06.24	未検出	285	
17-67	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮前町25-6	立会	86BB-HR179	87.02.28	時期不明の包含層	310	
17-68	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮前町25-6	立会	87BB-HR206	88.03.18	平安前期の溝（菖蒲小路東側溝）、土師器	324	
17-69	平安京右京四条四坊	右京区山ノ内北ノ口町・西八反田町	立会	87BB-HR137	87.10.27	土師器・瓦	310	
17-70	清水山古墳	右京区太秦松本町・野元町	立会	84BB-UZ004	84.05.18	未検出	268	
17-71	清水山古墳隣接地	右京区太秦野元町1-1	試掘	85UZ-FM	86.01.16 ～ 01.18	池・溝	316	
17-72	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内西八反田町9-9	立会	84BB-HR080	84.09.05	未検出	269	
17-73	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内西八反田町	立会	81BB-HR048	81.06.06 ～ 06.09	未検出	239	
17-74	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内北ノ口町19-13	立会	81BB-HR069	81.07.30 ～ 08.05	未検出	239	
17-75	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内北ノ口町19-14	立会	91BB-HR008	91.04.02 ～ 04.04	室町の包含層、土師器	360	
17-76	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内北ノ口町1-17・18	立会	82BB-HR019	82.05.04	未検出	247	
17-77	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮前町7	試掘	89BB-HR054	89.07.31	室町後期の包含層、土師器	333	図版18に続く

山ノ内東半 (図版18)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
18-78	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京藤ノ木町1-4	立会	82BB-HR164	83.03.15	平安中期の包含層、土師器・須恵器・瓦	247	
18-79	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町	立会	84BB-HR138	84.12.08	未検出	269	
18-80	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京藤ノ木町・小堀池町	広域立会	80HK-KG	81.03.06 ～ 07.16	平安の土壇4・井戸3・包含層	附9	
18-81	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町5-2	試掘	センター調査93-No.029	93.05.12	平安の溝・包含層	396	
18-82	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町3-2・5	試掘	83BB-HR071	83.08.05	平安中期・鎌倉～室町の包含層	257	
18-83	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町3-2・5	試掘	センター調査94-No.046	94.08.24	土壇2	409	
18-84	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町	立会	81BB-HR134	82.01.13 ～ 01.14	未検出	239	
18-85	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京塚本町4-8	立会	84BB-HR162	85.02.01	土師器・須恵器	285	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
18-86	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京塚本町	立会	81BB-HR105	81.10.16 ～10.21	土壌1・流路	239	
18-87	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京藤ノ木町5	立会	90BB-HR032	90.08.03	土師器・須恵器	345	
18-88	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町8 ～19	立会	81BB-HR145	82.02.18	未検出	239	
18-89	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町 3-4	立会	84BB-HR123	84.11.12	未検出	269	
18-90	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京藤ノ木町 10-19	立会	88BB-HR011	88.04.20	時期不明の土壌3・柱穴1、 土師器・瓦	324	
18-91	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京藤ノ木町 11	立会	91BB-HR021	91.04.14 ～04.16	平安前期の柱穴・土壌、土 師器・須恵器	360	
18-92	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京小堀池町 19	試掘	81BB-HR086	81.09.14 ～12.04	平安の土壌・包含層・流路、 土師器・須恵器・緑釉陶器	239	
18-93	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京徳大寺町	広域 立会	79HK-KG	80.06.17 ～ 81.03.27	平安前期・中期の土壌・溝・ 包含層	337	
18-94	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京徳大寺町1	立会	83BB-HR008	83.04.21	未検出	257	
18-95	平安京右京二条三坊	中京区西ノ京徳大寺町1	立会	80BB-HR005	80.04.11	未検出	230	
18-96	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京徳大寺町	立会	90BB-HR066	90.10.18 ～10.23	流路堆積、瓦	345	
18-97	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町8	立会	83BB-HR156	84.02.14	未検出	269	
18-98	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町8	立会	83BB-HR179	84.03.28	江戸の包含層	269	
18-99	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町 4-14・13	立会	94BB-HR367	94.11.25 ～11.29	未検出	411	
18-100	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町17- 20	立会	87BB-HR121	87.10.08	時期不明の包含層、土師器	310	
18-101	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町 7-1・2	立会	94BB-HR125	94.06.27 ～07.05	未検出	411	
18-102	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町 7-1	試掘	センター 調査93- No.033	93.09.10	未検出	396	
18-103	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町 5-1	発掘	89HK-RN	89.04.06 ～04.28	古墳の土壌、平安前期の建物 6・土壌・柵、有舌尖頭器1	332	
18-104	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町 5-1	試掘	88BB-HR153	89.03.02 ～03.14	平安前期の柱穴・土壌	333	
18-105	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内御堂殿町3	立会	86BB-HR150	86.12.04 ～12.06	平安前期の土壌・溝・包含 層、土師器・須恵器・石鏃	297	
18-106	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町 22-1	試掘	85BB-HR151	83.11.22	鎌倉～室町の土壌2、平安前 期の包含層、火山灰堆積	285	
18-107	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町26	立会	84BB-HR131	84.11.22	平安の包含層、土師器	269	
18-108	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町 27-6	立会	85BB-HR150	85.11.21	平安の土壌包含層	285	
18-109	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京徳大寺町1	発掘	79HK-CF001	79.06.13 ～08.20	弥生の河川、古墳の溝1、平 安の建物8・溝3	337	
18-110	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京桑原町	広域 立会	79HK-KG	80.06.03 ～12.05	平安の土壌・溝・包含層	337	
18-111	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町35	立会	88BB-HR015	88.04.25	未検出	324	
18-112	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町 35-6	立会	86BB-HR178	87.02.20 ～02.25	未検出	310	
18-113	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町38	立会	82BB-HR046	82.06.25	未検出	247	
18-114	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町38	試掘	81BB-HR098	81.10.07	室町～江戸の包含層、土師器	239	
18-115	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京月輪町38	立会	83BB-HR039	83.06.27	未検出	257	
18-116	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京桑原町	試掘	88BB-HR145	89.02.13 ～02.14	平安後期の包含層、土師器	333	
18-117	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京桑原町1	発掘	84HK-CF004	84.06.25 ～07.06	古墳の流路1、鎌倉の耕土・ 暗渠	337	
18-118	平安京右京三条四坊	右京区山ノ内宮前町19	立会	84BB-HR078	84.09.04	平安の土壌1・包含層、土師 器・須恵器	269	

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
18-119	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京島ノ内町22	試掘	85BB-HR098	85.09.06	平安前期の包含層	285	
18-120	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京島ノ内町19	試掘	79BB-HR326	79.10.03	未検出	223	
18-121	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京桑原町7	立会	81BB-HR146	82.02.20	未検出	239	
18-122	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京桑原町9-2	立会	85BB-HR128	85.10.17	未検出	285	
18-123	平安京右京三条三坊	中京区西ノ京桑原町	広域立会	79HK-KG	80.04.18 ～ 81.03.30	平安前期・中期の土壌・溝・包含層	337	

松尾 (図版 19)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
19-1	松室遺跡	西京区嵐山宮ノ前町、松室河原町・追上ヶ町	立会	94BB-MK041	94.04.26 ～ 10.24	湿地堆積	413	
19-2	松室遺跡	西京区松室中溝町	立会	93BB-MK438	94.03.10 ～ 10.24	湿地堆積	413	図版 20 に続く
19-3	松室遺跡	西京区松室中溝町 15 桂中学校北分校	発掘	84MK- KB002・003	84.04.01 ～ 09.30	弥生・古墳・飛鳥・奈良の 堅穴住居・土壌・溝・柱穴	299	図版 20 に続く
19-4	松室遺跡	西京区松室中溝町 15 桂中学校北分校	発掘	83MK-KB001	83.11.16 ～ 84.03.31	弥生・古墳・飛鳥・奈良の 堅穴住居・溝・土壌・杭列・ 柱穴	274	図版 20 に続く
19-5	松室遺跡	西京区松室中溝町	発掘	91MK-MU	91.07.23 ～ 09.30	古墳・平安・鎌倉・室町の溝 ・土壌・柱穴・土師器・須恵 器・緑釉陶器・輸入陶磁器・ 陶器	419	図版 20 に続く
19-6	松室遺跡	西京区松室中溝町	立会	91BB-MK400	92.03.06 ～ 04.13	時期不明の包含層流路	376	
19-7	松室遺跡	西京区松室河原町	広域立会	91MK-SW001	91.03.30 ～ 92.01.30	古墳・江戸・土壌・溝・柱穴、 弥生・古墳・平安・室町の 土師器・須恵器・黒色土器・ 瓦	423	図版 20 に続く
19-8	穀塚古墳	西京区山田開キ町・葉室町・弦馳町	立会	89BB-MK011	90.01.17 ～ 02.15	周濠、形象埴輪・円筒埴輪・ 須恵器・鉄製品	347	

上桂西半 (図版 20)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
20-1		右京区梅津中村町 (長福寺境内)	採取		94.07.27	平安前期～中期の土師器・ 緑釉陶器・須恵器	III-2	
20-2	平安京跡隣接地	右京区梅津中村町 38 梅津小学校	試掘	83HK-AH011	83.09.24	鎌倉の瓦器・土師器・瓦、 室町の土壌・土師器	276	
20-3	松室遺跡	西京区松室中溝町・北河原町	立会	94BB-MK524	95.03.31 ～ 04.17	未検出	432	
20-4	松室遺跡	西京区松室中溝町	立会	94BB-MK274	94.09.30 ～ 10.07	未検出	413	
20-5	松室遺跡	西京区松室中溝町	立会	91BB-MK326	92.01.20	未検出	376	
20-6		西京区松室北河原町	採取		91.07.08	土師器		
20-7	松室遺跡	西京区松室北河原町	立会	92BB-MK146	92.07.20 ～ 07.22	未検出	376	
20-8	松室遺跡	西京区松室北河原町	立会	91BB-MK283	91.12.02 ～ 92.01.30	流路	376	
20-9	松室遺跡	西京区松室北河原町	立会	89BB-MK006	89.11.01	江戸の溝、土師器	335	

上桂東半 (図版 21)

調査	遺跡名	調査地	方法	調査記号	調査日	調査概要	文献	備考
21-10	東衣手町遺跡	右京区梅津堤上町、西京極西衣手町・東衣手町	立会	91BB-UZ383	92.02.24 ～ 04.02	時期不明の溝、木片・杭	375	
21-11	東衣手町遺跡	右京区西京極西衣手町 43-2	立会	87BB-UZ009	87.05.15	土師器	311	
21-12	東衣手町遺跡	右京区西京極東衣手町 37-1 の一部	立会	94BB-UZ498	95.03.14	未検出	431	
21-13	東衣手町遺跡	右京区西京極東衣手町 38	立会	88BB-UZ016	88.09.13	江戸の土壌	325	
21-14	東衣手町遺跡	右京区西京極東衣手町 55	試掘	85BB-UZ020	85.12.07 ～ 12.10	飛鳥の甕棺墓	284	

付表3 嵯峨野文献一覧表

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
1	湯本文彦他		『平安通志』	京都市参事會	明治28年(1895)
2	堀田璋左右	「条里の制」	『史学雑誌』12-12		明治34年(1901)
3	浜田耕作	「山城における原史時代の遺物遺跡」	『東京人類学会雑誌』16-182		明治34年(1901)
4	片野四郎	「妙心寺に伝来せる梵鐘に就いて」上・下	『国革』156・158		明治36年(1906)
5	平子鐸嶺	「太秦広隆寺の草創及其旧地について」	『学鏡』11-10		明治40年(1907)
6	岩井覺堂	「山城葛野乙訓両郡の古墳二三」	『考古界』7-2		明治41年(1908)
7	佐伯好郎	「太秦(禹豆麻佐)を論ず」	『歴史地理』11-1		明治41年(1908)
8	喜田貞吉	「山城北部の条里を調査して太秦広隆寺の舊地に及ぶ」	『歴史地理』25-1・2		大正4年(1915)
9	松本文三郎	「清涼寺の釈迦像について」	『史林』1-4		大正5年(1916)
10	梅原末治	「廣隆寺礎石及古瓦」	『京都府史蹟勝地調査會報告』第1冊	京都府	大正8年(1919)
11	栗野秀穂	「神社の分布より見たる近畿地方古代の文化」	『歴史と地理』7-2		大正10年(1921)
12	栗野秀穂	「京都の史蹟2-大覚寺-」	『歴史と地理』9-6		大正11年(1922)
13	橋川 正		『京都府葛野郡史概要』	京都府教育会葛野郡部会	大正11年(1922)
14	黒坂勝美	「後宇多法皇と大覚寺」	『歴史と地理』12-1		大正12年(1923)
15	橋川 正		『太秦廣隆寺史』	京都太秦聖徳太子報徳会	大正12年(1923)
16	梅原末治	「太秦廣隆寺」	『京都府史蹟勝地調査會報告』第5冊	京都府	大正12年(1923)
17	三好竜彰	「大覚寺略史」	『密宗学報』141		大正14年(1925)
18	中村直勝	「南北朝の対立と大覚寺」	『密宗学報』141		大正14年(1925)
19	野村清嵐	「後宇多天皇と大覚寺」	『密宗学報』141		大正14年(1925)
20	藤田元春	「京都市内に残存せる古代聚落」	『地球』5-4		大正15年(1926)
21	多屋頼俊	「双丘小記」	『史蹟と古美術』1-1		昭和3年(1928)
22	栗野秀穂	「弘仁頃の嵯峨山荘」	『史蹟と古美術』2-1		昭和4年(1929)
23	藤田元春	「京都平野の過去、奠都以前-京都の地理と人文-」	『京都史蹟』1-8		昭和5年(1930)
24	中村一良	「妙心寺と雪江宗深」	『歴史と地理』25-1		昭和5年(1930)
25	佐藤虎雄	「三瓦山の古墳」	『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第11冊	京都府	昭和5年(1930)
26	今井啓一	「太秦牛祭について」	『上方』10		昭和6年(1931)
27	栗野秀穂	「二尊院についての研究」	『史蹟と古美術』7-5		昭和6年(1931)
28	藤田元春	「平安京の地理的考察」	『史迹と美術』4		昭和6年(1931)
29	井上頼寿	「伝説の太秦-広隆寺を中心として-」	『史蹟と古美術』8-4		昭和7年(1932)
30	塚本常雄	「京都市域の変遷と其地理学的考察」	『地理論叢』1		昭和7年(1932)
31	吉田敬市	「山城盆地に於ける河川交通の変遷」1~4	『歴史と地理』29-3~6		昭和7年(1932)
32	掘 永休		『嵯峨誌』	嵯峨自治会	昭和7年(1932)
33	小酒井儀三	「広隆寺の草創と経営」	『夢殿論誌』9 太子遺蹟研究		昭和8年(1933)
34	吉田敬市	「山城盆地の開発と古代交通路」上・下	『歴史と地理』3-2・3		昭和9年(1934)
35	小西大東	「怒猪の宇多岐の山-愛宕神社の神獸は猪なる由来、愛宕葛野郡名の由来、和氣清麿公と猪-」	『史迹と美術』50		昭和10年(1935)
36	川勝政太郎	「龍安寺裏出土の疏瓦」	『史迹と美術』54		昭和10年(1935)
37	滝 善成	「四円寺・法性・法成寺の研究」	『史苑』10-3		昭和11年(1936)
38	石田茂作	「広隆寺」	『飛鳥時代寺院址の研究』	第一書房	昭和11年(1936)
39	寺尾宏二	「帷子ノ辻」	『経済史研究』17-5		昭和12年(1937)
40	梅原末治	「日本古墳巨大石室聚成」	『京都帝国大学文学部考古学研究报告』14	京都帝国大学文学部	昭和12年(1937)
41	木村捷三郎	「仁和寺円堂院私考」	『史蹟と古美術』21-1		昭和13年(1938)
42	田中重久	「平安奠都前の寺址と其出土瓦」	『夢殿論誌』18		昭和13年(1938)
43	福山敏男	「山城国葛野郡の條里について」	『歴史地理』71-4		昭和13年(1938)

付表3 嵯峨野文献一覧表

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
44	角田文衛	「山背国分寺」	『国分寺の研究』上	考古学研究会	昭和13年(1938)
45	西田直二郎	「京都市 第1大覚寺」	『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第18冊	京都府	昭和13年(1938)
46	梅原末治	「山城太秦巨石古墳」	『日本古文化研究所報告』9	日本古文化研究所	昭和13年(1938)
47	森 蘊	「法金剛院の庭園について」	『建築史』1-1・2		昭和14年(1939)
48	斉藤清衛	「夢窓疎石と天竜寺造営その他」	『国学院雑誌』45-9		昭和14年(1939)
49	田中重久	「山城国の郡名寺院」	『史迹と美術』115		昭和15年(1940)
50	田中重久	「行基建立の四十九院」	『史迹と美術』118		昭和15年(1940)
51	大井重二郎	「上代山城に於ける秦氏の繁延」	『史迹と美術』120		昭和15年(1940)
52	田中重久	「広隆寺桂宮院南隣の石造遺物」	『林泉』7-76		昭和16年(1941)
53	田中重久	「法隆寺の夢殿と広隆寺の桂宮院」	『史迹と美術』136		昭和17年(1942)
54	藪田嘉一郎 他	「京都古銘選釈 五、西本願寺銅鐘(旧広隆寺銅鐘)」	『史迹と美術』138		昭和17年(1942)
55	川勝政太郎	「栖霞寺・清涼寺小考」	『史迹と美術』154		昭和18年(1943)
56	今井啓一	「長慶天皇嵯峨東陸に就いて」	『史迹と美術』160		昭和19年(1944)
57	田中重久		『聖徳太子御聖蹟の研究』	全国書房	昭和19年(1944)
58	石田茂作		『総説飛鳥時代寺院址の研究』	聖徳太子奉賛会	昭和19年(1944)
59	西田直二郎		『洛西花園小史』	積善館	昭和19年(1944)
60	村山修一	「松尾神社の御鎮座について」	『史迹と美術』167		昭和21年(1946)
61	小林 剛	「太秦広隆寺の弥勒菩薩像について」	『史迹と美術』176		昭和22年(1947)
62	藤岡謙二郎	「古代山城盆地の歴史地理的性格」	『史迹と美術』176		昭和22年(1947)
63	藪田喜一郎	「妙心寺鐘傳來考」	『史迹と美術』183		昭和22年(1947)
64	梅原末治	「平安奠都以前の山城北部の遺跡」	『史迹と美術』186		昭和23年(1948)
65	藪田嘉一郎	「広隆寺講堂安置仏像の丈量について」	『史迹と美術』187		昭和23年(1948)
66	毛利 久	「広隆寺の本尊と移建の問題」	『史迹と美術』189		昭和23年(1948)
67	木舎幾三郎	「嵯峨序日記」	『密教文化』3		昭和23年(1948)
68	福山敏男		『奈良朝寺院史の研究』	綜芸舎	昭和23年(1948)
69	向井芳彦	「広隆寺講堂に就いて」上・下	『史迹と美術』192・193		昭和24年(1949)
70	藪田嘉一郎	「徳川時代に於ける広隆寺講堂」	『史迹と美術』196		昭和24年(1949)
71	向井芳彦	「広隆寺の別号秦公寺と太秦寺に就いて」上・下	『史迹と美術』197・198		昭和24年(1949)
72	東京大学史料編纂所	「山城国葛野・乙訓両郡條里補考」	『史林』32-2		昭和24年(1949)
73	藤井寛次	「上代帰化氏族の社会構造 - 山城における秦氏を中心として -」	『立命館文学』73・74		昭和24年(1949)
74	西田直二郎	「嵐山渡月橋」	『京都』3		昭和25年(1950)
75	向井芳彦	「仁和寺金堂および御影堂考」	『史迹と美術』213		昭和26年(1951)
76	鈴木貞一	「太秦地名新考」	『京都』24		昭和27年(1952)
77	竹村俊則	「北嵯峨の史蹟と伝説」上・中・下	『史迹と美術』222～224		昭和27年(1952)
78	川勝政太郎	「広沢池の遍照寺」	『史迹と美術』223		昭和27年(1952)
79	向井芳彦	「広隆寺草創考」1～4	『史迹と美術』229～232		昭和28年(1953)
80	川勝政太郎	「清涼寺銅鐘と銘文」	『史迹と美術』239		昭和29年(1954)
81	熊野紀一	「奥嵯峨野」	『日本美術工芸』190		昭和29年(1954)
82	上野照夫	「広隆寺 - 古寺巡礼4-」	『仏教芸術』21		昭和29年(1954)
83	長野嘗一	「平安京とその周辺」	『国文学解釈と鑑賞』20-7		昭和30年(1955)
84	藪田嘉一郎	「禁野の地域と広表について」	『史迹と美術』256		昭和30年(1955)
85	塚本善隆	「嵯峨清涼寺史・平安朝扁 - 棲霞清涼二寺盛衰考 -」	『仏教文化研究』5		昭和30年(1955)
86	無著道忠		『正法山誌』	思文閣	昭和30年(1955)
87	今井啓一	「桓武天皇御宇という時代」1・2	『史迹と美術』258・259		昭和31年(1956)
88	川勝政太郎	「平安京左右京と居住者」	『史迹と美術』259・261・264		昭和31年(1956)
89	米倉二郎	「山城の条里と平安京」	『史林』39-3		昭和31年(1956)
90	樋口隆康	「洛西広沢古墳発掘調査概報」	『史林』40-2		昭和32年(1957)
91	景山春樹	「京都市宇多野古銭出土地」	『日本考古学年報』7	日本考古学協会	昭和33年(1958)
92	今井啓一	「山城国と帰化人」	『京都史蹟』51		昭和34年(1959)
93	川勝政太郎	「花園法皇と妙心寺」	『京都史蹟』57		昭和34年(1959)
94	田中 稔	「仁和寺文書拾遺」	『史学雑誌』68-9		昭和34年(1959)
95	藪田嘉一郎	「北嵯峨と海事氏族」上・中・下	『史迹と美術』292～294・296・304		昭和34年(1959)
96	大久保望	「京都市嵐山坊ヶ庭遺跡」	『史想』10		昭和34年(1959)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
97	宮本 救	「山城国葛野郡班田園について」	『続日本紀研究』6-3		昭和34年(1959)
98	今井啓一	「京都以前の京都」	『東京と京都』 98・100・101・104・106・107		昭和34年(1959)
99	田中重久	「広隆寺弥勒像弘仁9年以後輸入説」	『史迹と美術』310		昭和35年(1960)
100	毛利 久	「法金剛院の造営と阿弥陀像」	『西田先生頌寿記念日本古代史論叢』	吉川弘文館	昭和35年(1960)
101	平野邦雄	「秦氏の研究」	『史学雑誌』70-3・4		昭和36年(1961)
102	畑中友次	「太秦・烏丸・先斗」	『地名学研究』18		昭和36年(1961)
103	景山春樹	「仁和寺所蔵の宝塔文瓦について」	『歴史考古』6		昭和36年(1961)
104	西田直二郎	「檀林寺遺址」	『京都史蹟の研究』	吉川弘文館	昭和36年(1961)
105	西田直二郎	「藤原定家と小倉山山荘-板屋の時雨-」	『京都史蹟の研究』	吉川弘文館	昭和36年(1961)
106	樋口隆康	「京都嵯峨野広沢古墳」	『京都府文化財調査報告』22	京都府教育委員会	昭和36年(1961)
107	樋口隆康	「京都市右京区嵯峨野広沢古墳」	『日本考古学年報』9	日本考古学協会	昭和36年(1961)
108	藤沢衛彦	「京の帰化人と天皇家」	『国文学解釈と鑑賞』27-4		昭和37年(1962)
109	景山春樹	「仁和寺の鎮守社とその遺宝」	『神道史研究』10-2		昭和37年(1962)
110	京都大学考古学研究会	「嵯峨野古墳巡り」	『第2とれんち』		昭和37年(1962)
111	林星辰三郎		『京都』	岩波書店	昭和37年(1962)
112	杉山信三	「院の御所と御堂-院家建築の研究-」	『奈良国立文化財研究所学報』第11冊	奈良国立文化財研究所	昭和37年(1962)
113	藤森庚子郎	「清滝・愛宕」	『京都史蹟』109		昭和38年(1963)
114	瀧川政次郎	「清原夏野と雙ヶ岡山荘」上・下	『史迹と美術』337・338		昭和38年(1963)
115	清滝淑夫	「広隆寺の成立について」	『南都仏教』14		昭和38年(1963)
116	川勝政太郎	「奥嵯峨雜記」	『京都史蹟』113		昭和39年(1964)
117	塚本善隆	「釈迦像の将来と清涼寺の成立」	『京都史蹟』122		昭和39年(1964)
118	京都大学考古学研究会	「右京区甲塚町兜塚古墳実測図付記」	『第11とれんち』		昭和39年(1964)
119	京都大学考古学研究会	「御堂ヶ池群集墳発掘調査概報」	『第11とれんち』		昭和39年(1964)
120	田辺昭三他	「京都市梅ヶ畑出土の銅鐸」	『日本考古学協会昭和39年度大会研究発表要旨』	日本考古学協会	昭和39年(1964)
121	京都大学考古学研究会	「御堂ヶ池群集墳第15号墳発掘調査概報」	『第13とれんち』		昭和40年(1965)
122	福山敏男他	「妙心寺の調査について」	『日本建築学会論文報告集』118		昭和40年(1965)
123	坪井良平	「梵鐘」	『日本美術工芸』320		昭和40年(1965)
124	木村捷三郎	「平安時代の古瓦」	『撰聞時代史の研究』	吉川弘文館	昭和40年(1965)
125	橋本 久	「御堂ヶ池群集墳発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報』(1965)	京都府教育委員会	昭和40年(1965)
126	京都大学考古学研究会	「山城西北部の遺蹟調査について」	『第17とれんち』別冊1		昭和41年(1966)
127	京都大学考古学研究会	「天塚・清水山両古墳について」	『第17とれんち』別冊1		昭和41年(1966)
128	三浦薫雄	「蚕の社縁起」	『洛味』164		昭和41年(1966)
129	田村吉永	「平安京の外京の存在」	『大和文化研究』11-6		昭和41年(1966)
130	京都大学考古学研究会	「山城西北部の遺蹟調査」	『第20Ⅱとれんち』		昭和42年(1967)
131	中村直勝	「稻荷信仰と弥勒信仰」	『朱』2		昭和42年(1967)
132	今井啓一	「山城国における秦氏」	『朱』3		昭和42年(1967)
133	杉山信三	「京都市右京区御室仁和寺円堂院跡」	『日本考古学年報』15(昭和37年度)	日本考古学協会	昭和42年(1967)
134	木下 良	「山城国府の所在とその移転について」	『社会科学』10		昭和43年(1968)
135	田村吉永	「平安京の外京」	『大和文化研究』13-12		昭和43年(1968)
136	今井啓一	「秦河勝」	『帰化人の研究』3	綜芸舎	昭和43年(1968)
137	京都大学文学部		『京都大学文学部博物館考古学資料目録』第1部	京都大学文学部	昭和43年(1968)
138	佐藤護	「菖蒲谷池-ジャーナル風土記-」	『京都ジャーナル』9		昭和44年(1969)
139	木村捷三郎	「平安中期の瓦についての私見」	『延喜天曆時代の研究』	吉川弘文館	昭和44年(1969)
140	杉山信三	「法金剛院発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報』(1969)	京都府教育委員会	昭和44年(1969)
141	坂東善平	「京都市円宗寺址の瓦について」	『古代学研究』58		昭和45年(1970)

付表3 嵯峨野文献一覧表

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
142	近藤喬一	「古代史ニュース太秦広隆寺の調査」	『古代文化』22-3		昭和45年(1970)
143	四手井晴子	「京都市北嵯峨菖蒲谷池の石器」	『古代文化』22-6		昭和45年(1970)
144	川勝政太郎	「嵯峨の野の宮」	『史迹と美術』406		昭和45年(1970)
145	杉山信三	「京図右京の小泉について」	『史迹と美術』410		昭和45年(1970)
146	高橋美久二	「山城国葛野・乙訓両郡の古瓦の様相」	『史想』15		昭和45年(1970)
147	たなかしげひさ	「10世紀の平安京内外の諸寺」	『日本歴史』267		昭和45年(1970)
148	奈良国立博物館		『飛鳥・白鳳の古瓦』	東京美術	昭和45年(1970)
149	京都市		『京都の歴史1』平安の新京	學藝書林	昭和45年(1970)
150	中谷雅治	「法金剛院境内出土の瓦」	『埋蔵文化財発掘調査概報』(1970)	京都府教育委員会	昭和45年(1970)
151	三上貞二 他	「京都市沢池遺跡」	『京都教育大学紀要』A-39	京都教育大学	昭和46年(1971)
152	井上満郎	「葛野大堰と賀茂改修」	『古代文化』23-1		昭和46年(1971)
153	三上貞二	「山城盆地における旧石器文化の終末、縄文文化初頭に関する予察」	『桃山歴史地理』10		昭和46年(1971)
154	京都大学考古学研究会		『嵯峨野の古墳時代』	京大考古学研究会 出版事務局	昭和46年(1971)
155	四手井晴子 他	「京都市広沢池、沢池の石器」	『古代文化』24-10		昭和47年(1972)
156	中村一紀	「鑄銭司の所在地について」	『書陵部紀要』24		昭和47年(1972)
157	赤松俊秀		『京都寺史考』	法蔵館	昭和47年(1972)
158	鳥居治夫	「山城国葛野郡班田図と檀林寺」	『近江』2		昭和48年(1973)
159	近藤喬一	「古代史ニュース蜂岡寺跡の調査」	『古代文化』25-1		昭和48年(1973)
160	上野佳也 他	「蜂岡寺跡の発掘調査」	『古代文化』25-1		昭和48年(1973)
161	六勝寺研究会		『長刀坂古墳試掘調査報告』	六勝寺研究会	昭和48年(1973)
162	井上満郎	「平安京城設定の歴史的研究 - 山城盆地の古道と氏族分布 -」	『日本歴史』308		昭和49年(1974)
163	伊藤史朗	「広隆寺聖観音像の製作年代」	『仏教芸術』96		昭和49年(1974)
164	旧石器文化談話会	「京都市広沢池発見の石器」	『プレリユード』18		昭和49年(1974)
165	寺島孝一	「広隆寺跡遺跡出土の土器」	『土師式土器集成』本編4	東京堂出版	昭和49年(1974)
166	岸本史明		『平安京地誌』	講談社	昭和49年(1974)
167	杉山信三	「史跡仁和寺御所跡(円堂院跡)発掘調査報告」	『京都市文化観光資源調査会報告書』(1973)	京都市文化観光局 文化財保護課	昭和49年(1974)
168	杉山信三	「円乗寺跡推定地の発掘調査」	『京都市文化観光資源調査会報告書』(1973)	京都市文化観光局 文化財保護課	昭和49年(1974)
169	上原真人		『御堂ヶ池群集墳第20号墳発掘調査報告』	六勝寺研究会	昭和49年(1974)
170	杉崎重遠	「太秦連雅について」	『古代文化』27-8		昭和50年(1975)
171	木村捷三郎	「平安中期の瓦についての私見 - 補論 -」	『古代文化』27-12		昭和50年(1975)
172	京都国立博物館		『京都国立博物館蔵古瓦図録 - 飛鳥・白鳳・奈良時代編 -』	京都国立博物館	昭和50年(1975)
173	川上孤山他		『増補妙心寺史』	思文閣	昭和50年(1975)
174	江谷 寛		『臨川寺庭園遺跡発掘調査概要』	臨川寺庭園遺跡発掘調査団	昭和50年(1975)
175	安藤信策	「南天塚古墳出土の新羅土器」	『京都考古』21		昭和51年(1976)
176	乗安和二三	「化野念仏寺境内出土の蔵骨壺」	『古代文化』28-9		昭和51年(1976)
177	佐野精一	「嵯峨油掛地蔵の原像」	『史迹と美術』469		昭和51年(1976)
178	斎藤 忠	「山城国の古墳文化と秦氏」	『朱』20		昭和51年(1976)
179	木村捷三郎		『造瓦と考古学』	木村捷三郎先生頌 寿記念論集刊行会	昭和51年(1976)
180	井上満郎	「平安京年表集成I」	『京都市埋蔵文化財年次報告』(1975)	京都市文化観光局 文化財保護課	昭和51年(1976)
181	安藤信策	「大覚寺古墳群発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報』(1976)	京都府教育委員会	昭和51年(1976)
182	杉山信三 他	「住宅公園花園鷹司団地建設敷地内埋蔵文化財発掘調査概報」	『埋蔵文化財発掘調査概報集』(1976)	鳥羽離宮跡調査研 究所	昭和51年(1976)
183	杉山信三 他	「竜安寺昭堂復原工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報」	『埋蔵文化財発掘調査概報集』(1976)	鳥羽離宮跡調査研 究所	昭和51年(1976)
184	鳥羽離宮跡調査 研究所	「平安建設株式会社所有の双ヶ岡西麓地に於ける埋蔵文化財発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報集』(1976)	鳥羽離宮跡調査研 究所	昭和51年(1976)
185	鳥羽離宮跡調査 研究所	「大覚寺境内地埋蔵文化財発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報集』(1976)	鳥羽離宮跡調査研 究所	昭和51年(1976)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
186	杉山信三	「平安京を発掘する」	『史迹と美術』472～479		昭和52年(1977)
187	鈴木廣司	「常盤東ノ町古墳群」	『仏教芸術』115		昭和52年(1977)
188	江谷 寛	「臨川寺旧境内」	『仏教芸術』115		昭和52年(1977)
189	木村捷三郎	「仁和寺出土の緑釉瓦」	『仏教芸術』115		昭和52年(1977)
190	浪貝 毅	「北野廃寺跡と広隆寺旧境内」	『仏教芸術』116		昭和52年(1977)
191	平安博物館		『平安京古瓦図録』	雄山閣出版	昭和52年(1977)
192	畑美樹徳		『円教寺跡発掘調査概報』	六勝寺研究会	昭和52年(1977)
193	(財)京都市埋蔵文化財研究所		『京都市の埋蔵文化財 展示図録』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和52年(1977)
194	井上満郎 他	「平安京年表集成Ⅱ」	『平安宮跡 京都市埋蔵文化財年次報告』1976-Ⅰ	京都市文化観光局文化財保護課	昭和52年(1977)
195	百瀬正恒 他		『仁和寺子院跡発掘調査概報 関西電力株式会社双ヶ岡変電所増築にともなう調査』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和52年(1977)
196	鈴木廣司 他		『常盤東ノ町古墳群発掘調査概報 グリーンハイツ河合新築にともなう調査』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和52年(1977)
197	鈴木廣司 他		『常盤東ノ町古墳群』京都市埋蔵文化財研究所調査報告-Ⅰ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和52年(1977)
198	金田章裕	「平安初期における嵯峨野の開発と条里プラン」	『追手門学院大学文学部紀要』12	追手門学院大学文学部	昭和53年(1978)
199	江谷 寛	「広隆寺弁天島経塚群」	『考古学ジャーナル』153		昭和53年(1978)
200	平岡定海	「四円寺考」	『古代史論叢』下巻 井上光貞博士還暦記念	吉川弘文館	昭和53年(1978)
201	田中重久		『奈良朝以前寺院址の研究』	白川書院	昭和53年(1978)
202	江谷 寛	「広隆寺弁天島の経塚群の調査」	『日本考古学協会昭和53年度総会研究発表要旨』	日本考古学協会	昭和53年(1978)
203	浪貝 毅	「仁和寺境内遺跡」	『日本考古学年報』29(1976年版)	日本考古学協会	昭和53年(1978)
204	浪貝 毅	「広隆寺旧境内」	『日本考古学年報』29(1976年版)	日本考古学協会	昭和53年(1978)
205	鈴木廣司	「常盤東ノ町古墳群」	『京都市埋蔵文化財研究所概報集』1978-Ⅰ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和53年(1978)
206	百瀬正恒	「仁和寺子院跡」	『京都市埋蔵文化財研究所概報集』1978-Ⅰ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和53年(1978)
207	梶川敏夫	「森ヶ東瓦屋跡立合調査」	『京都市埋蔵文化財研究所概報集』1978-Ⅰ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和53年(1978)
208	井上満郎 他	「平安京年表集成Ⅲ」	『京都市埋蔵文化財研究所概報集』1978-Ⅰ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和53年(1978)
209	鈴木廣司 他		『常盤東ノ町集落跡発掘調査報告』京都市埋蔵文化財研究所調査報告Ⅲ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和53年(1978)
210	平尾政幸	「日本電信電話公社嵯峨野住宅集会所新築に伴う発掘調査」	『常盤東ノ町集落跡発掘調査報告』京都市埋蔵文化財研究所調査報告Ⅲ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和53年(1978)
211	林星辰三郎 他		『京都市の地名』日本歴史地名大系第27巻	平凡社	昭和54年(1979)
212	福山敏男	「仁和寺の創立」	『日本古代学論集』	(財)古代学協会	昭和54年(1979)
213	京都市文化観光局文化財保護課		『京都市遺跡発掘調査基準点』	京都市文化観光局文化財保護課	昭和54年(1979)
214	吉川義彦 他		『臨川寺旧境内遺跡発掘調査報告』京都市埋蔵文化財研究所調査報告Ⅳ	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和54年(1979)
215	難波田徹	「京の経塚Ⅱ 法金剛院付近出土の瓦経」	『史迹と美術』506		昭和55年(1980)
216	飛鳥資料館	「広隆寺」	『飛鳥資料館図録』7	飛鳥資料館	昭和55年(1980)
217	(財)京都府文化財保護基金	「広隆寺」	『京都の社寺』	(財)京都府文化財保護基金	昭和55年(1980)
218	(財)京都府文化財保護基金	「法金剛院」(清原夏野の山荘跡)	『京都の社寺』	(財)京都府文化財保護基金	昭和55年(1980)
219	倉内鳳州 他	「後嵯峨天皇陵貯水槽拡張工事箇所調査」	『書陵部紀要所収陵墓関係論文集』		昭和55年(1980)
220	平良泰久	「平安京右京一条三坊九町」	『埋蔵文化財発掘調査概報』1980-3	京都府教育委員会	昭和55年(1980)
221	平方幸雄 他	「史跡妙心寺境内」	『平安京跡発掘調査概要 文化庁国庫補助事業による発掘調査の概要』1979年度	京都市文化観光局	昭和55年(1980)

付表3 嵯峨野文献一覧表

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
222	菅田 薫	「右京北辺三坊跡試掘調査」	『京都市内遺跡試掘・立会調査報告』昭和54年度	京都市文化観光局文化財保護課	昭和55年(1980)
223	京都市文化観光局文化財保護課	「試掘・立会調査一覧表」	『京都市内遺跡試掘・立会調査報告』昭和54年度	京都市文化観光局文化財保護課	昭和55年(1980)
224	木村捷三郎 他		『坂東善平収蔵品目録』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和55年(1980)
225	(財)京都市埋蔵文化財研究所		『平安京跡発掘資料選』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和55年(1980)
226	大和岩雄	「弓月君と波多氏と秦氏」(上)(下)	『古代文化』33-1・2		昭和56年(1981)
227	宮本 救	「山城国葛野郡班田図補考」	『成蹊大学一般研究報告』18-1		昭和56年(1981)
228	杉山信三		『院家建築の研究』	吉川弘文館	昭和56年(1981)
229	平良泰久 他	「平安京跡(右京一条三坊九・十町)昭和55年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報』(1981-1)	京都府教育委員会	昭和56年(1981)
230	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査概要一覧表」	『京都市内遺跡試掘・立会調査報告』昭和55年度	京都市文化観光局	昭和56年(1981)
231	平尾政幸 他	「双ヶ岡1号墳の発掘調査及び保存修景事業概要」	『名勝双ヶ岡保存整備事業報告』昭和55年度	京都市文化観光局	昭和56年(1981)
232	平田 泰		『広隆寺跡-右京検察庁庁舎改築に伴う発掘調査の概要-』昭和55年度	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和56年(1981)
233	角田文衛	「藤原定家の小倉山荘」	『国文学』27-12		昭和57年(1982)
234	石田志朗	「京都盆地北部の扇状地-平安京遷都時の京都の地勢-」	『古代文化』34-12		昭和57年(1982)
235	竹内理三 他		『角川日本地名大辞典』26京都市府下巻	角川書店	昭和57年(1982)
236	石尾政信	「広隆寺跡発掘調査概要」	『京都府遺跡調査概報』第3冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	昭和57年(1982)
237	石尾政信	「広隆寺跡発掘調査概要」	『京都府遺跡調査概報』第5冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	昭和57年(1982)
238	石尾政信	「広隆寺跡」	『京都府埋蔵文化財情報』第4号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	昭和57年(1982)
239	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査概要一覧表」	『京都市内遺跡試掘・立会調査概報』昭和56年度	京都市文化観光局	昭和57年(1982)
240	奈良国立文化財研究所	「京都府の飛鳥白鳳寺院」	『埋蔵文化財ニュース』40		昭和58年(1983)
241	家崎孝治	「京都・仁和寺南院跡」	『木簡研究』5	木簡学会	昭和58年(1983)
242	足利建亮	「平安京-総論-」	『考古地理学』2	学生社	昭和58年(1983)
243	竹村俊則		『昭和京都名所圖會』4 洛西	駸々堂出版	昭和58年(1983)
244	京都市		『史料京都の歴史』2 考古	平凡社	昭和58年(1983)
245	京都府立山城郷土資料館		『山城の古瓦』	京都府立山城郷土資料館	昭和58年(1983)
246	北田栄造 他		『御堂ヶ池1号墳発掘調査概報』昭和57年度	京都市文化観光局	昭和58年(1983)
247	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査概要一覧表」	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和57年度	京都市文化観光局	昭和58年(1983)
248	辻 裕司	「右京北辺三坊(2)」	『昭和56年度京都市埋蔵文化財調査概要(発掘調査編)』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和58年(1983)
249	鈴木廣司	「嵯峨野小学校内遺跡」	『昭和56年度京都市埋蔵文化財調査概要(発掘調査編)』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和58年(1983)
250	家崎孝治	「右京北辺二・三・四坊、一条二・三・四坊と北野廃寺、北野遺跡」	『昭和56年度京都市埋蔵文化財調査概要(試掘・立会調査編)』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和58年(1983)
251	小畑 実 他	「後嵯峨天皇以下三方火葬塚外構柵改修工事箇所調査」	『書陵部紀要』35		昭和59年(1984)
252	奈良本辰也 他		『京都大事典』	淡交社	昭和59年(1984)
253	飛野博文	「古墳からみた5・6世紀の山城地方」	『京都大学構内遺跡調査研究年報』昭和57年度	京都大学埋蔵文化財研究センター	昭和59年(1984)
254	山口 博	「平安京跡右京一条三坊九町(山城高校第6次)」	『京都府埋蔵文化財情報』第13号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	昭和59年(1984)
255	山田良三 他		『花園大学構内調査報告I』	花園大学考古学研究室	昭和59年(1984)
256	北田栄造 他		『音戸山古墳群発掘調査概報』昭和58年度	京都市文化観光局	昭和59年(1984)
257	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和58年度	京都市文化観光局	昭和59年(1984)
258	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和58年度	京都市文化観光局	昭和59年(1984)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
259	堀内明博 他	「右京二条四坊」	『昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和59年(1984)
260	丸川義広 他	「御堂ヶ池1号墳」	『昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和59年(1984)
261	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「昭和57年度 試掘・立会調査一覧表」	『昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和59年(1984)
262	鳥居治夫	「山城国葛野郡、紀伊郡、愛宕郡についての条里の考察」	『近江』7	近江考古学研究会	昭和60年(1985)
263	久世康博	「山城盆地に於ける条里遺構の復原計算 - 平安京下層遺構の場合 -」	『考古学論集』第1集	考古学を学ぶ会	昭和60年(1985)
264	田中哲雄 他	「大覚寺大沢池の発掘調査」	『奈良国立文化財研究所年報』(1985)	奈良国立文化財研究所	昭和60年(1985)
265	伊達宗泰 他	「金牛院敷地の調査」	『妙心寺境内地の調査 金牛院敷地、花園高等学校敷地』	妙心寺塔頭金牛院	昭和60年(1985)
266	伊達宗泰 他	「花園高等学校敷地内の調査」	『妙心寺境内地の調査 金牛院敷地、花園高等学校敷地』	妙心寺塔頭金牛院	昭和60年(1985)
267	中村 敦	「右京二条三坊」	『平安京跡発掘調査概報』昭和59年度	京都市文化観光局	昭和60年(1985)
268	野村篤美 他	「天塚古墳・清水山古墳」	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和59年度	京都市文化観光局	昭和60年(1985)
269	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和59年度	京都市文化観光局	昭和60年(1985)
270	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和59年度	京都市文化観光局	昭和60年(1985)
271	中村 敦 他	「右京二条三坊」	『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和60年(1985)
272	北田栄造	「音戸山古墳群(1)」	『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和60年(1985)
273	丸川義広 他	「音戸山古墳群(2)」	『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和60年(1985)
274	平安京調査会	「松室遺跡」	『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和60年(1985)
275	平田 泰	「右京北辺四坊・一条四坊・妙心寺境内」	『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和60年(1985)
276	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「昭和58年度 試掘・立会調査一覧表」	『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和60年(1985)
277	森 郁夫	「古代山背の寺院造営」	『学叢』8	京都国立博物館	昭和61年(1986)
278	山下正男	「京都市内およびその近辺の中世城郭 - 復原図と関連資料 -」	『京都大学人文科学研究所調査報告』35	京都大学人文科学研究所	昭和61年(1986)
279	本中 真 他		『史跡大覚寺御所跡発掘調査概報』	大覚寺	昭和61年(1986)
280	梶川敏夫 他		『京都市遺跡地図台帳』	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
281	北田栄造	「御堂ヶ池21・26号墳」	『御堂ヶ池古墳群・音戸山古墳群発掘調査概報』昭和60年度	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
282	北田栄造	「音戸山西支群1・2号墳」	『御堂ヶ池古墳群音戸山古墳群発掘調査概報』昭和60年度	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
283	丸川義広	「音戸山7・8号墳」	『御堂ヶ池古墳群・音戸山古墳群発掘調査概報』昭和60年度	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
284	梅川光隆	「東衣手町遺跡」	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和60年度	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
285	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和60年度	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
286	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和60年度	京都市文化観光局	昭和61年(1986)
287	林 陸朗	「桓武天皇と遊獵」	『栃木史学』1		昭和62年(1987)
288	永田信一	「渡来氏族と造都」	『歴史読本』32-12	新人物往来社	昭和62年(1987)
289	峰 巍		『京都市域の群集墳』	京都市考古資料館	昭和62年(1987)
290	森下 衛	「広隆寺出土瓦について - 昭和56年度調査の瓦溜り(SK13下層)出土資料を中心に -」	『京都府埋蔵文化財論集』第1集	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	昭和62年(1987)
291	太田静六		『寝殿造の研究』	吉川弘文館	昭和62年(1987)
292	田中哲雄 他	「大覚寺大沢池(旧嵯峨院)の調査(2)」	『奈良国立文化財研究所年報』(1986)	奈良国立文化財研究所	昭和62年(1987)
293	土橋 誠	「広隆寺旧境内」	『京都府埋蔵文化財情報』第24号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	昭和62年(1987)
294	平尾政幸	「平安京右京二条三坊」	『平安京跡発掘調査概報』昭和61年度	京都市文化観光局	昭和62年(1987)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
295	木下保明	「巽古墳」	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和61年度	京都市文化観光局	昭和62年(1987)
296	久世康博	「森ヶ東瓦窯跡」	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和61年度	京都市文化観光局	昭和62年(1987)
297	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和61年度	京都市文化観光局	昭和62年(1987)
298	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和61年度	京都市文化観光局	昭和62年(1987)
299	小森俊寛 他	「松室遺跡」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
300	木下保明 他	「音戸山古墳群」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
301	北田栄造	「音戸山古墳群西支群」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
302	北田栄造	「御堂ヶ池古墳群」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
303	平田 泰	「平安京右京北辺四坊・一条四坊, 法金剛院, 四円寺跡」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
304	平尾政幸	「右京三条三坊」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
305	家崎孝治	「嵯峨院・大覚寺御所跡」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
306	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「昭和59年度試掘・立会調査一覧表」	『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和62年(1987)
307	杉山信三	「平安京右京の湿地について」	『古代文化』40-9		昭和63年(1988)
308	梶原瑞司	「広隆寺創立伝承考」	『歴史と伝承』日野昭博士還暦記念論文集	永田文昌堂	昭和63年(1988)
309	上原真人	「平安貴族は瓦葺邸宅に住んでいなかった - 平安京右京一条三坊九町出土瓦をめぐって -」	『歴史学と考古学』高井佛三郎先生喜寿記念論集	真陽社	昭和63年(1988)
310	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和62年度	京都市文化観光局	昭和63年(1988)
311	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和62年度	京都市文化観光局	昭和63年(1988)
312	平尾政幸 他	「平安京右京二条三坊3」	『昭和60年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和63年(1988)
313	平尾政幸	「双ヶ岡中学校校内遺跡」	『昭和60年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和63年(1988)
314	平田 泰	「森ヶ東瓦窯跡・和泉式部町遺跡」	『昭和60年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和63年(1988)
315	平田 泰	「広隆寺旧境内・一ノ井遺跡・和泉式部町遺跡」	『昭和60年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和63年(1988)
316	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「昭和60年度試掘・立会調査一覧表」	『昭和60年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	昭和63年(1988)
317	寺升初代	「檀林寺跡周辺採集の古瓦について」	『古代文化』41-8		平成元年(1989)
318	磯野浩光	「京都・嵯峨院跡(史跡大覚寺御所跡)」	『木簡研究』11	木簡学会	平成元年(1989)
319	赤井達郎		『京都の美術史』	思文閣出版	平成元年(1989)
320	伊達宗泰 他	「平安京右京二条三坊十町」	『花園大学構内調査報告Ⅲ』	花園大学	平成元年(1989)
321	伊達宗泰 他	「平安京右京一条四坊一・二町」	『花園大学構内調査報告Ⅲ』	花園大学	平成元年(1989)
322	京都府教育委員会		『京都府遺跡地図』第4分冊第2版	京都府教育委員会	平成元年(1989)
323	平田 泰	「蛇塚古墳」	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和63年度	京都市文化観光局	平成元年(1989)
324	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和63年度	京都市文化観光局	平成元年(1989)
325	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和63年度	京都市文化観光局	平成元年(1989)
326	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」南・桂地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』昭和63年度	京都市文化観光局	平成元年(1989)
327	加納敬二	「円宗寺跡」	『昭和61年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成元年(1989)
328	平田 泰 他	「仁和寺院家跡」	『昭和61年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成元年(1989)
329	木下保明	「巽1号墳」	『昭和61年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成元年(1989)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
330	京都市文化観光局文化財保護課		『京都の庭園 - 遺跡にみる平安時代の庭園 -』京都市文化財ブックス第5集		平成2年(1990)
331	井上満郎		『平安京再現 京都1200年の暮らしと文化』歴史博物館シリーズ	河出書房新社	平成2年(1990)
332	平尾政幸	「平安京右京三条四坊」	『平安京跡発掘調査概報』平成元年度	京都市文化観光局	平成2年(1990)
333	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』平成元年度	京都市文化観光局	平成2年(1990)
334	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』平成元年度	京都市文化観光局	平成2年(1990)
335	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」南・桂地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』平成元年度	京都市文化観光局	平成2年(1990)
336	百瀬正恒 他		『仁和寺境内発掘調査報告 - 御室会館建設に伴う調査 -』京都市埋蔵文化財研究所調査報告第9冊	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成2年(1990)
337	平尾政幸 他		『平安京右京三条三坊』京都市埋蔵文化財研究所調査報告第10冊	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成2年(1990)
338	京都市文化観光局文化財保護課		『山背の古墳 - 古墳の調査とその成果 -』京都市文化財ブックス第6集		平成3年(1991)
339	井上満郎	「渡来人と平安京」	『古代豪族と朝鮮』	新人物性来社	平成3年(1991)
340	井上満郎	「秦氏と宮都造宮」	『古代の日本と東アジア』	小学館	平成3年(1991)
341	井上満郎		『京都 よみがえる古代』	ミネルヴァ書房	平成3年(1991)
342	磯野浩光	「山背の古道と寺院跡について」	『京都府埋蔵文化財論集』第2集	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	平成3年(1991)
343	磯野浩光	「仁和寺御所跡」	『図説日本の史跡』4 古代1	同朋舎	平成3年(1991)
344	磯野浩光	「大覚寺御所跡」	『図説日本の史跡』4 古代1	同朋舎	平成3年(1991)
345	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』平成2年度	京都市文化観光局	平成3年(1991)
346	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』平成2年度	京都市文化観光局	平成3年(1991)
347	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」南桂地区	『京都市内遺跡試掘立会調査概報』平成2年度	京都市文化観光局	平成3年(1991)
348	平田 泰	「円乗寺跡」	『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成3年(1991)
349	辻 裕司 他	「和泉式部町遺跡」	『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成3年(1991)
350	家崎孝治	「平安京右京二条四坊」	『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成3年(1991)
351	平田 泰 他	「広隆寺旧境内・上ノ段町遺跡・和泉式部町遺跡・一ノ井町遺跡・森ヶ東瓦窯跡・常盤東ノ町古墳群」	『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成3年(1991)
352	平田 泰 他	「常盤東ノ町古墳群・常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内」	『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成3年(1991)
353	北田栄造	「遍照寺旧境内建物跡」	『京都市の文化財』10	京都市文化観光局	平成4年(1992)
354	上田正昭	「桓武朝廷と百済王氏」	『京都市歴史資料館紀要』10	京都市歴史資料館	平成4年(1992)
355	金田章裕	「桂川の河道変遷と東寺領上桂荘」	『京都市歴史資料館紀要』10	京都市歴史資料館	平成4年(1992)
356	井上満郎	「桓武天皇と渡来系氏族」	『長岡京古文化論叢』II	三星出版	平成4年(1992)
357	京都大学考古学研究会		『岩倉古窯跡群』	京都大学考古学研究会	平成4年(1992)
358	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧」平安京右京	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成3年度	京都市文化観光局	平成4年(1992)
359	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成3年度	京都市文化観光局	平成4年(1992)
360	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡立会調査概報』平成3年度	京都市文化観光局	平成4年(1992)
361	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡立会調査概報』平成3年度	京都市文化観光局	平成4年(1992)
362	奥村清一郎	「嵯峨野の前方後円墳」	『京都考古』72		平成5年(1993)
363	(財)京都府文化財保護基金		『京都の文化財地図帳』(平成5年改定増補)	(財)京都府文化財保護基金	平成5年(1993)
364	大和岩雄		『秦氏の研究』	大和書房	平成5年(1993)
365	畑美樹徳	「四円寺跡推定地の調査」	『平安京歴史研究』杉山信三先生米寿記念論集	杉山信三先生米寿記念論集刊行会	平成5年(1993)
366	津々池惣一	「京都市北山の遺跡 - 沢池の建物跡と軒瓦 -」	『平安京歴史研究』杉山信三先生米寿記念論集	杉山信三先生米寿記念論集刊行会	平成5年(1993)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
367	平田 泰	「平安時代の双ヶ岡周辺地域」	『平安京歴史研究』杉山信三先生米寿記念論集	杉山信三先生米寿記念論集刊行会	平成5年(1993)
368	吉村正親	「山背における郡成立の背景」	『平安京歴史研究』杉山信三先生米寿記念論集	杉山信三先生米寿記念論集刊行会	平成5年(1993)
369	杉山信三		『よみがえった平安京』	人文書院	平成5年(1993)
370	伊達宗泰 他		『花園大学構内調査報告Ⅳ』	花園大学	平成5年(1993)
371	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成4年度	京都市文化観光局	平成5年(1993)
372	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成4年度	京都市文化観光局	平成5年(1993)
373	小檜山一良	「御堂ヶ池古墳群」	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成4年度	京都市文化観光局	平成5年(1993)
374	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成4年度	京都市文化観光局	平成5年(1993)
375	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成4年度	京都市文化観光局	平成5年(1993)
376	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」南・桂地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成4年度	京都市文化観光局	平成5年(1993)
377	平田 泰 他	「仁和寺院家跡」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
378	平田 泰 他	「上ノ段町遺跡」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
379	木下保明	「史跡名勝嵐山」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
380	平田 泰 他	「西野町遺跡」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
381	本弥八郎	「平安京右京三条四坊」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
382	加納敬二	「仁和寺院家跡」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
383	平田 泰 他	「常盤東ノ町古墳群・仁和寺院家跡・広隆寺旧境内」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
384	加納敬二 他	「上ノ段町遺跡」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
385	平田 泰 他	「広隆寺旧境内・常盤仲之町遺跡・西野町遺跡」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
386	平田 泰 他	「西野町遺跡・千代ノ道古墳」	『昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成5年(1993)
387	京都市文化観光局文化財保護課		『京の古代社寺 - 京都の式内社と古代寺院 -』京都市文化財ブックス第10集		平成6年(1994)
388	森谷尅久 他		『京都の大路小路』	小学館	平成6年(1994)
389	佐原 真 他		『古代史探険 - 京・山城 -』	京都書院	平成6年(1994)
390	京都市		『史料京都の歴史』14 右京区	平凡社	平成6年(1994)
391	森谷尅久 他		『図説 京都府の歴史』図説日本の歴史 26	河出書房新社	平成6年(1994)
392	中村修也		『秦氏とカモ氏 - 平安京以前の京都 -』	臨川書店	平成6年(1994)
393	(財)古代学協会		『平安京提要』	角川書店	平成6年(1994)
394	山田邦和	「広隆寺旧境内出土の土器・陶磁器」	『平安京出土土器の研究』古代学研究所研究報告第4輯	(財)古代学協会	平成6年(1994)
395	長谷川行孝	「常盤東ノ町古墳群」	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成5年度	京都市文化観光局	平成6年(1994)
396	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成5年度	京都市文化観光局	平成6年(1994)
397	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成5年度	京都市文化観光局	平成6年(1994)
398	吉本健吾	「仁和寺院家跡」	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成5年度	京都市文化観光局	平成6年(1994)
399	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成5年度	京都市文化観光局	平成6年(1994)
400	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成5年度	京都市文化観光局	平成6年(1994)
401	平田 泰	「平安京右京一条四坊」	『平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成6年(1994)
402	堀内明博	「平安京右京二条四坊」	『平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成6年(1994)

番号	編著者	文 献	掲 載 誌	発 行 所	発 行 年
403	平尾政幸	「平安京右京三条四坊」	『平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成6年(1994)
404	平田 泰	「上ノ段町遺跡・仲野親王陵古墳」	『平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成6年(1994)
405	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「平成元年度試掘・立会調査一覧表」	『平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成6年(1994)
406	平田 泰	「平安京右京一条三・四坊」	『平成2年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成6年(1994)
407	檜崎彰一 他	「臨川寺出土資料にみる中世後期陶磁器の一樣相」	『大宰府陶磁研究』	森田勉氏遺稿集・追悼集刊行会	平成7年(1995)
408	伊達宗泰		『妙心寺旧塔実相院跡調査報告』	花園大学	平成7年(1995)
409	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成6年度	京都市文化観光局	平成7年(1995)
410	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成6年度	京都市文化観光局	平成7年(1995)
411	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」平安京右京	『京都市内遺跡立会調査概報』平成6年度	京都市文化観光局	平成7年(1995)
412	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡立会調査概報』平成6年度	京都市文化観光局	平成7年(1995)
413	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」南・桂地区	『京都市内遺跡立会調査概報』平成6年度	京都市文化観光局	平成7年(1995)
414	平田 泰	「平安宮・平安京右京一条三・四坊・二条二・三坊・三条一坊」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
415	山本雅和	「平安京右京二条四坊」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
416	平田 泰	「広隆寺旧境内1」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
417	平田 泰	「広隆寺旧境内2」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
418	堀内明博 他	「史跡大覚寺御所跡」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
419	伊藤 潔	「松室遺跡」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
420	小檜山一良	「嵯峨院跡・史跡大覚寺御所跡」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
421	小檜山一良	「史跡特別名勝天龍寺庭園・史跡名勝嵐山1」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
422	小檜山一良	「史跡特別名勝天龍寺庭園・史跡名勝嵐山2」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
423	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「試掘・立会調査一覧表」	『平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
424	平田 泰	「平安京右京一条四坊」	『平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
425	小松武彦	「史跡大覚寺御所跡」	『平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
426	久世康博 他	「史跡名勝嵐山」	『平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
427	小檜山一良	「嵯峨院跡」	『平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
428	小檜山一良	「史跡名勝嵐山1」	『平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
429	小檜山一良	「史跡名勝嵐山2」	『平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成7年(1995)
430	京都市埋蔵文化財調査センター	「試掘調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡試掘調査概報』平成7年度	京都市文化観光局	平成8年(1996)
431	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」太秦地区	『京都市内遺跡立会調査概報』平成7年度	京都市文化観光局	平成8年(1996)
432	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「調査一覧表」南桂地区	『京都市内遺跡立会調査概報』平成7年度	京都市文化観光局	平成8年(1996)
433	平田 泰	「広隆寺旧境内」	『平成5年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成8年(1996)
434	小檜山一良	「嵯峨院跡・史跡大覚寺御所跡」	『平成5年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成8年(1996)
435	小檜山一良	「史跡名勝嵐山」	『平成5年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成8年(1996)
436	(財)京都市埋蔵文化財研究所	「試掘・立会調査一覧表」	『平成5年度京都市埋蔵文化財調査概要』	(財)京都市埋蔵文化財研究所	平成8年(1996)

付表 4 嵯峨野略年表

時 代	記 事
旧石器時代 前 3 万年頃	菖蒲谷池、沢ノ池、広沢池畔で石器を製作、使用する人々の生活が始まる。
縄文時代 前 4500 年頃 前 3000 年頃	上ノ段町遺跡で縄文時代早期・前期の土器を使用する人々が生活を始める。 嵯峨院跡下層、史跡天龍寺下層などで縄文時代中期の土器を使用した人々が生活する。
弥生時代中期 前 1 世紀	村ノ内町遺跡、和泉式部町遺跡、西野町遺跡、松室遺跡などで畿内第IV様式期の土器を使用する人々が集落を営む。
弥生時代後期 1 世紀 古墳時代前期	梅ヶ畑遺跡に銅鐸 4 個が埋納される。
3 世紀 4 世紀後半 応神 6 年 応神 14 年 応神 16 年	村ノ内町遺跡、和泉式部町遺跡、西野町遺跡、松室遺跡などで庄内・布留式併行期の土器を使用する人々の集落が新たに始まる。 応神天皇が葛野（京都盆地）を称賛した歌を読む。『日本書紀』 弓月君が百二十県の人民を引率して帰化したが、新羅が拒み人民は加羅に留められた。『日本書紀』 平群木菟らの軍勢を派遣して、加羅に留められた弓月君の人民を救出し、葛城襲津彦と共に来帰する。『日本書紀』
古墳時代中期 5 世紀前半 5 世紀後半 雄略 12 年 (468) 雄略 15 年 (471) 雄略 16 年 (472)	和泉式部町遺跡で初期須恵器などを使用する人々の集落が営まれる。 雄略天皇が木工關鶏御田を処罰しようとするが、秦 酒公に諫められる。『日本書紀』 分散していた秦の人民を集めて、秦 酒公に委ねた。酒公が多量の絹織を献上したので、兎豆麻佐（うずまさ）の姓を賜わる。『日本書紀』 桑栽培に適した国県に桑を植え、秦の民を遷して庸調を献上させた。『日本書紀』 太秦段丘の南方に嵯峨野で初めての前方後円墳である段ノ山古墳が造営される。
古墳時代後期 6 世紀前半 欽明元年 (532) 欽明 9 年 (540)	広隆寺旧境内で埴輪が製作され、清水山古墳、天塚古墳などに供給される。また仲野親王墓古墳、太秦馬塚古墳、蛇塚古墳などの前方後円墳が、広隆寺旧境内の周囲に相次いで築造され始める。 秦大津父を山背国紀郡深草から登用して、大蔵の掾に任命する。『日本書紀・即位前記』 秦人・漢人ら帰化人の戸籍を造り、秦人七千五十三戸を秦大津父に委ねる。『日本書紀』

時 代	記 事
古墳時代後期 6世紀後半	嵯峨野の丘陵に、常盤御池古墳、巽古墳、甲塚古墳、印空寺古墳、遍照寺古墳、稲荷古墳、大覚寺古墳群、嵯峨七ツ塚、双ヶ岡一ノ丘古墳などの中規模の円墳が築造される。
飛鳥時代	
用明2年(587)	蘇我馬子・秦 河勝ら、厩戸皇子(聖徳太子)・敏達皇后(推古天皇)らを奉じて物部守屋を討伐する。『日本書紀・聖徳太子伝暦』
推古11年(603)	秦 河勝が聖徳太子から仏像を拝受して蜂岡寺を造営する。『日本書紀』
7世紀前半	広隆寺旧境内に多量の瓦類を使用した建物が建立され、広隆寺旧境内とその周辺に常盤仲之町遺跡、多藪町遺跡、上ノ段町遺跡、西野町遺跡などの集落が営まれる。 嵯峨野の山麓・山腹に、群集した小規模な円墳が数多く築造される。
推古18年(610)	秦 河勝、土師 兔を新羅の導者とする。『日本書紀』
推古24年(616)	新羅貢上の仏像を蜂岡寺に奉納する。『聖徳太子伝暦』
推古31年(623)	新羅・任那が仏像、金塔、舍利、観頂幡、小幡を献じる。仏像を葛野秦寺に、他を四天王寺に奉納する。『日本書紀』
皇極2年(643)	蘇我入鹿、山背大兄王一族を滅ぼす。この時、三輪文屋が大兄王に山背国深草屯倉で再起を計ることを進言する。『日本書紀』
皇極3年(644)	秦 河勝、東国富士川辺の大生部多を人民を惑わす罪で懲らしめる。『日本書紀』
大化元年(645)	中大兄皇子・中臣鎌足ら、蘇我本宗家を滅ぼす。『日本書紀』
大化2年(646)	大化薄葬令が発せられる。『日本書紀』
7世紀半ば	嵯峨野の丘陵・山麓・山腹での群集墳の築造が終息する。 秦長倉多牟部が広隆寺旧境内西南の地に徳願寺を建立する。『広隆寺来由記』
7世紀後半	嵯峨野西辺の嵯峨遺跡で集落が営まれる。
白雉4年(653)	高田根麻呂らを遣唐大使として、第2次遣唐使を発向させる。『日本書紀』
天智9年(670)	法隆寺(斑鳩寺)が火災に遭ったため、百済入法師らが衆人を率いて葛野秦寺などに移住する。『日本書紀・聖徳太子伝暦』
天武9年(680)	秦 綱手が卒し、壬申の功(戦功)により大錦上の位階を贈られる。『日本書紀』
持統8年(694)	藤原京に遷都する。『日本書紀』
文武8年(698)	筑前国糟屋評春米広国が銅鐘を铸造する。『妙心寺蔵鐘銘』
大宝元年(701)	秦 都里、松尾神の社殿を造営する。『本朝月令』
奈良時代	
和銅3年(710)	平城京に遷都する。『続日本紀』
天平年中 (729～749)	葛井寺(法輪寺)が建立される。『源平盛衰記』
(長岡京期)	
延暦3年(784)	長岡京に遷都する。『続日本紀』 造営に功があった秦 足長らに加階する。『続日本紀』
延暦4年(785)	太秦公宅守、太政官院の垣を築く。『続日本紀』
延暦10年(791)	山背国諸寺の浮図(塔)を修理させる。『続日本紀』
延暦12年(793)	遷都のため、藤原小黒麻呂らが葛野郡宇太村を視察する。『日本紀略』

時 代	記 事
平安時代前期	
延暦 13 年 (794)	平安京に遷都する。葛野・愛宕両郡の今年の田租を免除する。『類聚国史』
延暦 14 年 (795)	桓武天皇が大堰に行幸（大堰行幸初見）『日本紀略』
延暦 16 年 (797)	山背国府を葛野郡より長岡京南へ移す。『日本紀略』
延暦 18 年 (799)	葛野川の楓・佐比渡に度子を配置する。『日本後紀』
延暦 19 年 (800)	葛野川修堤に一万人を動員する。『日本紀略』
延暦 21 年 (802)	桓武天皇が葛野に遊獵、的野（北嵯峨）の神野親王（嵯峨天皇）嵯峨山荘に寄る。『日本紀略』
延暦 23 年 (804)	大和石上神宮の器杖を葛野郡嵯峨野（新宮町）の地に遷す。『日本後紀』
延暦 24 年 (805)	葛野に移した器杖を石上神社に返納する。『日本紀略』『日本後期』
大同元年 (806)	桓武天皇没、葛野郡宇太野を山陵の地と定める。『日本後紀』
	日赤く光無し。大堰、西山、北山、比叡、小野、栗栖を共に焼く。煙灰四満、京中昼昏と化す。『日本後期』
	山陵地が賀茂神に近く、神霊による災火として、紀伊郡柏原山陵に変更して葬る。『日本後紀』
	平城天皇即位。『日本後紀』
	葛野川の大堰を修造する。『日本後紀』
大同 2 年 (807)	齋宮大原内親王が葛野川で禊し、野ノ宮に入る。『日本後期』
大同 3 年 (808)	平城天皇讓位、嵯峨天皇即位。『日本後紀』
大同 4 年 (809)	空海が宇佐八幡宮を勧請し、平岡八幡宮を創祀する。『諸社根元記』
弘仁 5 年 (814)	嵯峨天皇が嵯峨山荘に行幸する。『日本後紀』
弘仁 9 年 (818)	広隆寺が焼亡する。『日本紀略』
天長元年 (824)	防葛野川使を置く。『類聚国史』
天長 2 年 (825)	葛原親王の子、高棟王に平姓を賜る。『日本紀略』
天長 6 年 (829)	道昌僧都が葛井寺を法輪寺と改める。『源平盛衰記』
天長 7 年 (830)	淳和天皇、清原夏野の山荘に行幸する。『類聚国史』
承和元年 (834)	嵯峨上皇、嵯峨新院に移る。『続日本後紀』
	住吉大伴神社（伴氏神社）が造られる。『続日本後紀』
承和 3 年 (836)	僧道昌、大堰川を修築。『大師弟子伝』
	この頃、橘嘉智子が嵯峨荘内に檀林寺を造り、造檀林寺使秦 家継らが朝原宿禰を賜る。『続日本後紀』
承和 9 年 (842)	嵯峨上皇が没する。造大井寺使員を定める。『続日本後紀』
承和年中	僧道昌、広隆寺を復興する。『広隆寺縁起資財帳』
(834～847)	
承和 14 年 (847)	仁明天皇が双ヶ岡に遊獵し、丘南の源 常の山荘を観る。『続日本後紀』
	有智子内親王が嵯峨西庄で薨ずる。『続日本後紀』
斉衡 3 年 (856)	月詠社を松尾の南山に置く。『文徳天皇実録』
天安 2 年 (858)	双丘寺（夏野山荘）を天安寺と称する。『日本三代実録』
貞観元年 (859)	平 高棟、葛野郡の別業を平等寺とする。『日本三代実録』
貞観 4 年 (862)	藤原良繩、葛野郡の別業を道場とし、真如院と称する。『日本三代実録』
貞観 12 年 (870)	葛野郡観空寺を定額寺とする。『日本三代実録』
	鑄銭司、葛野鑄銭所の新鑄銭を諸社に奉る。葛野郡の百姓地を鑄銭所に給う。『日本三代実録』
貞観 13 年 (871)	葛野郡・紀伊郡に百姓の葬送・放牧の地を定める。『日本三代実録』
	広隆寺縁起資財帳ができる。『縁起資財帳奥書』
貞観 16 年 (874)	法輪寺が山腹を開き、堂宇を改修する。『源平盛衰記』
貞観 18 年 (876)	淳和太皇太后の請により、嵯峨院を大覚寺とする。『日本三代実録』
元慶 4 年 (880)	清和上皇、水尾山寺から源 融の山荘棲霞観に渡る。『日本三代実録』

時代	記 事
元慶 6 年 (882) 仁和元年 (885) 仁和 4 年 (888) 昌泰 2 年 (899)	葛野郡嵯峨野での放鷹・狩猟を禁じられる。『日本三代実録』 葛野郡神心寺を定額寺とする。『日本三代実録』 仁和寺が創立される。『日本紀略』 仁和寺内に八角円堂を建立する。『扶桑略記』
平安時代中期 10 世紀前半	広隆寺の門前、一ノ井遺跡、多藪町遺跡、上ノ段町遺跡、常盤仲之町遺跡などが発展する。 福王子神社が創祀される。
延喜 4 年 (904) 延長 6 年 (928) 天慶 8 年 (945) 天曆 3 年 (949) 10 世紀半ば 天延 3 年 (975) 永観元年 (983) 寛和 2 年 (986) 永延元年 (987) 永祚元年 (989) 長徳 4 年 (998) 長和 3 年 (1014) 長和 4 年 (1015) 寛仁 2 年 (1018) 天喜 3 年 (1055)	宇多法王、仁和寺に御室を造営する。『仁和寺御伝』 檀林寺が焼亡し、金堂・講堂が焼失する。 広隆寺で法性寺の釈迦像を造る。『貞信公記』 鴨川や大堰川が氾濫する。『日本紀略』 寛忠僧都が池上寺を建立する。『仁和寺諸院家記』 仁和寺で桜花会を催す。『日本紀略』 円融寺を供養する。『日本紀略』 円融法王、大井川で三船の遊びを催す。『楽記』 僧裔然が入京、仏像、経論などを請来する。『日本紀略』 僧寛朝、遍照寺を供養する。『日本紀略』 円教寺の落慶供養が行われる。『扶桑略記』 広隆寺で薬師仏の開眼があり、京中から多数の参詣がある。『小右記』 今宮社（花園社）が創祀される。『日本紀略』 円教寺が焼亡する。『日本紀略』 仁和寺の南に円乗寺を供養する。『扶桑略記』
平安時代後期	
康平 2 年 (1059) 康平 5 年 (1062) 延久 2 年 (1070) 延久 3 年 (1071) 承暦 4 年 (1080) 永保 2 年 (1082) 康和元年 (1099) 12 世紀前半 天永元年 (1110) 永久元年 (1113) 元永 2 年 (1119) 大治 5 年 (1130) 保延 2 年 (1136) 保延 5 年 (1139) 久安 6 年 (1150) 12 世紀後半 仁平 3 年 (1153) 保元元年 (1156) 平治元年 (1159) 永万元年 (1165) 承安元年 (1171) 承安 4 年 (1174) 治承元年 (1177)	仁和寺新堂を供養する。『扶桑略記』 仁和寺内に般若寺を供養する。『仁和寺諸院家記』 後三条天皇、円明寺（円宗寺）に行幸して供養する。『百鍊抄』 円明寺を円宗寺と改める。『百鍊抄』 仁和寺西院を供養する。『仁和寺諸院家記』 白河天皇、仁和寺に行幸、喜多院を供養する。『扶桑略記』 関白藤原師通が広隆寺東北野に葬送される。『本朝世紀』 この頃から常盤東ノ町古墳群上層、太秦馬塚町遺跡などで土壇墓による葬送が始まる。 円宗寺五大堂を供養する。『江都督納言願文集』 栖霞寺で釈迦像を供養。『長秋記』 仁和寺堂舎僧坊が焼亡する。『中右記』 仁和寺金堂を供養する。『興福寺略年代記』 法金剛院を供養する。『長秋記』 法金剛院三重塔を供養する。『中右記』 仁和寺大教院が焼亡。『百鍊抄』 広隆寺が焼亡する。『台記』 広隆寺境内内弁天島に経塚が造られ始める。化野に火葬墓などが造られ、葬送の地となる。 仁和寺御所が焼亡する。『本朝世紀』 保元の乱、崇徳上皇が仁和寺に逃れる。『兵範記』 平治の乱、後白河上皇が仁和寺に移る。『百鍊抄』 広隆寺を供養する。『百鍊抄』 法金剛院御堂を供養。後白河法皇、建春門院が列席する。『玉葉』 八条女院暉子内親王が、蓮華心院を供養する。『吉記』 長福寺縁起ができる。『同縁起』

時代	記 事
鎌倉時代 建保6年(1218) 貞応元年(1222) 建長7年(1255) 弘安8年(1285)	嵯峨釈迦堂・阿弥陀堂などが焼亡する。『仁和寺日次記』 清涼寺、再建供養される。『百鍊抄』 松尾社焼亡する。『皇年代略記』 亀山殿が完成し、後嵯峨上皇が移る。『百鍊抄』 松尾社焼亡する。『一代要記』
室町時代前期 建武2年(1335) 興国2年(1341) 康永2年(1343) 貞和元年(1345) 正平2年(1347) 14世紀半ば 延文3年(1358) 康安元年(1361) 貞治6年(1367) 応安2年(1369) 永和4年(1378) 康暦2年(1380) 至徳2年(1385) 明德3年(1392)	夢窓疎石を臨川寺開山とする。『臨川寺文書』 光厳上皇、暦応寺を天龍寺と改める。『天龍寺造営記録』 足利直義、天龍寺船を元に派遣する。『天龍寺造営記録』 天龍寺仏殿が完成し、光厳上皇が上梁銘を書く。『夢窓国師語録』 天龍寺を供養する。『園太暦』 花園法皇、僧慧玄に妙心寺造営を遺囑する。『妙心寺文書』 天龍寺門前町が発展する。 天龍寺焼亡する。『園太暦』 臨川寺焼亡する。『柳原家記録』 天龍寺焼亡する。『太平記』 円宗寺の堂が大風で倒れる。『後愚昧記』 臨川寺焼亡する。『花営三代記』 天龍寺で火災、開山以来の公文を消失する。『空花日工集』 足利義満、宝幢寺を創建し、落慶供養を行う。『鹿王院記』 後亀山天皇還京、大覚寺に入る。『続神皇正統記』
室町時代中期 応永27年(1420) 文安4年(1447) 長祿2年(1458)	足利義持、宝幢寺を供養する。『看聞御記』 天龍寺焼亡する。『東寺執行日記』 清涼寺・栖霞寺が焼亡する。『師郷記』
室町時代後期 応仁2年(1468) 明応8年(1499) 永正2年(1505) 天文16年(1547)	東軍が仁和寺を焼き、天龍寺、臨川寺、宝幢寺などが炎上する。『碧山目録』 龍安寺方丈上棟。『実隆公記』 香西元長が嵯峨城(嵐山城)に引き退く。『二水記』 細川晴元、神護寺・高山寺を焼く。『厳助住年記』

ARCHAEOLOGICAL SITES
IN SAGANO AREA, KYOTO CITY
-Research Report by Public Works Survey-

English Summary

Kyoto City Archaeological Research Institute
[Kyotoshi Maizōbunkazai Kenkyūsho]

1996

CONTENTS

Chapter I Progress and Method of the Investigation

1. Progress of the investigation 1
2. Method of the investigation 5

Chapter II Location and Archaeological Site

1. Location and topography in Sagano 9
2. Archaeological sites and historical outlines in Sagano 12

Chapter III Features

1. Distribution of features in Narabigaoka area 17
2. Distribution of features in Uzumasa area 25
3. Distribution of features in Saga-Arashiyama area 40

Chapter IV Artifacts

1. Pottery
 - a. Narabigaoka and Uzumasa area 63
 - b. Saga-Arashiyama area 73
2. Roof tiles and bricks
 - a. Narabigaoka area 80
 - b. Uzumasa area 91
 - c. Saga-Arashiyama area 104
3. Other Artifacts 110

Chapter V Conclusion

1. Archaeological Sites in Narabigaoka area 116
2. Archaeological Sites in Uzumasa area 128
3. Archaeological Sites in Saga-Arashiyama area 137

Appendix Outlines of Investigation before 1980

1. Ex-precincts of Kōryūji Temple 1 150
2. Site of Danrinji Temple 152
3. West Fourth Ward on Second Street of the Heian Capital 153
4. Ex-precincts of Kōryūji Temple and Bentenjima Sutra Mounds 154
5. Historical Site "Myōshinji Temple" and West Fourth Ward on North Edge Street of the Heian Capital 1 161
6. Ex-precincts of Kōryūji Temple and the Tokiwa Nakanochō Site 162
7. Ex-precincts of Kōryūji Temple 2 163
8. West Third and Fourth Ward on Third Street of the Heian Capital 165
9. West Third and Fourth Ward on Second Street of the Heian Capital 167
10. West Third and Fourth Ward on First Street of the Heian Capital and Goyama Kofun Burial Mound 170
11. Tokiwa Nakanochō Site and Tokiwa Higashinochō the Group of Burial Mounds 171

12. Historical Site “Myōshinji Temple” and West Fourth Ward on North Edge Street of the Heian Capital 2	172
13. Kaminodanchō Site	173

Supplementary Tables

Supplementary Tables 1. Distribution of features listed by area	175
Supplementary Tables 2. Work periods and surface areas of each investigation	214
Supplementary Tables 3. Table of Literature	240
Supplementary Tables 4. Chronology of Sagano	251
English Summary	256

ARCHAEOLOGICAL SITES IN SAGANO AREA, KYOTO CITY

-Research Report by Public Works Survey-

Summary

This report summarizes the results of archaeological investigations in Sagano, located in the western part of the city of Kyoto. From the modern administrative point of view, Sagano extends from the main part of Ukyō ward to the southern part of Kita and Nakagyō wards and the northern part of Nishikyō ward. This report contains data compiled from the various archaeological investigations carried out in Sagano by the Kyoto City Archaeological Research Institute since its foundation in 1976 and through 1995. These investigations include the distribution survey, trial trenching, area excavation, and the public works survey, a system in which we send archaeological observers to public works sites of potential archaeological significance. Herein we report mainly on the results of the public works survey which has followed the sewer works constructed by the Kyoto City Sewerage Bureau.

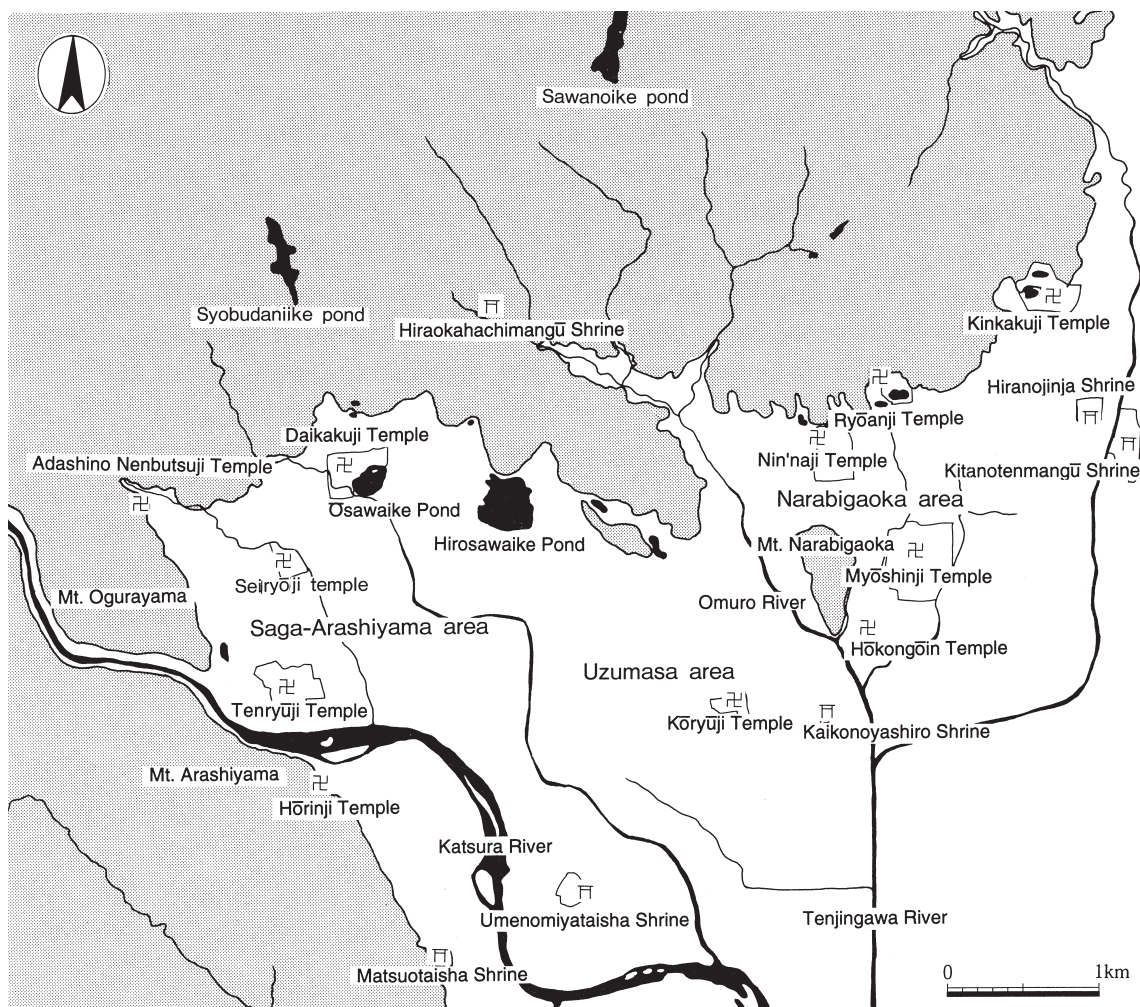


Fig. 131 Map of Sagano Area (1:50,000)

A network of drainage works covers the Sagano area, running along its streets. Since the width of drainage construction areas is narrow, it is difficult to perform archaeological excavations. However, via the public works survey it is possible to make a record of the observed cross-sections and uncover features and artifacts; it is also very efficient for fixing the distribution of sites and discovering unknown ones. In our investigations, we set up at 10 meter fixed-point intervals according to national land coordinates and then draw up the stratigraphy, register the features, and collect artifacts from each point. As a result, we obtain very important basic data about a site-its character and historical transitions-which enables us to inspect and revise the distribution of known sites, confirm the scale and scope of newly-discovered sites, and reconstruct the former topography of each period.

The results of our investigations are as follows. In the eastern half of the Narabigaoka area, we have clarified the aspects of the northeastern part of the Heian Capital. In addition, we have defined the distribution and scope of the sites prior to the Heian period (from the Yayoi period, ca.200 BC ~ 200 AD to the Kofun period, ca.200 ~ 600 AD) as the Nishinokyō Site, Hanazono Site, and Myōshinji lower stratum Site. At the same time, in the western half of the Narabigaoka area, we have accumulated new data which can be used to confirm the territory of temples such as Nin'naji, Nin'naji-shi'in and Shi'enji. Along the Omuro River we discovered remains of Nin'naji-shi'in and of a Villa (Villa Site) belonging to the early Heian period (ca. 795 ~ 900 AD).

In the Uzumasa area we have discovered new sites belonging to the Jōmon period (ca. 12,000 ~ 200 BC), the Yayoi period, and the Kofun period. We have clarified the deep relation between the aristocratic Hata (秦氏) clan of ancient Korean descent and both the Zenpōkōenfun (a keyhole-shaped mounded tomb) in the Uzumasa area and to a mounded tomb cluster in the Sagano area-the latter clarified through the discovery and reconstruction of an ancient road dating back to the Kofun period. At the Nishinomachi Site, we found tiles, etc., which can provide evidence for the existence of temple remains from the late Asuka period (ca. 600 ~ 710 AD). In our investigations of the former precincts of Kōryūji Temple, we obtained good data which can fix the time of the temple's foundation. We confirm the presumed development of Kōryūji Temple and the surrounding areas since the Heian period, as well as the spreading of clusters of pit burials belonging to the Heian period on the extensive heights in the northwestern part of that area.

Also, in the Saga-Arashiyama area, we have discovered new sites belonging to the Jōmon, Yayoi, Kofun, and Asuka periods. Data gathered from these sites has provided new knowledge about the Villa Site (mentioned above), which dates from the Heian period. Truly great discoveries include the Tanigatsujikochō Site (early Heian period), another site laying under Tenryūji Temple with the scale of an imperial villa, and the detection of various archaeological remains which can be very effective for conjecture about the original territory of Danrinji Temple. It can safely be said that the grasp of distribution and the detection of features and artifacts relating to Saga-in (Emperor Saga's villa) is a great leap forward in clarifying the villa's scale. In medieval times, when such villas were changed into temples, the samurai military government, viewing Zen as a spiritual anchor, established Zen temples such as Tenryūji, Rinsenji, and Hōdōji. The establishment and development of the monzen-machi (town in front of a gate) connected with these temples is borne out by the detection of a great quantity of remains belonging to the Medieval period. Moreover, we have discovered a cluster of pit burial sites in the Adashino area in the depths of the Sagano area, clarifying that this area had been a burial place for a long time, from the late Heian period to the Edo period.